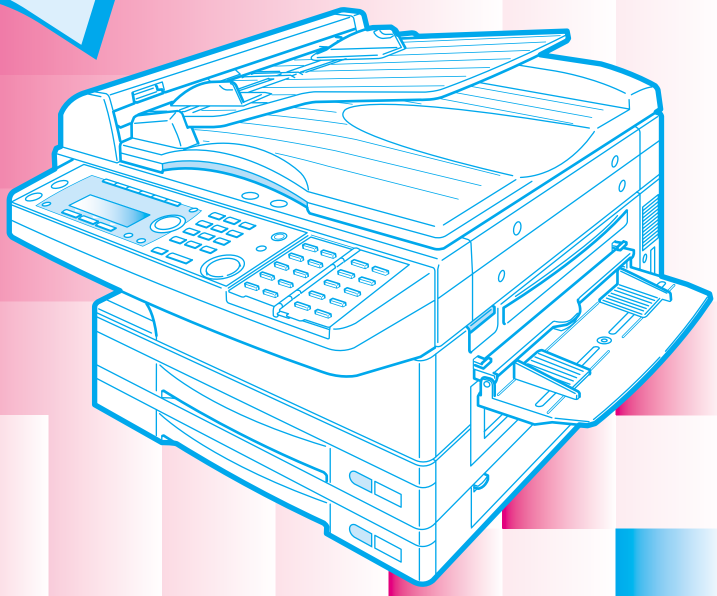
muratec

SUPER G3

V-970

取扱説明書



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

はじめに

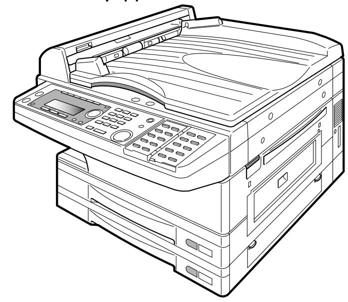
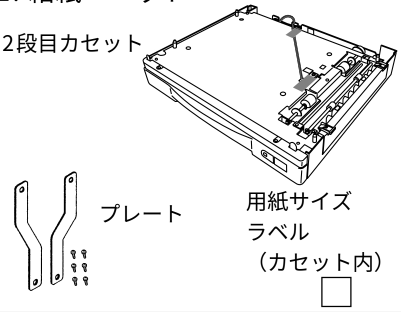
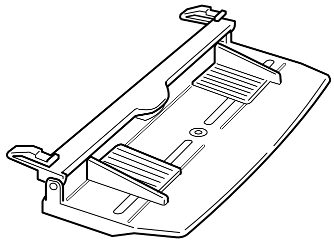
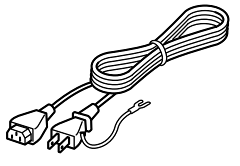
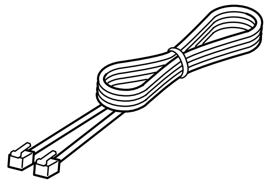
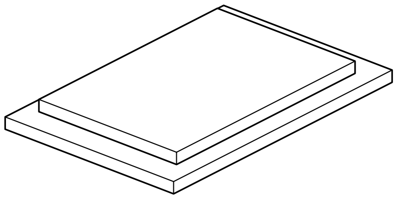
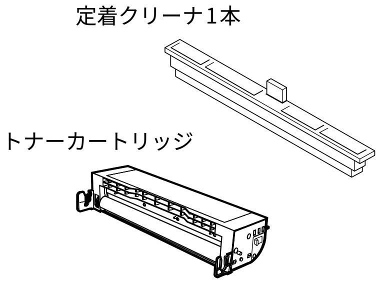
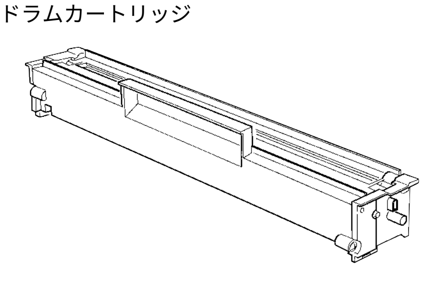
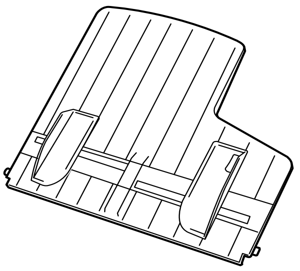
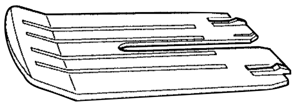
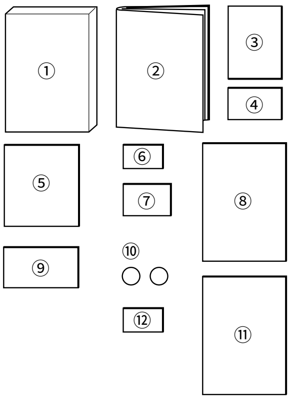
このたびは村田機械のファクス、ムラテックV-９７０をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本機は1台でファクス・コピーを複合的に使用できる製品です。

この取扱説明書はムラテックV-９７０の標準的な設置方法および操作方法について記載したものです。初めてお使いになる方は始めから順序よくお読みください。取扱説明書は大切に保管し、わからないときには再読してください。

- この取扱説明書を紛失された場合、購入することができますので、インフォメーションセンターまでご連絡ください。（➡裏表紙）
- この取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。
- この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

同梱品を確認する

●本機がお手元に届きましたら、以下の内容がそろっているかご確認ください。万一、足りないものやご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または当社インフォメーションセンター（a 裏表紙）にご連絡ください。

1. V-970本体 	2. 給紙ユニット 	3. 手差しトレイ 
4. 電源コード 	5. 回線接続コード 	6. 用紙（A4，B4）＊ 
7.トナーカートリッジ＊ 	8.ドラムカートリッジ＊ 	9. 原稿トレイ 
10. 延長用用紙トレイ 	11. 取説キット  ①取扱説明書 ②かんたん操作ガイド ③ワンタッチ宛名ラベル ④ご愛用スイッチラベル ⑤用紙サイズラベル ⑥連絡先カード ⑦カードケース ⑧キットサービス申込書 ⑨保証書（梱包箱に貼付） ⑩プロテクトシートラベル ⑪お問い合わせ先一覧 ⑫カセット番号ラベル	

●3～11はアクセサリーボックスに入っています。

MEMO

` ＊は消耗品です。消耗品やオプション品については「消耗品とオプション品について」（a 307ページ）の上、お買い上げの販売店または当社インフォメーションセンターにお問い合わせください。

` 使用頻度が多いときや長時間使用いただいた場合、ローラなどの機械部品が耐用限度を超える場合があります。その際、部品交換は消耗品として取り扱いさせていただきます。

もくじ

ご使用の前に

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項、ご使用の前の準備、通信・コピーの前に知っておきたいことを説明しています。

コピー編

第１章　基本的な使いかた

基本的なコピーの使いかたについて説明しています。

第２章　応用コピーのしかた

集約コピーやページ連写など、知っていただくと便利なコピーの使いかたについて説明しています。

第３章　機能の設定

コピーの初期値の変更や、自動リセット時間の設定など、コピーをさらに便利に使う設定について説明しています。

ファクス編

第１章　基本的な使いかた

基本的な送信、受信、電話の使いかたについて説明しています。

第２章　便利な使いかた（通信編）

同報や時刻指定など、知っていただくと便利なファクス通信の使いかたについて説明しています。

第３章　便利な使いかた（通信管理編）

通信状況などを管理する方法や、利用者の通信を管理する方法などについて説明しています。

第４章　機能のセット

簡単に送信するためのワンタッチ、短縮ダイヤルなどの登録方法、便利な使いかたに必要な設定などを説明しています。

ファクス・コピー共通設定編

共通機能の設定

ファクス、コピー両方に使用できる機能の設定について説明しています。

管理編

こんなときには

用紙や原稿がつまったとき、エラー表示、故障かなと思ったときの対処方法や、日常のお手入れについて説明しています。

付録

入力できる文字の一覧表、仕様、アフターサービス、消耗品・オプション品の購入方法などについて説明しています。

はじめに .... B
同梱品を確認する C
Ｖ－９７０の特徴と機能 I
本書のみかた .... N

ご使用の前に

1　ご使用の前のお願い 2
2　各部の名称とはたらき 10
- 本体各部の名称とはたらき 10
- 操作パネルの名称とはたらき 12

3　電源について 14
- 電源スイッチについて 14
- ＜省エネ＞キー 14

4　液晶ディスプレイのみかた 15
- コピー画面の説明 15
- 表示されるアイコンの意味 16
- ファクス画面の説明 16
- エラー画面の説明 17

5　知っておきたいキーの使いかた 18
- 機能選択キー 18
- カーソルキー 19
- ＜戻る＞キー 20
- ご愛用スイッチキー 20
- おまかせ機能キー 20

6　機器の接続のしかた 21
- 原稿トレイの取り付け 21
- 延長用用紙トレイの取り付け 21
- 手差しトレイの取り付け 21
- 回線接続コードの接続 21
- 増設電話（留守番電話）の接続 22
- カセット番号ラベルの貼り付け 22
- ハンドセット（本体電話）の接続 22
- 電源コードの接続 23

7　ドラム／トナーカートリッジの取付・交換 24
- ドラム／トナーカートリッジについて 24
- ドラム／トナーカートリッジの取付 25
- トナーカートリッジの交換 26
- ドラムカートリッジの交換 28

8　用紙のセット／補給・カセットサイズの変更 30
- 記号について 30
- セットできる用紙のサイズと容量 30

もくじ

用紙をセットする 31
9 用紙サイズを変える 32
1段目カセット 33
2段目・3段目カセット 36
10 使用する前の登録 37
初期登録 37
ダイヤルインの登録 40
通信回線の見分けかた 41
11 原稿セットのしかた 42
セットできる原稿サイズ 42
原稿読み取り範囲について 43
原稿についてのご注意 43
記号について 44
原稿セットのしかた 44
原稿種類・画質の選びかた 46
濃度の選びかた 47
車検証読取り／鉛筆読取りについて 48

コピー編　第1章　基本的な使いかた

1 コピーの前に 50
原稿サイズの自動検出について 50
回転コピー 50
コピー中にメモリオーバーしたとき 51
2 基本的なコピーのしかた 52
原稿を続けて読み取るには（次の原稿） 53
自動給紙装置とブックスキャナの混在コピー 55
コピー予約（いつでもコピー） 56
原稿の一部分だけをコピーする（読取サイズ） 57
3 用紙を選んでコピーする 58
用紙選択のしかた 58
用紙選択コピーのしかた 59
4 拡大／縮小コピーをする（ズーム） 60
用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率） 60
倍率を選んで拡大／縮小する（定型倍率） 61
倍率を入力して拡大／縮小する（ズーム） 62
5 用紙を仕分けする（ソート） 63
6 手差しトレイに用紙をセットする 64
手差しトレイにセットできる用紙 64
手差しトレイに用紙をセットする 64
不定型紙を設定するとき 66
メディアの設定 66
手差しコピーをする 67
はがきにコピーする 68

コピー編　第2章　応用コピーのしかた

1 複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする（集約コピー） 70
2 1枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート） 72
3 2ページを1枚ずつコピーする（ページ連写） 74
4 前にコピーした原稿を再度コピーする（もう一度コピー） 75
もう一度コピーのしかた 75
もう一度コピー原稿の消去 76

コピー編　第3章　機能の設定

1 コピー機能の初期設定 78
コピー機能設定例 78
コピー設定一覧 79
コピー設定リストプリント例 80
2 機能の組み合わせ一覧 81

ファクス編　第1章　基本的な使いかた

1 送信のしかた 84
基本的な送信のしかた 84
原稿サイズが検知できないとき 85
自動給紙装置とブックスキャナの両方を使って送信する 86
原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ） 88
自動リダイヤルについて 89
同じ相手に再度送信する（リダイヤル） 89
手動送信のしかた 90
電話帳検索のしかた 91
送信時にメモリオーバーしたとき 93
送信予約数をオーバーしたとき 93
2 送信するときの便利な機能 94
送信方法の設定（メモリ送信／リアルタイム送信） 94
ダイヤル記号について 94
済スタンプを押す（自動給紙装置のときのみ） 95
通信証を発行する 96

もくじ

3 送信文書を中止／確認する 97
送信文書の中止／確認 97
同報送信・グループ送信の宛先別の中止／確認 ... 98
通信予約原稿のプリント 99
通信予約リストのプリント 100
4 受信のしかた 101
ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）.. 101
ファクスを優先して電話も受ける
（ファクス／電話待機）................................ 102
電話を優先して自動受信もする
（電話／ファクス待機）................................ 103
留守番電話とファクスを兼用する
（留守／ファクス待機）................................ 104
電話を中心に使用する（電話待機）.................... 105
増設電話でファクスを受ける（リモート受信）.. 106
ダイヤルイン待機 107
5 受信中の動作について 109
受信中の表示について 109
代行受信について 109
6 記録のしかた 110
有効記録サイズについて 110
受信縮小について 110
しきい値について 111
ページ合成について 111
ページ分割について 112
回転受信について 112
記録のしかた 113
用紙サイズの優先順位 114
7 電話のしかた 115
電話をかける 115
電話を受ける 116
通信の後に相手と話す（会話予約）.................... 116

ファクス編　第2章　便利な使いかた（通信編）

1 多数の相手に一度に送信する 118
同報送信 118
グループ送信 120
2 送信時刻を指定する（時刻指定送信）........... 121
3 同じ相手にまとめて送信する（一括送信）.... 122
一括送信のしかた 122
一括送信ボックスにメモリされた原稿の
プリント 123
一括送信ボックスにメモリされた原稿の消去 .. 124
一括送信原稿リストのプリント 125
一括送信ボックスの登録 126
一括送信ボックスの消去 127
一括送信ボックスリストのプリント 128
4 受信原稿を転送する（ファクスワープ）........ 129
ファクスワープの設定 129
転送先の登録 130
転送先の消去 132
ファクスワープリストをプリントする 133
5 ボイスワープサービスの利用について 134
ボイスワープサービスとは？ 134
ボイスワープサービスを利用する前の設定 134
6 電話を転送する（フォンワープ）.................. 136
フォンワープの設定 136
転送先の登録 137
フォンワープの動作 139
転送先の消去 140
フォンワープリストをプリントする 141
7 外出先からの操作（リモート操作）.............. 142
外出先からフォンワープを設定する 142
8 ファクスとコピーを同時にする
（ファクス＆コピー）.................................. 144
ファクス＆コピーを設定する 144
ファクス＆コピーのしかた 145
9 原稿といっしょに送信案内証を送る
（メッセージ送信）...................................... 146
メッセージの登録 146
メッセージ送信の設定 146
送信案内証の印字 147
10 相手先の操作で送信する（ポーリング予約）... 148
ポーリング予約原稿の蓄積 148
ポーリング予約原稿の消去 149
ポーリング予約原稿のプリント 149
11 相手の原稿を取り出す（ポーリング）........... 150
ポーリングの設定 150
12 Fコード通信をする 151
Fコード通信とは？ 151

もくじ

サブアドレスとパスワード 151
Fコード通信で使用できる機能 151
サブアドレスを使用した送信（Fコード送信） ... 152
サブアドレスを使用した受信
（Fコードポーリング） 153
掲示板への原稿蓄積 154
蓄積原稿のプリント 155
蓄積原稿の消去 157
FコードBOX蓄積原稿リストのプリント 158
Fコードボックスの登録 159
Fコードボックスの消去 163
Fコードボックスリストのプリント 164
13 ファクシミリ通信網及びサービスの
利用について 165
ファクシミリ通信網サービス 165
新電電系（NCC回線）の利用のしかた 166
銀行のFAXサービスなどの利用のしかた 166

ファクス編　第3章　便利な使いかた（通信管理編）

1 相手先の番号を表示する
（ナンバー・ディスプレイ） 168
電話がかかってくると 168
ディスプレイ表示について 169
名前の登録 170
ナンバー・ディスプレイダイヤルリストの
プリント 171
ナンバー・ディスプレイ着信履歴のプリント 172
2 部門ごとの使用を管理する 173
部門管理の設定 173
部門管理ONのときの送信 174
部門番号の登録・消去 175
部門管理の保護 176
3 受信した原稿を他人に読まれないようにする
（セキュリティ受信） 177
セキュリティ受信の設定 177
セキュリティ受信した原稿のプリント 178
4 ダイレクトメール防止の登録 179
登録する 179
登録した番号の消去 181
ダイレクトメール防止ダイヤルリストの
プリント 181
5 通信管理 182
通信管理レポートのプリント 182
通信管理レポート、通信証の設定 183
通信管理レポートのみかた 184
通信証のみかた 185

ファクス編　第4章　機能のセット

1 文字入力のしかた 188
文字入力に使用するキー 188
文字を入力する 189
可変入力 194
文字の挿入・削除 195
文字入力についての基本 196
2 ファクス機能の機器設定について 199
ファクス設定例 199
ファクス設定一覧 201
ファクス設定リストプリント例 206
3 ワンタッチダイヤルの登録 207
登録する 207
便利な登録のしかた 209
変更する 210
消去する 212
挿入／削除する 213
ワンタッチダイヤルリストをプリントする 214
4 短縮ダイヤルの登録 215
登録する 215
便利な登録のしかた 217
変更する 217
消去する 219
挿入／削除する 220
短縮ダイヤルリストをプリントする 221
5 グループダイヤルの登録 222
登録する 222
変更する 224
消去する 225
グループリストをプリントする 226
6 プログラムワンタッチの登録 227
「応用通信」を登録する 227

もくじ

個別設定 231
「リストプリント」を登録する 233
「原稿蓄積」を登録する 234
変更する 236
消去する 237
プログラムワンタッチダイヤルリストを
プリントする 238

ファクス・コピー共通設定編
共通機能の設定

1 おまかせ機能キー 240
おまかせ機能キーの登録 240
おまかせ機能キーのタイトル変更 242
おまかせ機能キーの消去 243
おまかせ機能キーリストのプリント 244
おまかせ機能キーの実行スピードの設定 245
おまかせ機能キーを使用する 245
2 ご愛用スイッチキー 246
ご愛用スイッチキーの登録 247
ご愛用スイッチキーの使用例 248
3 システム設定 250
システム設定例 250
システム設定一覧 252
蓄積原稿リストプリント例 254
システム設定リストプリント例 254
プロテクトコードの登録 255
操作音を変える(音設定) 256

管理編　こんなときには

1 用紙がつまったとき 260
本体内部のとき 261
サイドカバーのとき 262
2 原稿がつまったとき 264
3 済スタンプを交換する 266
4 日常のお手入れ 268
機械の外観を清掃する 268
自動給紙部を清掃する 268
ブックスキャナ部を清掃する 269
原稿搬送ローラーを清掃する 270
記録部を清掃する 271
5 エラーメッセージが表示された 273
アラームランプについて 273
プリントされるエラーメッセージ 273
エラーコード 275
ディスプレイに表示されるメッセージ 277
6 停電のとき 282
本体の動作 282
メモリバックアップ 282
消去通知 283
7 故障かなと思ったら 284
動作しない 284
送信できない 285
受信できない 286
画質が悪い 287

付録

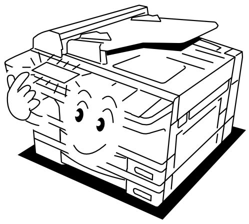
1 文字一覧表 292
文字コードの探しかた 292
記号・かな・特殊文字コード一覧 293
第一水準漢字コード一覧 294
第二水準漢字コード一覧 297
2 アフターサービスについて 298
保証について 298
修理を依頼されるときは 299
その他の場合 299
3 主な仕様 300
4 さくいん 303
5 消耗品とオプション品について 307
消耗品について 307
オプション品について 307
消耗品発注票について 308

Ｖ－９７０の特徴と機能

●便利なオペレーション機能

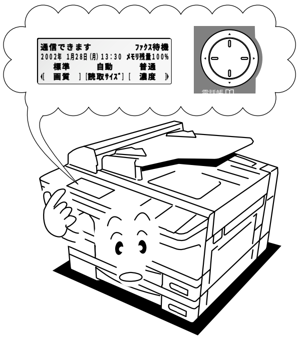
■バックライト付き4行大型漢字ディスプレイ

各機能の設定や操作手順を分かりやすく漢字表示する大型の液晶ディスプレイを搭載しています。カセット用紙のサイズを変更したり、プリント枚数の表示を確認するなど、操作性を向上しています。またバックライトを搭載していますので、暗い場所でもオペレーションがしやすくなりました。



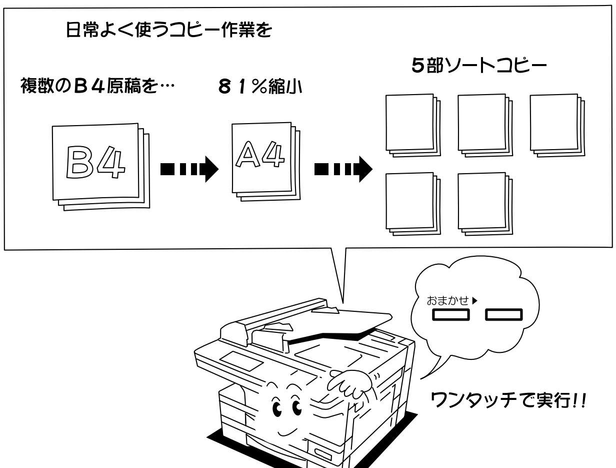
■マルチカーソルキー搭載

設定や登録の際、視線移動をできるだけ少なくしてカーソル移動ができるよう、十字型のカーソルキーを搭載しました。常にディスプレイを見ながら設定できますので、難しい操作も簡単に登録が行えます。



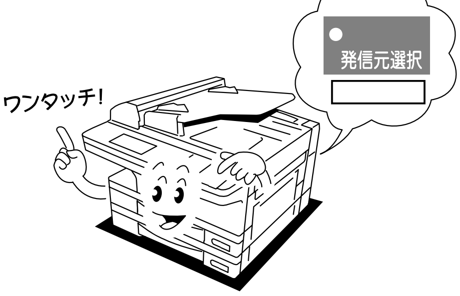
■おまかせ機能キー

「複数のB4 原稿をA4 に81%縮小してから、ソートコピーを5セットつくる」など、日常よく使用する作業に必要な一連のキー操作をあらかじめ「おまかせ機能キー」に登録しておくと、ワンタッチで実行できます。何度もキー入力する手間を省き操作を簡略化できます。さらにコピー機能だけでなく、FAXやプリンタ機能を登録することもできます。



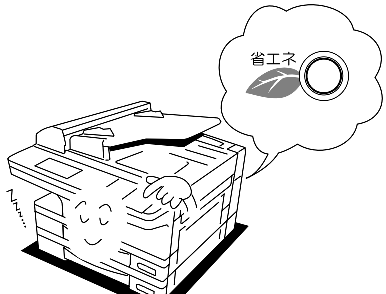
■ご愛用スイッチキー

「発信元選択」や「メッセージ送信」など、よく使用する機能をあらかじめ「ご愛用スイッチキー」に割り当てておくと、ワンタッチでON/OFF の切り替えが可能です。液晶画面を見ながらON/OFF を設定するという面倒な手順を省き、キー操作を簡略化できます。（ON/OFF切り替えを割り当てることができる各種機能については、本文246ページをご参照ください）



■省エネ対応機能

しばらく何もしない状態にするとスリープモードになります。また外出や帰宅などの長時間使わない時はオートパワーオフモードに切り替わり、無駄な電力消費をおさえます。ファクス受信の際は、自動的にスリープモードに切り替わり、プリントアウトを開始します。

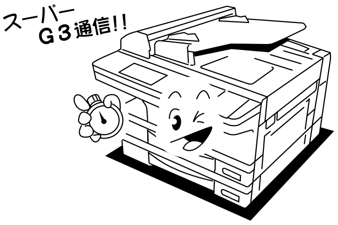


Ｖ－９７０の特徴と機能

●便利なファクス機能

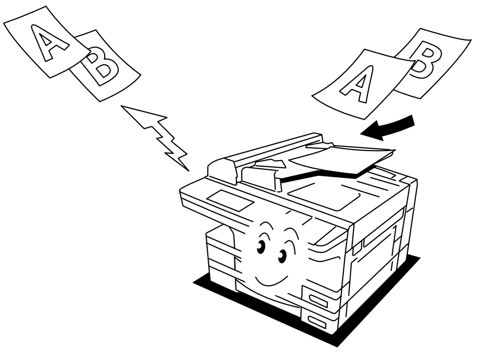
■スーパーG3 ＆JBIG

ＩＴＵ-Ｔ（国際電気通信連合）の新規格Ｖ.３４準拠の３３.6Kbpsファクスモデムの搭載により、一般電話回線で超高速2秒台電送のスーパーＧ３通信が可能です。さらに新標準圧縮方式JBIGを採用。写真原稿も超高速で送信できます。



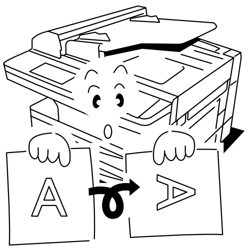
■高速原稿読み取り＆クイックメモリ送信機能

Ａ4原稿をわずか2秒で読み取り送信できます。さらに、複数の原稿を送信する際、原稿を1枚ずつ読み取った後すぐに送信を開始します。大量の原稿を送信する時など、トータルの作業時間を大幅に短縮できます。



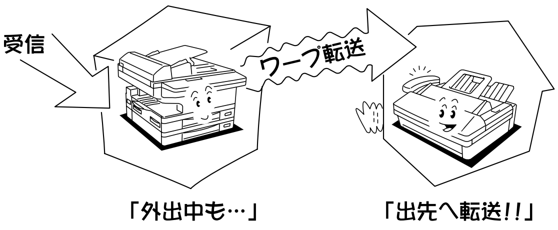
■回転受信

送信側の原稿の方向と受信側の用紙の方向が違う場合は、自動的に回転させジャストサイズに受信できます。例えば、Ａ４の原稿が横向きで送られてきた時は、Ｂ4に縮小して印字せず、９０度回転させてＡ４縦の用紙に等倍で印字し用紙の無駄を省きます。



■FAXワープ機能

指定時間内に受信した原稿をあらかじめ設定した宛先に転送することができます。例えば、外出中にオフィスに送信された原稿を出先や自宅で受信できます。また、ナンバー・ディスプレイワープ機能を利用すると、あらかじめ登録した相手先からのファクスを転送することもできます。

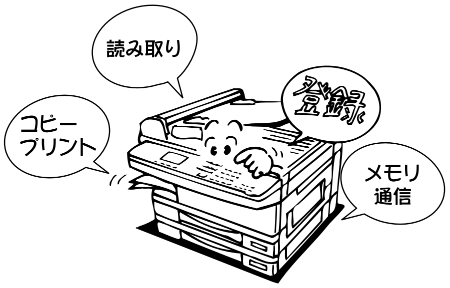


■フォンワープ機能

NTTのボイスワープサービスを利用すると、設定時間内にかかってきた電話を、指定した相手先に転送します。また、ナンバー・ディスプレイをご使用のときは、ナンバー・ディスプレイの番号に応じて電話を転送することができます。

■スーパートリプルアクセス機能

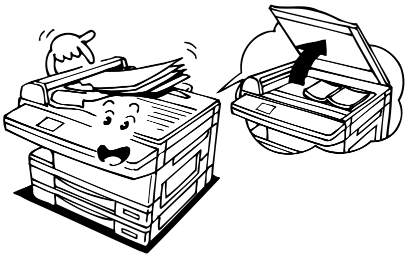
メモリ送受信やコピープリントなどで本体が作動中でも各種登録操作や次の送信予約が可能です。



V－970の特徴と機能

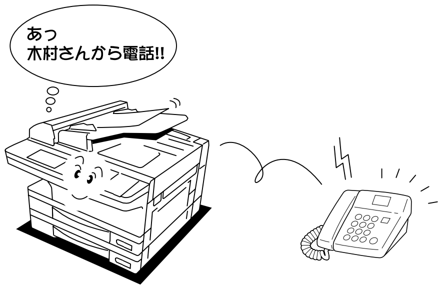
■ADF（自動給紙）＆ブック混在スキャナ

ADF(自動給紙)からブックスキャナへ、ブックスキャナからADFへ、どちらからでも続けて原稿を読み取ることができ、送信、コピーができます。



■ナンバー・ディスプレイ対応

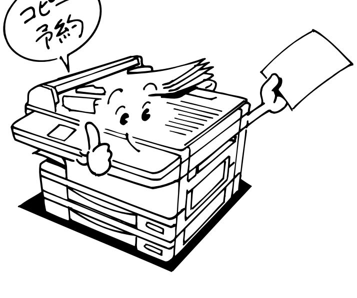
NTTのナンバー・ディスプレイサービスを利用すると、相手先の番号が液晶ディスプレイに表示されます。またよくかかってくる相手先の名前を登録しておくと、番号の代わりに名前が表示されますので一目で確認できます。さらにナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続すれば、FAXと電話機の両方で同サービスを利用することもできます。



●便利なコピー機能

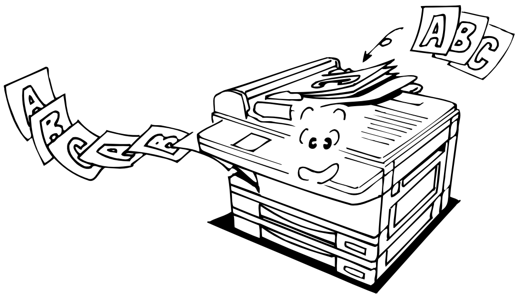
■いつでもコピー

コピープリント中でも、別の原稿をセットしコピー予約ができます。プリント中のコピーが終わると、すぐに次のコピーを開始しますので無駄な待ち時間がありません。



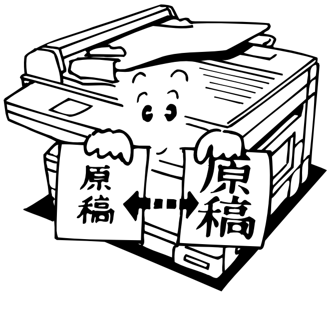
■ソートコピー

コピーを自動的に仕分けることができます



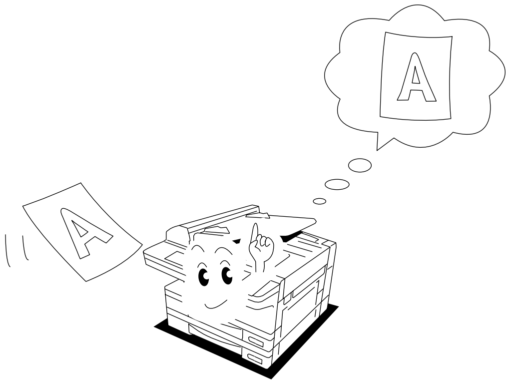
■拡大／縮小コピー

原稿より大きく、または小さくコピーすることができます。



■もう一度コピー

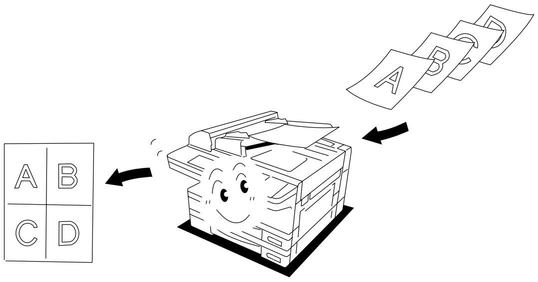
直前にコピーした原稿をメモリに記憶しておき、原稿が無くても再度コピーをとる事ができます。



V－970の特徴と機能

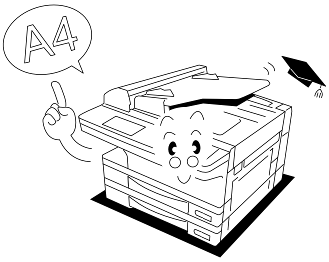
■集約（N in 1）コピー

複数の原稿を読み込ませてそれぞれを縮小し、1枚の用紙にまとめてプリントアウトできます。



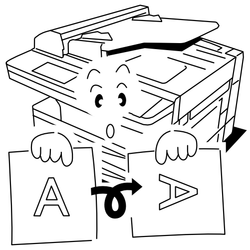
■自動原稿サイズ検知

原稿台に用紙を置くだけで自動的に用紙サイズを検知します。カセット自動を選択することにより、定型サイズの等倍コピーがワンタッチでできます。（ブックスキャナのみ）



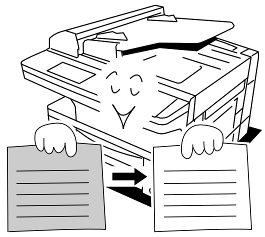
■回転コピー

用紙の向きにあわせて、原稿を９０度回転させてコピーできます。



■車検証＆鉛筆読取りモード

「車検証読取りモード」をONに設定すると、通信時は車検証などの地模様や地色のある原稿の背景を読み取りません。送信時間を短縮でき、トナー消費を防ぎます。コピー時は通常の原稿種類（文字）でコピーします。また、「鉛筆読取りモード」をONに設定すると、今まで読み取りにくかった淡い鉛筆書きの原稿もくっきり読み取ります。（初期設定：OFF）

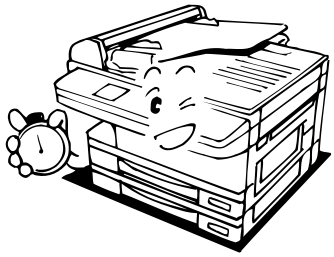


●便利なオプション品の紹介

- ここで紹介しているオプション品以外にもいろいろなオプション品があります。詳しくは３０７ページを参照してください。

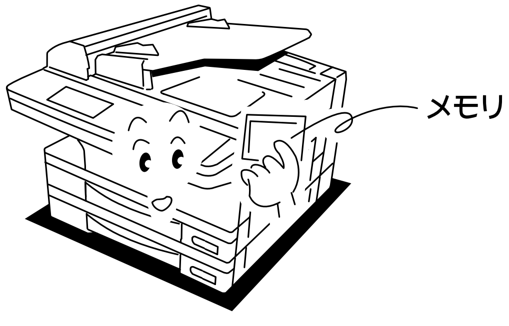
■2回線収容マルチポート

標準のスーパーG３回線のほかに、さらにスーパーG３回線を搭載して、送信・受信を同時に行うことが可能になります。



■増設メモリ

増設メモリを使用すると最大１６Ｍまでメモリを増やすことができます。



Ｖ－９７０の特徴と機能

■ネットワークプリンタキット

プリンタモデルに装着することにより、LAN上の共有プリンタとして利用できます。Windows95/98/Me/NT4.0/2000/XP対応アプリケーションから高画質プリントが可能です。

本書のみかた

項目名　液晶ディスプレイの表示

大見出し

この機能を詳しく
説明しています。

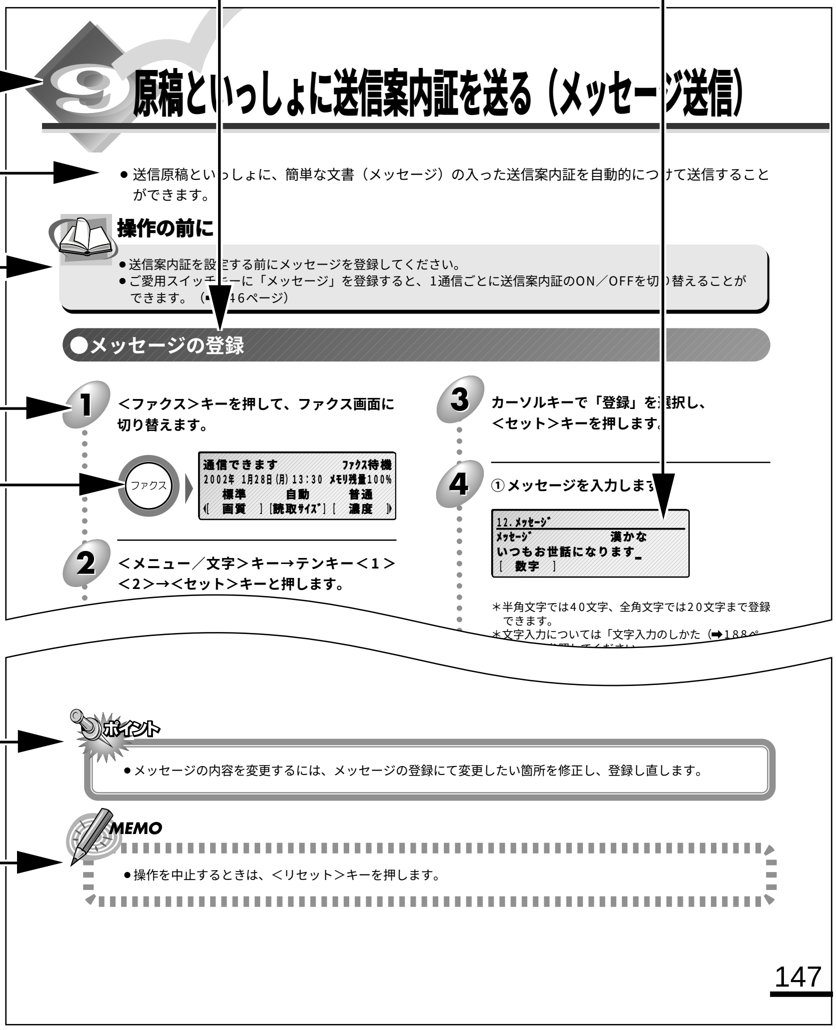
操作する前に
知っておきたい事柄を説明しています。

操作手順
を示しています。番号順に操作します。

操作パネル上のキー
を示しています。

ポイント欄
操作する上で、特に便利な内容について説明しています。

MEMO欄
このページ全体について操作する上で、知っておいた方が便利な内容や、注意点について説明しています。



ご使用の前に

もくじ

1 ご使用の前のお願い 2

2 各部の名称とはたらき 10

本体各部の名称とはたらき 10
操作パネルの名称とはたらき 12

3 電源について 14

電源スイッチについて 14
＜省エネ＞キー 14

4 液晶ディスプレイのみかた 15

コピー画面の説明 15
表示されるアイコンの意味 16
ファクス画面の説明....................................... 16
エラー画面の説明 17

5 知っておきたいキーの使いかた 18

機能選択キー 18
カーソルキー 19
＜戻る＞キー 20
ご愛用スイッチキー 20
おまかせ機能キー 20

6 機器の接続のしかた 21

原稿トレイの取り付け 21
延長用用紙トレイの取り付け 21
手差しトレイの取り付け 21
回線接続コードの接続 21
増設電話（留守番電話）の接続 22
カセット番号ラベルの貼り付け 22
ハンドセット（本体電話）の接続 22
電源コードの接続 23

7 ドラム／トナーカートリッジの取付・交換 24

ドラム／トナーカートリッジについて 24
ドラム／トナーカートリッジの取付 25
トナーカートリッジの交換 26
ドラムカートリッジの交換 28

8 用紙のセット／補給・カセットサイズの変更 30

記号について 30
セットできる用紙のサイズと容量 30
用紙をセットする 31

9 用紙サイズを変える 32

1段目カセット 33
2段目・3段目カセット 36

10 使用する前の登録 37

初期登録 37
ダイヤルインの登録....................................... 40
通信回線の見分けかた 41

11 原稿セットのしかた 42

セットできる原稿サイズ 42
原稿読み取り範囲について 43
原稿についてのご注意 43
記号について 44
原稿セットのしかた....................................... 44
原稿種類・画質の選びかた 46
濃度の選びかた 47
車検証読取り／鉛筆読取りについて 48

1 ご使用の前のお願い

必ずお守りください

ご使用の前にはこの「取扱説明書」と「ご使用の前のお願い」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保存してください。

● 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**
⚠ 注意	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。**
お願い	**この表示の欄は、「本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく」内容です。**

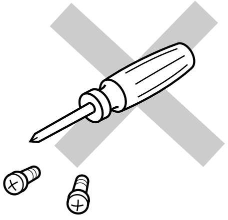
● お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

⚠	**この記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には注意内容が描かれています。**
⊘	**この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。**
❗	**この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容が描かれています。**

※ 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、記録等の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

絶対に分解、修理、改造しないでください。

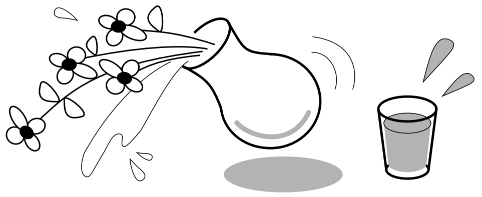


火災・感電や故障の原因となります。修理はインフォメーションセンターにご依頼ください。

機械内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチをOFFにしてから、電源プラグをコンセントから抜いて、インフォメーションセンターまでご連絡ください。

本機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。



本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

定着器部分とその周辺には触れないでください。

動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。指定された所のみ触ってください。

電源コードが傷んだ場合は（芯線の露出、断線など）インフォメーションセンターに交換をご依頼ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

延長コードが必要な場合は、本製品の消費電力以上の容量を持っている延長コードを使用してください。

容量が不足すると、過熱して火災の恐れがあります。(本機の最大消費電力は800Wです)

幼児や児童の手の届くところには設置しないでください。

動作が停止したり、トラブルの原因となることがあります。また、お子様にとって指をはさむなどの危険があります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。

電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

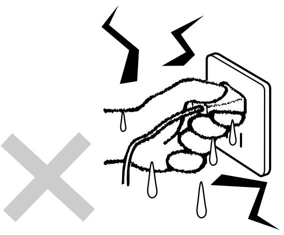
AC100V、50／60Hz以外の電源は使用しないでください。火災・感電や修理不可能な故障の原因となります。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。

火災の原因となります。

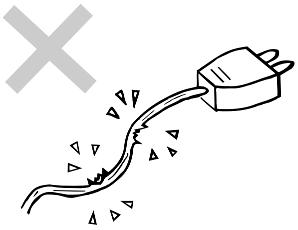
内部の点検・修理は販売店またはインフォメーションセンターにご依頼ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



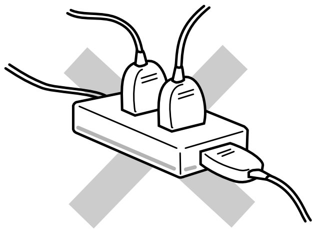
感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱されたり、ひっぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷ついたらインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。

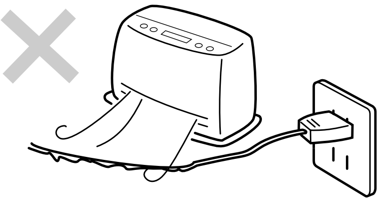
テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。



火災・過熱の原因となります。

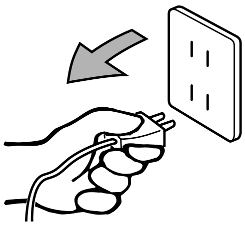
⚠注意

本機や電源コードを熱器具などの火気に近づけないでください。



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

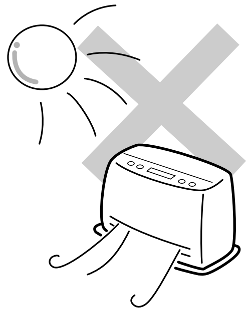
煙や湯気の当たるような場所には置かないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。

思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。

直射日光の当たるところや温度の高い場所へ設置しないでください。



直射日光の当たるところ、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

破損時の対処

万一、この機器を落としたり、破損した場合は、本体の電源スイッチをOFFにしてから、電源プラグをコンセントから抜いて、インフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

次のようなときには、ただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、インフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですからおやめください。

・機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき。
・異常な音がするとき。

指に注意

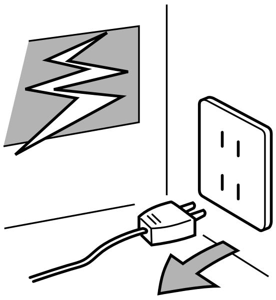
カバーなどを閉めるときは手をはさまないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

不安定な場所に置かないでください。

振動の多いところや、ぐらついた台の上など、不安定な場所には置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガや故障の原因となることがあります。

雷が激しいときは電源プラグ、回線コードをコンセントから抜いてください。



落雷により本機が故障することがあります。また、雷によっては、火災・感電の原因となることもあります。

湿度の高い場所やほこりの多い場所に設置しないでください。

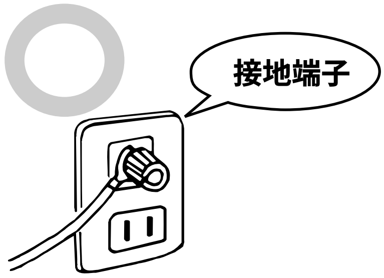
浴室や加湿器のそばなど湿度の高いところや、ほこりの多いところでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

本機の通風口をふさがないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

万一漏電したときの感電事故防止のため、アース線を接地端子に取り付けてください。



アース線の接続は必ず、電源プラグを電源コンセントにつなぐ前に行ってください。またアース線を外す場合は、必ず先に電源プラグを抜いてください。

振動・衝撃の多い場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、ケガや故障の原因となることがあります。

不使用、不在時の処置

旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源スイッチを切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

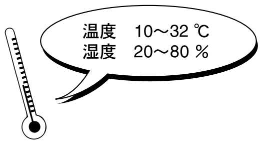
水滴が付いた場合は乾いた布でふき取ってください。

数年に一度は内部の掃除をご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

お願い

高温・多湿・低温の場所へ設置しないでください。



いつも良い条件でお使いいただける環境は下記のとおりです。
温度　10～32℃　　湿度　20～80% RH

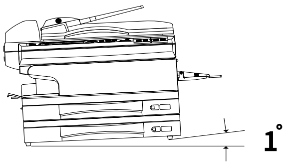
酸性ガス、アルカリ性ガス、水蒸気などが発生する場所には設置しないでください。

腐食により、故障の原因となることがあります。

動作中は電源断したり、開閉部を開けたりしないでください。

通信やコピー等の動作中に電源コードを抜いたり、原稿カバーを開けたりしないでください。動作が中断されたり、故障の原因となります。

機器の傾きの限界。



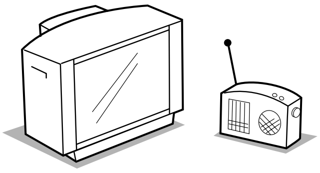
本機を下図の傾き以上に傾けないでください。
正常に動作しないことがあります。

電波障害時の対処

本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキなどが発生する場合があります。このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源コードを抜いてください。電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

・本機をテレビ等から遠ざける
・本機またはテレビ等の向きを変える

テレビやラジオなど磁気が発生する場所には設置しないでください。

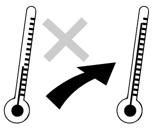


本機が正常に動作しないことがあります。

低温環境へ設置しないでください。

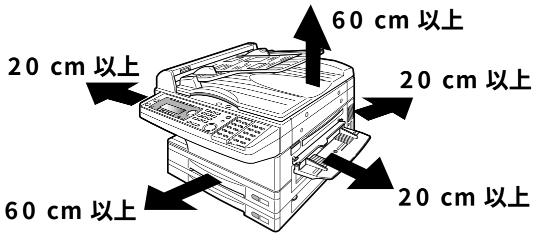
製氷倉庫など特に温度が下がるところでは本機が正常に動作しないことがあります。

室内温度を急激に上げないでください。



装置内部に水滴ができ、故障の原因になります。

設置スペースを十分に確保してください。



放熱効果が十分に得られないと、内部に熱がこもり故障の原因となることがあります。

国内でのみ使用してください。

本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

機械の移動について

⚠ 注意

●機械の重さは約39.8kgです。必ず2人以上で持ち運んでください。

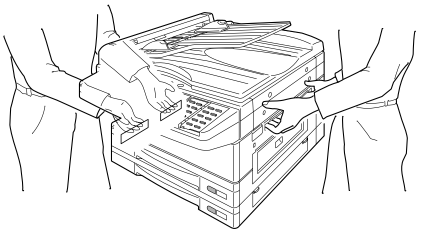
●必ず図に示す部分を持って上げてください。

●機械を持ち上げるときには十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

●移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、回線コードをはずしたことを確認の上、行ってください。

コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。

●専用キャビネットをご使用の場合、機器を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。機器が思わぬ方向に動き、ケガの原因となることがあります。



コピー禁止事項

お願い

●次のようなものをコピーすることは法律で禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手や官製ハガキ
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●次のようなものをコピーすることは、注意が呼びかけられています。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

●著作権の対象となっている著作物は、個人的に限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

用紙について

お願い

●当社指定のものをお勧めします。

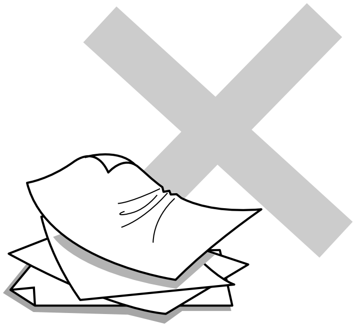
指定以外の用紙をご使用になり、故障や画質不良が発生した場合の修理は、保証期間内であっても有料となることがあります。

●保管するには……

用紙は湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙づまりや画質不良の原因となります。開封後は用紙の残りを包装紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
また、用紙は立て掛けずに保管してください。

●用紙をセットする前に以下のことをお守りください。

- 用紙カセットのサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。
- バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- 折り目、シワの入った用紙を使用しないでください。
- 一度使用した用紙は、使用しないでください。
- ミシン目、窓穴面、切り口面のバリ等で2枚以上付着している紙などを使用しないでください。



●長時間使用しないときは……

用紙カセットから抜き取り、包装紙に入れて吸湿しないように保管してください。

ドラム／トナーカートリッジについて

⚠ 警告

●ドラム／トナーカートリッジは火の中には絶対に投じないでください。爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災ややけどの原因となります。

●トナーが目に入らないように注意してください。目に入ったときは水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

お願い

●次のような場所に保管しないでください。
（高温多湿の場所、火気のある場所、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所、急激な温度変化のある所、自動車内での長時間の放置、フロッピーディスク、時計等磁気に弱いものの近く）
記録不良の原因となります。

●落としたり投げたりしないでください。
記録不良の原因となります。

●包装は、使用するまで開封しないでください。開封済みのドラム／トナーカートリッジを放置しないでください。
記録不良の原因となります。

●ドラム／トナーカートリッジに水やオイル等がかからないようにしてください。

●ドラム／トナーカートリッジは、水平なところに保管し立てたり斜めにしないでください。
記録不良の原因となります。

●ドラムカートリッジのドラム（青色の感光体部分）表面に手を触れたり、傷を付けたりしないでください。
記録不良の原因となります。

●直射日光のあたる場所で交換しないでください。
ドラム（青色の感光体部分）に光があたると、記録不良の原因となります。

●トナーカートリッジのローラには直接手を触れないでください。
手が汚れたり、記録不良の原因となります。

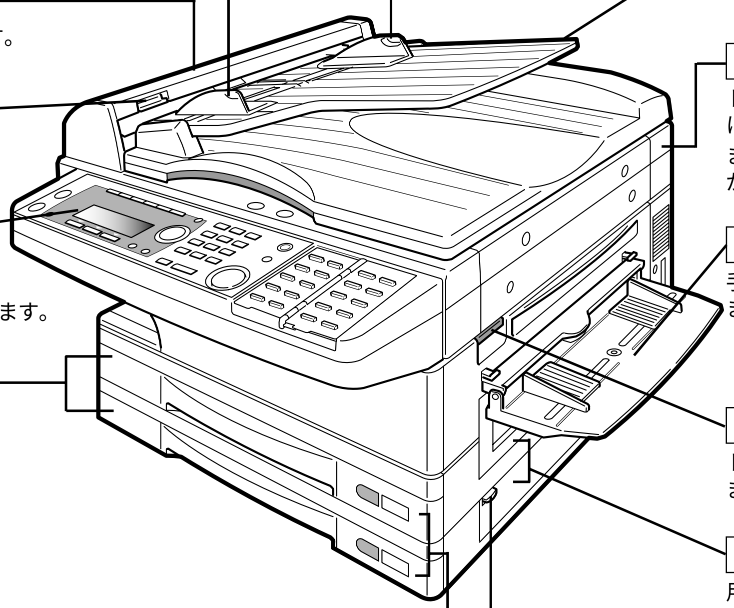
済スタンプについて

お願い

●スタンプ印面には、直接手を触れないでください。また、インクが手などに付着したときは、すぐに水で洗ってください。
●済スタンプ用印体セットの付属のピンは先がとがっています。刺さらないようご注意ください。

2 各部の名称とはたらき

●本体各部の名称とはたらき



原稿ガイド
まっすぐ原稿が送り込まれるよう支えます。

原稿カバー
原稿がつまったときに開けます。

原稿カバー開放レバー
原稿カバーを開くときに引き上げます。

操作パネル
操作に必要なキーやディスプレイがまとめられています。

用紙カセット
用紙をセットします。

原稿トレイ
原稿をセットします。

トップカバー
トナーの交換や用紙がつまったときに開けます。
また、自動給紙で読み取られた原稿が排出されます。

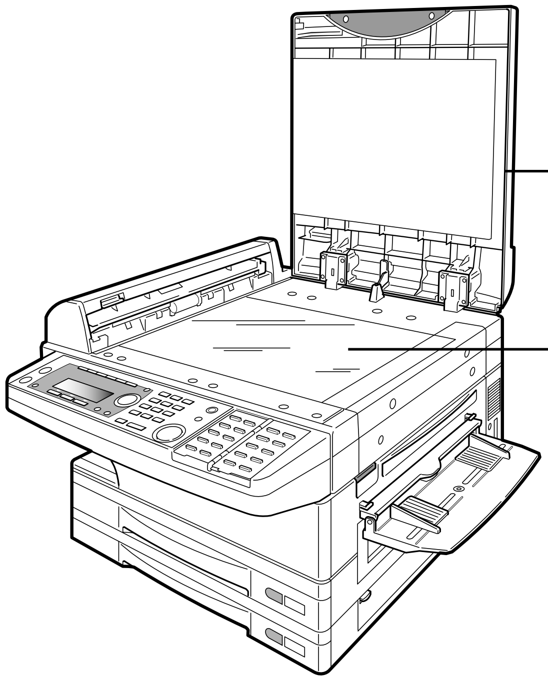
手差しトレイ
手差しでコピーをするときに使用します。

トップカバー開放レバー
トップカバーを開くときに引き上げます。

サイドカバー
用紙がつまったときに開けます。

サイドカバー開放レバー
サイドカバーを開くときに押します。

サイズ表示・残量表示
セットされている用紙サイズを示します。また、用紙の残り容量を表示します。

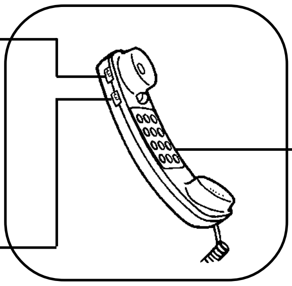


ブックカバー

ガラス面
原稿をセットします。
右手前に合わせてください。

※本体電話はオプションです。

呼び出し音調整
呼び出し音の大きさを調整するときに使います。

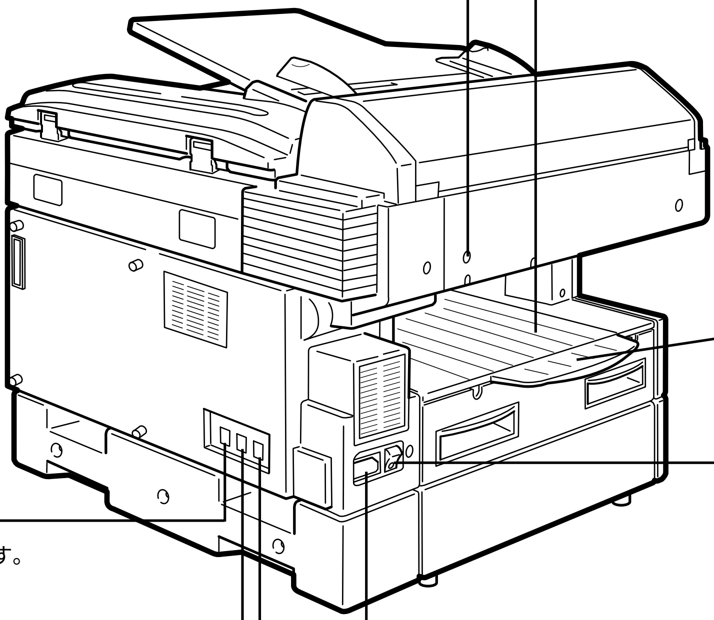


ダイヤル
本体電話からダイヤルするときに使います。

電話回線選択スイッチ
本体電話の電話回線の設定をします。

用紙トレイ
受信文書やコピーがストックされます。

本体電話取付部
オプションの本体電話を取付けます。



延長用用紙トレイ
B4用紙を使用する場合にこのトレイを引き出します。

電源スイッチ
電源の入／切をします。

LINE 端子
回線接続コードを接続します。

PHONE 2 端子
一般の電話機や留守番電話などを接続します。

電源接続部
電源コードを接続します。

PHONE 1 端子
オプションの本体電話を接続します。

●操作パネルの名称とはたらき

ご愛用スイッチ（➡246 ページ）

よく使用する機能に変更することができます。初期設定では、以下の機能が割り当てられています。

メモリ送信キー 、メモリ送信ランプ
原稿をメモリに蓄積して送信するときに押します。メモリ送信にセットしたときにランプが点灯します。

自動受信キー 、自動受信ランプ
受信を自動受信にするか手動受信にするか選択するときに押します。
自動受信にセットしたときにランプが点灯します。

済スタンプキー 、済スタンプランプ
原稿に読み取りマークをつけるときに押します。済スタンプをセットしたときに、ランプが点灯します。

フック／会話予約キー 、フック／会話予約ランプ
受話器を置いたままダイヤルするときに押します。（➡90ページ）
通信中に押すと通信後会話することができます。（➡116ページ）

短縮キー
短縮ダイヤルを使うときに押します。（➡215ページ）

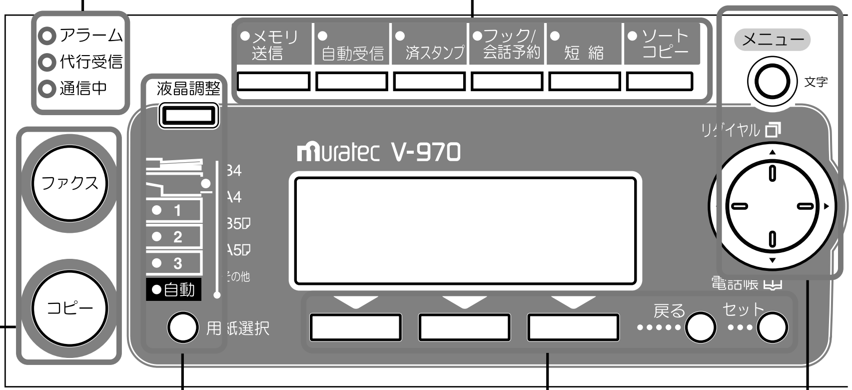
ソートコピーキー 、ソートコピーランプ
ページ順にそろえてコピーするときに押します。ソートコピーをセットしたときに、ランプが点灯します。

アラームランプ
通信エラーなど異常が発生したときに点灯します。

代行受信ランプ
メモリ受信中に点灯します。

通信中ランプ
通信中に点灯します。

コピーキー、ファクスキー
コピー画面、ファクス画面とを切り替えるときに押します。選択されたキーが点灯します。



液晶調整キー
液晶ディスプレイの濃度を変えるときに押します。キーを押すごとに、液晶ディスプレイの濃度が変化します。

用紙カセットランプ 、
用紙サイズランプ
カセットに設定されている用紙のサイズを表示しています。

用紙選択キー
コピーする用紙を選択するときに押します。選択されたカセット、用紙サイズのランプが点灯します。＜自動＞ランプを点灯させた場合は、原稿のサイズに合わせて用紙を自動的に選びます。（➡58ページ）

機能選択キー
液晶ディスプレイの下に表示された機能を選択するキーです。ディスプレイの表示内容によって、機能の内容が変わります。

戻るキー
現在行っている操作を取消し、前の操作に戻ります。

セットキー
登録された内容や、選択されている項目を決定するときに押します。

メニュー／文字キー
・応用通信や各種設定を呼び出すときに押します。
・文字を入力する場合、入力モードを切り替えるときに押します。

カーソルキー
液晶ディスプレイに表示された機能を選択したり、カーソルを移動したり、さまざまな場面で使用します。
カーソルキーの上を押すと、リダイヤルキーとして機能します。ファクスを送った相手、電話をかけた相手を10件まで記憶しています。（➡89ページ）
カーソルキーの下を押すと、電話帳キーとして機能します。電話帳機能で相手先番号を探すときに押します。（➡91ページ）

リセットキー

操作を中止するときや、設定を取り消して初期設定に戻すときに押します。

ストップ／クリアキー

機械の動作を中止するときや、入力中の数字や文字を消すときに押します。

スタートキー

通信やコピーを開始するときに押します。

テンキー

ダイヤルしたり、コピー部数を指示したりするときに押します。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録する場合、相手先名や相手先番号を入力するときに押します。

省エネキー

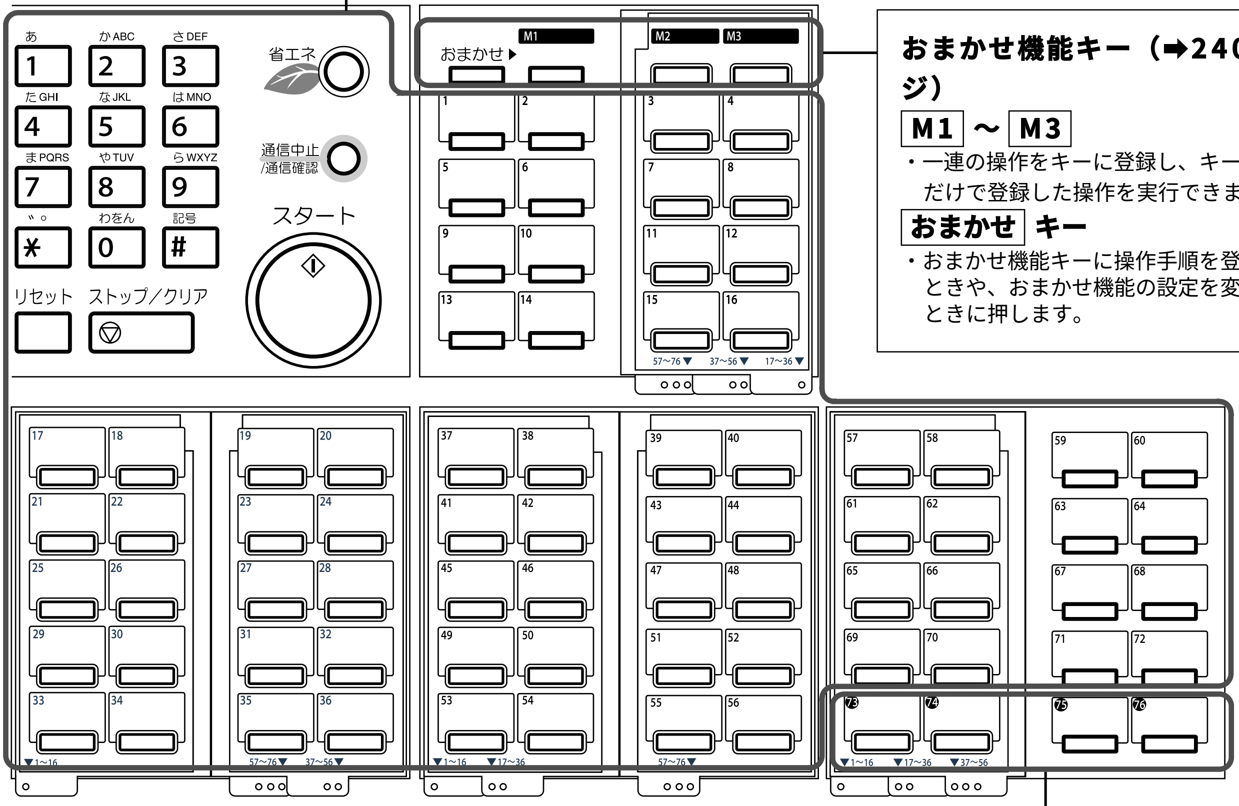
待機時の消費電力を押さえるための、省エネモードに入るときや、省エネモードから通常の待機画面にするときに押します。（➡14ページ）

通信中止／通信確認キー

通信を確認することや、中止することができます。（➡97ページ）

ワンタッチキー

ワンタッチダイヤルやプログラムワンタッチを使うときに押します。（➡207ページ）



おまかせ機能キー（➡240ページ）

M1 〜 **M3**

・一連の操作をキーに登録し、キーを押すだけで登録した操作を実行できます。

おまかせ キー

・おまかせ機能キーに操作手順を登録するときや、おまかせ機能の設定を変更するときに押します。

プログラムワンタッチキー

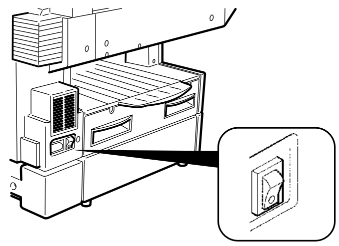
・さまざまな応用通信やリストプリント、原稿蓄積などの操作を登録できます。登録したプログラムワンタッチキーを押すだけで、応用通信が簡単に行えます。（➡227ページ）

3 電源について

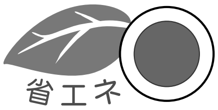
● 本機の電源に関するスイッチは、電源スイッチ、＜省エネ＞キーの 2 種類があります。

●電源スイッチについて

初めて本機をご使用になるときにON（I）にします。通常は常にONの状態にしておきます。長期間使用しないときや、機械を移動するときはOFF（O）にします。
＊電源スイッチをOFFにすると、ファクスの受信をすることができません。



●＜省エネ＞キー



スリープモード

- ＜省エネ＞キーを押すと、LCD の表示、各種ランプを消灯し、プリンタを休止状態（スリープモード）にして消費電力を削減します。システム設定のスリープモードをONにすると、15分間機械を使用しない場合、自動的にスリープモードに入ります。（5 ～ 100 分に変更可能：➡253 ページ）
- スリープモード中は＜省エネ＞キーが緑色に点灯します。
- 省エネモード中にいずれかのキーを押すと、通常の待機画面に戻ります。

オートパワーオフモード

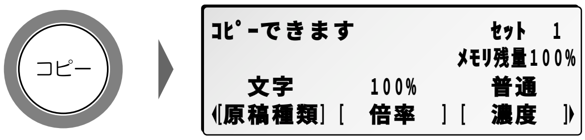
- ＜省エネ＞キーを 5 秒間押しつづけると、オートパワーオフモードになります。またスリープモードが 15 分続くと自動的にオートパワーオフモードになります。（15 ～ 120 分に変更可能：➡253 ページ）
- オートパワーオフモードになると、夜間や休日などの不在時、消費電力を削減することができます。また、オートパワーオフモード中でも、時刻指定通信などの予約文書の通信や、ファクス受信・受信原稿のプリントをすることができます。
- オートパワーオフモード中は＜省エネ＞キーが赤色に点灯します。
- オートパワーオフモード中に＜省エネ＞キーを押すと、通常の待機画面に戻ります。

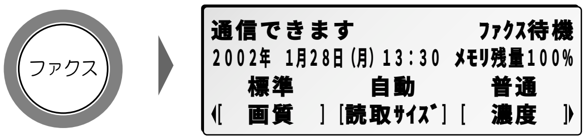
MEMO

- 全ての用紙が無くなった場合や、用紙づまりなどのプリントのエラー、手差し用紙がある場合、また動作中などのとき、省エネモードは動作しません。
- 指定時刻に、スリープモード・オートパワーオフモードを解除させることができます。（➡253ページ）

4 液晶ディスプレイのみかた

- 本機の画面は、ファクス画面とコピー画面に分かれます。コピーを行う場合は<コピー>キーを押してコピー画面に切り替えます。ファクスの送信を行う場合は<ファクス>キーを押してファクス画面にします。（通常はコピー画面になっています。）

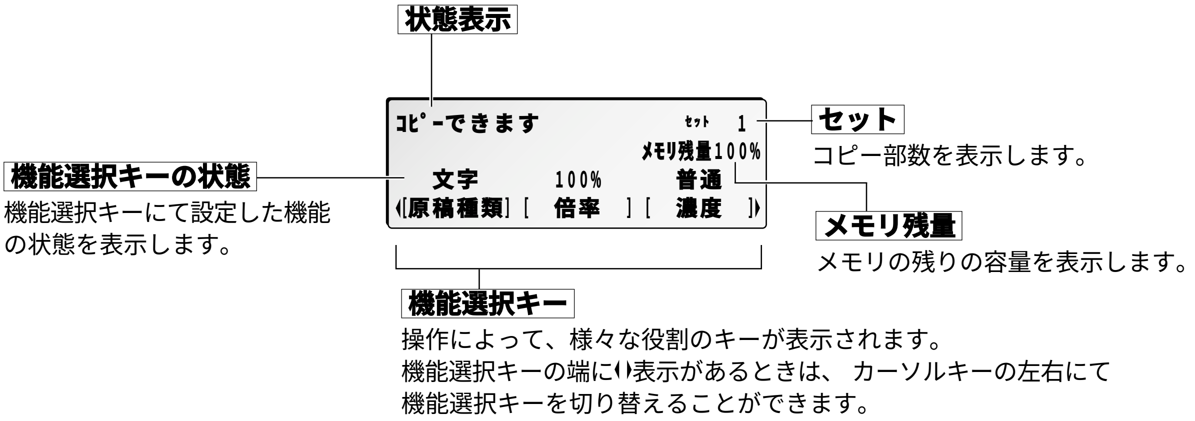




●コピー画面の説明

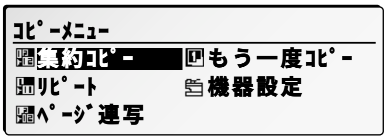
◆コピー待機画面

<コピー>キーを押すと、コピー画面に切り替わります。



◆応用コピーメニュー

コピー待機画面にて<メニュー／文字>キーを押すと、応用コピーの一覧が表示されます。また、コピー機能の各種設定を行うこともできます。



●表示されるアイコンの意味

● 設定されている機能をアイコンで絵表示します。各アイコンの意味は次の通りです。

◆コピーモード時に表示されます

もう一度コピー　集約コピー　リピートコピー　ページ連写　読取サイズ

◆ファクスモード時に表示されます

フォンワープ　ファクスワープ　時刻指定　ファクス＆コピー

Fコード送信　一括送信　ポーリング受信　Fコード・ポーリング受信

発信元 1 指定　発信元 2 指定　発信元 3 指定

●ファクス画面の説明

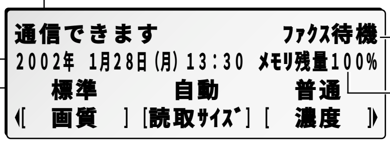
◆ファクス待機画面

＜ファクス＞キーを押すと、ファクス画面に切り替わります。

状態表示

現在時刻

機能選択キーの設定
機能選択キーにて設定した機能の状態を表示します。



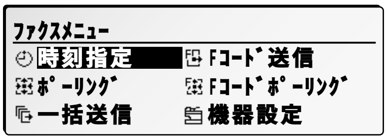
受信モード表示

メモリ残量
メモリの残りの容量を表示します。

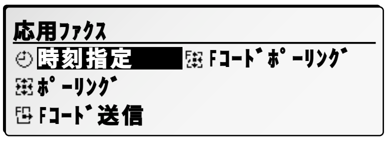
機能選択キー
操作によって、様々な役割のキーが表示されます。
機能選択キーの端に◀▶表示があるときは、カーソルキーの左右にて機能選択キーを切り替えることができます。

◆応用通信メニュー

ファクス待機画面にて＜メニュー／文字＞キーを押すと、下記のような応用通信の一覧が表示されます。また、ファクス機能の各種設定を行うこともできます。



相手先を入力してから＜メニュー／文字＞キーを押すと、下記のような応用通信の一覧が表示されます。

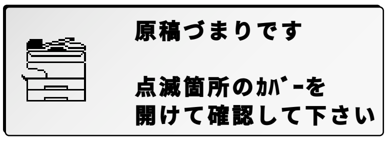


●エラー画面の説明

機器にエラーが発生すると、エラー画面に切り替わります。エラー表示には、液晶ディスプレイ左側にエラーアイコンが表示される「アイコンエラー表示」と、一部だけにエラーメッセージが表示される「エラーメッセージ表示」と 2 種類あります。
エラーの対処方法や内容については、277 ページを参照してください。

・アイコンエラー表示

【例】原稿がつまった場合



・エラーメッセージ表示

【例】カセットが開いている場合

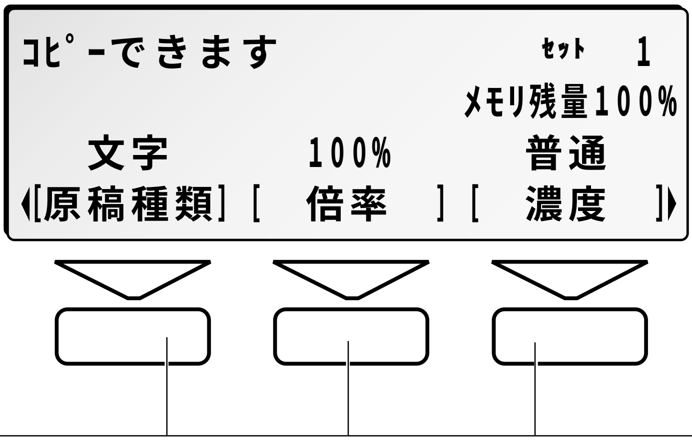
5 知っておきたいキーの使いかた

● 機能選択キーや、カーソルキー、＜戻る＞キー、ご愛用スイッチキー、おまかせ機能キーは、操作の際に特別な役割をします。ここではそれぞれのキーの使用例を説明します。

●機能選択キー

● ディスプレイ下段に表示されている “ [　　　] ” で囲まれた機能を操作するときに使用します。

■例：コピー待機画面



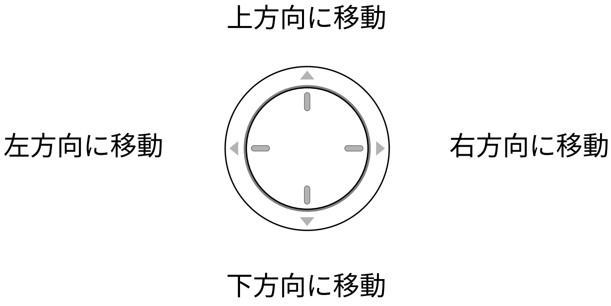
機能選択キー 1	機能選択キー 2	機能選択キー 3

液晶表示と、その下のキーは対応しています。機能の表示がある時に、それぞれのキーを押すと表示に応じた操作ができます。

【例】	【例】	【例】
[原稿種類]：原稿に適した設定で読み取るときに使用	**[　倍率　]**：拡大縮小コピー時に使用	**[　濃度　]**：読み取り濃度を設定
[　画質　]：送信画質を設定	**[読取ｻｲｽﾞ]**：原稿のサイズを設定	**[　同報　]**：同報送信時に使用
…など	…など	…など

●カーソルキー

- 機能を選択したり、画面を切り替えたり、文字入力時にカーソルを移動するときなど、画面やカーソルの移動に使用します。



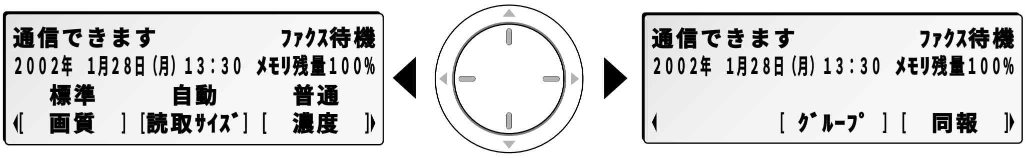
【例】漢字の選択

カーソルキーの押した方向に、選択範囲（カーソル）が移動します。

【例】画面の切り替え

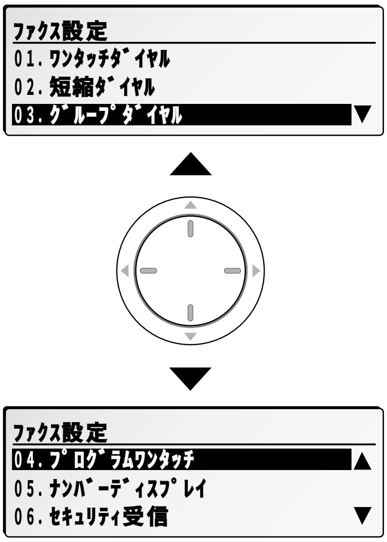
画面に▲の矢印があるときは、カーソルキーで画面を切り替えることができます。

カーソルキーの左右にて切り替え



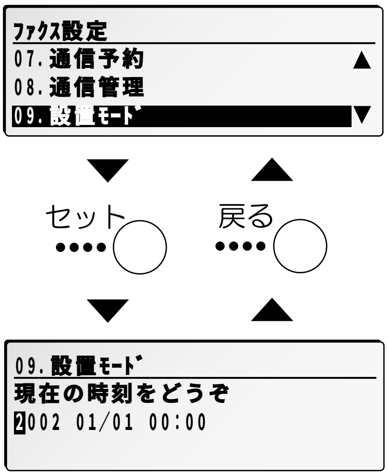
カーソルキーの上下にて切り替え

機能設定画面



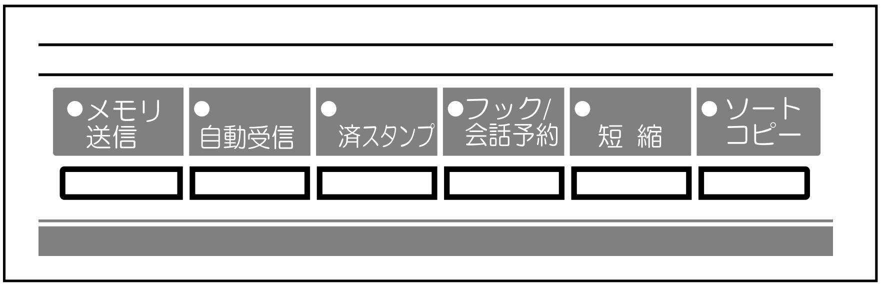
●＜戻る＞キー

- 設定した後に、1つ前の画面に戻ることができます。＜セット＞キーを押して設定した値を変更することができます。



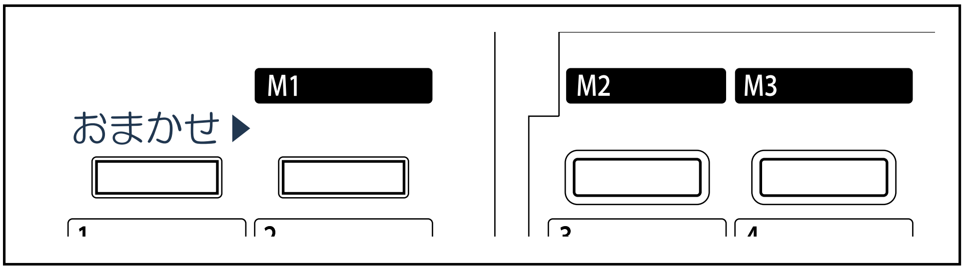
●ご愛用スイッチキー

- さまざまな機能を6つのキーに割り当てて登録できます。よく使用する機能を割り当てておくと、操作の手間が省けます。(➡246 ページ)



●おまかせ機能キー

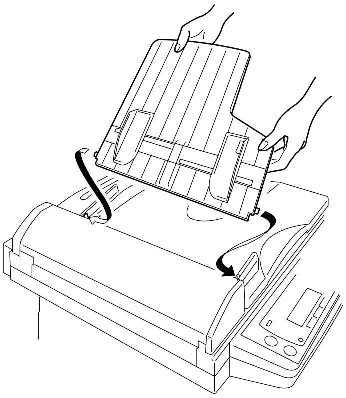
- 一連の操作を登録しておくと、1つのキーを押すだけで登録した操作が実行されます。いつも同じ操作をしたいときや応用通信を組み合わせてファクスをしたいときなど、定型操作を登録しておくと便利です。(➡240 ページ)



6 機器の接続のしかた

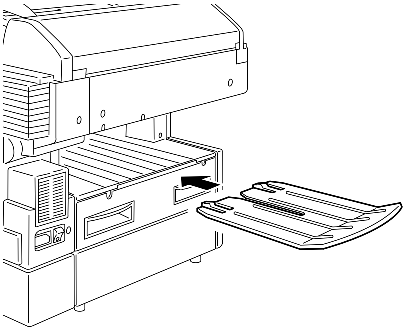
●原稿トレイの取り付け

- 原稿トレイ両端のフックを穴に挿入します。



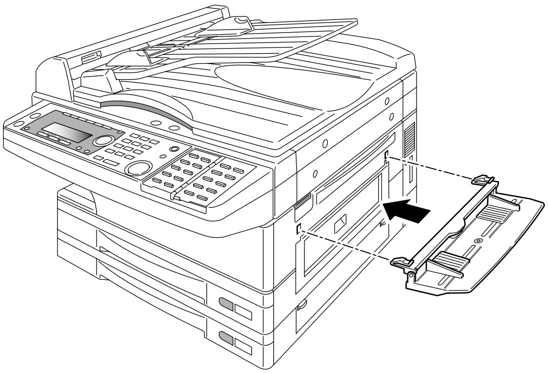
●延長用用紙トレイの取り付け

- 延長用用紙トレイを奥まで差し込んでください。



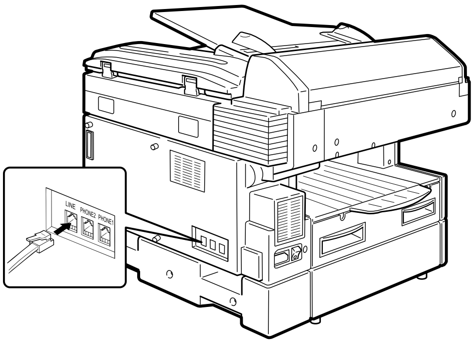
●手差しトレイの取り付け

- 手差しトレイ先端の 2 つのフックをサイドカバー上部の取り付け穴に挿入します。



●回線接続コードの接続

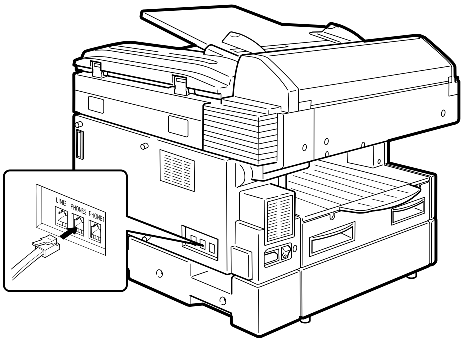
- 回線接続コード（回線接続用）の一方を（LINE）端子へ、もう一方を室内の電話コンセントに接続してください。
- 回線接続コードは、カチッと音がするまで差し込み、抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。



●増設電話（留守番電話）の接続

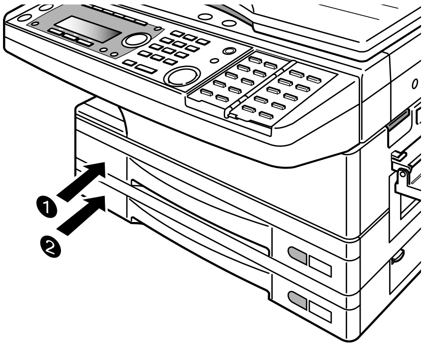
- 必要に応じて増設電話（留守番電話）をファクス本体の（PHONE2）に接続してください。

※増設電話（留守番電話）の種類によっては、ご使用になれない場合や、一部機能が利用できない場合があります。



●カセット番号ラベルの貼り付け

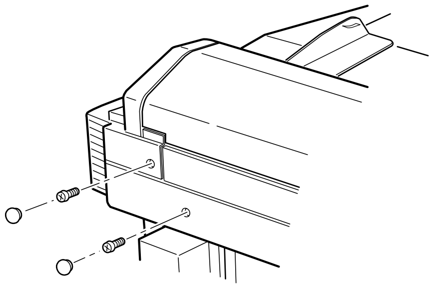
- カセットの段数に合わせて、カセット番号ラベルをカセット左側に貼り付けます。



●ハンドセット（本体電話）の接続

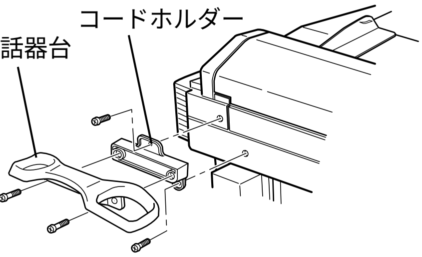
- **ハンドセット（本体電話）はオプションです。（➡307 ページ）**

1 **トップカバー左側のキャップを取り、ネジ2本を外します。**



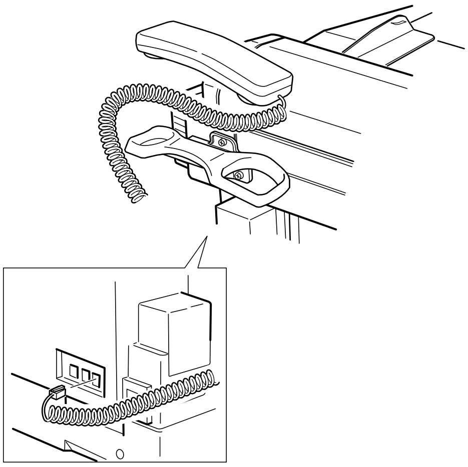
2 **①ハンドセットに付属のネジ（つば有り）2本にてコードホルダーを取り付けます。**

②ネジ（つば無し）2本にて、コードホルダーに受話器台を取り付けます。



3 **ハンドセットのカールコードを本体の（PHONE 1）端子に接続します。**

＊カールコードはコードホルダーの上に置きます。



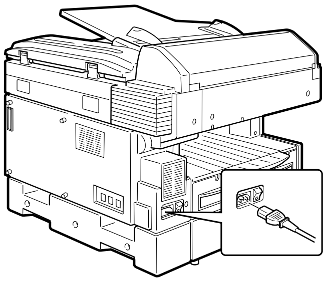
終わり

●電源コードの接続

⚠ 警告

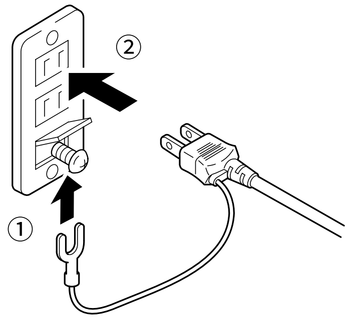
- 万一漏電した場合の感電防止のため、必ずアース線を接続してください。
- 電源プラグは埃が付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また半年から１年に１回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃してください。埃により火災・感電の原因となることがあります。

1 電源コードを本体側面の電源コード差し込み口に接続します。



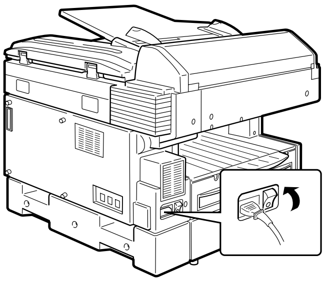
2 設置工事済みの電源コンセントに、アース線を接続してから電源プラグを差し込みます。

＊アース線の接続は、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。（①→②の順）また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから外してから行ってください。



3 電源スイッチを入れます。

●左側面のスイッチを「｜」側にします。



＊エラーメッセージが表示されたときは、277ページを参照しメッセージに従って処置してください。

終わり

7 ドラム／トナーカートリッジの取付・交換

●ドラム／トナーカートリッジについて

⚠ 警告

- ドラム／トナーカートリッジは火の中には絶対に投じないでください。爆発したり、着火してトナーが飛び散り、火災ややけどの原因となります。
- トナーが目に入らないように注意してください。もし、目に入ったときは水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

- カバーを閉めるときは、手などをはさまないよう十分注意してください。

お願い

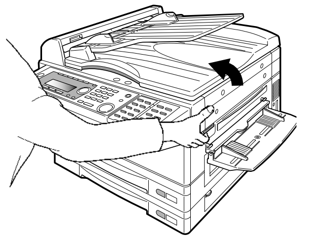
- ドラム／トナーカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。また、室内の灯りにも５分以上あてないでください。
- ドラム表面には触れないでください。記録が正常にできなくなることがあります。
- トナーカートリッジのローラには直接手を触れないでください。手が汚れたり記録が正常にできなくなることがあります。
- ドラム／トナーカートリッジに水やオイル等がかからないようにしてください。
- ドラム／トナーカートリッジが包装されている袋は、取り付けるまで開封しないでください。
- トナーカートリッジの出力枚数はA4サイズ（印字黒字率6%）で、型番TS20Bの場合は約3300枚、型番TS70Bの場合は約6000枚です。ドラムカートリッジの出力枚数はA4サイズで約13000枚です。出力可能枚数が少なくなるとチェックメッセージが表示されますので、早めに交換用のドラム／トナーカートリッジをご用意ください。
  ※トナーカートリッジの印字枚数は印字内容によって異なります。
  ※ドラムカートリッジの印字枚数は温度、湿度、用紙の種類や、一回の印字枚数等によって異なります。

●ドラム／トナーカートリッジの処分について

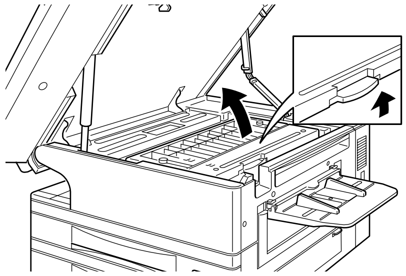
環境保全を目的とし、平成10年12月1日より「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が施行され、産業廃棄物などの投棄に関する罰則規定が強化されました。これにともない、ご使用済みのドラム／トナーカートリッジは適切な手段でご処分くださいますようお願いいたします。
なお、弊社でも、アフターサービス時の回収や、最寄りの営業窓口への持ち込み（元払い送付）回収も行っております。インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

●ドラム／トナーカートリッジの取付

1 **トップカバーを開けます。**

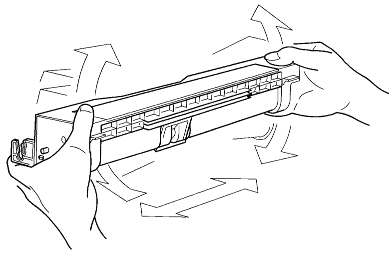


2 **プリンタカバーを開けます。**



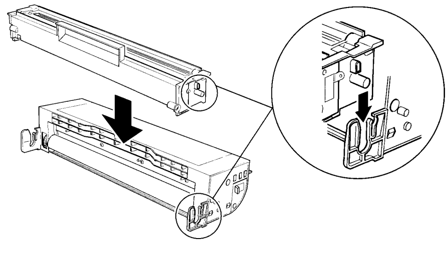
3 **トナーカートリッジを振ります。**

＊トナーが均一になるように、左右に軽く振ってください。

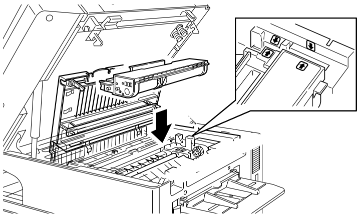


4 **ドラムカートリッジをトナーカートリッジに取り付けます。**

＊ドラムカートリッジの軸をトナーカートリッジの溝に差し込みます。

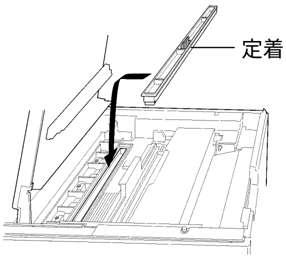


5 **ドラム／トナーカートリッジを本体に取り付けます。**



＊ドラム／トナーカートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。

6 **定着クリーナを取り付けます。**

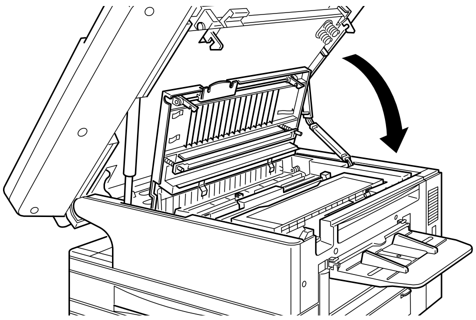


＊定着クリーナのフェルト部を下にして定着ユニットに取り付けます。

＊ドラムカートリッジの感光体部分（青色の箇所）に定着クリーナを置かないでください。

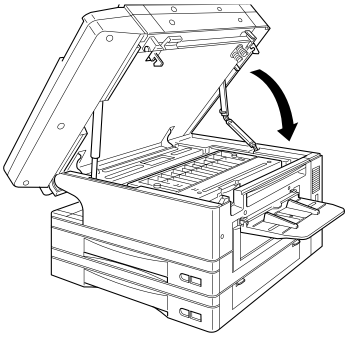
7 **プリンタカバーを閉めます。**

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。



8 **トップカバーをゆっくり閉めます。**

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

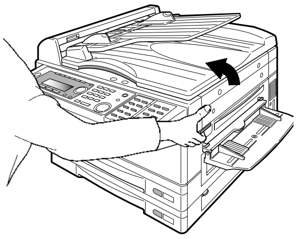


終わり

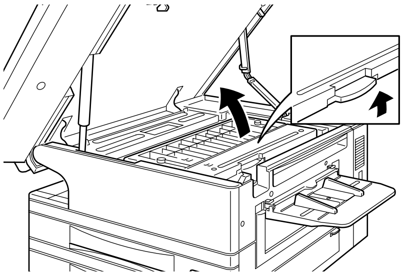
●トナーカートリッジの交換

- トナーが少なくなると「トナーが残り少なくなりました」と表示されますと、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま記録を続けると「トナーがなくなりました」と表示され、印字ができなくなります。以下の手順にてトナーカートリッジを交換してください。
- トナーカートリッジはA4サイズ印字黒字率6%で、型番TS20Bの場合は約3300枚、型番TS70Bの場合は約6000枚印字できます。（トナーカートリッジの印字枚数は印字内容によって異なります。同梱されているトナーカートリッジでは約3300枚印字できます。）

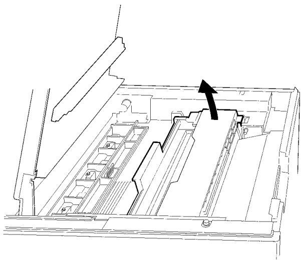
1 **トップカバーを開けます。**



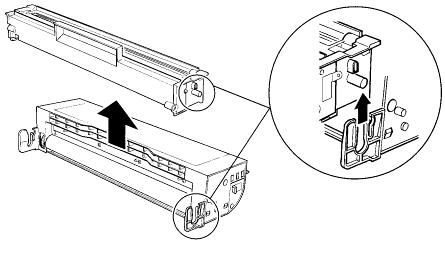
2 **プリンタカバーを開けます。**



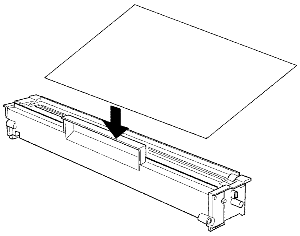
3 **ドラム／トナーカートリッジを取り外します。**



4 **ドラム／トナーカートリッジを平らな場所に置き、ドラムカートリッジを取り外します。**

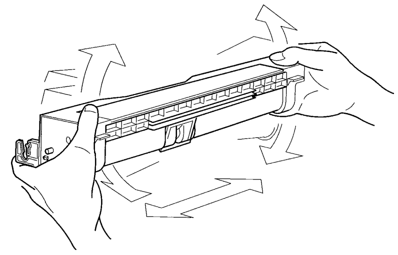


5 **ドラムカートリッジの感光体（青色の箇所）に光が当たらないように、紙、布などでおおいます。**



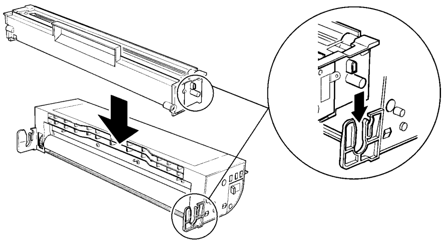
6 **新しいトナーカートリッジを振ります。**

＊トナーが均一になるように、左右に軽く振ってください。

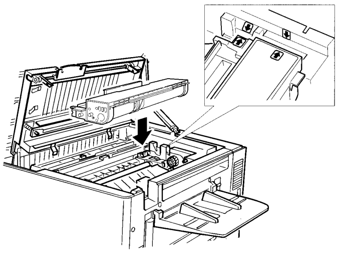


7 **手順4で外したドラムカートリッジを新しいトナーカートリッジに取り付けます。**

＊ドラムカートリッジの軸をトナーカートリッジの溝に差し込みます。

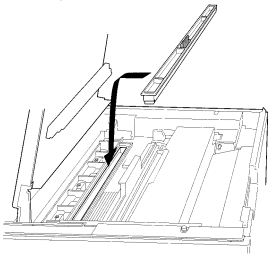


8 **ドラム／トナーカートリッジを本体に取り付けます。**



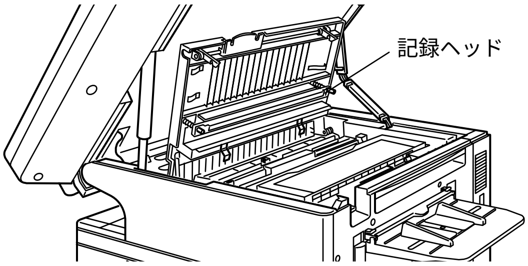
＊ドラム／トナーカートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。

9 **定着クリーナを交換します。**
＊取り外すときは真ん中の取っ手部を持って上に上げます。
＊定着器とその周辺は熱くなっていますので、絶対に触れないでください。

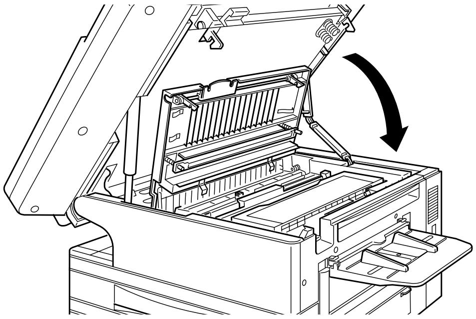


＊定着クリーナのフェルト部を下にして定着ユニットに取り付けます。
＊ドラムカートリッジの感光体部分（青色の箇所）に定着クリーナを置かないでください。

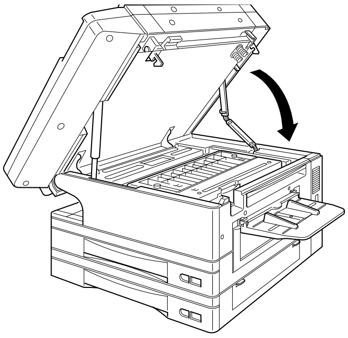
10 **記録ヘッドを清掃します。**
記録ヘッドをトナーカートリッジの梱包箱に同梱されているレンズクリーナーで軽く滑らせてふきます。
＊清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。



11 **プリンタカバーを閉めます。**
＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。



12 **トップカバーをゆっくり閉めます。**
＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

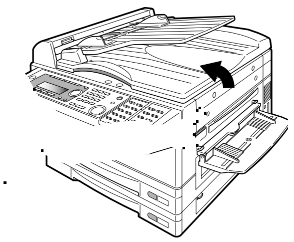


終わり

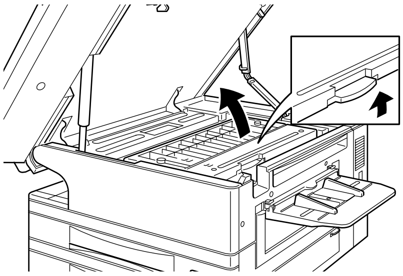
●ドラムカートリッジの交換

- ドラムカートリッジの寿命が近づくと（A4サイズ換算で約13000枚）「ドラムカートリッジの交換時期です」と表示されます。以下の手順にてドラムカートリッジを交換してください。（ドラムカートリッジの寿命は温度、湿度、用紙の種類や、一回の印字枚数等によって異なります。）

1 トップカバーを開けます。

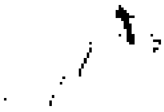


2 プリンタカバーを開けます。



3 ドラム／トナーカートリッジを取り外します。

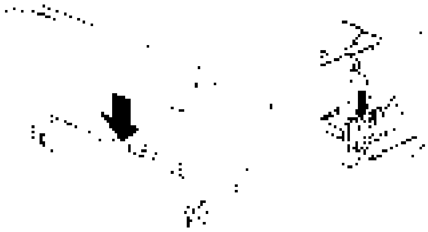
＊ドラム／トナーカートリッジの奥側から取り外します。



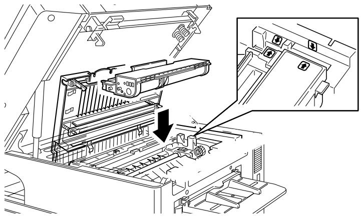
4 ドラム／トナーカートリッジを平らな場所に置き、ドラムカートリッジを取り外します。

5 新しいドラムカートリッジを取り付けます。

＊ドラムカートリッジの軸をトナーカートリッジの溝に差し込みます。



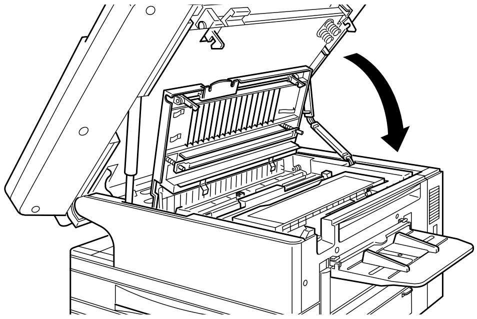
6 ドラム／トナーカートリッジを本体に取り付けます。



＊ドラム／トナーカートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。

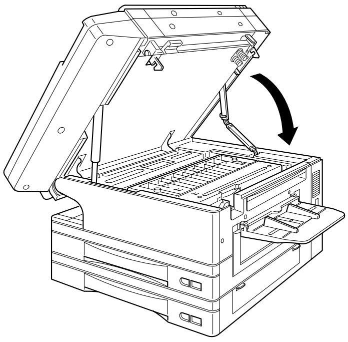
7 プリンタカバーを閉めます。

＊“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。



8 **トップカバーをゆっくり閉めます。**

＊“ カチッ ”と音がするまで確実に閉めてください。



終わり

MEMO

- 必要に応じてきれいな乾いた布またはティッシュペーパーで、搬送ガイドや記録ヘッドの清掃を行ってください。（➡271ページ）

用紙のセット／補給・カセットサイズの変更

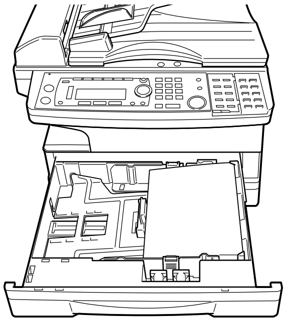
- 本体カセット、オプションカセットへの用紙のセット方法や、カセットサイズの変更方法を説明します。
- 手差しトレイへの用紙のセット方法は 64 ページを参照してください。

操作の前に

- オプションカセット（給紙ユニット）の数は1段（合計3段）まで増やすことができます。
- しわ、折れのある紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。印字不良やしわの発生、および用紙づまりの原因となります。

● 記号について

- 記号は、用紙を機械正面から見て縦に置くことを表します。



●セットできる用紙のサイズと容量

◆使用できる用紙の種類とサイズ

次の仕様に合った種類、サイズ、坪量の用紙を使用してください。

＊官製はがき、OHP シート、ラベル紙などは手差しトレイにセットしてください。（➡64 ページ）

用紙の種類	サイズ（mm）	坪量(g ／ m²)
普通紙	B4（257 × 364）＊ A4（210 × 297）＊ B5（257 × 182）＊ A5（210 × 148）＊	60 ～ 78

＊　当社推奨用紙を使用してください。（➡307ページ）

◆使用できない用紙

次のようなものは使用しないでください。用紙づまりや故障の原因になります。

・破れ、折り目、しわ、湿気、乾燥、カールしているもの

・ホッチキス、クリップのような金属製のもの

・パンチ穴、ミシン目、穴、窓があるもの

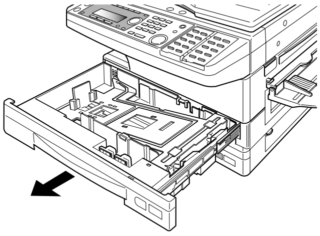
・レーザープリンタで一度印刷をしているもの（官製はがきは除く）

・一度コピーをしているもの

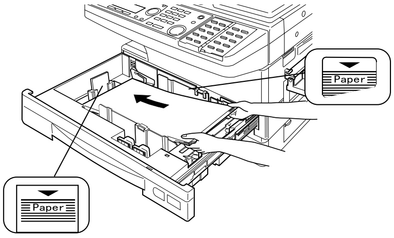
●用紙をセットする

- 用紙カセットの数は、標準装備で 2 段です。オプションの給紙ユニットを使用すると 3 段にできます。
- セットできる用紙サイズは、B4、A4、B5、A5 です。
- 上段カセット、下段カセット（オプションカセット含む）とも用紙のセット方法は同じです。
- 用紙サイズの変更方法は 32 ページを参照してください。

1 用紙カセットを引き出します。

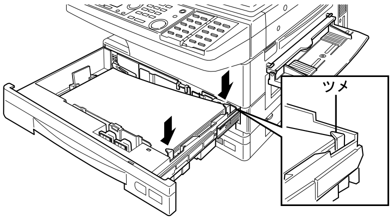


2 用紙をそろえてセットします。



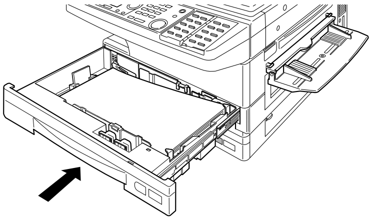
＊用紙は1段目は500枚まで、2段目以降は250枚までセットできます。（指定紙）
＊目盛りの線を超えた分の用紙は取り除いてください。

3 用紙を押し下げ、用紙の端をカセットの両端にあるツメの下に入るようにセットします。

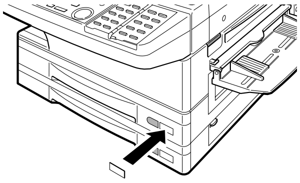


＊正確にツメの下にセットされていないと用紙づまり等を起こします。
＊目盛りの線を超えた分の用紙は取り除いてください。

4 用紙カセットを戻します。



5 セットした用紙サイズに合わせて、用紙サイズラベルを貼ります。

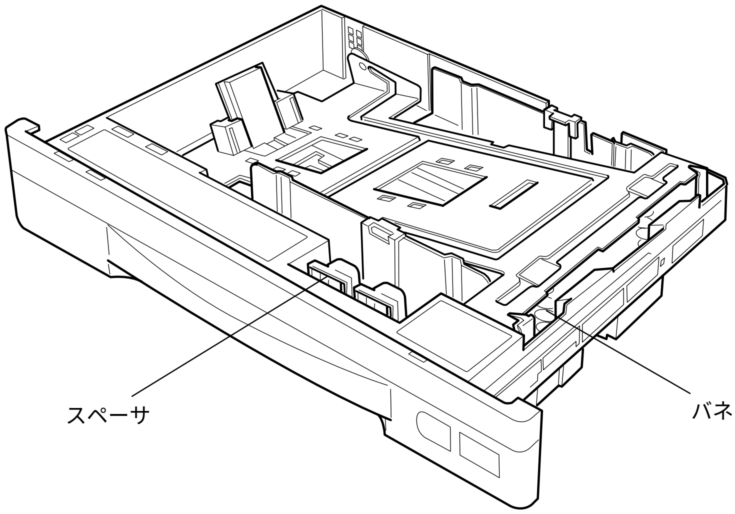


終わり

9 用紙サイズを変える

用紙カセットのガイドの位置を変えることにより、使用する用紙のサイズを変更することができます。

- 用紙カセットの数は、標準装備で 2 段です。オプションの給紙ユニットを使用すると 3 段にできます。
- セットできる用紙サイズは B4、A4、B5□、A5□です。
- 用紙は上段カセットは約500枚、下段カセットおよびオプションの給紙ユニットは約250枚までセットできます。



	B4	A4	B5R(□)	A5R(□)
バネの種類	銀色	銀色	青色	青色
スペーサ	不要	必要	不要	必要

注）バネの種類とスペーサは上段カセットのみ変更します。

⚠ 注意

- 用紙カセット内の金属部分の角や縁の部分では、けがをする恐れがありますので、ご注意ください。

お願い

- セットできる用紙サイズは B4、A4、B5□、A5□です。
- 用紙サイズ設定は、セットする用紙に合わせて正しくセットしてください。正しくセットされていないと、用紙づまりなどが発生します。（➡260 ページ）

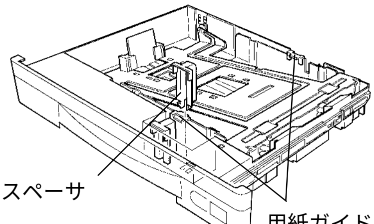
●1段目カセット

- 用紙サイズを変更する場合は、必要に応じてバネ、スペーサ、用紙ガイド（横）、用紙ガイド（後）、サイズ表示ラベルも変えてください。

1 スペーサと用紙ガイド(横)をセットします。

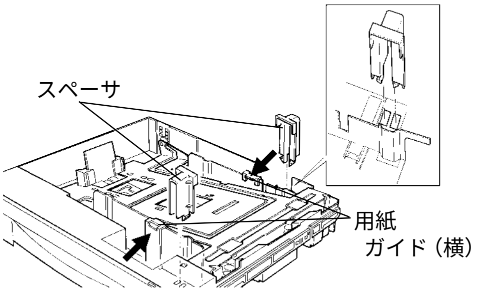
①B4、B5R（□）で使用する場合

- スペーサを格納場所にしまい、用紙ガイド(横)を両側から押して用紙幅に合わせます。



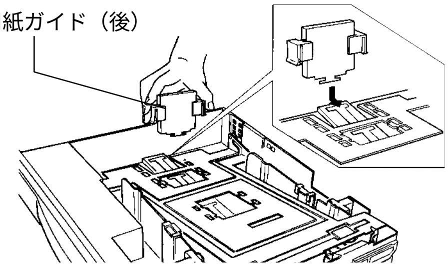
②A4、A5R（□）で使用する場合

- 用紙ガイド(横)を両側から押して用紙の幅に合わせ、スペーサを用紙ガイド(横)の横にはめ込みます。



2 用紙ガイド（後）を用紙の長さに合わせて、移動させます。

- 用紙ガイド(後)のツメを用紙カセットの溝にはめ込んでください。

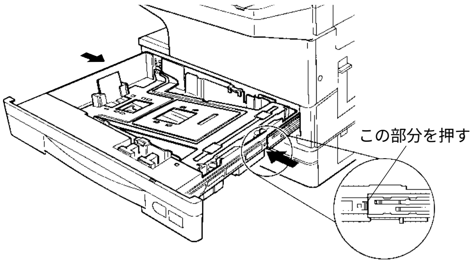


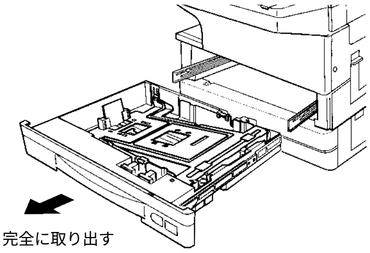
●バネを交換する場合

- **B4またはA4からB5R(□)またはA5R(□)に変更するときはバネを交換する必要があります。前ページの表を参照してください。**
- **バネを交換しない場合は手順5に進んでください。**

3 用紙カセットを取り出します。

- 両側の矢印の部分を押しながら、完全に本体からカセットを取り出してください。

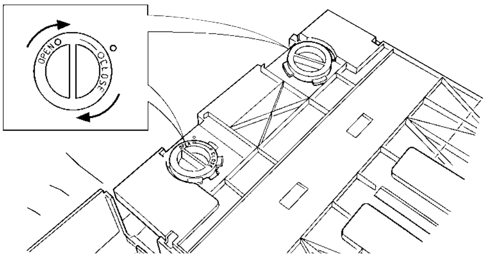




- 前ページの表を参照してバネを交換しない場合は手順5に進んでください。

4 カセットを裏返し、バネを交換します。

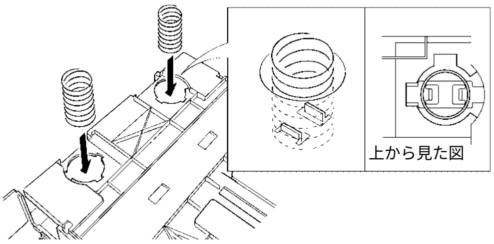
①バネのふたを矢印の方向にまわします。OPENの○印とカセットの○印を合わせてバネのふたを開け、バネを取り出します。



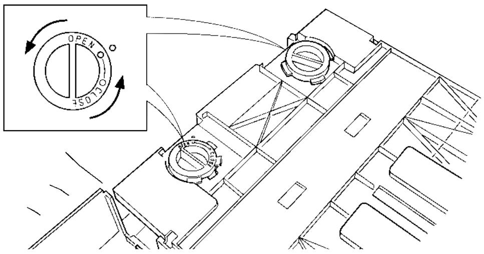
次のページへ

② 使用するバネをカセットにセットします。

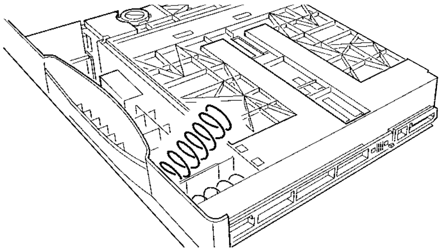
- B4、A4の場合は、銀色のバネを使用します。
- B5R（ ）、A5R（ ）の場合は、青色のバネを使用します。
- バネがカセットのくぼみにまたがるようにしてください。



③ バネのふたを閉めます。OPENの○印とカセットの○印を合わせて、矢印の方向にまわし、CLOSEの○印とカセットの○印を合わせてください。



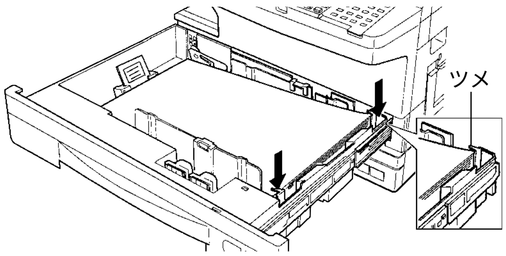
④ 使用しないバネはカセット裏の格納場所にしまいます。



⑤ カセットを本体に取り付けます。

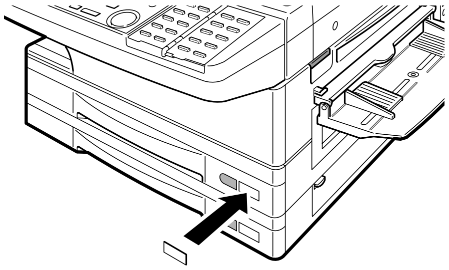
5 用紙をセットし、カセットを本体に戻します。

- 用紙を押し下げ、用紙の端をカセットの両端にあるツメの下に入るようにセットします。
- 正確にツメの下にセットされていないと、用紙づまり等を起こします。
- 目盛りの線を超えた分の用紙は取り除いてください。



6 用紙サイズラベルを貼り替えます。

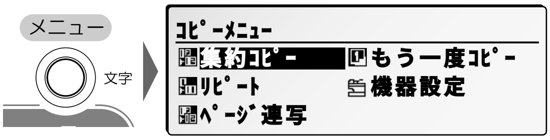
- 続いて用紙サイズの設定を行います。



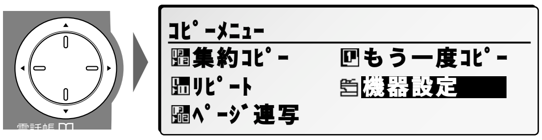
終わり

●用紙サイズの設定

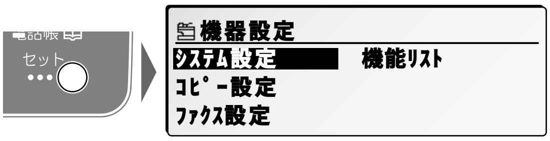
1 ＜メニュー／文字＞キーを押します。



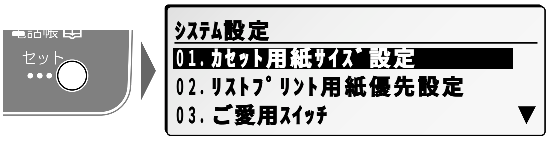
2 ①カーソルキーで「機器設定」を選択します。



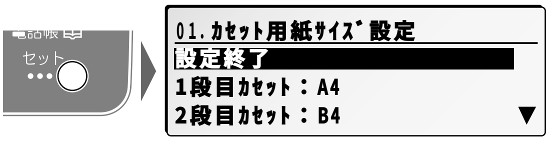
②＜セット＞キーを押します。



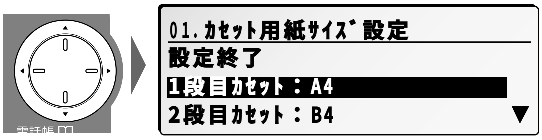
3 ＜セット＞キーを押します。



4 ＜セット＞ キーを押します。



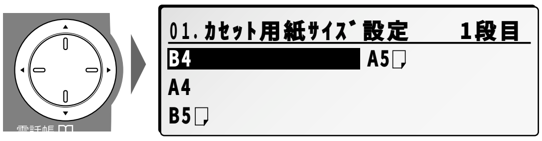
5 ①カーソルキーで用紙サイズを設定したいカセットを選択します。



②＜セット＞キーを押します。

6 ①カーソルキーで目的の用紙サイズを選択します。

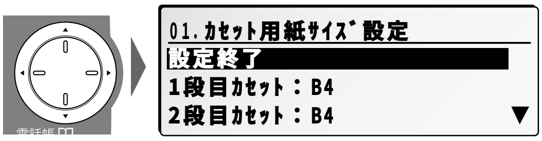
● B4、A4、B5、A5 が選択できます。



②＜セット＞キーを押します。

7 設定モードを終了します。

①カーソルキーで「設定終了」を選択します。



②＜セット＞キーを押します。

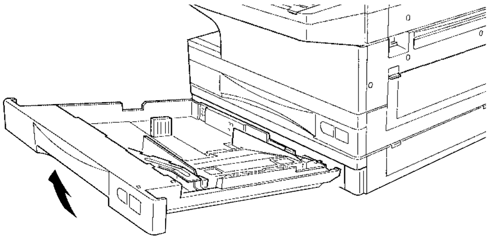
● カセット用紙サイズが設定されます。
● 操作を中止したいときは＜リセット＞キーを押します。

終わり

●2段目・3段目カセット

● オプションの給紙ユニットの用紙サイズ変更方法も同じ方法で変更できます。

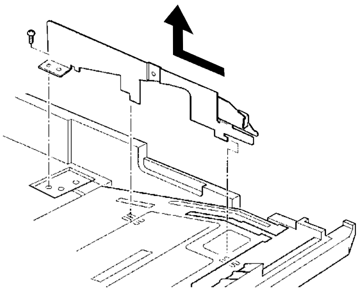
1 用紙カセットを引き出します。



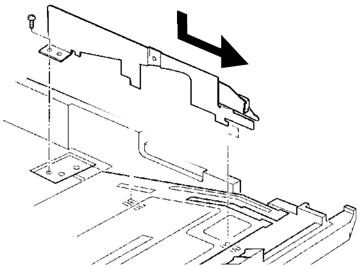
2 用紙ガイド（横）を変更します。

● B４またはB５からA４またはA５に変更する場合のみ用紙ガイド（横）を変更します。それ以外は手順3に進みます。
●用紙ガイド（横）は、両側ともに変更します。

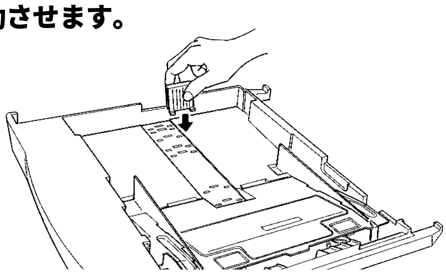
① 用紙ガイド（横）を固定しているネジを外し、用紙ガイド（横）をスライドさせて外します。



② 用紙ガイド（横）を使用する用紙の幅の溝にセットし、ネジ止めします。

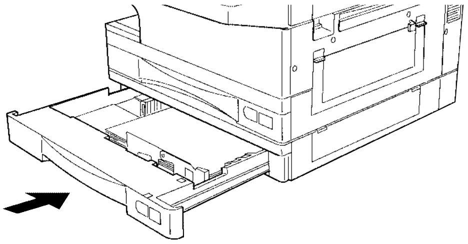


3 用紙ガイド（後）を用紙の長さに合わせて、移動させます。

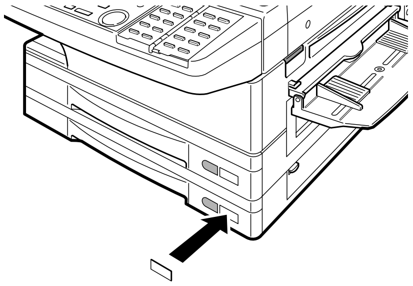


4 用紙をセットし、カセットを本体に戻します。

● 用紙を押し下げ、用紙の端をカセットの両端にあるツメの下に入るようにセットします。
● 正確にツメの下にセットされていないと、用紙づまり等を起こします。
● 目盛りの線を超えた分の用紙は取り除いてください。



5 用紙サイズラベルを貼り替えます。



6 ３５ページの「用紙サイズの設定」を参照して、用紙カセットにセットした用紙のサイズを設定します。

終わり

10 使用する前の登録

● 本機をご使用いただくために必要な登録を行います。

操作の前に

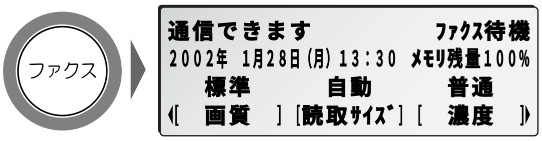
●登録内容は以下の通りです。登録する内容を、あらかじめ紙に書き出しておくと便利です。

- ・時刻 ……… 液晶ディスプレイの時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理などファクスすべての基準になります。西暦、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。
- ・受信モード ……… ご使用に合わせた受信モードを選びます。（➡101ページ）ダイヤルイン待機に設定した場合は、ダイヤルインの番号、ベル時間を設定します。
- ・ナンバー・ディスプレイ ……… ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続することもできます。
- ・通信回線 ……… 接続する回線の種類に合わせて設定します。設定が合っていない場合は、電話やファクスが使用できません。
- ・発信元 ……… 発信元名やファクス番号を相手先の記録紙にプリントしますので、受信側はどこから送信された原稿なのかを確認しやすくなります。発信元名は3種類登録でき、切り替えて使用できます。
  - ・発信元番号：　発信元のファクス番号を20桁まで登録できます。
  - ・発信元名：　半角文字では22文字、全角文字では11文字まで登録できます。
  - ・発信元名（カナID）：通信中、相手側のディスプレイに表示されます（当社機のみ）。半角文字で16文字まで登録できます。
  - ・標準発信元名：　3種類の発信元名のうち、常に使う発信元名を標準発信元名として登録できます。

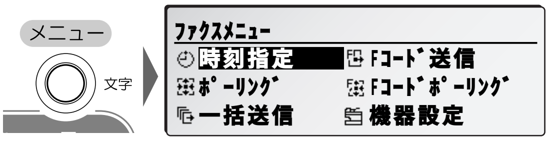
●すべての登録を終了後、ファクス設定リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。（➡206ページ）

●初期登録

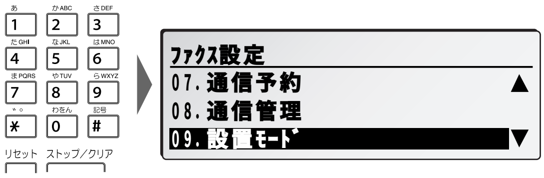
1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。



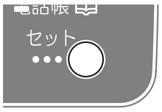
2 <メニュー／文字>キーを押します。



3 テンキー<0><9>と押します。



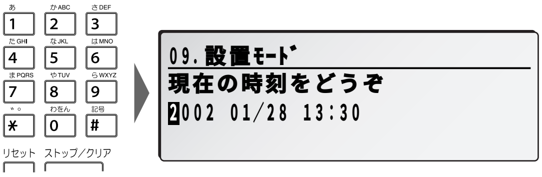
4 <セット>キーを押します。



次のページへ

5

①テンキーで現在の時刻を入力します。

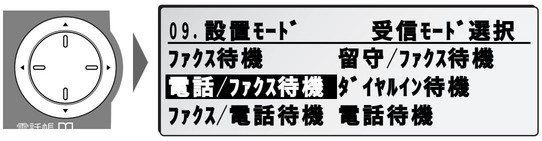


＊年（西暦4桁）、月（2桁）、日（2桁）、時（24時間制2桁）、分（2桁）の順に入力します。
＊変更の必要がないときは、カーソルキーを押して次の数字に移動できます。

②＜セット＞キーを押します。

6

①カーソルキーで受信モードを選択します。



②＜セット＞キーを押します。

＊受信モードにてダイヤルイン待機をセットしたときは、ダイヤルイン用の番号を登録する操作になります。「ダイヤルインの登録」に移動し、ダイヤルイン用の番号を登録してください。（➡40ページ）

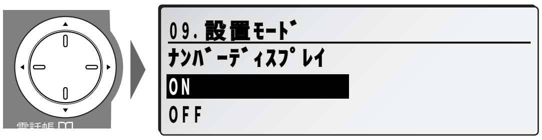
7

ナンバー・ディスプレイの設定をします。ナンバー・ディスプレイを使用するときは、ONに設定します。

（ナンバー・ディスプレイの動作については、168ページを参照してください。）

①カーソルキーで、ナンバー・ディスプレイのONまたはOFFを選択します。

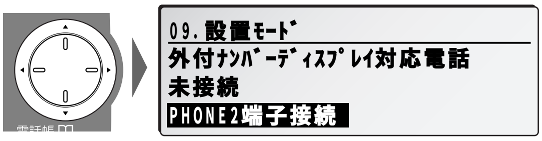
・ON .... ナンバー・ディスプレイを利用するとき。
・OFF .... ナンバー・ディスプレイを利用しないとき。



②＜セット＞キーを押します。

③ONを選択したときは、ナンバー・ディスプレイ対応電話機の接続を設定します。カーソルキーで選択します。

・未接続 .... 接続する電話機が、ナンバー・ディスプレイ未対応の電話機の場合。または電話機を接続しない場合。
・PHONE2端子接続 .... ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を（PHONE2）に接続する場合。

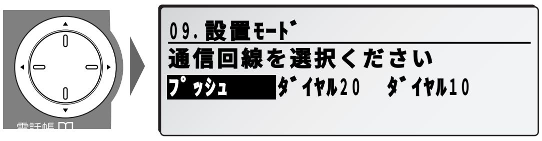


④＜セット＞キーを押します。

8

①カーソルキーで通信回線を選びます。

＊通信回線の見分けかた（➡41ページ）を参考にして、正しい通信回線を選択してください。



②＜セット＞キーを押します。

9

①テンキーで発信元番号を入力します。

＊ハイフンは［－］を押します。［＋］は国別番号を入力するときに使用します。
＊発信元番号は20桁まで登録できます。
＊番号を間違えた場合は、＜ストップ／クリア＞キーを押して正しい番号を入力し直してください。

②＜セット＞キーを押します。

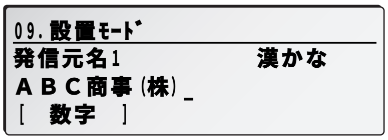
10 発信元名を入力します。

＊発信元名は3種類登録できます。

①カーソルキーで「発信元名 1」を選択します。

②＜セット＞キーを押します。

③発信元名1を入力します。



＊半角文字は22文字まで、全角文字は11文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

④＜セット＞キーを押します。

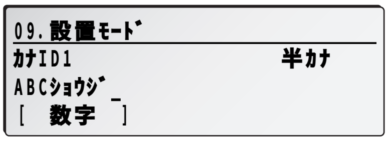
11 カナIDを入力します。

＊カナIDは3種類登録できます。

①カーソルキーでカナID１を選択します。

②＜セット＞キーを押します。

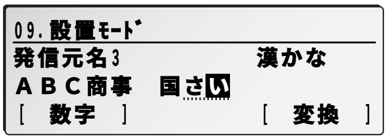
③カナID１を入力します。



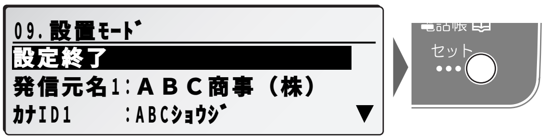
＊半角文字（半角アルファベット、数字、半角カタカナ、記号）にて16文字まで登録できます。全角文字は使用できません。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

④＜セット＞キーを押します。

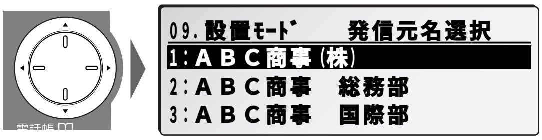
12 ①手順10、11を繰り返し、他の発信元名・カナIDを入力します。



②発信元名・カナIDの登録を終了するには、「設定終了」を選択して＜セット＞キーを押します。



13 ①カーソルキーで標準発信元名を選びます。



②＜セット＞キーを押します。

＊待機画面に戻ります。

終わり

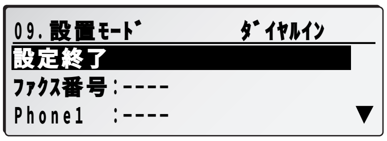
MEMO

- ＜セット＞キーを押した後でも、＜戻る＞キーを押すと前の画面に戻ります。
- ＜リセット＞キーを押すと、操作を中断し待機画面に戻ります。

●ダイヤルインの登録

- 受信モードにてダイヤルイン待機をセットしたときは、ダイヤルイン用の番号を登録する操作になります。ダイヤルイン契約した4桁の電話番号を、ファクス番号用、Phone1（本体電話）用、Phone2（増設電話）用に登録してください。
- ダイヤルイン契約が2回線の場合、Phone1とPhone2に同じ番号を入力すると、本体電話・増設電話を同じ番号にて着信させることができます。
- ダイヤルインの動作に関しては、107ページを参照してください。

1 **38ページ手順6にてダイヤルイン待機をセットすると、ダイヤルインの登録画面が表示されます。**

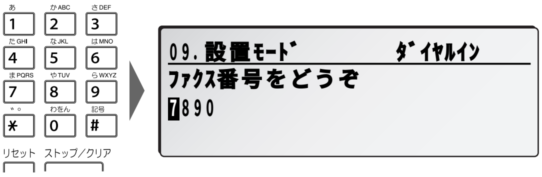


2 **ファクス番号用、Phone1（本体電話）用、Phone2（増設電話）用を登録します。**

①カーソルキーで「ファクス番号」を選択します。

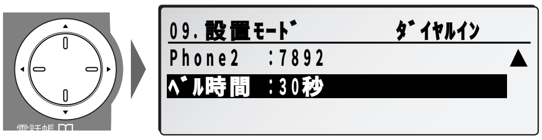
②＜セット＞キーを押します。

③テンキーで、登録する番号（電話番号の下4桁）を入力します。



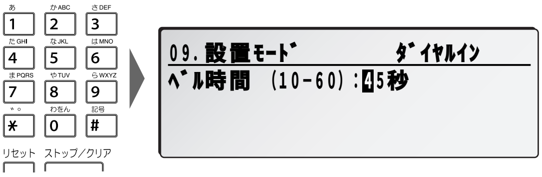
④＜セット＞キーを押します。手順1に戻ります。
①～④を繰り返し、Phone1、Phone2用番号を入力します。

3 **着信ベル時間を変更するときは、カーソルキーで「ベル時間」を選択します。**



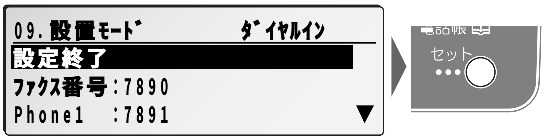
①＜セット＞キーを押します。

②テンキーで、着信ベル時間（10秒～60秒）を入力します。（初期値30秒）



③＜セット＞キーを押します。

4 **登録を終了するときは、カーソルキーで「設定終了」を選択して＜セット＞キーを押します。「ナンバー・ディスプレイの設定」（➡38ページ手順7）に移ります。**



終わり

MEMO

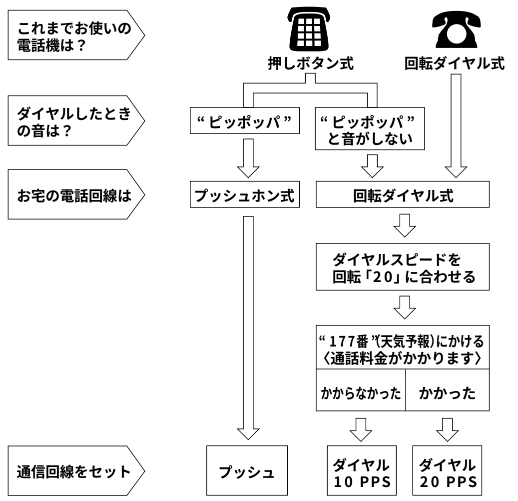
- ＜セット＞キーを押した後でも、＜戻る＞キーを押すと前の画面に戻ります。
- ＜リセット＞キーを押すと、操作を中断し待機画面に戻ります。

＊ファクスワープ、フォンワープを使用する場合、使用できない受信モードがあります。

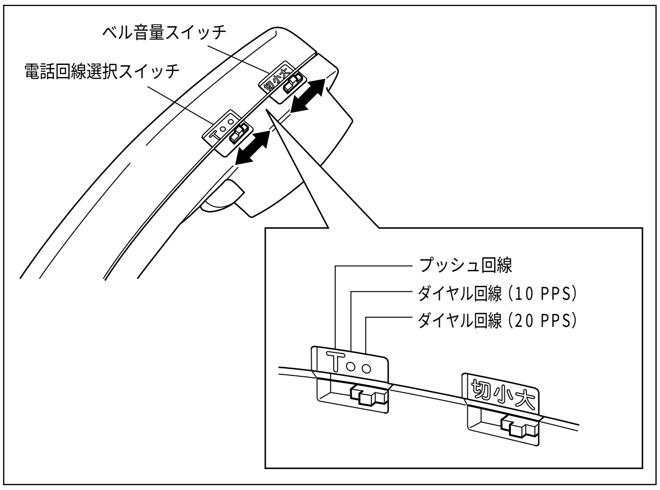
ワープ内容 / 受信モード	フォンワープ	ファクスワープ
ファクス待機	×	○
ファクス／電話待機	○	○
電話／ファクス待機	○	○
留守／ファクス待機	×	○
電話待機	×	×

○…使用できる
×…使用できない

●通信回線の見分けかた



※本体電話（オプション）の回線の合わせかた



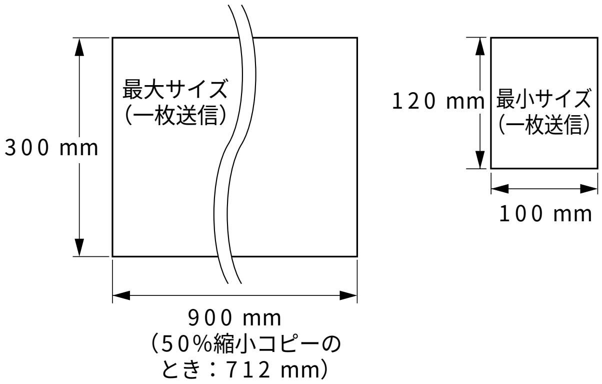
11 原稿セットのしかた

● 原稿を読み取る方法には、自動的に原稿を給紙する自動給紙装置と、本や立体物などを読み取れるブックスキャナがあります。

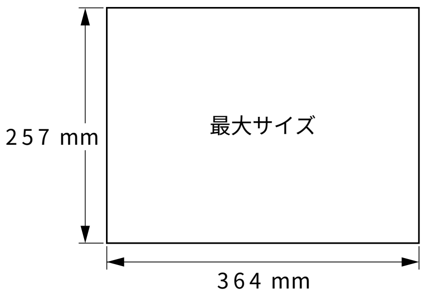
●セットできる原稿サイズ

● コピーおよび送信できる原稿サイズは次の範囲のものに限ります。

● 自動給紙装置の原稿サイズ



● ブックスキャナの原稿サイズ



◆自動給紙装置の場合

	1枚だけ読み取る場合	自動連続読み取りの場合
最大	送信時　：幅300 mm×長さ900 mm コピー時*：幅300 mm×長さ712 mm	幅297 mm×長さ420 mm(JIS A3)
最小	幅120 mm×長さ100 mm	幅148 mm×長さ105 mm(JIS A6)
一度のセット枚数	ー	A3:15枚、B4:25枚、A4以下:50枚
原稿の紙厚	0.04～0.16mm	0.07～0.15mm
原稿の紙質	上質紙相当	

＊50%縮小コピー（100%の場合は長さ356mm）

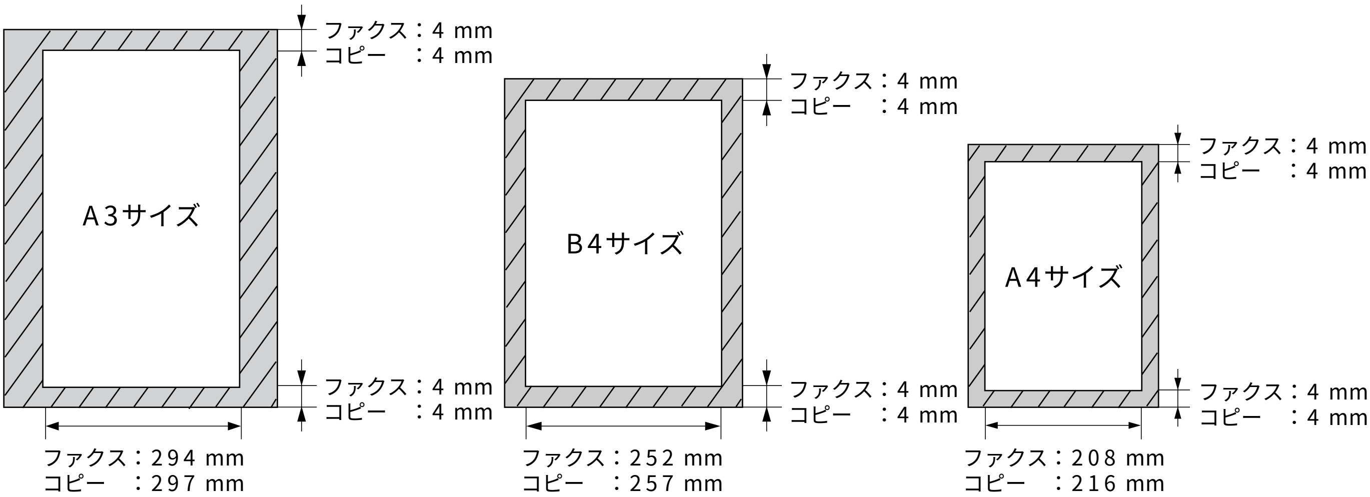
◆ブックスキャナの場合

最大	幅257 mm×長さ364 mm(JIS B4)
最小	制限無し
紙厚	制限無し（ブックカバーを使用するとき：最大19mm）

参考：新聞紙の紙厚が0.05～0.06mm、官製はがきが0.23mmです。
この取扱説明書の紙厚は＊＊mm、サイズはJIS A4（幅210mm×長さ297mm）です。

●原稿読み取り範囲について

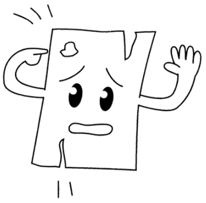
● 斜線部分に文字などを書いても、読み取れませんのでご注意ください。



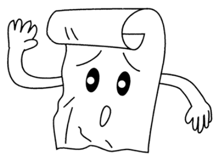
●原稿についてのご注意

◆自動給紙装置には次のような原稿はセットできません。ブックスキャナをご利用ください。

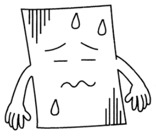
破れている原稿、
穴のあいている原稿



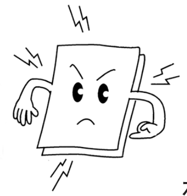
しわやカールの激しい原稿



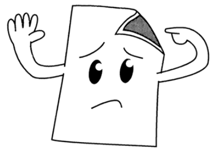
湿った原稿



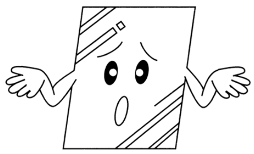
静電気で密着した原稿



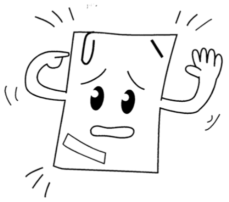
裏がカーボンになっている原稿



布地、金属シート



ホチキス、クリップ、セロハンテープ
などがついた原稿



◆ブックスキャナに以下のような原稿をセットするときは、ガラス面が傷ついたり割れたりする恐れがあります。

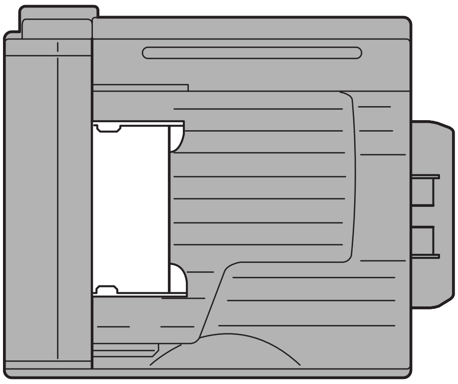
・厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。
・堅い物を原稿にするときは、ガラス面に静かに置いてください。
・鋭利な突起があるものは、ガラス面を傷つける恐れがあります。

● 記号について

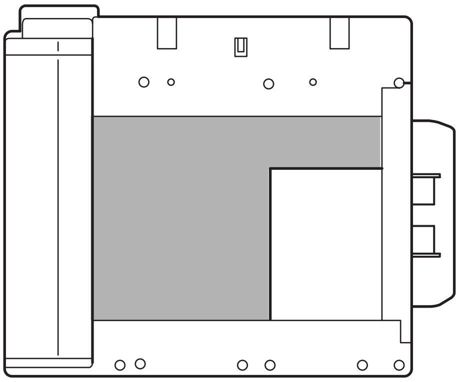
記号は、原稿を機械正面から見て縦に置くことを表します。自動給紙装置の場合、原稿の長辺側から挿入します。

例：A5

●自動給紙装置に原稿をセットするとき



●ブックスキャナに原稿をセットするとき



●原稿セットのしかた

送信やコピーをするときは、次の手順で原稿をセットしてください。

操作の前に

- 自動給紙装置とブックスキャナの両方に原稿をセットした場合は、自動給紙装置から読み取りを開始します。
- 修正液、インク、スタンプなどは完全に乾かしてからセットしてください。

◆自動給紙装置に原稿をセットするとき

①送信またはコピーする面を上に向けてセットします。（セットした原稿の上から繰り込みます）

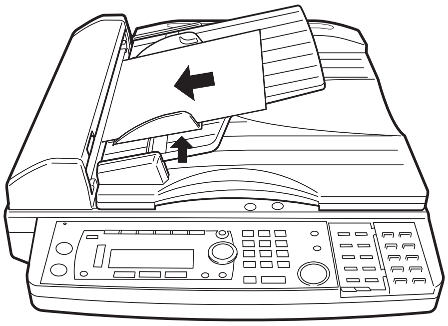
②原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

③原稿の先があたるまで、軽く差し込みます。

※原稿は、送信またはコピーする面を上に向けます。

一度にセットできる枚数は

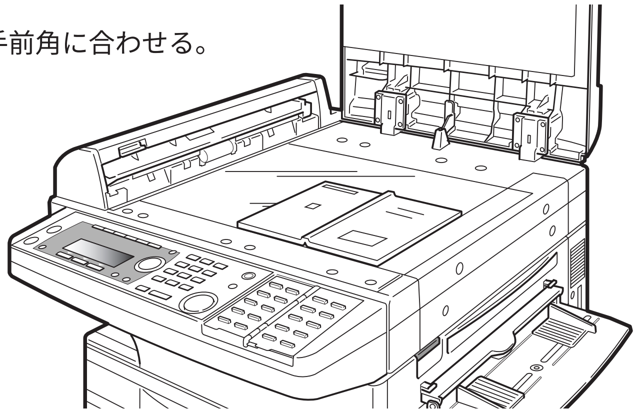
A3：	15 枚
B4：	25 枚
A4 以下：	50 枚



◆ブックスキャナに原稿をセットするとき

①ブックカバーを開け、送信またはコピーする面を下にし、右手前角のセット基準に原稿を合わせます。
②ブックカバーを静かに閉め、原稿をガラス面に密着させます。

原稿は、右手前角に合わせる。



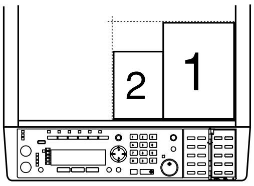
お願い

■自動給紙装置に原稿をセットするときの注意

・ 原稿ガイドを広げたまま、原稿をセットしないでください。
　→縮小されてプリントすることがあります。
　→斜行の原因になります。
・ サイズが異なる原稿を一緒にセットしないでください。
　→不必要に縮小されてプリントされることがあります。
　→原稿づまりの原因になります。
　→斜行の原因になります。
・ 原稿読み取り中に新しい原稿を追加すると、原稿づまりの原因になります。
・ 原稿排出口に、読み取り済みの原稿を溜めすぎないでください。排出口での原稿づまりの原因になります。

■ブックスキャナに原稿をセットするときの注意

・ 透明度の高い原稿または濃度の濃い原稿はサイズを自動検知できないことがあります。
・ 幅の異なる原稿を同時にセットしたときは、右図のように点線で囲まれた部分を読み取ります。



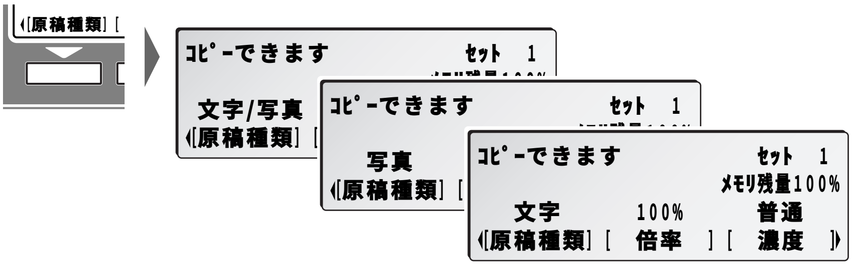
・ 印鑑の朱肉や修正液などは、よく乾かしてからセットしてください。
・ 厚みのある原稿をセットしたときは、無理にブックカバーを閉めないでください。
　→故障の原因となります。
・ 自動給紙装置に取り残しの原稿がないことを確認してください。
　→原稿が残っていると正しく読み取れない場合があります。
・ ブックカバーを開けてコピーするときは、コピーランプの光を見ないようにしてください。

●原稿種類・画質の選びかた

原稿や文字にあわせて、原稿種類または送信画質を選択します。原稿種類・画質の選択は、機能選択キーを使用して行います。

◆コピーモードのとき

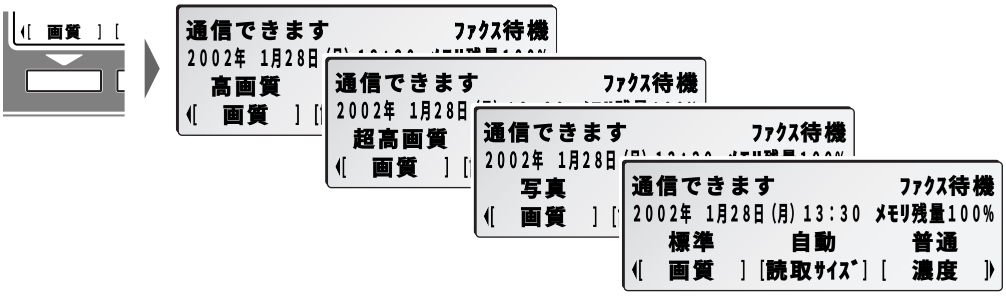
コピー待機画面より 原稿種類 を押します。 原稿種類 を押すごとに「文字／写真」→「写真」→「文字」の順に表示が変わります。（初期値：文字）



●文字 .... 文字だけの原稿に適した設定で読み取ります。
●文字／写真 ..... 写真や絵と文字が混じった原稿に適した設定で読み取ります。
●写真 .... 写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。

◆ファクスモードのとき

ファクス待機画面より 画質 を押します。 画質 を押すごとに「高画質」→「超高画質」→「写真」→「標準」の順に表示が変わります。（初期値：標準）



●標準 .... 普通の文字の原稿を送信するとき
●高画質 .... 小さな文字の原稿を送信するとき（新聞など）
●超高画質 .... 精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
●写真 .... 写真を送信するとき

MEMO

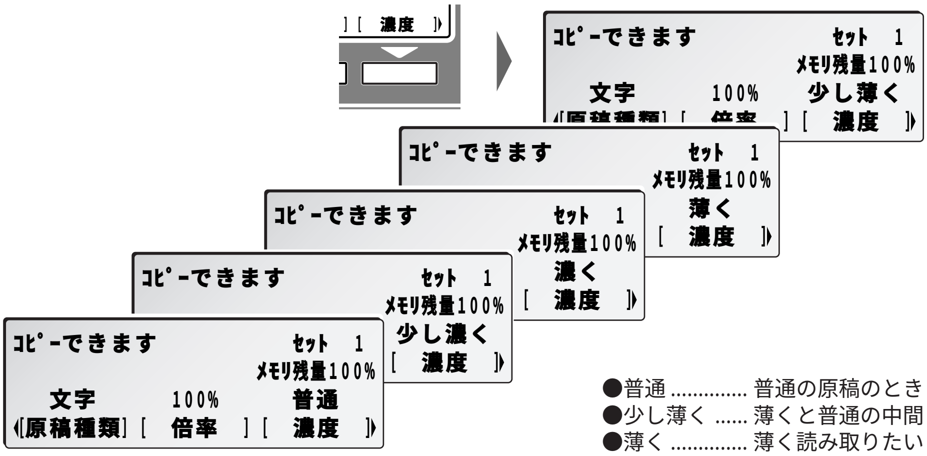
- コピーモードの原稿種類の初期値を変更することができます。（➡79ページ）
- ファクスモードの画質の初期値を変更することができます。（➡202ページ）
- 通信時間は、標準モードから写真モードになるほど長くなります。

●濃度の選びかた

原稿の文字の濃さや、原稿の地色に応じて読み取り濃度を選択します。濃度の選択は、機能選択キーを使用して行います。

◆コピーモードのとき

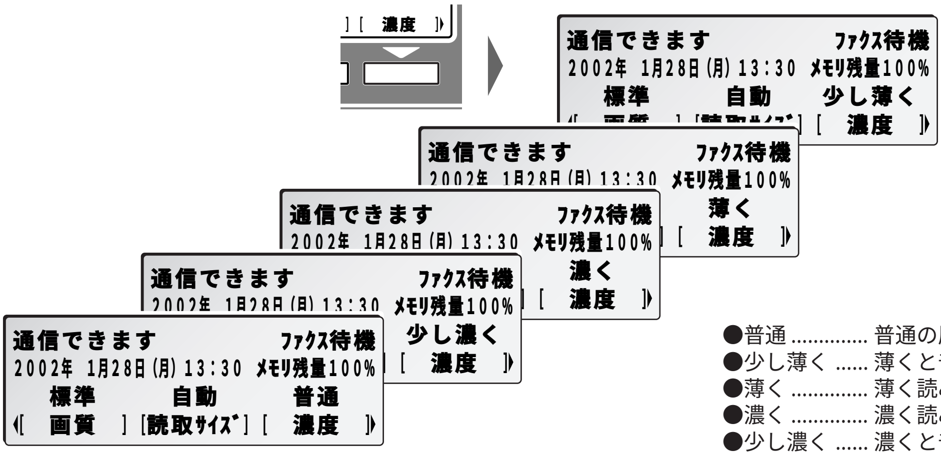
コピー待機画面より 濃度 を押します。 濃度 を押すごとに「少し薄く」→「薄く」→「濃く」→「少し濃く」→「普通」の順に表示が変わります。（初期値：普通）



●普通 .... 普通の原稿のとき
●少し薄く ...... 薄くと普通の中間
●薄く .... 薄く読み取りたいとき
●濃く .... 濃く読み取りたいとき
●少し濃く ...... 濃くと普通の中間

◆ファクスモードのとき

ファクス待機画面より 濃度 を押します。 濃度 を押すごとに「少し薄く」→「薄く」→「濃く」→「少し濃く」→「普通」の順に表示が変わります。（初期値：普通）



●普通 .... 普通の原稿のとき
●少し薄く ...... 薄くと普通の中間
●薄く .... 薄く読み取りたいとき
●濃く .... 濃く読み取りたいとき
●少し濃く ...... 濃くと普通の中間

MEMO

- コピーモードの濃度の初期値を変更することができます。（➡79ページ）
- ファクスモードの濃度の初期値を変更することができます。（➡202ページ）

●車検証読取り／鉛筆読取りについて

- ご愛用スイッチキーに「車検証読取り」または「鉛筆読取り」を登録すると、一時的に車検証読取りモードまたは鉛筆読取りモードをON／OFFすることができます。（➡246ページ）

●車検証読取りモード

車検証読取りモードをONに設定すると、車検証などの地模様や地色のある原稿の背景を読み取りません。送信時間を短縮でき、トナー消費を防ぎます。

●鉛筆読取りモード

鉛筆読取りモードをONに設定すると、今まで読み取りにくかった淡い鉛筆書きの原稿もくっきり読み取ります。

コピー編

第1章 基本的な使いかた

もくじ

1 コピーの前に 50
原稿サイズの自動検出について 50
回転コピー 50
コピー中にメモリオーバーしたとき 51

2 基本的なコピーのしかた 52
原稿を続けて読み取るには（次の原稿） 53
自動給紙装置とブックスキャナの混在コピー 55
コピー予約（いつでもコピー） 56
原稿の一部分だけをコピーする（読取サイズ） 57

3 用紙を選んでコピーする 58
用紙選択のしかた 58
用紙選択コピーのしかた 59

4 拡大／縮小コピーをする（ズーム） 60
用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率） 60
倍率を選んで拡大／縮小する（定型倍率） 61
倍率を入力して拡大／縮小する（ズーム） 62

5 用紙を仕分けする（ソート） 63

6 手差しトレイに用紙をセットする 64
手差しトレイにセットできる用紙 64
手差しトレイに用紙をセットする 64
不定型紙を設定するとき 66
メディアの設定 66
手差しコピーをする 67
はがきにコピーする 68

1 コピーの前に

●原稿サイズの自動検出について

- ブックスキャナは B4、A4、B5、B5、A5、A5 原稿を自動検知できます。
- ガラス面下のミラーキャリッジ動作中は自動検知できません。
- ブックスキャナにて原稿サイズが自動検知できないときは以下の操作を行います。

◆原稿サイズを自動検出できないとき

- 不定型サイズの原稿をセットしたときなど、原稿サイズを検出できないときは以下のメッセージが表示されます。

```
用紙:B4        倍率:100% ｾｯﾄ   1
原稿ｻｲｽﾞを検出できませんでした
上記の用紙/倍率でｺﾋﾟｰしますか
ｺﾋﾟｰ(ｽﾀｰﾄｷｰ)  中断(ｽﾄｯﾌﾟｷｰ)
```

◆原稿に合った適切な用紙が無いとき

- 原稿サイズは検出されましたが、原稿サイズに合った適切な用紙が無いときは以下のメッセージが表示されます。

```
用紙:B4        倍率:100% ｾｯﾄ   1
最適な用紙がありません
上記の用紙/倍率でｺﾋﾟｰしますか
ｺﾋﾟｰ(ｽﾀｰﾄｷｰ)  中断(ｽﾄｯﾌﾟｷｰ)
```

➡ ＜スタート＞キーを押すと、表示されている用紙と倍率でコピーします。

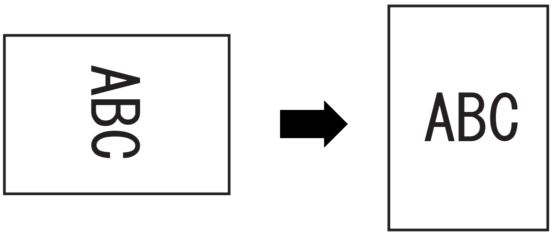
＊用紙によっては、画像が欠けたり余白が出たりします。

➡ ＜ストップ／クリア＞キーを押すと、コピーを中断します。

＊倍率や用紙を選択して、再度コピーし直してください。

●回転コピー

- 原稿と同じ向きの用紙がセットされていなくても、自動的にコピー画像を回転させてコピーします。



- 回転方向は左回転になります。
- 集約コピー、リピートでは回転しません。
- 用紙が B4 または手差しにセットされているときは回転しません。
- 自動倍率または自動用紙選択のときのみ回転します。

●コピー中にメモリオーバーしたとき

● 原稿蓄積中にメモリオーバーしたときは以下のように対処してください。

◆原稿の読み取り中にメモリオーバーしたとき

```
メモリ残量　5%
メモリオーバーしました
《[原稿種類][　倍率　][　濃度　]》
```

● 読み取った原稿だけコピーします。
● ＜ストップ／クリア＞キーを押すと待機画面に戻ります。

＊ ＜原稿種類＞を変えるか、メモリが空くまで待ってから再度コピーしてください。

◆ソートコピーの場合、2 枚目以降の原稿の読み取り中にメモリオーバーしたとき

```
メモリオーバーしました
原稿蓄積枚数 :　 1枚
蓄積分を有効にしますか？
はい (セットキー) いいえ (戻るキー)
```

● ＜セット＞キーを押すと、蓄積された分をコピーします。
● ＜戻る＞キーを押すと、コピーを中断します。

＊ ＜原稿種類＞を変えるか、メモリが空くまで待ってから再度コピーしてください。

● 何も押さずに 3 分（コピー画面自動リセットで設定した時間➡79 ページ）経つと、蓄積された分をコピーします。

MEMO

● 自動給紙装置を使用していた場合、原稿が残っているときは以下の表示になります。

```
ストップキーで原稿を排出して下さい
メモリ残量　5%
写真　　100%　　濃く
《[原稿種類][　倍率　][　濃度　]》
```

＜ストップ／クリア＞キーを押して残っている原稿を排出します。

コピー編

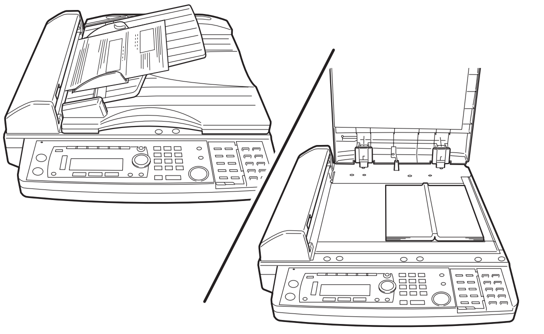
第1章　基本的な使いかた

2 基本的なコピーのしかた

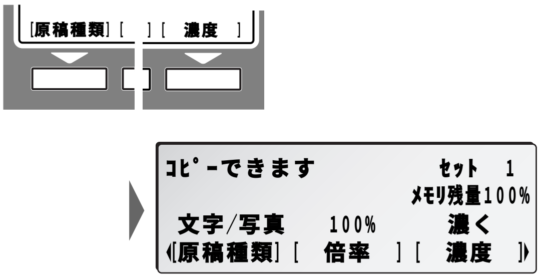
操作の前に

- <コピー>キーを押して、コピー画面に切り替えておきます。
- 初期設定では、倍率：100%、用紙選択：自動、原稿種類：文字、濃度：普通でコピーされます。
- 用紙選択が自動の場合、カセット１の用紙が優先的に選択されます。
- 時刻指定でリアルタイム送信を予約しているときは、コピー画面に切り替えることはできません。

1 原稿をセットします。（➡44、45ページ）



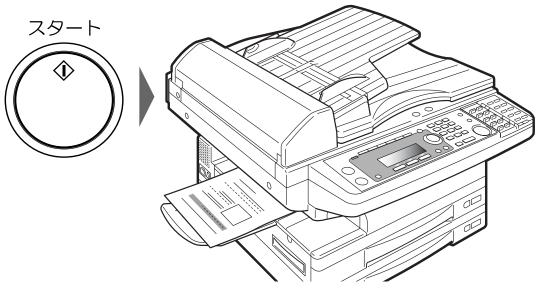
2 必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（➡46、47ページ）



3 コピー部数をテンキーで入力します。

＊1〜99部まで設定できます。
＊間違えて入力したときは、<ストップ／クリア>キーを押して数字を消去後、入力し直してください。
＊部数を設定しないときは1部コピーになります。

4 <スタート>キーを押します。コピーを開始します。



＊ソートコピー・集約コピーを設定したときは、「次の原稿」の設定を行います。

終わり

ポイント

- コピーのプリントを中止するには...
  <ストップ／クリア>キーを押します。コピー部数が設定されている場合は、まず部数がクリアされます。
  もう一度<ストップ／クリア>キーを押すとコピーが中止されます。

MEMO

- 「原稿サイズを検出できませんでした」「最適な用紙がありません」と表示されたときは、自動的に適切な用紙を選択してコピーします。他の用紙にコピーするときは、<用紙選択>キーを押してコピーする用紙を選択してください。（➡58ページ）
- その他のメッセージは277ページを参照してください。

●原稿を続けて読み取るには（次の原稿）

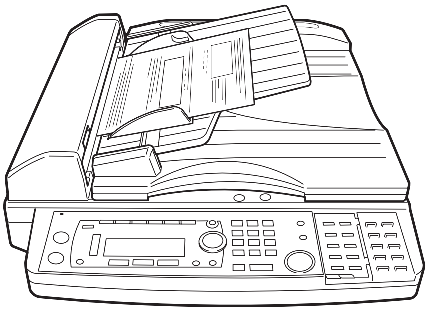
● ソートコピー・集約コピーをする場合は、次の原稿の設定を行うことにより、別の原稿を読み取ることができます。サイズが違う原稿を読み取ったり、本などで違うページを読み取ったりすることができます。

操作の前に

● 次の原稿の初期設定は、自動給紙装置では「なし」、ブックスキャナでは「あり」に設定されています。

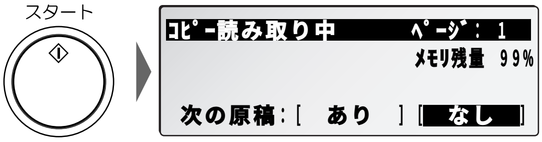
自動給紙装置のとき

1 **原稿をセットします。（➡44ページ）**

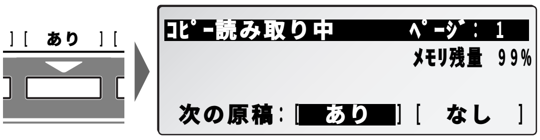


2 **各コピー機能（ソートコピー・集約コピー）の設定を行います。**

3 **<スタート>キーを押します。**

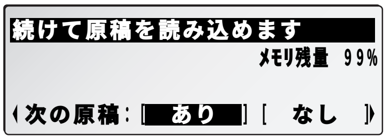


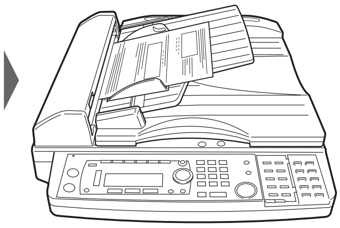
4 **原稿読み取り中に あり を押します。**



＊原稿読み取り中に なし を押すと、読み取り終了後コピーを開始します。

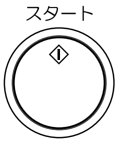
5 **読み取り終了後、次の原稿をセットします。**





＊次の原稿が無いときは、なし を押すと読み取った分のコピーを開始します。
＊カーソルキーの左または右を押すと原稿種類、濃度、倍率の設定ができます。

6 **<スタート>キーを押します。次の原稿の読み取りを開始します。**



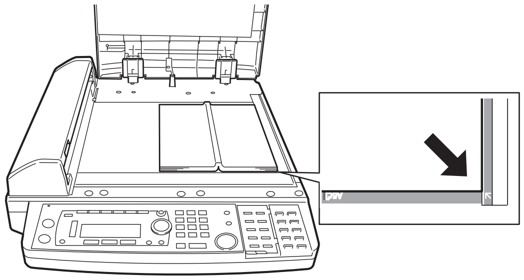
＊さらに別の原稿を読み取るときは、原稿読み取り中に あり を押します。

7 **読み取り終了後コピーを開始します。**

終わり

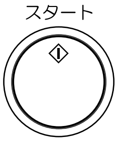
ブックスキャナのとき

1 **原稿をセットします。(➡45ページ)**



2 **各コピー機能（ソートコピー・集約コピー）の設定を行います。**

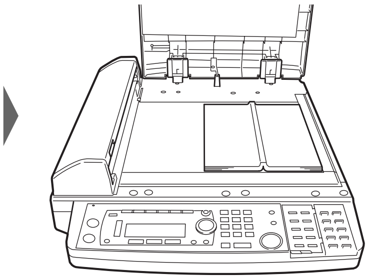
3 **<スタート>キーを押します。**




```
ｺﾋﾟｰ読み取り中　　ﾍﾟｰｼﾞ: 1
　　　　　　　ﾒﾓﾘ残量 99%
次の原稿: [ あり ] [ なし ]
```

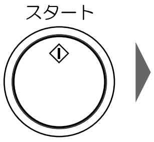
4 **読み取り終了後、次の原稿（本などの場合は次のページ）をセットします。**

```
続けて原稿を読み込めます
　　　　　　　ﾒﾓﾘ残量 99%
次の原稿: [ あり ] [ なし ]
```



＊次の原稿が無いときは、なし を押すと読み取った分のコピーを開始します。

5 **<スタート>キーを押します。次の原稿の読み取りを開始します。**

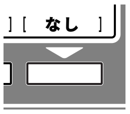



```
ｺﾋﾟｰ読み取り中　　ﾍﾟｰｼﾞ: 2
　　　　　　　ﾒﾓﾘ残量 99%
次の原稿: [ あり ] [ なし ]
```

＊原稿読み取り中に なし を押すと、読み取り終了後コピーを開始します。

6 **全ての原稿の読み取りが終了したら、なし を押します。**

```
続けて原稿を読み込めます
　　　　　　　ﾒﾓﾘ残量 99%
次の原稿: [ あり ] [ なし ]
```



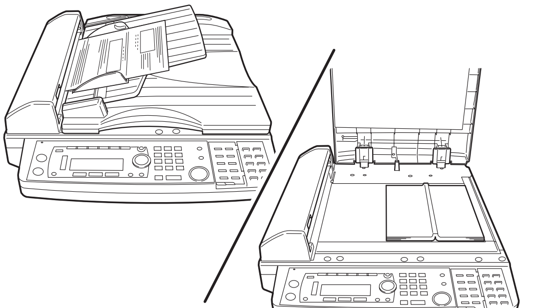
7 **コピーを開始します。**

終わり

●自動給紙装置とブックスキャナの混在コピー

● 次の原稿設定を応用すると、自動給紙装置で原稿を読み取った後、ブックスキャナで原稿を読み取ってコピーすることができます。(その逆もできます)

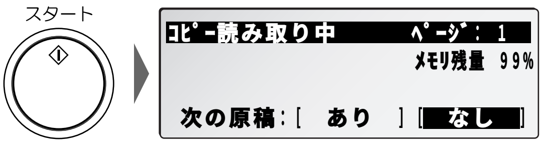
1 自動給紙装置またはブックスキャナに原稿をセットします。(➡44、45ページ)



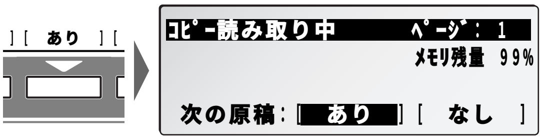
2 各コピー機能(ソートコピー・集約コピー)の設定を行います。

3 <スタート>キーを押します。

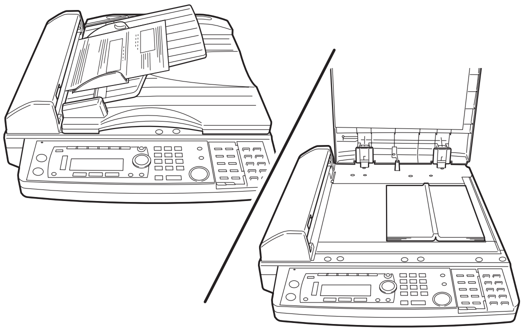
● 自動給紙装置で読み取ったとき



4 自動給紙装置のときは読み取り中に あり を押します。

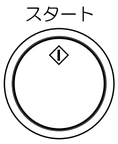


5 読み取り終了後、次の原稿をセットします。



＊原稿を自動給紙装置にセットするときは、ブックスキャナの原稿を取り除いてください。
＊原稿をブックスキャナにセットするときは、自動給紙装置に原稿をセットしないでください。
＊ なし を押すと、コピーを開始します。

6 <スタート>キーを押します。次の原稿を読み取ります。



7 ブックスキャナで読み取ったときは なし を押すとコピーを開始します。

＊自動給紙装置で読み取ったときは、自動的にコピーを開始します。

終わり

ポイント

- 次の原稿設定を使用すれば、サイズや種類の異なる原稿を読み取らせることができます。
- 次の原稿設定は、ソートコピー・集約コピーの時にだけ設定できます。
- 次の原稿を読み取らせるには、原稿の読み取り中、次の原稿の設定を「あり」にします。
- 自動給紙装置は、初期設定にて次の原稿が「なし」に設定されています。次の原稿を読み取らせるためには、原稿の読み取り中に次の原稿「あり」を選択します。
- ブックスキャナは、初期設定にて次の原稿が「あり」に設定されています。
- 読み取り中、次の原稿「なし」に設定すると読み取り終了後コピーを開始します。

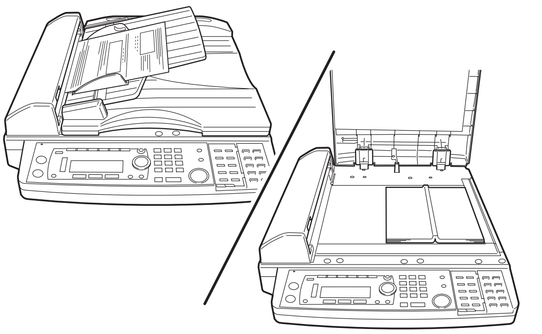
●コピー予約（いつでもコピー）

- コピープリント中でも、別の原稿をセットしコピー予約ができます。プリント中のコピーが終わると、すぐに次のコピーを開始しますので無駄な待ち時間がありません。

1 **コピープリント中は「コピー予約できます」と表示されています。**

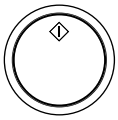
```
ｺﾋﾟｰ予約できます          ｾｯﾄ   5
                      ﾒﾓﾘ残量 99%
ﾌﾟﾘﾝﾄ中       1/  1    ｶｳﾝﾄ: 2/ 5
◀[原稿種類][  倍率  ][  濃度  ]▶
```

2 **予約したい原稿をセットします。(➡44、45ページ)**



3 **必要に応じて原稿種類や濃度を設定したり、各種機能を設定したりします。**

4 **<スタート>キーを押します。**



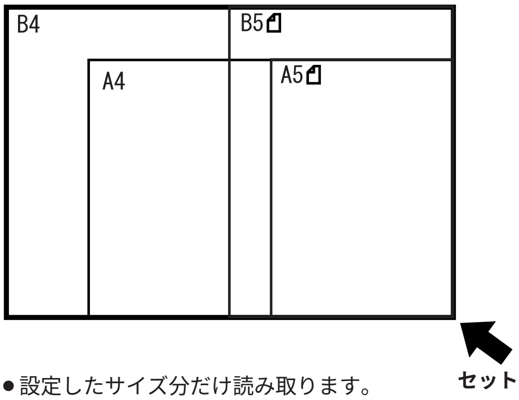
＊原稿の読み取りが始まり、現在のコピーが終わりしだいコピーを開始します。

終わり

●原稿の一部分だけをコピーする（読取サイズ）

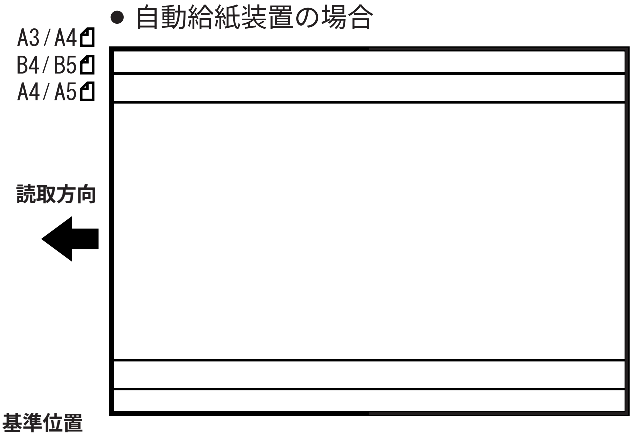
- あらかじめ読取サイズを設定してコピーすることができます。原稿の一部をコピーしたいときや、原稿のサイズを指定したいときなどに便利です。
- 自動給紙装置からコピーするときは、原稿幅の指定になります。

● ブックスキャナの場合



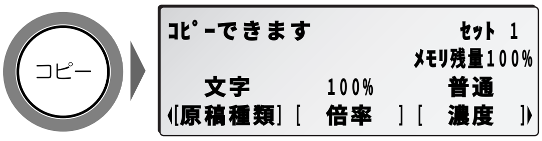
- 設定したサイズ分だけ読み取ります。
- セット基準位置が読み取りの基準になります。
- A3、A4は読み取りできません。

● 自動給紙装置の場合



- 設定したサイズの幅だけ読み取ります。
- 原稿の長さは、記録できる分だけ読み取ります。

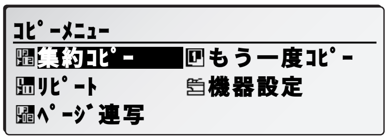
1 **<コピー>キーを押して、コピー画面を表示させます。**



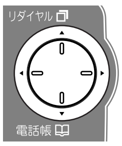
2 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**

＊必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

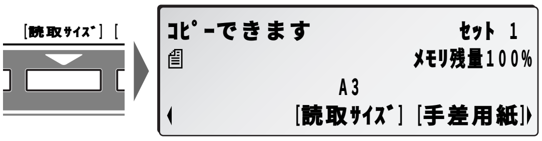
3 **必要に応じて、他のコピー機能を設定します。**



4 **カーソルキーの左または右を押します。**



5 **読取サイズ を押します。**



6 **読取サイズ で、読み取りたい部分のサイズを選択します。**

＊読取サイズ を押すごとに、A3 → B4 → A4 → A4 → B5→ B5 → A5→ A5 →自動と画面が変わります。

＊「自動」を選択すると、原稿サイズを自動検知します。自動給紙装置では、原稿の幅（A3、B4 、A4）だけを検知します。

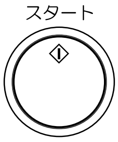
7 **コピー部数をテンキーで入力します。**

＊1〜99部まで設定できます。

＊間違えて入力したときは、<ストップ／クリア>キーを押して数字を消去後、入力し直してください。

＊部数を設定しないときは1部コピーになります。

8 **<スタート>キーを押します。**
コピーを開始します。



終わり

コピー編

第1章　基本的な使いかた

3 用紙を選んでコピーする

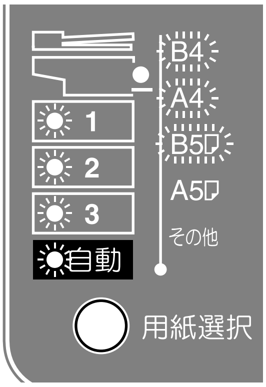
● 初期設定では用紙の選択は原稿に合わせて自動的に選択されますが、あらかじめ用紙を決めてからコピーすることもできます。

●用紙選択のしかた

● <用紙選択>キーを押し、コピーしたい用紙がセットされているカセットを選択します。

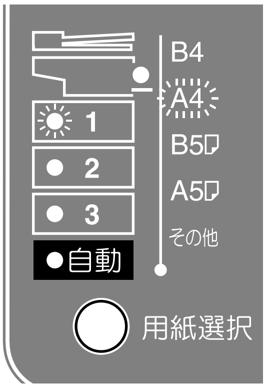
◆用紙選択「自動」を選択したとき

「自動」のランプが点灯し、セットされている用紙サイズのランプが全て点灯します。
用紙選択を自動に設定した場合は、自動的に適切な用紙を選択してコピーします。
※手差しトレイは選択しません。
【例】次の用紙が各カセットにセットされている場合。カセット1：A4、カセット2：B4、カセット3：B5
※カセット3はオプションです。(➡307ページ)



◆カセットを選択したとき

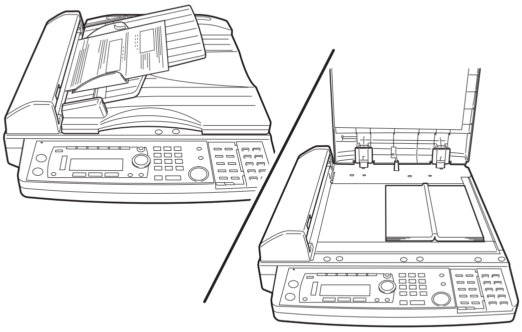
選択したカセットのランプと、そのカセットにセットされている用紙サイズのランプが点灯します。
【例】カセット1（A4用紙がセットされている）を選択したとき



●用紙選択コピーのしかた

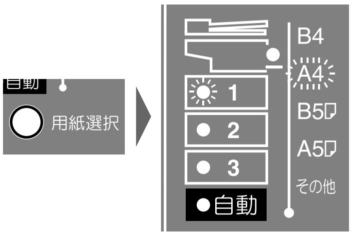
● 手差しコピーをするときは、手差しトレイに用紙をセットしてください。(➡64 ページ)

1 原稿をセットします。(➡44、45ページ)



＊必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。(➡46、47ページ参照)

2 <用紙選択>キーを押して、コピーする用紙を選択します。



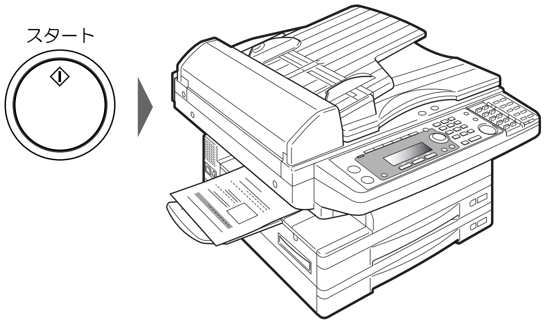
＊手差しコピーをするときは、64ページを参照して手差しトレイに用紙をセットしてください。

3 必要に応じて、他のコピー機能を設定します。

4 コピー部数をテンキーで入力します。

＊1～99部まで設定できます。
＊間違えて入力したときは、<ストップ／クリア>キーを押して数字を消去後、入力し直してください。
＊部数を設定しないときは1部コピーになります。

5 <スタート>キーを押します。コピーを開始します。

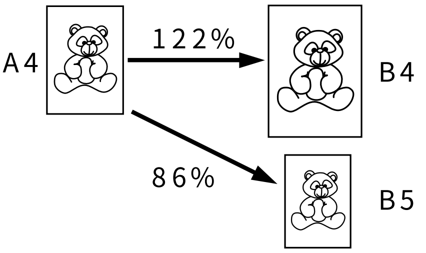


終わり

4 拡大／縮小コピーをする（ズーム）

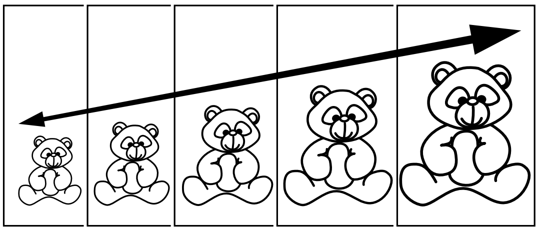
- 拡大／縮小コピーには、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法（自動倍率）と、倍率を設定して拡大／縮小する方法（固定倍率）があります。
- 固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法（任意倍率）があります。

倍率指定



用紙指定（自動倍率）　**任意倍率**

1%刻みに倍率を設定し、拡大／縮小コピーする



●用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率）

- 指定した用紙サイズに合わせて自動的に倍率を選択し、拡大／縮小コピーを行います。

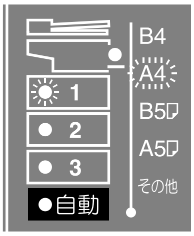
操作の前に

- 原稿サイズを自動検知できないときは、倍率100%にてコピーされます。

1 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**

＊必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

2 **<用紙選択>キーを押して、コピーする用紙を選択します。**



3 **倍率 を押します。**

```
倍率：100%                    定型
等倍                        (100%) ▲
A3→B4,A4→B5                ( 86%) ▼
[ ズーム ][ 定型 ][ 自動 ]
```

4 **① 自動 を押して倍率を自動に設定します。**

```
倍率：自動                    自動

[ ズーム ][ 定型 ][ 自動 ]
```

＊用紙選択が「自動」になっている場合、倍率「自動」を選択すると、カセット1が自動的に選択されます。その場合はコピーしたい用紙を<用紙選択>キーを押して選択してください。

②<セット>キーを押します。

```
コピーできます            セット  1
                    メモリ残量100%
   文字       自動       普通
◀[原稿種類][ 倍率 ][ 濃度 ]▶
```

5 **テンキーで部数を入力します。**

```
コピーできます            セット 12
                    メモリ残量100%
   文字       自動       普通
◀[原稿種類][ 倍率 ][ 濃度 ]▶
```

＊1〜99部まで指定できます。
＊設定しない場合は、自動的に1部コピーされます。
＊間違えて入力したときは、正しい部数を上書き入力するか、<ストップ／クリア>キーを押して部数を消去し、入力し直してください。

6 **<スタート>キーを押します。**

＊倍率を自動的に設定し、選択した用紙にコピーします。

終わり

●倍率を選んで拡大／縮小する（定型倍率）

● あらかじめ設定されている倍率から選択して、自動的に適切な用紙にコピーを行います。

倍率は次の 7 種類です。

・ 141%（A5→A4、B5→B4）
・ 122%（A4→B4、A5→B5）
・ 115%（B5→A4）
・ 100%
・ 86%（A3→B4、A4→B5）
・ 81%（B4→A4、B5→A5）
・ 70%（A3→A4、B4→B5、A4→A5）

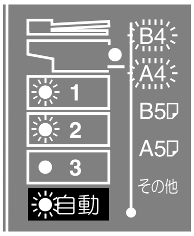
操作の前に

● 選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。（自動給紙装置とブックスキャナでは画像の欠けかたが異なります。）
● 用紙選択を「自動」に設定すると、倍率設定に応じて自動的に用紙を選択させることができます。用紙を選択したいときは、<用紙選択>キーを押してコピーしたい用紙を選択してください。

1 原稿をセットします。（➡44、45ページ）

＊必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

2 <用紙選択>キーを押して、「自動」を選択します。



＊初期設定では「自動」が選択されています。

3 倍率 を押します。

```
倍率：100%                定型
等倍                     (100%) ▲
A3→B4, A4→B5            ( 86%) ▼
[ ズーム ][ 定型 ][ 自動 ]
```

4 ①カーソルキーを押し、定型倍率を選択します。

```
倍率： 86%                定型
A3→B4, A4→B5            ( 86%) ▲
B4→A4, B5→A5            ( 81%) ▼
[ ズーム ][ 定型 ][ 自動 ]
```

＊用紙選択が「自動」になっている場合、倍率「自動」を選択すると、カセット1が自動的に選択されます。その場合、<用紙選択>キーを押して用紙「自動」を選択してください。

②<セット>キーを押します。

```
コピーできます           セット  1
                   メモリ残量100%
  文字         86%       普通
◀[原稿種類][ 倍率 ][ 濃度 ]▶
```

＊選択した倍率が設定されます。

5 テンキーで部数を入力します。

```
コピーできます           セット 12
                   メモリ残量100%
  文字         86%       普通
◀[原稿種類][ 倍率 ][ 濃度 ]▶
```

＊1～99部まで指定できます。
＊設定しない場合は、自動的に1部コピーされます。
＊間違えて入力したときは、正しい部数を上書き入力するか、<ストップ／クリア>キーを押して部数を消去し、入力し直してください。

6 <スタート>キーを押します。

＊設定した倍率で、用紙を自動的に選択しコピーします。
＊手順2で用紙を設定したときは、選択した用紙に設定した倍率でコピーします。

終わり

●倍率を入力して拡大／縮小する（ズーム）

● 倍率を 50 ～ 200% の範囲で 1% きざみに指定でき、細かく拡大／縮小コピーができます。

操作の前に

● 先に定型倍率を設定してから（➡61ページ）ズームで細かく倍率を調整することもできます。

1 原稿をセットします。（➡44、45ページ）
＊必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

2 必要に応じて<用紙選択>キーを押し、コピーする用紙を選択します。

3 倍率 を押します。

倍率：100%　　　　定型
等倍　　　　　　(100%) ▲
A3→B4, A4→B5　　(86%) ▼
[ｽﾞｰﾑ][定型][自動]

4 ズーム を押します。

倍率(50-200)：100%　　ｽﾞｰﾑ
ﾃﾝｷｰまたはｶｰｿﾙの▲▼で
入力してください
[ｽﾞｰﾑ][定型][自動]

5 ①テンキーまたはカーソルキーを押して倍率を設定します。

倍率(50-200)： 65%　　ｽﾞｰﾑ
ﾃﾝｷｰまたはｶｰｿﾙの▲▼で
入力してください
[ｽﾞｰﾑ][定型][自動]

②<セット>キーを押します。

ｺﾋﾟｰできます　　　ｾｯﾄ 1
　　　　　　　ﾒﾓﾘ残量100%
文字　　65%　　普通
◂[原稿種類][倍率][濃度]▸

6 テンキーで部数を入力します。

ｺﾋﾟｰできます　　　ｾｯﾄ 12
　　　　　　　ﾒﾓﾘ残量100%
文字　　65%　　普通
◂[原稿種類][倍率][濃度]▸

＊1～99部まで指定できます。
＊設定しない場合は、自動的に1部コピーされます。
＊間違えて入力したときは、正しい部数を上書き入力するか、<ストップ／クリア>キーを押して部数を消去し、入力し直してください。

7 <スタート>キーを押します。
＊設定した倍率でコピーします。

終わり

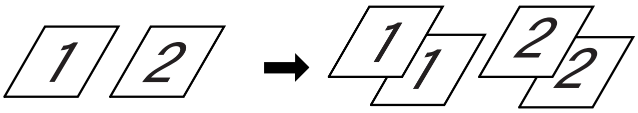
5 用紙を仕分けする（ソート）

● コピーをページ順にそろえることができます。コピーした後に手作業でページをそろえる手間が省けます。

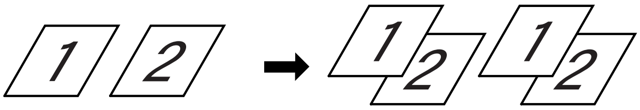
操作の前に

- ソートを常にONに設定することもできます。（➡79ページ）
- ご愛用スイッチキーの登録にて<ソートコピー>キーを削除すると、一時的にソートコピーのON／OFFを切り替えることはできません。（➡246ページ）

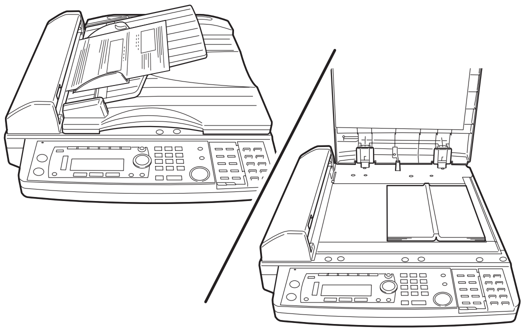
■ソートOFF
原稿ごとに用紙を仕分けします。



■ソートON（ソートコピーランプ点灯）
コピー部ごとに用紙を仕分けします。

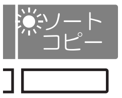


1 原稿をセットします。



＊必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

2 <ソートコピー>キーを押して、ソートコピーランプを点灯させます。ソートONになります。



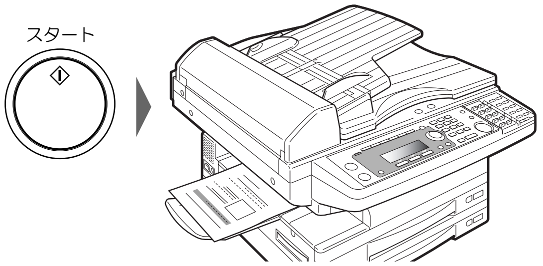
＊キーが点灯し、ソートコピーがONになります。
＊もう一度<ソートコピー>キーを押すと、「ソートOFF」になります。

3 必要に応じて、他のコピー機能を設定します。

4 コピー部数をテンキーで入力します。

＊1～99部まで設定できます。
＊間違えて入力したときは、<ストップ／クリア>キーを押して数字を消去後、入力し直してください。
＊部数を設定しないときは1部コピーになります。

5 <スタート>キーを押します。コピーを開始します。



＊次の原稿を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。（➡53ページ）

終わり

MEMO

- <リセット>キーを押すと、各種設定が解除されます。
- 一定時間なにも操作をしないと、待機画面に戻ります。

6 手差しトレイに用紙をセットする

● 手差しトレイには、用紙カセットにセットできない特殊紙や不定型の用紙、はがきをセットできます。

操作の前に

●用紙は1枚ずつセットします。

●手差しトレイにセットできる用紙

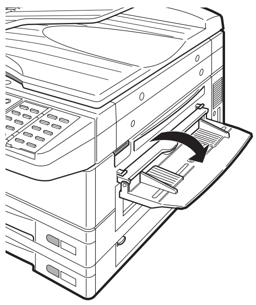
セットできる用紙サイズ ＊1	坪量	用紙種類	セットできる枚数
B4、A4、B5、B5、A5、A5、不定型紙（横:140〜364mm、縦:97〜257mm） 官製はがき、官製往復はがき	普通紙60〜78g／m^2 厚紙79〜157g／m^2	普通紙 厚紙 OHP＊2 封筒＊3 官製はがき＊4	1枚

＊1 次のような用紙は使用しないでください。故障や紙づまりの原因となります。
・破れ、折り目、しわ、湿気、乾燥、カールしているもの
・ホチキス、クリップのような金属製のもの
・パンチ穴、ミシン目、穴、窓があるもの
＊2 住友スリーエム社の3M TY731（PPC 用）を推奨します。裏紙の付いているOHP シートは使用しないでください。
＊3 封筒
・封印用のノリが付いているものは使用しないでください。
＊4 はがき
・切手が貼ってあるもの
・特殊な印刷がされているもの
は使用しないでください。

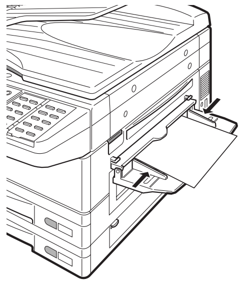
●手差しトレイに用紙をセットする

● いつも使う用紙のサイズを設定しておくことができます。「用紙サイズの設定」にて「手差しトレイ」を選択し、設定したい用紙サイズをセットします。（➡35 ページ）
● 手差しトレイに用紙をセットするたびにサイズを変更したい場合は、「毎回設定」を設定します。（➡35 ページ）
● OHP やはがきなどの特殊紙をセットしたときは、メディア（用紙の種類）の設定を変更してください。（➡35 ページ）
● プリント中は、手差しトレイに用紙をセットすることはできません。

1 **手差しトレイを開きます。**



2 **①ガイドを用紙サイズに合わせて調整します。コピーする面を上にして用紙を差し込みます。**



②自動的に用紙が繰り込まれます。

次のページへ

3 **用紙がセットされると、手差しトレイの設定画面が表示されます。**

```
手差し用紙設定
設定終了
用紙ｻｲｽﾞ設定 ：設定ください
ﾒﾃﾞｨｱ設定    ：普通紙
```

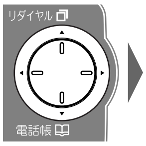
＊用紙サイズ設定が「設定ください」になっている場合は、用紙サイズを必ず設定する必要があります。

---

4 **手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。**

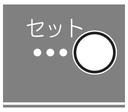
①カーソルキーで「用紙サイズ設定」を選択します。

＊表示されているサイズで良い場合は、そのまま<セット>キーを押します。




```
手差し用紙設定
設定終了
用紙ｻｲｽﾞ設定：設定ください
ﾒﾃﾞｨｱ設定   ：普通紙
```

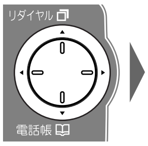
②<セット>キーを押します。




```
手差し用紙ｻｲｽﾞ設定
B4      B5      その他
A4      A5
B5      A5
```

---

5 **①カーソルキーで手差しトレイにセットした用紙を選択します。**




```
手差し用紙ｻｲｽﾞ設定
B4      B5      その他
A4      A5
B5      A5
```

＊不定型用紙・はがきをセットするときは、66ページ、68ページを参照してください。

②<セット>キーを押します。

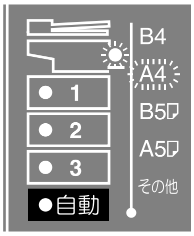
6 **①カーソルキーで「設定終了」を選択します。**

```
手差し用紙設定
設定終了
用紙ｻｲｽﾞ設定 ：A4
ﾒﾃﾞｨｱ設定    ：普通紙
```

②<セット>キーを押します。

---

7 **待機画面に戻ります。**
用紙選択ランプは、「手差し」が点灯し、用紙ランプはセットしたサイズのランプが点灯します。



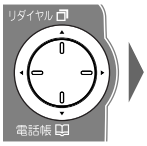
＊不定型紙やはがきなど、その他の用紙を設定した場合は、「その他」のランプが点灯します。

終わり

MEMO

- 手差し用紙をセットした後でも、用紙サイズを変更できます。

  ① <コピー>キーを押してコピー画面に切り替えます。
  ② カーソルキーの右または左を押します。




```
ｺﾋﾟｰできます        ｾｯﾄ  1
                 ﾒﾓﾘ残量100%
            自動
     [読取ｻｲｽﾞ] [手差用紙]
```

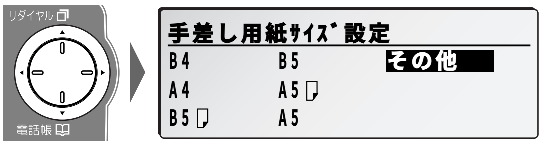
  ③ 手差用紙 を押すと、手順3の画面になります。

●不定型紙を設定するとき

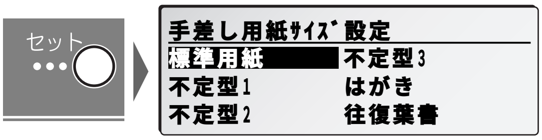
- 不定型サイズの用紙を 3 種類まで登録できます。よく使う用紙のサイズを登録しておくと、次回からサイズの設定を省けます。

1 「手差しトレイに用紙をセットする」の手順1〜4を行います。

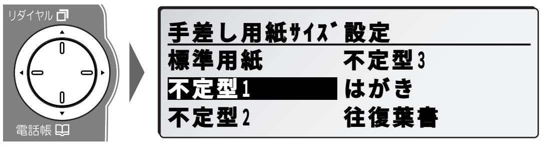
2 ①カーソルキーで「その他」を選択します。



②<セット>キーを押します。



3 ①カーソルキーで設定したい不定型紙（1〜3）を選択します。



②<セット>キーを押します。

4 不定型用紙のサイズを入力します。
①テンキーにて、原稿の横または縦のサイズを入力します。
カーソルキーの上下を押すと、横サイズまたは縦サイズの入力位置に移動します。

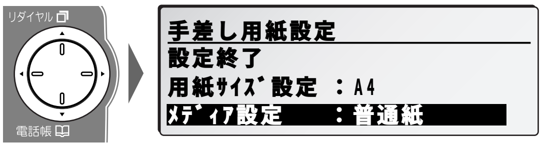
②<セット>キーを押します。
＊65ページ手順6に移ります。

終わり

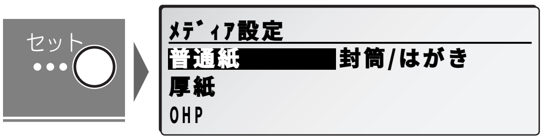
●メディアの設定

- 用紙の種類（メディア）によって、最適にコピーできるように機器を自動的に調整します。メディアは、普通紙、厚紙、OHP 用紙、封筒、はがきを使用できます。

1 ①65ページ手順3より、カーソルキーで「メディア設定」を選択します。

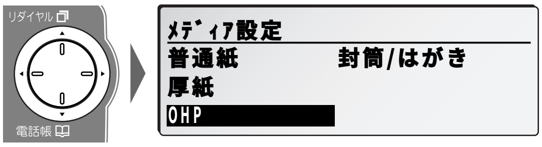


②<セット>キーを押します。

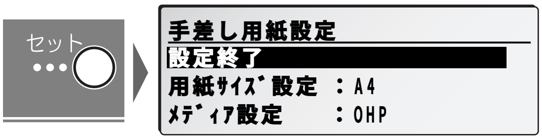


次のページへ

2 ①カーソルキーでメディアを選択します。



②<セット>キーを押します。



＊65ページ手順6に移ります。

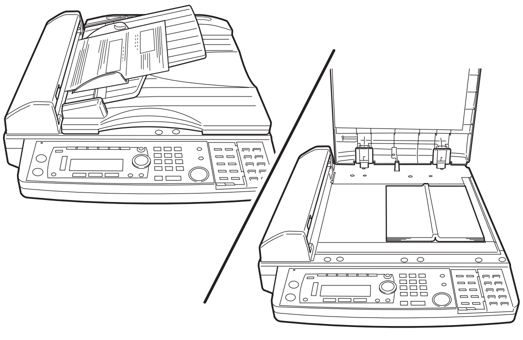
終わり

●手差しコピーをする

1 コピーする面を上にして、手差しトレイに用紙をセットします。（➡64ページ）

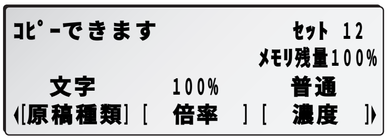
＊用紙設定後、自動的に手差しトレイが選択されます。
＊手差しトレイが選択されていない場合は、<用紙選択>キーで手差しトレイを選択します。

2 原稿をセットします。（➡44、45ページ）



＊必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

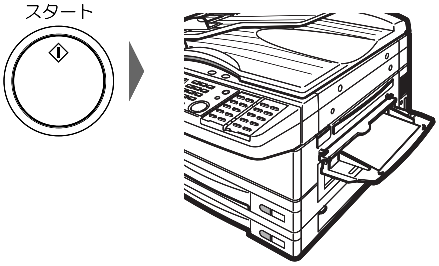
3 テンキーで部数を入力します。



＊1〜99部まで指定できます。
＊設定しない場合は、自動的に1部コピーされます。
＊間違えて入力したときは、正しい部数を上書き入力するか、<ストップ／クリア>キーを押して部数を消去し、入力し直してください。

4 <スタート>キーを押します。

＊手差しトレイの用紙にコピーします。



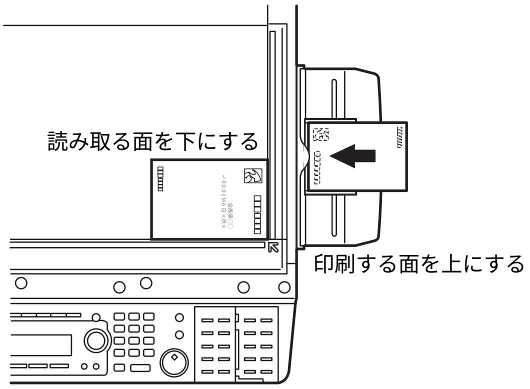
＊複数部コピーする場合は、次の用紙を手差しトレイにセットします。

終わり

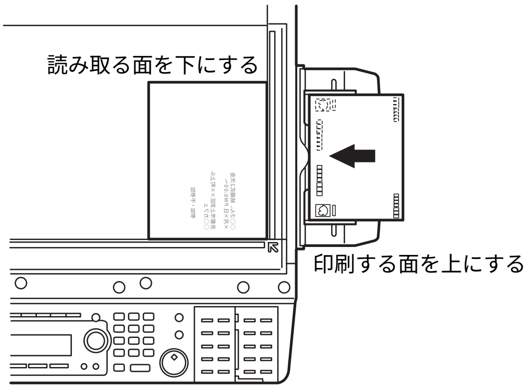
●はがきにコピーする

はがきどうしをコピーする場合は、図のように、はがきの上面（天）と上面を合わせるようにセットします。コピーする方のはがきは、ガラス面にセットします。

■はがきをセットする場合



■往復はがきをセットする場合



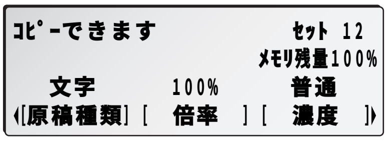
1 手差しトレイに印刷する面を上にして、はがきをセットします。（➡64ページ）

＊「その他」の用紙から、「はがき」または「往復葉書」を設定します。
＊メディア設定で「封筒／はがき」を設定します。
＊用紙設定後、自動的に手差しトレイが選択されます。

2 原稿をセットします。（上記イラスト参照）

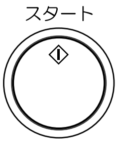
＊読み取る面を下にします。
＊原稿の上部が原稿ガラスの右側になるようにセットします。
＊必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

3 テンキーで部数を入力します。



＊1～99部まで指定できます。
＊設定しない場合は、自動的に1部コピーされます。
＊間違えて入力したときは、正しい部数を上書き入力するか、<ストップ／クリア>キーを押して部数を消去し、入力し直してください。

4 <スタート>キーを押します。



＊複数部コピーする場合は、次の用紙を手差しトレイにセットします。

終わり

コピー編

第2章 応用コピーのしかた

もくじ

1 複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー）........................ 70

2 1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）.. 72

3 2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ連写）....................................... 74

4 前にコピーした原稿を再度コピーする（もう一度コピー）..................... 75

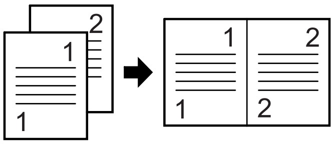
もう一度コピーのしかた 75

もう一度コピー原稿の消去 76

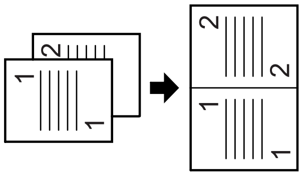
1 複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする（集約コピー）

● 複数枚の原稿を 1 枚の用紙にならべてコピーできます。

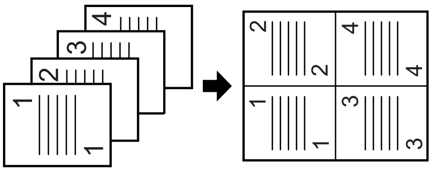
◆原稿 2 枚を 1 枚に



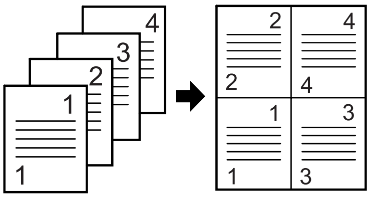
● 用紙にコピーするとき



◆原稿 4 枚を 1 枚に



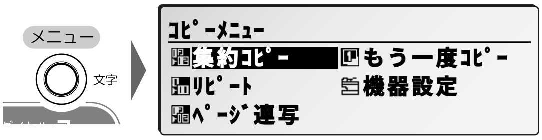
● 用紙にコピーするとき



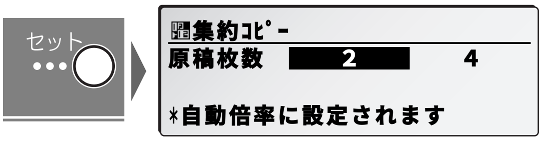
操作の前に

- 1枚の用紙にならべることができる枚数は2枚または4枚です。
- コピー倍率を設定していても、集約コピーを設定した時点で自動倍率に設定されます。倍率を設定したいときは、集約コピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
- 回転コピーはできません。原稿は上のイラストのようにセットしてください。
  →原稿2枚を1枚にする場合は、原稿と用紙の向きを逆にします。
  →原稿4枚を1枚にする場合は、原稿と用紙の向きをそろえます。
- 自動給紙装置で 原稿を集約コピーする場合、読取サイズが自動の場合は、読取サイズを設定してください。（➡57ページ）
- B5、A5の原稿を集約コピーするときは、あらかじめ読取サイズを設定してください。（➡57ページ）

1 **＜メニュー／文字＞キーを押します。**

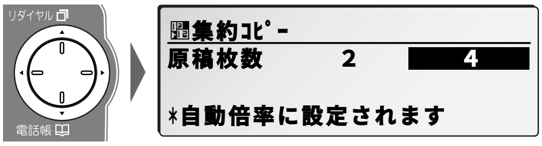


2 **＜セット＞キーを押します。**

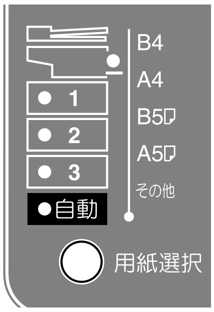


＊自動的に倍率が「自動」にセットされます。

3 **カーソルキーで、1枚の用紙にコピーする原稿の枚数を選択します。**

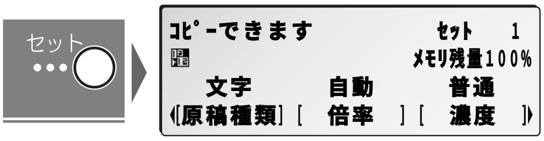


4 **用紙を選択するときは＜用紙選択＞キーを押し、コピーする用紙を選択します。**



＊自動以外を選択してください。
＊用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

5 **＜セット＞キーを押すと、集約コピーが設定されます。**



＊集約コピーが設定されているときは、集約コピーのアイコンが表示されます。
＊＜リセット＞キーを押すと、集約コピー設定が解除されます。

6 **必要に応じて、他の機能を設定します。**

7 **原稿をセットし、＜スタート＞キーを押します。**

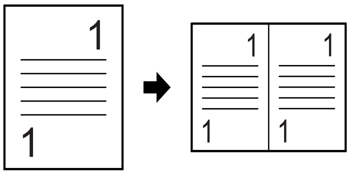
＊原稿は70ページのイラストのように、用紙の向きに応じてセットする方向を変えてください。
＊次の原稿を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。また、自動給紙装置とブックスキャナの混在コピーができます。（➡55ページ）

終わり

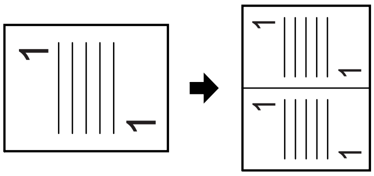
2 1枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。

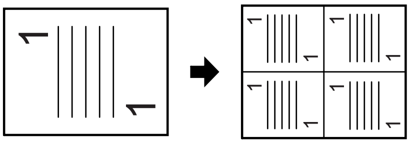
◆ 2 枚リピート



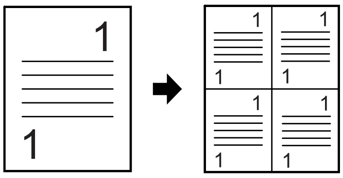
● 用紙にコピーするとき



◆ 4 枚リピート



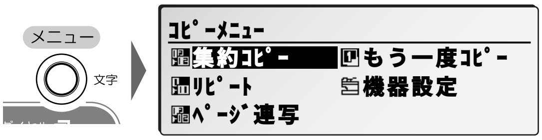
● 用紙にコピーするとき



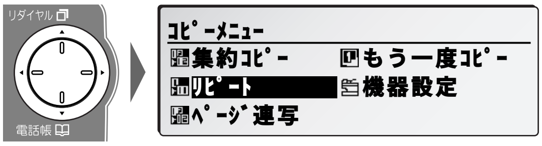
操作の前に

- 1枚の用紙にならべることができる枚数は2枚または4枚です。
- コピー倍率を設定していても、リピートコピーを設定した時点で自動倍率に設定されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 回転コピーはできません。原稿は上のイラストのようにセットしてください。
  →2枚リピートの場合は、原稿と用紙の向きを逆にします。
  →4枚リピートの場合は、原稿と用紙の向きをそろえます。
- 自動給紙装置で原稿をリピートコピーする場合、読取サイズが自動の場合は、読取サイズを設定してください。（➡57ページ）
- B5、A5の原稿をリピートコピーするときは、あらかじめ読取サイズを設定してください。（➡57ページ）

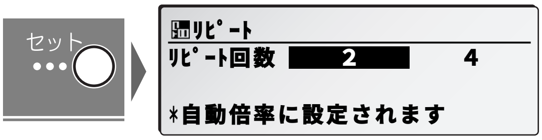
1 ＜メニュー／文字＞キーを押します。



2 ①カーソルキーで「リピート」を選択します。

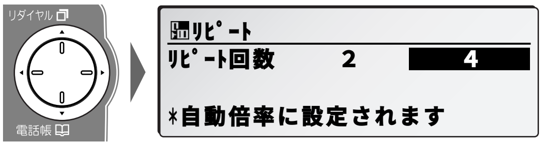


②＜セット＞キーを押します。

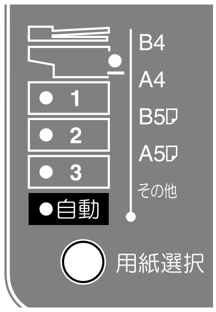


＊自動的に倍率が「自動」にセットされます。

3 カーソルキーで、繰り返しコピーする回数を選択します。

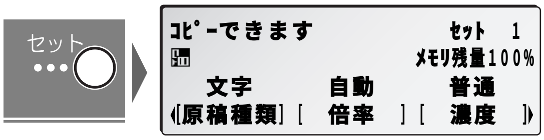


4 用紙を選択するときは＜用紙選択＞キーを押し、コピーする用紙を選択します。



＊自動以外を選択してください。
＊用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

5 ＜セット＞キーを押すと、リピートコピーが設定されます。



＊リピートコピーが設定されているときは、リピートコピーのアイコンが表示されます。
＊＜リセット＞キーを押すと、リピートコピー設定が解除されます。

6 必要に応じて、他の機能を設定します。

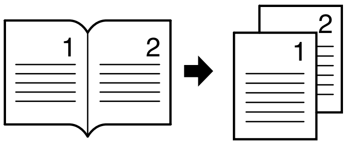
7 原稿をセットし、＜スタート＞キーを押します。

＊原稿は72ページのイラストのように、用紙の向きに応じてセットする方向を変えてください。

終わり

3 2ページを1枚ずつコピーする(ページ連写)

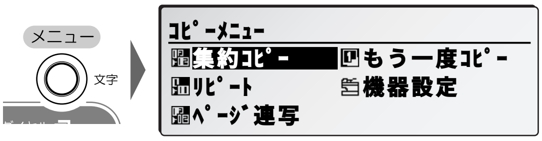
- 本などの閉じた原稿の見開きページを、片面ずつ別々の用紙にコピーします。



操作の前に

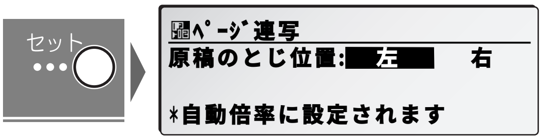
- コピー倍率を設定していても、ページ連写を設定した時点で自動倍率に設定されます。倍率を設定したいときは、ページ連写設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 自動給紙装置は使用できません。ブックスキャナからのみページ連写コピーができます。

1 **<メニュー／文字>キーを押します。**



2 **①カーソルキーで「ページ連写」を選択します。**

②<セット>キーを押します。

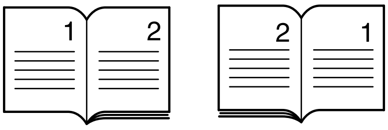


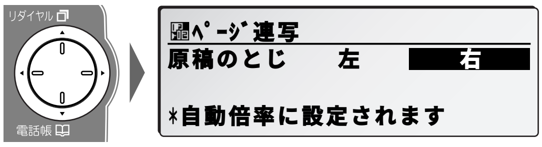
＊自動的に倍率が「自動」にセットされます。

3 **カーソルキーの左右でセットする原稿のとじ方向を選択します。**

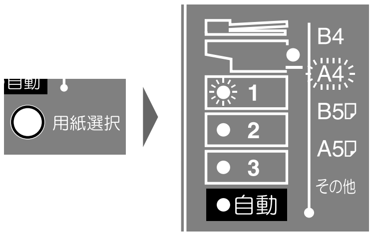
＊本書は左とじです。

左とじの原稿　　**右とじの原稿**



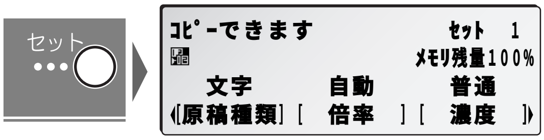


4 **用紙を選択するときは<用紙選択>キーを押し、コピーする用紙を選択します。**



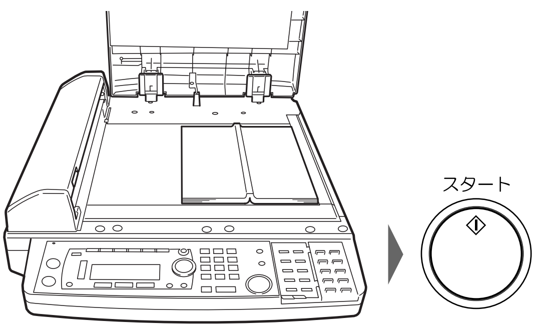
＊自動以外を選択してください。

5 **<セット>キーを押すと、ページ連写が設定されます。**



＊ページ連写が設定されているときは、ページ連写のアイコンが表示されます。
＊<リセット>キーを押すと、ページ連写設定が解除されます。

6 **原稿をセットし、<スタート>キーを押します。**



終わり

4 前にコピーした原稿を再度コピーする（もう一度コピー）

● 前にコピーした原稿を一定時間記憶しておくことにより、原稿が無くても同じコピーをすることができます。

操作の前に

- もう一度コピーは、前の原稿がメモリに残っているときにできます。（➡ポイント）
- 電源をOFF／ONしたときやコピー原稿の保存時間を過ぎたとき、送信原稿を読み取ったとき、受信でメモリが必要になったとき、もう一度コピー原稿が消去されたときは、もう一度コピーはできません。
- コピー原稿を保存する時間を指定できます。（➡79ページ）
- もう一度コピーの初期設定はできない設定（0分）になっています。もう一度コピーをする場合は「もう一度コピー自動消去」の設定値を0分以外に設定してください。（➡79ページ）

ポイント

- 直前にコピーした原稿のメモリ使用量によって、もう一度コピーの対象になる原稿が変わります。
  メモリ残量が十分なときは、すべてのページがもう一度コピーの原稿になります。

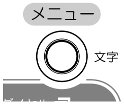
```
もう一度ｺﾋﾟｰ          ｾｯﾄ  1
部数をｾｯﾄしてｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
直前の002ﾍﾟｰｼﾞ分がｺﾋﾟｰできます
                    [原稿消去]
```

十分なメモリ残量がない状態でコピーした場合は、最後にプリントしたページがもう一度コピーの原稿になります。

```
もう一度ｺﾋﾟｰ          ｾｯﾄ  1
部数をｾｯﾄしてｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
直前の002ﾍﾟｰｼﾞ目がｺﾋﾟｰできます
                    [原稿消去]
```

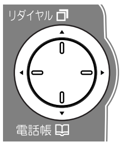
●もう一度コピーのしかた

1 ＜メニュー／文字＞キーを押します。



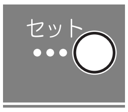

```
ｺﾋﾟｰﾒﾆｭｰ
集約ｺﾋﾟｰ      もう一度ｺﾋﾟｰ
ﾘﾋﾟｰﾄ         機器設定
ﾍﾟｰｼﾞ連写
```

2 ①カーソルキーで「もう一度コピー」を選択します。




```
ｺﾋﾟｰﾒﾆｭｰ
集約ｺﾋﾟｰ      もう一度ｺﾋﾟｰ
ﾘﾋﾟｰﾄ         機器設定
ﾍﾟｰｼﾞ連写
```

②＜セット＞キーを押します。




```
もう一度ｺﾋﾟｰ          ｾｯﾄ  1
部数をｾｯﾄしてｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
直前の002ﾍﾟｰｼﾞ分がｺﾋﾟｰできます
                    [原稿消去]
```

3 コピー部数をテンキーで入力します。

```
もう一度ｺﾋﾟｰ          ｾｯﾄ  3
部数をｾｯﾄしてｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
直前の002ﾍﾟｰｼﾞ分がｺﾋﾟｰできます
                    [原稿消去]
```

＊部数を間違えたときは、＜ストップ／クリア＞キーを押すと1部に戻ります。

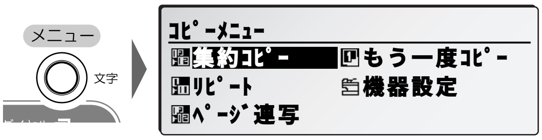
4 ＜スタート＞キーを押します。
コピーを開始します。

＊電源をOFF／ONしたときやコピー原稿の保存時間を過ぎたとき、もう一度コピー原稿が消去されたときなど、メモリ内に原稿が残っていない場合は「原稿がありません」と表示されます。
＊コピー原稿の保存時間の変更方法は「もう一度コピー自動消去」（➡79ページ）を参照してください。

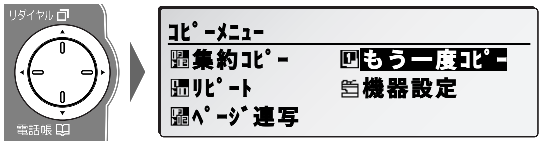
終わり

●もう一度コピー原稿の消去

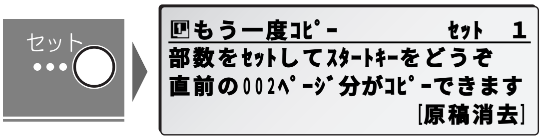
1 <メニュー／文字>キーを押します。



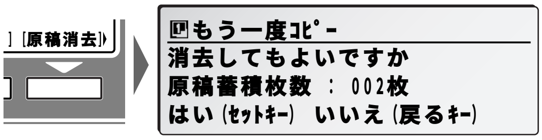
2 ①カーソルキーで「もう一度コピー」を選択します。



②<セット>キーを押します。



3 原稿消去 を押します。



4 <セット>キーを押すと、もう一度コピー用の原稿を消去します。

＊<戻る>キーを押すと手順2－②に戻ります。

終わり

コピー編

第3章 機能の設定

もくじ

1 コピー機能の初期設定 78

コピー機能設定例 78

コピー設定一覧 79

コピー設定リストプリント例 80

2 機能の組み合わせ一覧 81

1 コピー機能の初期設定

● コピー機能の初期設定や、コピーする原稿の種類や濃度の初期設定値を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておくと、設定の手間が省けます。

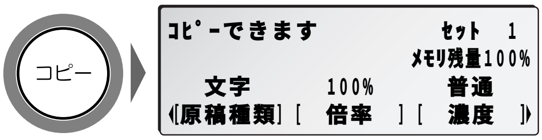
操作の前に

● 初期設定とは、電源を入れたときや、＜リセット＞キーを押して待機画面に戻したときの状態を言います。また、何も操作せずに一定時間放置すると初期設定にもどります。（コピー画面自動リセット）
● 出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値（初期値）のことです。

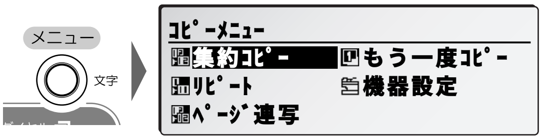
●コピー機能設定例

●「02. 原稿種類初期設定」を設定する例を説明します。

1 ＜コピー＞キーを押して、コピー画面に切り替えます。

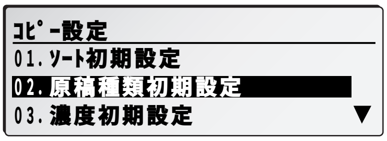


2 ＜メニュー／文字＞キーを押します。

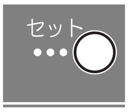


3 設定したい機能の番号をテンキーで入力します。

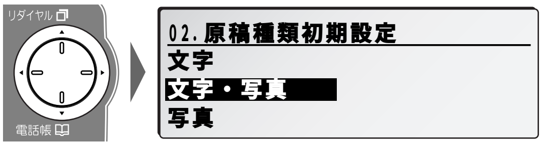
【例】「02. 原稿種類初期設定」を設定するとき
テンキー＜0＞＜2＞を押します。



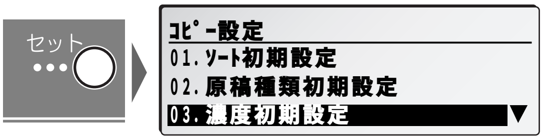
4 ＜セット＞キーを押します。



5 カーソルキーで設定値を選択します。



6 ＜セット＞キーを押すと選択した設定値がセットされ、次の設定画面になります。他の設定を続けて行えます。



＊操作を終了するときは＜リセット＞キーを押します。

終わり

MEMO

● コピーまたはファクス待機画面から＜メニュー／文字＞→「機器設定」選択→＜セット＞→「コピー設定」選択と操作し、設定したい機能を選択することもできます。

●コピー設定一覧

機　能	機能説明	設定値
01．ソート初期設定	ON に設定すると、初期設定にてソートが ON になります。ソートコピーが多い場合 ON に設定しておくと、設定の手間が省けます。 ＊一時的にソートコピーをONまたはOFFにする時は、<ソートコピー>キーを押して設定します。（➡63ページ）	ON OFF
02．原稿種類初期設定	コピーする原稿の種類の初期設定を行います。よくコピーする原稿に合わせて設定しておくと設定の手間が省けます。	文字 文字・写真 写真
03．濃度初期設定	コピーする原稿の濃度の初期設定を行います。よくコピーする原稿に合わせて設定しておくと設定の手間が省けます。	濃く ・　（少し濃く） 普通 ・　（少し薄く） 薄く
04．もう一度コピー自動消去	もう一度コピー用の原稿をメモリに蓄積しておく時間を設定します。設定を 0 分のままにしておくと、原稿をメモリに蓄積しません。（もう一度コピーができなくなります）	0 ～ 600 分：0 分
05．コピー画面自動リセット	■リセット時間： 一定時間操作をしないときに待機画面に戻し、設定を初期設定に戻すまでの時間を設定します。設定値は 30 ～ 600 秒で、テンキーにて入力します。 ■読取終了： 「する」に設定すると、原稿の読み取り終了後、リセット時間に関わらず、原稿種類や濃度の設定を初期設定に戻します。	30 ～ 600 秒：180 秒 する しない
06．コピー設定リストプリント	コピー設定の設定状況をリストプリントします。	➡80 ページを参照

＊______のついている値が、出荷時設定です。

●コピー設定リストプリント例

プリント例

＊＊　コピー設定リスト　＊＊

8192 KB　　　　　　　　　　　　2002年 1月28日(月) 13:30

ｺﾋﾟｰｿｰﾄ	ON	OFF			
原稿種類初期設定	文字	文字・写真		写真	
濃度初期設定	薄く	--	普通	--	濃く
もう一度ｺﾋﾟｰ自動消去	000 分後				
ｺﾋﾟｰ画面自動ﾘｾｯﾄ	180 秒後		読取終了	する	しない

2 機能の組み合わせ一覧

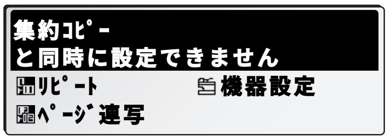
設定されている機能 ＼ 設定しようとする機能		読取方法			マルチコピー		もう一度コピー	集約コピー		リピートコピー		ページ連写	用紙選択				倍率指定			給紙選択		メディア選択		ご愛用スイッチ	
		ブックスキャナ	自動給紙	ブックスキャナ／自動給紙	ソートコピー	ノンソートコピー		原稿2枚→コピー1枚	原稿4枚→コピー1枚	2リピート	4リピート		自動用紙選択	手動 標準用紙選択	手動 他の用紙選択	不定型用紙選択	自動倍率指定	固定倍率指定	ズーム指定	手差し	給紙ユニット	普通紙	普通紙以外	鉛筆読み取り	車検証読み取り
読取方法	ブックスキャナ	■	●	■																					
	自動給紙	×	■	■								×													
	ブックスキャナ／自動給紙		■	■								×													
マルチコピー	ソート				■	●																			
	ノンソート				●	■																			
もう一度コピー							■																		
集約コピー	原稿2枚→コピー1枚							■	●	×	×	×	■												
	原稿4枚→コピー1枚							●	■	×	×	×	■												
リピートコピー	2リピート							×	×	■	●	×	■												
	4リピート							×	×	●	■	×	■												
ページ連写			×	×				×	×	×	×	■	■												
用紙選択	自動用紙選択							■	■	×	×	■	■	●	●	●	●			●			■		
	手動 標準用紙選択												●	■	●	●									
	手動 他の用紙選択												●		■	●	■								
	不定型用紙選択												●	●	●	■	■				■				
倍率指定	自動倍率指定												●		■	■	■	●	●						
	固定倍率指定																●	■	●						
	ズーム指定																●	●	■						
給紙選択	手差し												●							■	●				
	給紙ユニット															■				●	■		■		
メディア選択	普通紙																					■	●		
	普通紙以外												×								■	●	■		
ご愛用スイッチ	鉛筆読み取り																							■	●
	車検証読み取り																							●	■

空白　：同時設定可能
■　：同時設定不可能
●　：後から設定したものが有効
×　：先に設定したものが有効、または後から設定できない

MEMO

- 応用コピー設定時、組み合わせできない応用コピーを設定したときは、「～と同時設定できません」と表示されます。

【例】集約コピーが既に設定されているとき



- 組み合わせを解除するには、<リセット>キーを押して全ての設定を解除し、初めから設定し直してください。

MEMO

ファクス編

第1章 基本的な使いかた

もくじ

1 送信のしかた **84**
基本的な送信のしかた 84
原稿サイズが検知できないとき 85
自動給紙装置とブックスキャナの両方を使って送信する 86
原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ） 88
自動リダイヤルについて 89
同じ相手に再度送信する（リダイヤル） 89
手動送信のしかた 90
電話帳検索のしかた 91
送信時にメモリオーバーしたとき 93
送信予約数をオーバーしたとき 93
2 送信するときの便利な機能 **94**
送信方法の設定（メモリ送信／リアルタイム送信） 94
ダイヤル記号について 94
済スタンプを押す（自動給紙装置のときのみ） 95
通信証を発行する 96
3 送信文書を中止／確認する **97**
送信文書の中止／確認 97
同報送信・グループ送信の宛先別の中止／確認 98
通信予約原稿のプリント 99
通信予約リストのプリント 100
4 受信のしかた **101**
ファクス専用で自動受信する（ファクス待機） 101
ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機） 102
電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機） 103
留守番電話とファクスを兼用する（留守／ファクス待機） 104
電話を中心に使用する（電話待機） 105
増設電話でファクスを受ける（リモート受信） 106
ダイヤルイン待機 107
5 受信中の動作について **109**
受信中の表示について 109
代行受信について 109
6 記録のしかた **110**
有効記録サイズについて 110
受信縮小について 110
しきい値について 111
ページ合成について 111
ページ分割について 112
回転受信について 112
記録のしかた 113
用紙サイズの優先順位 114
7 電話のしかた **115**
電話をかける 115
電話を受ける 116
通信の後に相手と話す（会話予約） 116

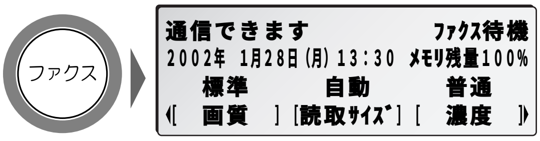
1 送信のしかた

●基本的な送信のしかた

操作の前に

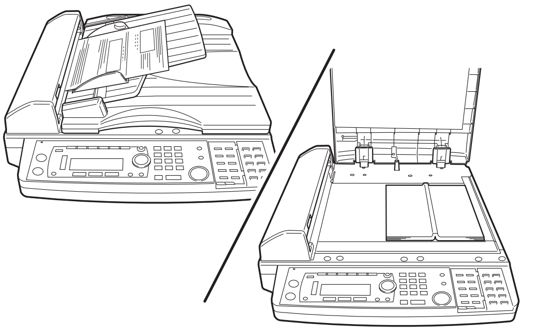
- <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えておきます。
- ワンタッチキーや短縮ダイヤル使用するときは、あらかじめ登録しておきます。（➡207、215ページ）
- ブックスキャナで送信するときは、自動給紙装置に原稿が無いことを確認してください。
- ご愛用スイッチキーの登録にて<短縮>キーを削除すると、短縮ダイヤルは使用できません。（➡246ページ）

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



2 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

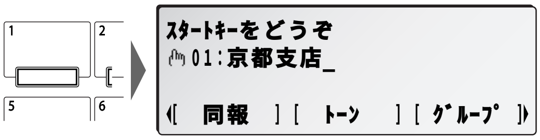


3 **相手先のファクス番号を指定します。**

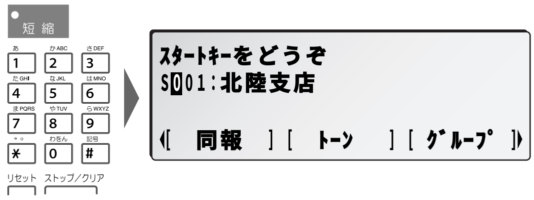
A. テンキーで指定するとき
テンキーを押して、相手先の番号を入力します。

＊番号は40桁まで入力できます。
＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（➡94ページ）

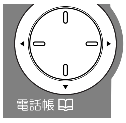
B. ワンタッチキーで指定するとき
相手先が登録されているワンタッチキーを押します。



C. 短縮ダイヤルで指定するとき
①<短縮>キーを押します。
②テンキーで短縮番号を入力します。

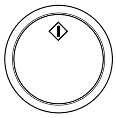


D. 電話帳で指定するとき
①カーソルキー下（電話帳）を押します。



②相手先を検索します。（➡91 ページ）
③<セット>キーを押します。

4 **<スタート>キーを押します。**



原稿が読み取られ、相手先に送信されます。
＊原稿サイズが検知できないときは、カーソルキーでサイズを指定してください。

ブックスキャナで送信する場合、2枚目の原稿があるときは、1枚目読み取り後、原稿をセットして<スタート>キーを押してください。2枚目の原稿がないときは、1枚目読み取り後、なし を押してください。

＊ なし を押さずにおくと、しばらくしてから自動的に送信を開始します。

終わり

ポイント

- 複数の相手先を指定するには 同報 を押し、相手先を区切り、次の相手先を入力します。（「同報送信」➡118ページ）
- ＜スタート＞キーを押した後でも、原稿を読み取り中の場合は、＜ストップ／クリア＞キーを押すと読み取りを中断することができます。
- 通信中に送信の予約をすることができます。現在の通信が終了すると、予約した送信を開始します。最大100通信まで送信予約できます。

MEMO

- 送信の中断は97ページを参照してください。

●原稿サイズが検知できないとき

ブックスキャナはB4、A4、B5□、A5□原稿を自動検知できます。原稿サイズが検知できないときは以下の表示になります。

```
読取ｻｲｽﾞを指定してください
A4          A5□
B4
B5□
```

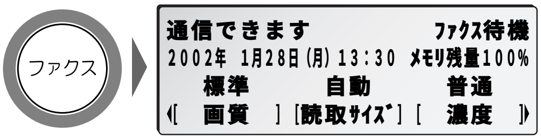
➡カーソルキーで原稿サイズを指定し、＜セット＞キーを押します。

- あらかじめ、読み取るサイズを指定することもできます。(➡88 ページ)
- 自動給紙装置は、原稿の幅（A3、B4、A4）だけを検知します。原稿の長さは読み取った分だけ送信します。

●自動給紙装置とブックスキャナの両方を使って送信する

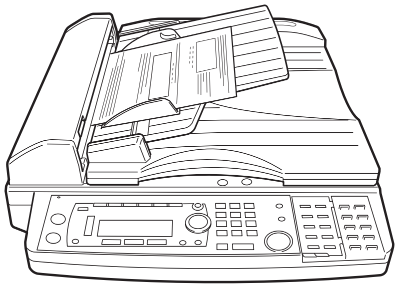
自動給紙装置で読み取り後、ブックスキャナで原稿を読み取り送信する

1　<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。



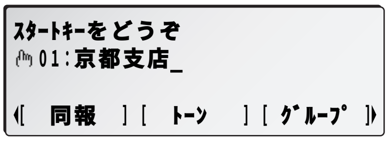
2　送信する面を上に向け、原稿をセットします。（➡44ページ）

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

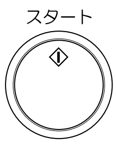


3　相手先のファクス番号を入力します。

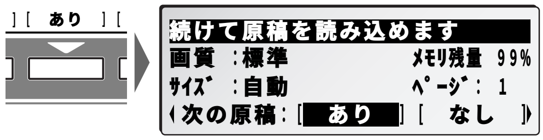
＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。（➡89、91ページ）



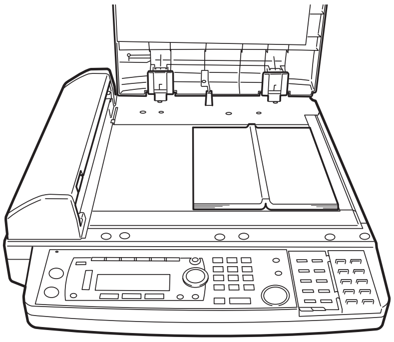
4　<スタート>キーを押します。



5　原稿読み取り中に あり を押します。



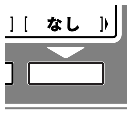
6　読み取り終了後、ブックスキャナに次の原稿をセットします。（➡45ページ）



7　<スタート>キーを押します。原稿の読み取りが始まります。

＊次の原稿があるときは、次の原稿をセットして<スタート>キー を押してください。
＊次の原稿が無いときは、手順8に進みます。

8　なし を押します。送信を開始します。



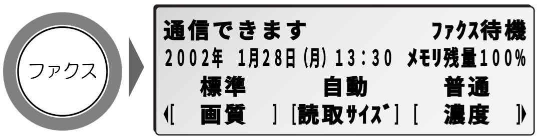
終わり

MEMO

●送信の中断は97ページを参照してください。

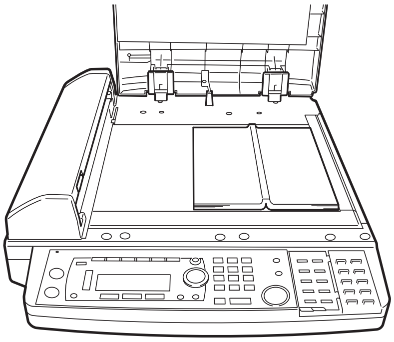
ブックスキャナで読み取り後、自動給紙装置で原稿を読み取り送信する

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



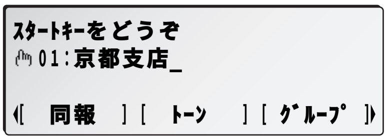
2 **原稿をセットします。（➡45ページ）**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）



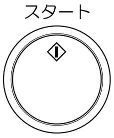
3 **相手先のファクス番号を入力します。**

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。(➡89、91ページ)

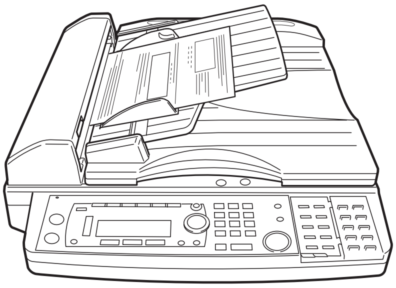


4 **<スタート>キーを押します。**

＊原稿サイズが検知できないときは、カーソルキーでサイズを指定してください。



5 **読み取り終了後、自動給紙装置に次の原稿をセットします。（➡44ページ）**



6 **<スタート>キーを押します。読み取り終了後、送信を開始します。**

終わり

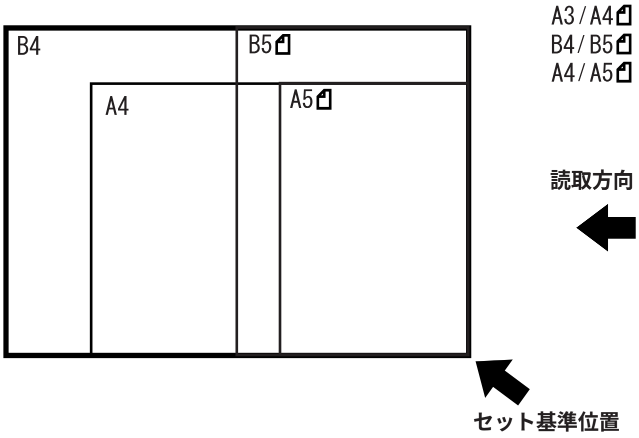
ポイント

- 次原稿を読み取らせるには、原稿の読み取り中、次原稿の設定を「あり」にします。
- 自動給紙装置は初期設定にて次原稿が「なし」に設定されていますので、次原稿を読み取らせるためには原稿の読み取り中に次原稿「あり」を選択します。ブックスキャナは初期設定にて次原稿が「あり」に設定されています。
- 読み取り中、次原稿「なし」に設定すると、読み取り終了後送信を開始します。

●原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ）

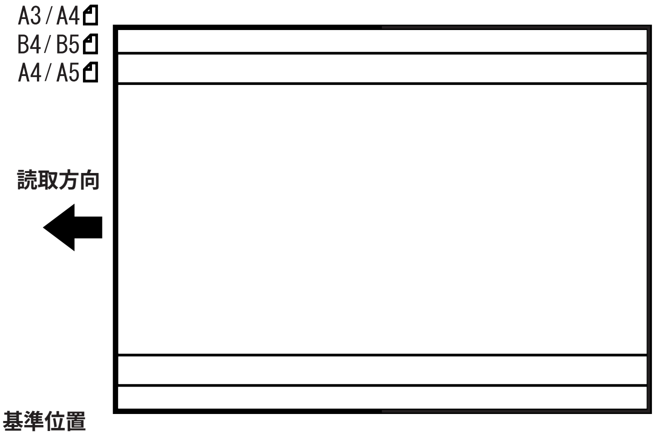
- あらかじめ読取サイズを設定して送信することができます。原稿の一部を送信したいときや、原稿のサイズを指定したいときなどに便利です。（部分送信）
- 自動給紙装置から送信するときは、原稿幅の指定になります。

● ブックスキャナの場合



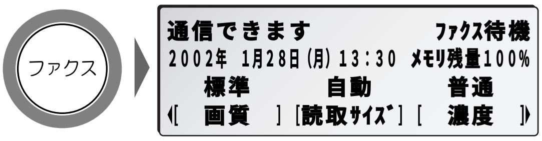
- 設定したサイズ分だけ読み取ります。
- セット基準位置が読み取りの基準になります。
- A3、A4▯は読み取りできません。

● 自動給紙装置の場合



- 設定したサイズの幅だけ読み取ります。
- 原稿の長さは、読み取った分だけ送信します。

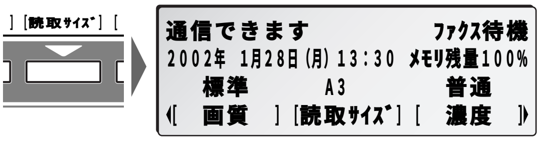
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面を表示させます。**



2 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

3 **読取サイズ を押します。**



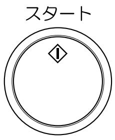
4 **読取サイズ で、読み取りたい部分のサイズを選択します。**

＊ 読取サイズ を押すごとに、A3 → B4 → A4 → A4▯ → B5▯ → A5▯ →自動と画面が変わります。
＊「自動」を選択すると、原稿サイズを自動検知します。自動給紙装置では、原稿の幅（A3、B4、A4）だけを検知します。

5 **相手先のファクス番号を入力します。**

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。（➡89、91ページ）

6 **<スタート>キーを押します。**



終わり

●自動リダイヤルについて

- 自動送信のとき相手が通信中などで送信できない場合は、自動的に1分おきに15回までリダイヤル（再ダイヤル）します。手動送信の場合はリダイヤルしません。
- 自動リダイヤルの回数と間隔は、2回～15回および0分～5分の間で変更することができます。（203ページ参照）
- 自動リダイヤルを待機しているときは、液晶ディスプレイは以下の表示となります。

通信できます　　　　ﾘﾀﾞｲﾔﾙ待ち
2002年 1月28日(月)13:30 ﾒﾓﾘ残量 99%
標準　　自動　　普通
[画質][読取ｻｲｽﾞ][濃度]

※リダイヤル回数分繰り返して送信しても、相手先につながらなかった場合は「リダイヤルオーバーしました」と表示され、再度リダイヤルを繰り返すことができます。

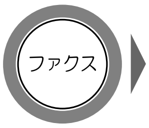
ﾘﾀﾞｲﾔﾙｵｰﾊﾞｰしました
01:京都支店
へ再送しますか？
はい (ｾｯﾄｷｰ)　いいえ (ｽﾄｯﾌﾟｷｰ)

- <セット>キーを押すと、再度リダイヤルを行います。
- <ストップ／クリア>キーを押すと、リダイヤルを中止し、チェックメッセージ「もう一度ダイヤルして下さい」がプリントされます。

●同じ相手に再度送信する（リダイヤル）

- ファクスを送った相手、電話をかけた相手を 10 件まで記憶しています。

1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。

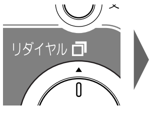


通信できます　　　　ﾌｧｸｽ待機
2002年 1月28日(月)13:30 ﾒﾓﾘ残量100%
標準　　自動　　普通
[画質][読取ｻｲｽﾞ][濃度]

2 原稿をセットします。（➡44、45ページ）

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

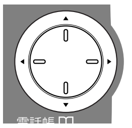
3 カーソルキー上（リダイヤル）を押します。



ﾘﾀﾞｲﾔﾙ 履歴
0:075-111-3333
1:06-6666-7777
2:0792-11-1111 ▼

4 ①カーソルキーで相手先を選択します。

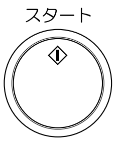
＊カーソルキー下を押すごとに、2つ前、3つ前というようにさかのぼって、10件分までのファクス番号・電話番号が表示されます。



ﾘﾀﾞｲﾔﾙ 履歴
0:075-111-3333
1:06-6666-7777
2:0792-11-1111 ▼

②<セット>キーを押します。

5 <スタート>キーを押します。原稿の読み取りが始まります。



終わり

MEMO

- リダイヤルは、1件につき40桁までのダイヤルを記憶しています。
- リダイヤルは、本体のテンキー・ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・電話帳ダイヤルでファクスを送った相手、電話をかけた相手を10件まで記憶しています。本体電話のテンキーで電話をかけた場合は記憶しません。

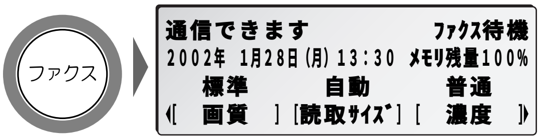
●手動送信のしかた

● 相手が手動受信の場合や、会話の後で送信する方法です。

操作の前に

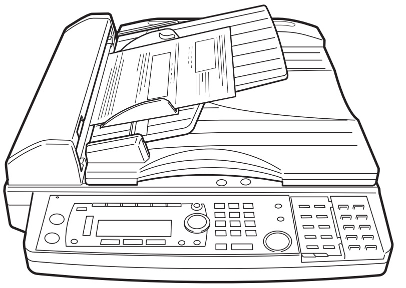
- 受話器を上げて送る場合は、オプション品の本体電話が必要です。（➡307ページ）
- ブックスキャナからの手動送信はできません。
- ご愛用スイッチキーの登録にて<フック／会話予約>キーを削除すると、手動送信はできません。（➡246ページ）

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面を表示させます。**



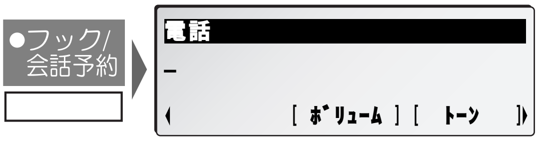
2 **原稿をセットします。（➡44ページ）**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）



3 **<フック／会話予約>キーを押します。（または、本体電話をあげます）**

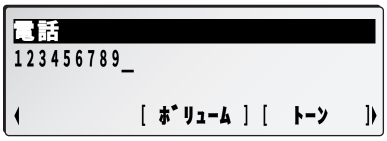
＊ツーという発信音を確認します。



4 **相手先のファクス番号を入力します。**

＊テンキー、本体電話のダイヤルキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、リダイヤルで指定できます。

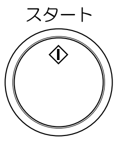
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。（➡89、91ページ）



5 **相手先につながったら会話します。会話後に相手先でファクスの受信操作をしてもらいます。**

＊相手先につながったとき「ピー」と聞こえたときは<スタート>キーを押します。

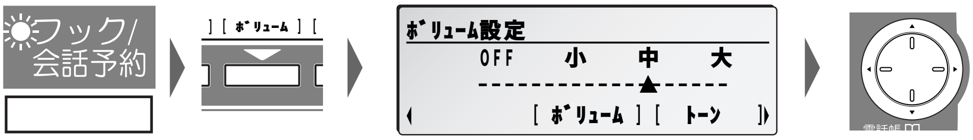
6 **「ピープルプル」という音が聞こえたら、<スタート>キーを押します。送信が始まります。（本体電話をあげて発信したときは、元に戻します。）**



終わり

ポイント

- ＜フック／会話予約＞キーを押したときのスピーカー音量を調整できます。
  ＊＜フック／会話予約＞キー → ボリューム を押し、カーソルキーの左右にて音量を調節します。



MEMO

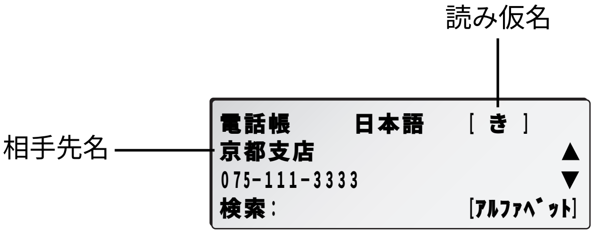
- 送信はリアルタイム送信になります。
- 相手先の番号を間違えたときは、初めからやり直してください。
- 送信を中止したいときは、＜ストップ／クリア＞キーを押します。
- 通信が終了した後、本体電話が外れているとアラームがなります。

●電話帳検索のしかた

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した相手先を 50 音別に検索して送信することができます。
- あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、相手先名が登録されている必要があります。（➡207、215 ページ）

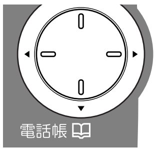
- **表示の見かた**

  電話帳は名前の 1 文字目によって、日本語、アルファベット、記号の順番で表示されます。

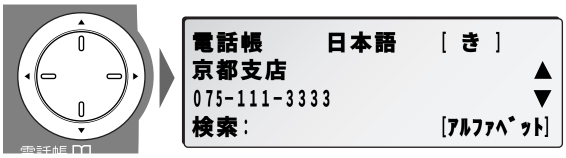


- **簡単に検索するとき**

  ① カーソルキー下（電話帳）を押します。



② カーソルキーを押して、相手先を選択します。



③ ＜セット＞キーを押します。

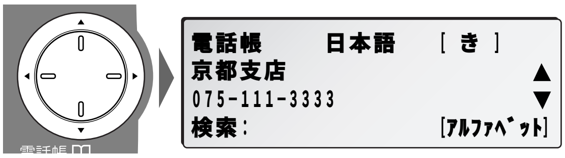
- 選択した相手先が入力されます。
- 「電話」と表示されているときは、相手先電話番号が入力されます。

- **多くの相手先名から検索するとき**
  日本語の名前を検索するとき

① 読み仮名（相手先の 1 文字目）が含まれる行のテンキーを押します。

【例】 ● 名前が「京都支店」、読み仮名の登録が「キ」の場合、カ行に含まれるのでテンキーの＜ 2 ＞を押します。

② カーソルキーで目的の相手先を表示させます。



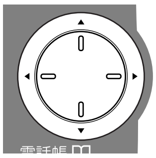
- **アルファベットの名前を検索するとき**

① アルファベット を押します。

② 相手先名の 1 文字目が含まれる行のテンキーを押します。

【例】 ● 名前が「BCD 会社」の場合、テンキーの＜ 2 ＞を押します。

③ **カーソルキーで目的の相手先を表示させます。**



電話帳　　ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ ［ B ］
ＢＣＤ会社
012-345-6789　▲▼
検索：　　［ 日本語 ］

- 日本語に戻るときは、日本語 を押します。

●送信時にメモリオーバーしたとき

- 原稿の蓄積中にメモリ容量をオーバーしたときは、次のようなメッセージが表示されます。
メッセージは２種類あります。

- クイックメモリ送信がONの場合にメモリがいっぱいになったとき、または、クイックメモリ送信がOFFの場合に１枚目の原稿でメモリがいっぱいになったとき

ｽﾄｯﾌﾟｷｰで原稿を排出して下さい
2002年 1月28日(月) 13:30 ﾒﾓﾘ残量 1%
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰしました
《［ 画質 ］［読取ｻｲｽﾞ］［ 濃度 ］》

- クイックメモリ送信がONの場合、２枚目以降の原稿でメモリがいっぱいになったときは、チェックメッセージがプリントされ、メモリオーバーが発生したページ番号がプリントされます。
- メモリが空くのを待つか、リアルタイム送信にてプリントされたページより送信し直してください。

- クイックメモリ送信がOFFの場合に２枚目以降の原稿でメモリがいっぱいになったとき

ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰしました
原稿蓄積枚数　：　28枚
蓄積分を有効にしますか？
はい (ｾｯﾄｷｰ)　いいえ (戻るｷｰ)

- ＜セット＞キーを押すと、メモリに蓄積した原稿のみを送信します。
- ＜戻る＞キーを押すと、メモリに蓄積した原稿を消去します。
- 何も押さずに３分（ファクス画面自動リセットで設定した時間➡204ページ）経つと、メモリに蓄積した原稿を消去します。

●送信予約数をオーバーしたとき

- 送信予約を100件セットすると、自動送信できなくなります。その場合は＜フック／会話予約＞キーを押して手動送信を行ってください。

2 送信するときの便利な機能

●送信方法の設定（メモリ送信／リアルタイム送信）

自動送信には、原稿を読み込んだ後に送信を開始するメモリ送信と、原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信とがあります。お買い上げ時はメモリ送信が設定されていますが、＜メモリ送信＞キーを押してランプを消灯させて、一通信のみリアルタイム送信を指定することもできます。

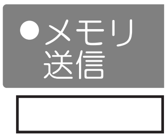
＊常にリアルタイム送信を優先することもできます。（➡203ページ）
＊ご愛用スイッチキーの登録にて＜メモリ送信＞キーを削除すると、一通信ごとの切り替えはできません。（➡246ページ）

●リアルタイム送信

リアルタイム送信とは、原稿をメモリに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後、すぐに送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。

●メモリ送信

メモリ送信とは、原稿をメモリに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。



MEMO

- ブックスキャナからのリアルタイム送信はできません。リアルタイム送信に設定していても自動的にメモリ送信に切り替わります。原稿によっては、メモリオーバーになる場合があります。その場合は原稿をコピーし、自動給紙装置でリアルタイム送信をしてください。

●ダイヤル記号について

- 相手先の番号を入力するときにダイヤル記号を挿入し、様々な機能を追加することができます。ダイヤル記号は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。
- カーソルキーの左右で、ソフトキーの内容が切り替わります。

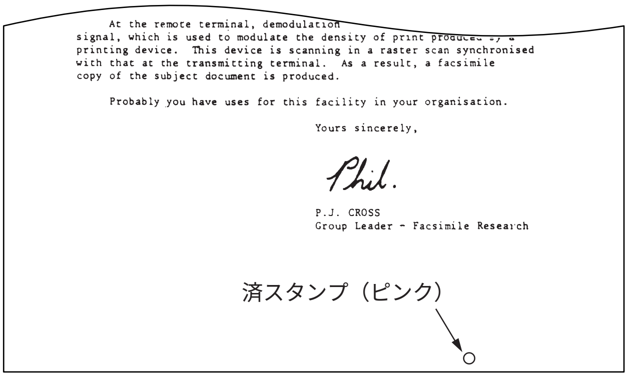
機能選択キー	液晶表示	機能および用途
トーン	T	ダイヤル回線に接続している場合で、トーンを送出したいときに使います。
ポーズ	P	ダイヤルに間隔を空けたいときに使います。

●済スタンプを押す（自動給紙装置のときのみ）

済スタンプには、メモリ送信時に原稿の読み取りを完了したことを示す読み取り済スタンプと、リアルタイム送信時に送信が完了したことを示す送信済スタンプの 2 種類があります。
お買い上げ時は済スタンプの設定は「OFF」になっています。

＊ 常に済スタンプを押すこともできます。（➡203ページ）
＊ 済スタンプの色はピンク色です。
＊ 済スタンプの寿命は3,000枚です。

●A4サイズの原稿では、およそ下図の位置に済スタンプが押されます。


At the remote terminal, demodulation
signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

● 済スタンプの設定（➡203 ページ）で、設定した状態にかかわらず、一時的に済スタンプを ON ／ OFF することができます。

操作の前に

● セットした直後の送信1回のみに有効です。直後の送信が完了すると、済スタンプの設定で設定した状態に戻ります。
● ご愛用スイッチキーの登録にて<済スタンプ>キーを削除すると、1通信ごとに済スタンプのON／OFFを切り替えることはできません。（➡246ページ）

1 **<済スタンプ>キーを押します。**

＊ キーが点灯し、済スタンプが ON になります。
＊ もう一度押すとキーが消灯し OFF になります。

2 **原稿をセットし、送信すると済スタンプが押されます。**

終わり

●通信証を発行する　　初期設定：OFF

- ご愛用スイッチキーに「通信証」を登録すると通信証セットで設定した状態にかかわらず、一時的に通信証の発行を ON ／ OFF することができます。（➡246 ページ）

操作の前に

- セットした直後の通信1回のみに有効です。直後の通信が完了すると通信証の設定で設定した状態に戻ります。

1 ＜通信証＞キーを押します。

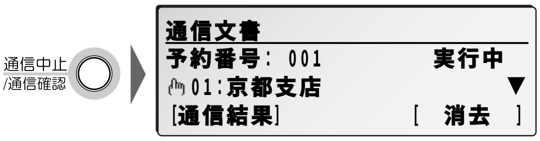
終わり

3 送信文書を中止／確認する

● 原稿が読み取られた後の状態（通信予約文書）を確認したいときは、次の操作をします。また、通信予約されている文書をプリントしたり、予約リストをプリントすることもできます。

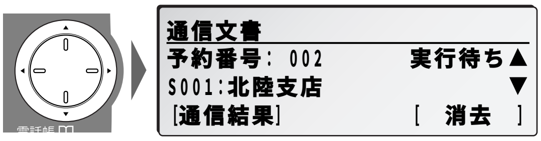
●送信文書の中止／確認

1 **<通信中止／通信確認>キーを押します。**



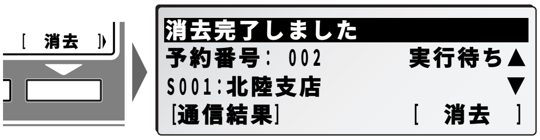
2 **カーソルキーで送信文書（100通信分）を確認できます。**
送信文書を中止したいときは、中止したい文書を選択します。

＊ 通信結果 を押すと、過去に通信した70通信分の通信結果を確認することができます。（➡MEMO）



3 **消去 を押します。**
選択された文書の送信が中止されます。

＊<リセット>キーを押すと、通信予約文書の確認を終了します。



終わり

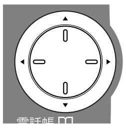
●同報送信・グループ送信の宛先別の中止／確認

- 同報送信のときは、同報宛先を確認したり、宛先を個別に消去することができます。
- グループ送信が実行されているときは、同報送信と同様に、グループに登録されている宛先を個別に消去できます。（同報宛先と表示されます）
- 時刻指定などでグループ送信が送信予約になっているときは、宛先を個別に消去することはできません。

1 <通信中止／通信確認>キーを押します。

2 カーソルキーで同報送信を選択します。

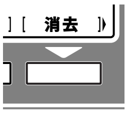
＊「同報宛先」と表示されています。
＊グループ送信が実行されているときも「同報宛先」と表示されます。
＊ 通信結果 を押すと、過去に通信した70通信分の通信結果を確認することができます。（➡MEMO）



通信文書
予約番号：003　　実行中
同報宛先
[通信結果] [宛先確認] [　消去　]

3 送信を中止するとき

消去 を押します。
選択された文書の送信が中止されます。



消去完了しました
予約番号：003　　実行中
同報宛先
[通信結果] [宛先確認] [　消去　]

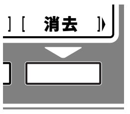
宛先を個別に消去するとき

① 宛先確認 を押します。

通信文書（各宛先表示）
予約番号：003- 宛先　001
01：京都支店 ▼
[　消去　]

＊同報またはグループに登録されている宛先が表示されます。

②カーソルキーで中止したい宛先を選択し、消去 を押します。
選択された文書の送信が中止されます。



消去完了しました
予約番号：003- 宛先　003 ▲
03：東京本社 ▼
[　消去　]

4 通信予約文書の一覧に戻るときは、<戻る>キーを押します。

＊<リセット>キーを押すと、通信予約文書の確認を終了します。

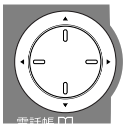
終わり

MEMO

- 通信結果 を押すと…
  送信文書の中止／確認画面で 通信結果 を押すと、過去の通信結果を確認することができます。送信予約文書の表示に戻るには、<戻る>キーを押します。

＊ 通信結果 →カーソルキーの上下にて、過去に通信した70通信分の通信結果を表示できます。
＊表示する通信結果がないときは、「通信結果がありません」と表示されます。

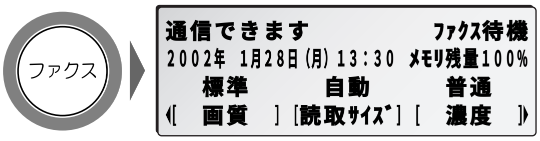
通信結果 No.001　送信
075-111-2222　標準
開始時間：01/01 12:54 1'17"
結果　：＃０Ｋ　ﾍﾟｰｼﾞ:1 ▼



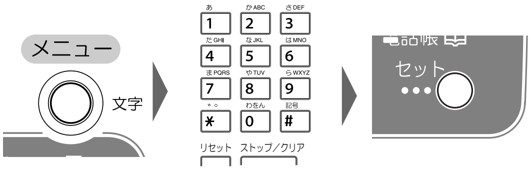
●通信予約原稿のプリント

- 時刻指定送信など、通信予約している原稿をプリントして確認することができます。
- 一括送信の原稿をプリントするときは、「一括送信ボックスにメモリされた原稿のプリント」「一括送信ボックスにメモリされた原稿の消去」（➡123、124 ページ）を参照してください。

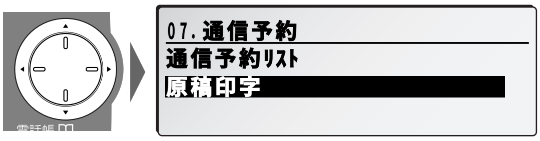
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><7>→<セット>キーと押します。**



3 **①カーソルキーで「原稿印字」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

4 **カーソルキーの上下またはテンキーで予約番号を選択し、<セット>キーを押します。**

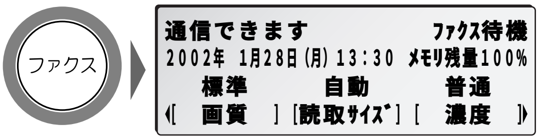
＊選択した予約原稿がプリントされます。
＊選択した通信予約文書がリアルタイム送信、またはポーリング受信のときは、「予約原稿がありません」と表示されます。
＊一括送信の予約原稿は、この操作ではプリントできません。123ページを参照してください。

終わり

●通信予約リストのプリント

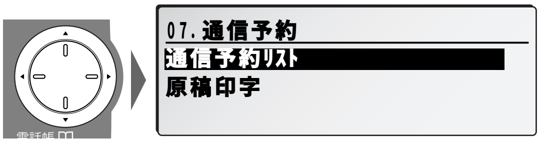
- メモリに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿の一覧をプリントすることができます。
- 通信予約が無い場合は「通信予約されていません」と表示されます。

1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。



2 <メニュー／文字>キー→テンキー<0><7>→<セット>キーと押します。

3 ①カーソルキーで「通信予約リスト」を選択します。



②<セット>キーを押します。

＊通信予約リストがプリントされます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　通信予約リスト　＊＊

P.1　　2002年 1月28日（月）13:30

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用通信	備考
C001	1112223333,S001	30, 7:00	同報	
C002	(ｱ)01,S002	29,21:00	同報	
B01	1234-5678	30, 9:00	一括	

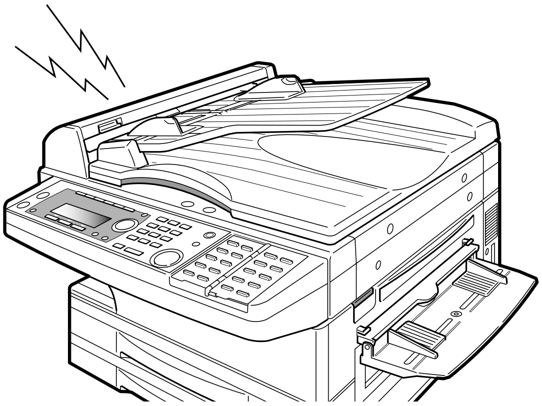
4 受信のしかた

●ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

操作の前に

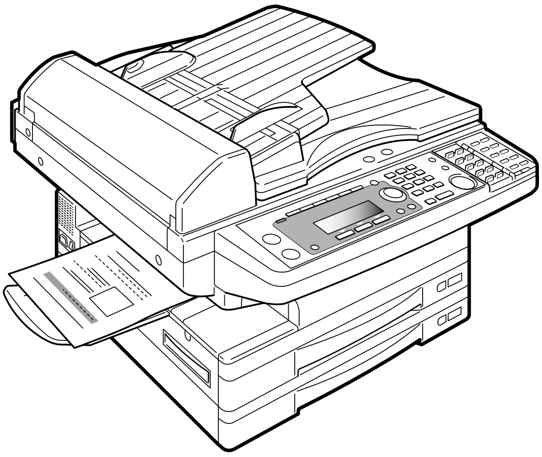
- 設置モードの受信モード設定で、「ファクス待機」を設定してください。（➡37ページ）
- 本体電話はオプション品です。（➡307ページ）
- 呼出ベルを鳴らすためには、本体電話、増設電話、または呼出ブザーの設定が必要です。（➡256ページ）

1 **ベルを鳴らすことができます。（操作の前に参照）**



＊ベルが鳴っている間に本体電話を上げると会話できます。相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときはファクスですので、<スタート>キーを押してください。
＊ベル回数は1～10回の間で変更できます。（➡202ページ）

2 **受信を開始します。**



終わり

MEMO

- 呼出ベルは、1～10回の間で回数を設定することができます。呼出ベルの回数を増やし、着信するまでの時間を長くすることにより、電話に出やすくすることができます。設定方法は202ページを参照してください。

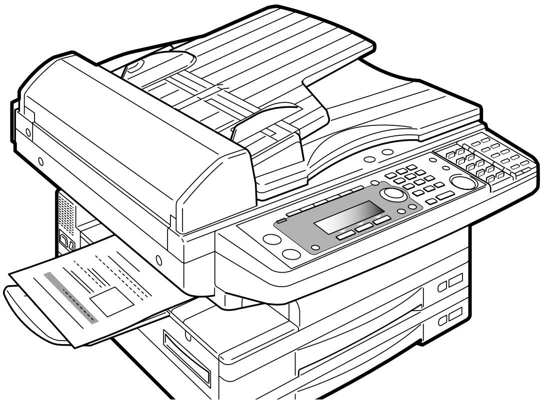
●ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機）

操作の前に

- 設置モードの受信モード設定で、「ファクス／電話待機」を設定してください。（➡37ページ）
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、電話の時は相手の方をお待たせするとともに、電話料金がかかります。
- 電話を受けるには、オプションの本体電話が必要です。（➡307ページ）

●相手先がファクス送信してきた場合

1 すぐに受信を開始します。

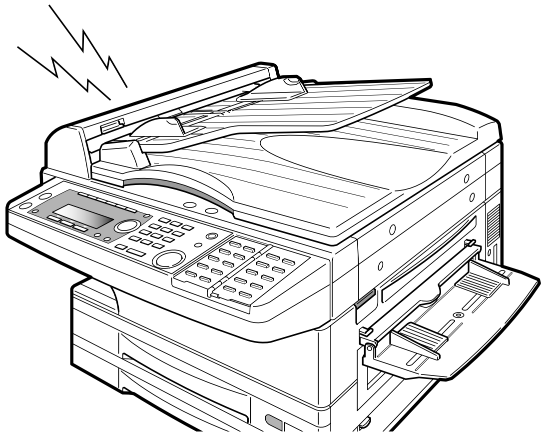


＊相手先がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。（本体電話が無いときは、ベルは鳴りません。）
＊受信が完了すると待機画面に戻ります。

終わり

●相手先が電話してきた場合

1 着信後、しばらくしてからベルが鳴ります。



＊相手の方はベルが鳴るまでにしばらく待たれていますので、すぐに出てください。
＊増設電話のベルも鳴ります。

2 相手先と会話します。

終わり

MEMO

- 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
- よく電話をかけてこられる相手先には、前もって少々お待ちいただくようにお伝えください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本機の本体電話で受けたときは、すぐに<スタート>キーを押してください。増設電話で受けたときは、受話器を戻すと受信を始めます。
- 回線の状態やターミナルアダプタなどに接続されて使用される場合には、相手が電話を切られたことを検出できずに設定回数のベルが鳴る場合があります。

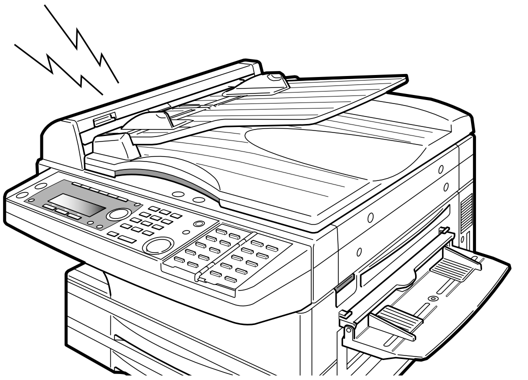
●電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機）

操作の前に

- 設置モードの受信モード設定で、「電話／ファクス待機」を設定してください。（➡37ページ）
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、電話の時は相手の方をお待たせするとともに、電話料金がかかります。
- 電話を受けるには、オプションの本体電話が必要です。（➡307ページ）

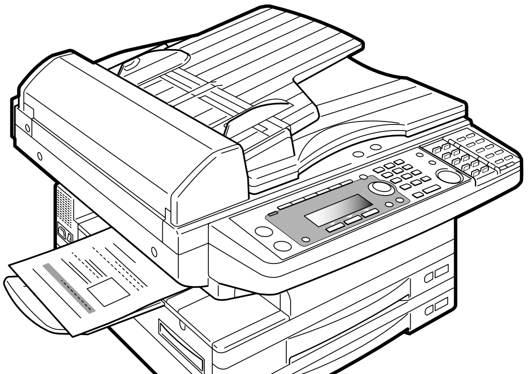
●相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが2（1〜10）回鳴ります。



＊ベルを鳴らすには、本体電話、増設電話、または呼び出しブザーの設定が必要です。（➡256ページ）
＊ベル回数は1〜10回の間で変更できます。（➡202ページ）

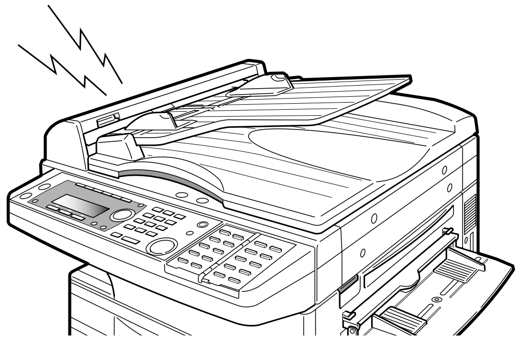
2 受信を開始します。



終わり

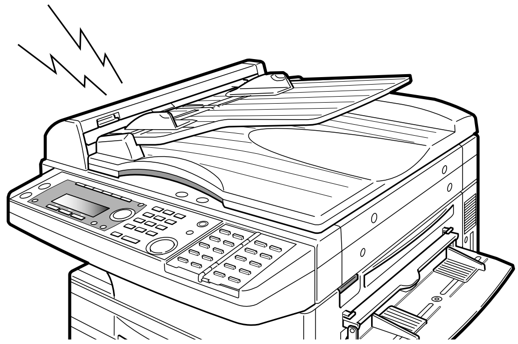
●相手先が電話してきた場合

1 ベルが2（1〜10）回鳴ります。



＊ベルを鳴らすには、本体電話、増設電話、または呼び出しブザーの設定が必要です。（➡256ページ）
＊ベルが鳴っている間に本体電話を上げると会話できます。
＊ベル回数は1〜10回の間で変更できます。（➡202ページ）
＊増設電話のベルも鳴ります。

2 再度ベルが鳴ります。（約30秒）



3 相手先と会話します。

終わり

MEMO

- 相手が手動送信の場合、本体電話を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、<スタート>キーを押してください。
- 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本機の本体電話で受けたときは、すぐに<スタート>キーを押してください。増設電話で受けたときは、受話器を戻すと受信を始めます。
- 回線の状態やターミナルアダプタなどに接続されて使用される場合には、相手が電話を切られたことを検出できずに設定回数のベルが鳴る場合があります。

●留守番電話とファクスを兼用する（留守／ファクス待機）

操作の前に

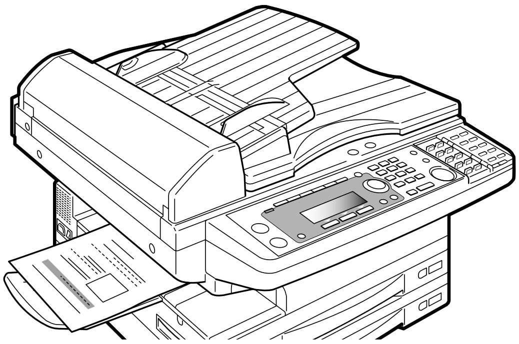
- 設置モードの受信モード設定で、「留守／ファクス待機」を設定してください。（➡37ページ）
- 留守番電話の接続コードをファクスの「PHONE2」に接続してください。
- 本体でベルを鳴らすには、本体電話、または呼び出しブザーの設定が必要です。（➡256ページ）

●相手先がファクス送信してきた場合

1 **留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。**

2 **応答メッセージが流れます。**

3 **受信を開始します。**



終わり

●相手先が電話してきた場合

1 **留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。**

2 **応答メッセージが流れます。**

3 **用件録音を開始します。**

＊10秒間無音が続くとファクス受信状態になります。
＊用件録音後、受信することができます。

終わり

MEMO

- 留守番電話の種類により、留守番電話とファクシミリの自動切り替えが働かない場合があります。
- 相手機により自動的に受信できない場合があります。
- 相手が手動送信の場合は留守番電話が起動し、応答メッセージを送出してからファクスに切り替わりますので、留守番電話機の応答メッセージに「ファクスの方は送信してください」旨の録音をしてください。
- 留守番電話機の用件録音が満杯の状態などで、留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも受信できません。

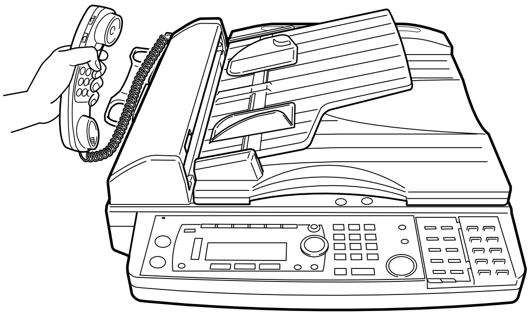
●電話を中心に使用する（電話待機）

- オプションの本体電話が必要です。(➡307 ページ)
- 本体電話を取り、相手を確認してから受信を開始することができます。

操作の前に

- 設置モードの受信モード設定で、「電話待機」を設定してください。 (➡37ページ)
- 自動給紙装置に原稿があると、＜スタート＞キーを押すと送信を始めてしまいます。自動給紙装置に原稿が無いことを確認してください。 (➡44ページ)

1 電話の呼出ベルが鳴ったら本体電話を取り上げます。



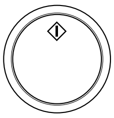
＊電話の場合はここで会話します。

2 相手先と会話します。

＊相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

3 ＜スタート＞キーを押します。

スタート



＊相手からの用件を確認して、＜スタート＞キーを押してから本体電話を戻してください。

終わり

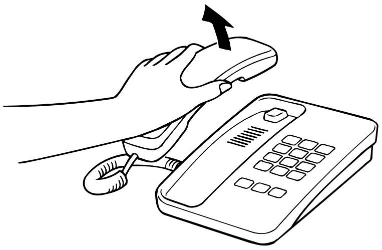
MEMO

- 相手が手動送信の場合、本体電話を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、＜スタート＞キーを押してください。
- 相手先から「ポーポー」などの音が聞こえたときは相手はファクスです。本機の本体電話で受けたときは、すぐに＜スタート＞キーを押してください。増設電話で受けたときは、受話器を戻すと受信を始めます。

●増設電話でファクスを受ける（リモート受信）

- 相手先がファクスを送信してきた場合に増設した電話の受話器を取ったとき、ファクスの<スタート>キーを押さなくても、受話器を戻すだけで自動的に受信を開始することができます。

1 増設電話の受話器を上げます。



＊電話の場合はここで会話します。

2 「ピーッ」音を確認します。

＊相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

3 受話器を置きます。

＊受信を開始します。

終わり

MEMO

- 回線の状況、増設電話の種類によっては受信できない場合があります。
- 相手が手動送信の場合、受話器を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、受話器を戻してください。

●ダイヤルイン待機

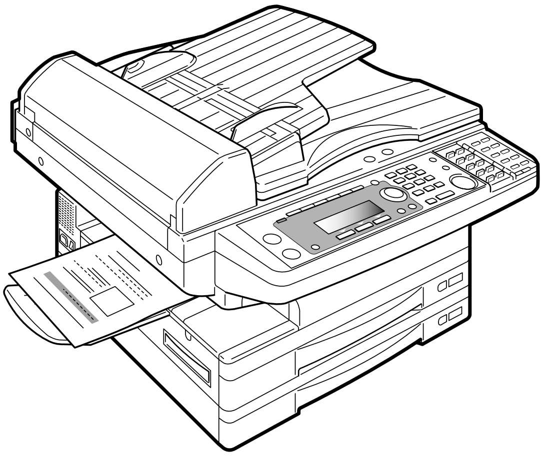
- ダイヤルイン契約した電話番号（3 回線分まで）をファクス番号、本体電話用番号、増設電話用番号として登録し、その登録に基づいてダイヤルイン着信したときの 4 桁の番号で、ファクス受信および電話を区別することができます。

操作の前に

- 設置モードの受信モード設定で、「ダイヤルイン待機」を設定してください。（➡37ページ）
- あらかじめダイヤルインの登録を行ってください。（➡40ページ）
- ダイヤルインサービスをご利用するには、NTTとの契約が必要です。
- ダイヤルインサービスとナンバー・ディスプレイサービスの両方をご使用になる場合は、モデムダイヤルインサービスの契約を行ってください。
- ナンバー・ディスプレイ対応電話機を増設電話として接続するときは、電話機のナンバー・ディスプレイ設定を「OFF」にしてください。モデムダイヤルインをご利用のときでも、ナンバー・ディスプレイ対応電話機ではナンバー・ディスプレイサービスをご利用できません。
- 電話とファクスは同時に使用できません。

1 ファクス用番号にかかってきた場合

すぐに受信を開始します。

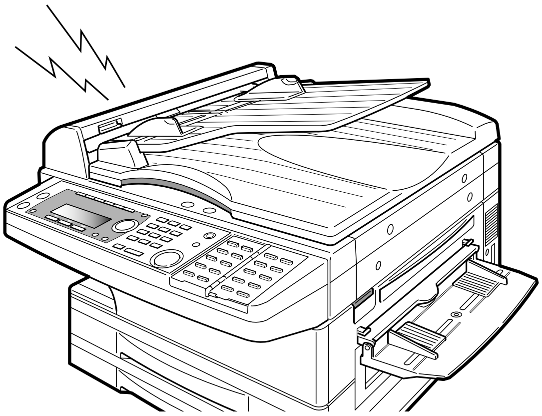


終わり

1 本体電話番号／増設電話用番号にかかってきた場合

ベルが30（10〜60）秒鳴ります。

＊本体電話と増設電話に同じ番号を登録しているときは、同時にベルが鳴ります。
＊モデムダイヤルインサービスをご使用の場合は、相手側が電話を切るまでベルが鳴り続きます。



2 本体電話または、増設電話の受話器を取って通話します。

終わり

MEMO

- 停電時は、本体電話（オプション）を使って電話をかけることはできますが、電話を受けたり、ファクスを送信・受信したりすることはできません。
  ＊ 本体電話（オプション）を取り付けたとき、停電時に電話がかかってくるとベルが1回〜2回鳴ります。しかし、その場合に受話器を上げても、「ピッポッパッ」という発信音が聞こえるだけですぐ切れてしまいます。
- 電話呼び出しのベルは、相手が待っているかどうかに関係なく、約30秒間で鳴り終わります。そのため、ベルが鳴り終わってから受話器を上げても、まだ相手先が待っていれば、電話がつながることがありますので電話呼び出しのベルが鳴ったときは、鳴り終っても一度受話器をあげて電話が切れていることを確認してください。また、相手が電話を切った場合でも、電話呼び出しのベルが鳴る場合があります。そのため、ベルが鳴っている間に受話器を上げても、電話が切れていることがありますが故障ではありません。また、ベルが鳴る時間を変えることができます。（➡202ページ）
- ダイヤルイン利用の手順について
  ① 最寄りのNTT営業窓口に、ダイヤルインサービスが可能かどうかお問い合わせください。
  ② 可能であれば、申込みを行います。（※必ず4行の電話番号をもらってください。電話番号が変わることがあります。）
  ③ 開通日にダイヤルインサービスになっていることを確認します。
  〈確認方法〉
  1）受信モードを「電話待機」にします。（➡37ページ）
  2）ダイヤルインの電話番号に電話をかけます。
  3）ベルが鳴ったら本体電話を上げます。
  4）“ピッポッパ”という音が聞こえたら、ダイヤルインサービスになっています。
  ＊ そのままでは相手とつながりません。通話したいときは受話器を下ろして、1〜2秒して再度あげてください。
  ④ ダイヤルインセットを行います。
  ＊ ダイヤルインセット後に、NTT側がダイヤルインサービスになっていないときは「電話／ファクス待機」と同じ動作で電話／ファクス自動切り替えを行います。

5 受信中の動作について

●受信中の表示について

通信中

```
ABCｼｮｳｼﾞ               受信中
ｻｲｽﾞ:A4 画質:標準        P02
受信原稿              ﾌﾟﾘﾝﾄ中
《[ 画質 ][読取ｻｲｽﾞ][ 濃度 ]》
```

- ファクス画面になっている場合、受信中ディスプレイには相手先が表示され、１ページ受信するごとにプリントされます。通信が終了するまで通信中ランプが点灯します。

MEMO

- プリント中は用紙カセットを引き出さないでください。用紙づまりの原因になります。
- 相手先は次の優先で表示されます。１．相手先の自局名　２．相手先の自局ID
- 受信中にメモリオーバーしたときは受信が中止されます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- 用紙トレイに収容できる枚数は150枚です。用紙はためすぎないようにしてください。ためすぎると排出不良となり、用紙づまりの原因となります。

●代行受信について

代行受信

- 代行受信とは、用紙切れ、用紙づまりなどでプリントできないときに、受信文書をいったんメモリに蓄積する機能です。用紙切れなどの処置が終わると、蓄積されている文書が自動的にプリントされます。メモリに代行受信文書が蓄積されているときは、代行受信ランプが点灯し続けます。

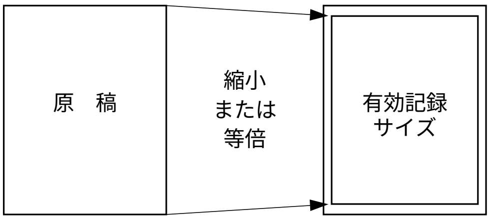
MEMO

- 用紙やトナーの交換は、電源をONのまま行ってください。
  ※ 用紙のセット・補給（➡30ページ）
  ※ 用紙がつまったとき（➡260ページ）
  ※ ドラム／トナーカートリッジの交換（➡24ページ）
- メモリには最大250通信、A4サイズの当社標準原稿で約650枚受信できますが、メモリの使用量によって異なります。
- 代行受信中にメモリオーバーしたときは、受信が中止されます。受信文書は、用紙切れなどの処置が終わると、蓄積できたところまでがプリントされます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- 代行受信時に電源が切れた場合、メモリに蓄積された内容は120時間（標準メモリ）記憶しています。ただし、あらかじめ24時間通電する必要があります。メモリ容量により、記憶される時間が変わります。（➡282ページ）

6 記録のしかた

●有効記録サイズについて

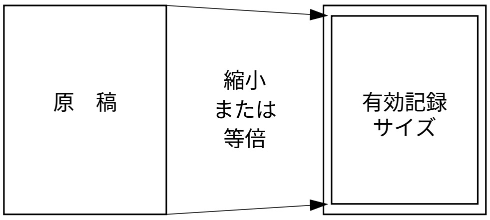
- 用紙の先端／後端のそれぞれ約 4mm はプリントすることができません。このため、受信した内容が縮小、または切捨てられてプリントされる場合があります。プリントできる部分を有効記録サイズと呼びます。



●受信縮小について

- 送信されてきた原稿に合う定型サイズの用紙がセットされていないときや、定型サイズよりわずかに長い（しきい値以内）原稿が送信されてきたとき、用紙に収まるように縮小してプリントします。（自動縮小）また、いつでも同じ倍率に縮小して受信することもできます。（固定縮小）

＊受信縮小率は自動、100%が選択できます。



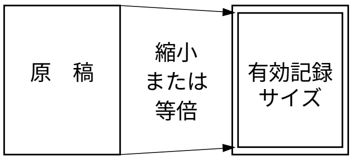
●しきい値について

● しきい値とは、受信文書が有効記録サイズに収まらない場合に、後端を切捨てたり、縮小をして 1 枚に収めるときの位置を決める値です。セットされている用紙より長い原稿を受信した場合、余白部分だけが次のページにプリントされることがありますが、しきい値を設定することによりこれを防止することができます。
有効記録サイズを越えた原稿の長さがしきい値以内であれば縮小または切捨てをして 1 枚に収め、しきい値より長い場合のみページ分割されます。

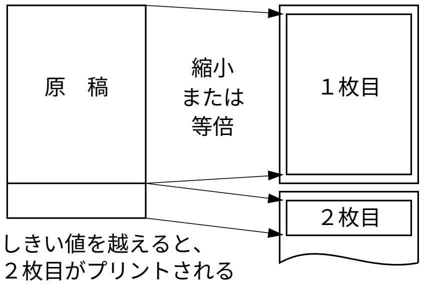
＊しきい値は0 〜85 mm の間で、受信する頻度の高い原稿の余白の長さに合わせて設定します。

① しきい値を設定したとき

有効記録サイズを越えた長さが、しきい値以内であれば、1 枚に縮小または切捨てされます。



② しきい値を設定しないとき（しきい値＝ 0 のとき）有効記録サイズを少しでも越えると、2 枚目がプリントされます。

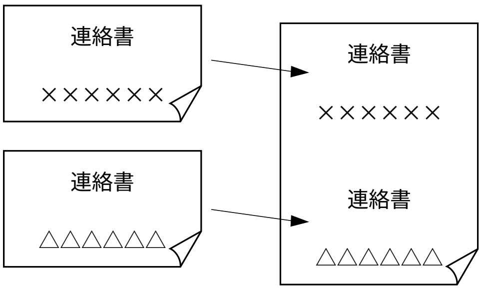


●ページ合成について

● A5、B5の原稿を 2 枚連続して受信した場合、用紙 1 枚に合成してプリントするよう設定できます。

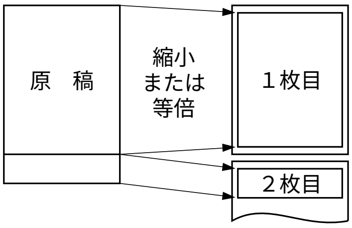
＊受信縮小率が「自動」に設定されている場合、受信した原稿のそれぞれのページが用紙（有効記録サイズ）の1／2の長さに収まるように自動縮小されるため、同一ページ内でも縮小率が異なることがあります。

＊A5、B5サイズより大きい原稿を受信した場合で、A5、B5サイズを超えた部分の大きさが、しきい値より大きいときはページ合成されません。



●ページ分割について

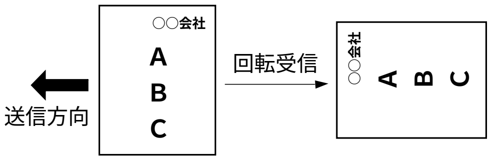
- 有効記録サイズを越えた部分がしきい値より大きいときは、ページ分割してプリントされます。



●回転受信について

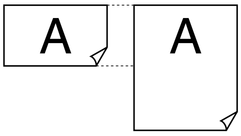
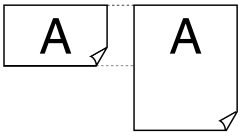
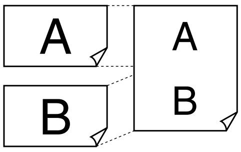
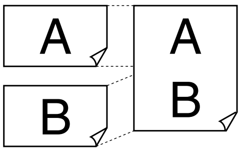
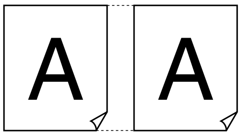
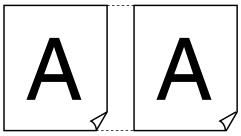
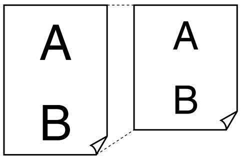
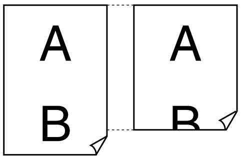
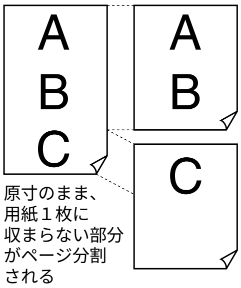
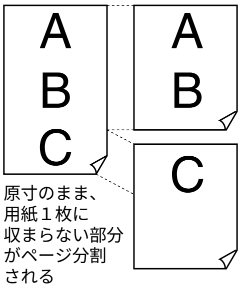
- 受信原稿の方向とカセットにセットされている用紙の方向が違う場合は、自動的に受信原稿を回転させプリントします。回転方向は左向きです。
- 回転受信の設定を ON にする必要があります。(➡204 ページ参照)

【例】A4の原稿を受信し、カセットに A4 の用紙がセットされているとき



●記録のしかた

● ページ合成、受信縮小率、しきい値による記録のしかたの例です。

受信原稿のサイズ ＼ 受信縮小率		自動	固定 100%
小さい原稿 （A5、B5）	1枚のみのとき	 原寸のまま	 原寸のまま
	2枚以上 連続したとき （ページ合成=ONのとき）	 1／2に収まるよう 縮小され、 ページ合成される	 原寸のまま ページ合成される
定形サイズ原稿 （B4、A4）		 原寸のまま	 原寸のまま
長尺原稿 （A3、B4、A4 より少し長め）	有効記録サイズを 越えた長さが しきい値 以内のとき	 用紙1枚に収まるよう 縮小される	 原寸のまま、用紙1枚に 収まらない部分は切捨て られる
	有効記録サイズを 越えた長さが しきい値より 大きいとき	 原寸のまま、 用紙1枚に 収まらない部分 がページ分割 される	 原寸のまま、 用紙1枚に 収まらない部分 がページ分割 される

●用紙サイズの優先順位

- 受信した原稿は、通常は送信側の原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。同じサイズの用紙が無いときは、次の優先順位にしたがって用紙が選択されます。すべての用紙が無くなったときは代行受信を行います。ただし、回転受信が ON に設定されている必要があります。(➡204 ページ参照)

送信側の原稿サイズ	用紙の優先順位
A3	→ B4 (86%に縮小) → A4 (70%に縮小) → B5R (61%に縮小) → A5R (50%に縮小)
B4	→ B4 → A4 (81%に縮小) → B5R (70%に縮小) → A5R (57%に縮小)
A4	→ A4 → B4 → B5R (86%に縮小) → A5R (70%に縮小)
B5R	→ B5R → A4 → B4 → A5R (81%に縮小)
A5R	→ A5R → B5R → A4 → B4

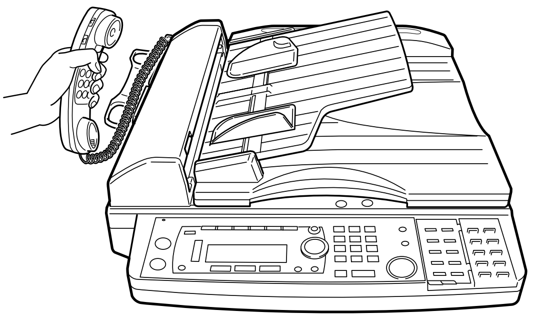
7 電話のしかた

●電話をかける

操作の前に

- 本体側の電源がOFFのときも、受話器内側のダイヤルキーから電話をかけることができます。
- リダイヤルは、本体で電話をかけた相手を10件まで記憶しています。オプションの本体電話で電話をかけた場合、リダイヤルはできません。
- ご愛用スイッチキーの登録にて<短縮>キーを削除すると、短縮ダイヤルは使用できません。（➡246ページ）
- ご愛用スイッチキーの登録にて<フック／会話予約>キーを削除すると、<フック／会話予約>キーは使用できません。（➡246ページ）

1 **本体電話を取り上げます。**

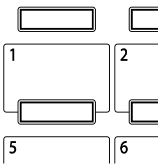


＊または、<フック／会話予約>キーを押します。

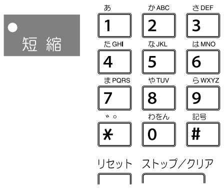
2 **相手先を指定します。**

A. テンキーで指定するとき
テンキーまたは本体電話のダイヤルキーを押して、相手先の番号を入力します。

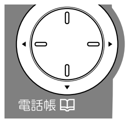
B. ワンタッチキーで指定するとき
相手先が登録されているワンタッチキーを押します。



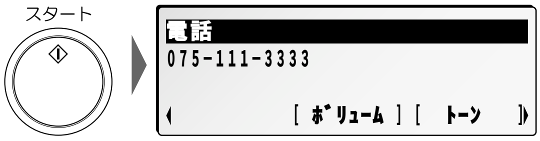
C. 短縮ダイヤルで指定するとき
①<短縮>キーを押します。
②テンキーで短縮番号を入力します。



D. 電話帳で指定するとき
① カーソルキー下（電話帳）を押します。



② 相手先を検索します。（➡91ページ）
③ <スタート>キーを押します。

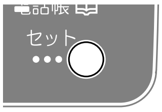


E. リダイヤルするとき
① カーソルキー上（リダイヤル）を押します。

② カーソルキーで、相手先を選択します。
＊カーソルキー下を押すごとに、2つ前、3つ前というようにさかのぼって、10件分までのファクス番号・電話番号が表示されます。

次のページへ

③ ＜セット＞キーを押します。



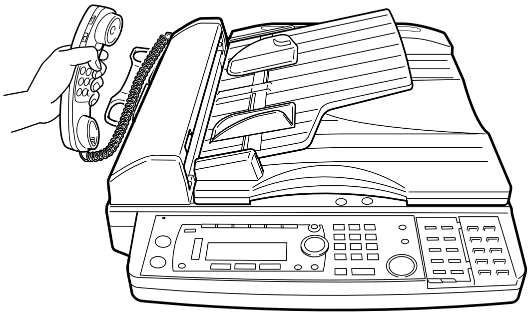
3 回線がつながったら相手先と会話します。

＊＜フック／会話予約＞キーを押したときは、本体電話を上げると会話できます。

終わり

●電話を受ける

1 ベルが鳴ったら、本体電話を取り上げます。



2 回線がつながったら、相手先と会話します。

＊増設電話を上げたときは、増設電話でも会話ができます。

終わり

●通信の後に相手と話す（会話予約）

● ファクス通信の後に、相手を呼び出して話ができます。

1 通信中に＜フック／会話予約＞キーを押します。

＊キーが点灯し、フック／会話予約がONになります。
＊中止したいときは、もう一度＜フック／会話予約＞キーを押します。

2 呼び出し音が鳴ったら本体電話を上げ、相手先と会話します。

＊相手側でも受話器を上げます。

＊送信中に会話予約した場合は、最後のページを送信した後に呼び出し音が鳴ります。
＊受信中に会話予約した場合は、受信しているページを受信した後に呼び出し音が鳴ります。

終わり

MEMO

- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたり、無音のときは相手はファクスです。＜スタート＞キーを押すと受信できます。
- 原稿がセットされていて＜スタート＞キーを押すと、送信になります。
- スーパーG3通信をしている場合は、会話予約することはできません。
- 会話予約をするには、相手機に会話予約機能が必要です。

ファクス編

第2章 便利な使いかた(通信編)

もくじ

1 多数の相手に一度に送信する 118
同報送信 118
グループ送信 120
2 送信時刻を指定する(時刻指定送信) 121
3 同じ相手にまとめて送信する(一括送信) 122
一括送信のしかた 122
一括送信ボックスにメモリされた原稿のプリント 123
一括送信ボックスにメモリされた原稿の消去 124
一括送信原稿リストのプリント 125
一括送信ボックスの登録 126
一括送信ボックスの消去 127
一括送信ボックスリストのプリント 128
4 受信原稿を転送する(ファクスワープ) 129
ファクスワープの設定 129
転送先の登録 130
転送先の消去 132
ファクスワープリストをプリントする 133
5 ボイスワープサービスの利用について 134
ボイスワープサービスとは? 134
ボイスワープサービスを利用する前の設定 134
6 電話を転送する(フォンワープ) ... 136
フォンワープの設定 136
転送先の登録 137
フォンワープの動作 139
転送先の消去 140
フォンワープリストをプリントする 141
7 外出先からの操作(リモート操作) 142
外出先からフォンワープを設定する 142
8 ファクスとコピーを同時にする(ファクス&コピー) 144
ファクス&コピーを設定する 144
ファクス&コピーのしかた 145
9 原稿といっしょに送信案内証を送る(メッセージ送信) 146
メッセージの登録 146
メッセージ送信の設定 146
送信案内証の印字 147
10 相手先の操作で送信する(ポーリング予約) 148
ポーリング予約原稿の蓄積 148
ポーリング予約原稿の消去 149
ポーリング予約原稿のプリント 149
11 相手の原稿を取り出す(ポーリング) 150
ポーリングの設定 150
12 Fコード通信をする 151
Fコード通信とは? 151
サブアドレスとパスワード 151
Fコード通信で使用できる機能 151
サブアドレスを使用した送信(Fコード送信) 152
サブアドレスを使用した受信(Fコードポーリング) 153
掲示板への原稿蓄積 154
蓄積原稿のプリント 155
蓄積原稿の消去 157
FコードBOX蓄積原稿リストのプリント ... 158
Fコードボックスの登録 159
Fコードボックスの消去 163
Fコードボックスリストのプリント 164
13 ファクシミリ通信網及びサービスの利用について 165
ファクシミリ通信網サービス 165
新電電系(NCC回線)の利用のしかた 166
銀行のFAXサービスなどの利用のしかた .. 166

1 多数の相手に一度に送信する

● 多数の相手へ１度の操作で送信する機能で、相手先ごとに繰り返して原稿を読み取る必要がなく、操作の手間が省けます。

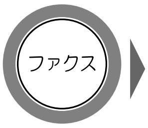
●同報送信

● 相手先指定時にワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ、およびテンキー入力を組合わせることにより、最大２３０宛先まで指定することができます。
● テンキー入力による指定は３０宛先までです。

操作の前に

● ＜スタート＞キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（➡121ページ）

1 ＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。




```
通信できます            ﾌｧｸｽ待機
2002年 1月28日(月) 13:30 ﾒﾓﾘ残量100%
   標準        自動       普通
◁[ 画質 ][読取ｻｲｽﾞ][ 濃度 ]▷
```

2 原稿をセットします。（➡44、45ページ）

＊必要に応じて、画質や濃度を調整します。（➡46、47ページ）

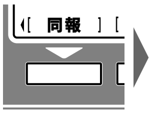
3 相手先のファクス番号を入力します。

```
ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
1112223333_

◁[ 同報 ][ ﾄｰﾝ ][ ｸﾞﾙｰﾌﾟ ]▷
```

＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（➡94ページ）
＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、＜セット＞キーを押します。（➡89、91ページ）

4 同報 を押します。



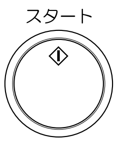

```
ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
_
同報宛先があります
◁[ 同報 ][ ﾄｰﾝ ][宛先確認]▷
```

5 手順3～4の操作を繰り返して、すべての相手先を入力します。

```
ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
01:京都支店_
同報宛先があります
◁[ 同報 ][ ﾄｰﾝ ][宛先確認]▷
```

＊宛先確認 を押すと、入力した相手先を確認することができます。（➡ポイント）

6 ＜スタート＞キーを押します。



終わり

MEMO

- 操作を中止するときは、＜リセット＞キーを押してください。
- 読み取りを中止するときは、＜ストップ／クリア＞キーを押してください。
- 番号を間違えて入力したときは、＜ストップ／クリア＞キーを押して訂正してください。
- 原稿読み取り後は、＜通信中止／通信確認＞キーで消去、確認できます。（➡97ページ）

ポイント

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルにて入力するときは、［同報］を押さなくても、次々と相手先を入力することができます。テンキーで入力したいときは、入力する前に［同報］を押します。
- ［宛先確認］を押すと…
  ［宛先確認］を押して、入力した相手先を確認することができます。相手先を選択後、＜ストップ／クリア＞キーを押すと選択された相手先が消去されます。相手先の入力画面に戻るには、もう一度［宛先確認］を押すか、＜戻る＞キーを押します。

＊画面に相手先が表示しきれないときは、▼（次の画面）または▲（前の画面）が表示されます。カーソルキーで画面の移動ができます。

- **割り込み通信**

同報通信中に別の通信を割り込んで実行することができます。
＊同報通信中に、リアルタイム送信（➡94ページ）、ポーリング（➡150ページ）、Fコードポーリング（➡153ページ）を行うと、同報送信に割り込んで優先的に実行されます。急いで送信、ポーリングしたいときに便利です。ポーリングの相手先は1宛先のみです。

●グループ送信

● 複数の送り先を１つのグループに登録しておくと、原稿セットを１回するだけで複数の相手先へ送信できます。

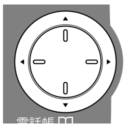
操作の前に

● あらかじめグループダイヤルを登録しておいてください。（➡222ページ）
● 登録されているグループ番号は、グループリストで確認できます。（➡226ページ）
● ＜スタート＞キーを押す前に、送信時刻を指定することができます。（➡121ページ）

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

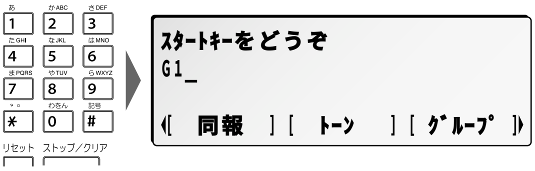
2 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**
＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

3 **①カーソルキーの左または右を押します。**



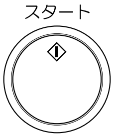
② グループ を押します。

4 **テンキーで、グループ番号（0〜32）を入力します。**



＊グループ番号0を入力すると、すべてのグループ（1〜32）を指定できます。
＊ グループ を押すと、複数のグループ番号を入力できます。

5 **＜スタート＞キーを押します。**



終わり

MEMO

●操作を中止するときは、＜リセット＞キーを押してください。
●読み取りを中止するときは、＜ストップ／クリア＞キーを押してください。
●番号を間違えて入力したときは、＜ストップ／クリア＞キーを押して訂正してください。
●原稿読み取り後は、＜通信中止／通信確認＞キーで消去、確認できます。（➡97ページ）

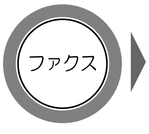
2 送信時刻を指定する(時刻指定送信)

● 通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

操作の前に

● 1ヵ月先まで、送信時刻を指定できます。
● 時刻指定した文書はメモリに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。
　＊リアルタイム送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信をすることができなくなります。また、原稿を取り除くとリアルタイム送信の予約が消去されます。
● 他の応用機能（同報送信、ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組合わせて指定することもできます。

1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。

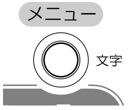


通信できます　　　ﾌｧｸｽ待機
2002年 1月28日(月) 13:30 ﾒﾓﾘ残量100%
標準　　自動　　普通
[画質] [読取ｻｲｽﾞ] [濃度]

2 原稿をセットします。（➡44、45ページ）

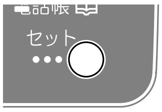
＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

3 ①<メニュー／文字>キーを押し、カーソルキーで「時刻指定」を選択します。



ﾌｧｸｽﾒﾆｭｰ
時刻指定　　Fｺｰﾄﾞ送信
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ　　Fｺｰﾄﾞﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
一括送信　　機器設定

②<セット>キーを押します。



4 ①テンキーで、送信日時を入力します。

時刻指定
指定時刻をどうぞ
01日13:30
[即時発呼]

＊数字が1桁の時は先頭に0をつけます。
＊時刻は24時間制で入力します。
＊間違えて入力したときは、カーソルキーでカーソルを移動し、上書きで入力し直します。
＊［即時発呼］を押すと、入力した送信日時を消去します。

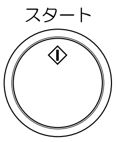
②<セット>キーを押します。

5 相手先のファクス番号を入力します。

ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ　　：
1112223333_
[同報] [ﾄｰﾝ] [ｸﾞﾙｰﾌﾟ]

＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（➡94ページ）
＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。（➡89、91ページ）
＊［同報］を押すことにより、最大230宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は30宛先までです。）

6 <スタート>キーを押します。



終わり

MEMO

● ファクス番号を間違えて入力したときは<ストップ／クリア>キーを押して訂正してください。
● 原稿読み取り後は、<通信中止／通信確認>キーで消去、確認できます。（➡97ページ）
● 指定時刻を変更するときは、予約した通信を消去して再度設定し直します。
● 送信予約（時刻指定送信や同報送信など）を100件セットすると、自動送信できなくなります。その場合は<フック／会話予約>キーを押して手動送信を行ってください。（➡90ページ）

3 同じ相手にまとめて送信する（一括送信）

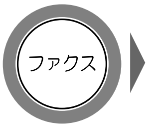
- 頻繁に送信する相手先専用に、送信日時を決めた一括送信ボックスを用意しておき、複数の文書をまとめて送ることができます。
- 毎日一定の時刻に送信することや、1 カ月に 1 回日時を決めて送信することができます。

●一括送信のしかた

操作の前に

- あらかじめ、一括送信ボックスの登録が必要です。（➡126ページ）
- 一括送信ボックスは5個あり、それぞれ40件の原稿をメモリすることができます。
- 操作の途中に指定した一括送信ボックスに対して、各原稿の受付番号が表示されます。原稿はこの受付番号で管理され、確認や消去のときに使用しますので、メモをとることをおすすめします。

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

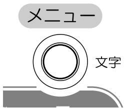


通信できます　ﾌｧｸｽ待機
2002年 1月28日(月)13:30 ﾒﾓﾘ残量100%
標準　自動　普通
[画質][読取ｻｲｽﾞ][濃度]

2 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**

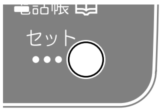
＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

3 **①<メニュー／文字>キーを押し、カーソルキーで「一括送信」を選択します。**



ﾌｧｸｽﾒﾆｭｰ
時刻指定　Fｺｰﾄﾞ送信
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ　Fｺｰﾄﾞﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
一括送信　機器設定

②<セット>キーを押します。



4 **①カーソルキーで、一括送信ボックス番号（1～5）を選択します。**

＊テンキーで選択することもできます。

一括送信
1:東京支店　00日21:00
2:大阪支店　01日23:00
3:名古屋支店　22日22:00 ▼

②<セット>キーを押します。一括送信の詳細と受付番号が表示されます。

一括送信
BOX番号01:東京支店
受付番号:01 指定時刻:00日21:00
ｾｯﾄｷｰで読取を開始します

＊受付番号は、一括送信原稿の確認や消去に必要ですので控えておいてください。

5 **受付番号を確認し、<セット>キーを押します。原稿の読み取りが始まります。**

＊指定時刻になると、一括送信ボックスに蓄積した原稿を全て送信します。

終わり

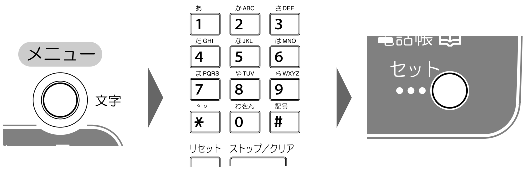
MEMO

- 原稿読み取り後は、<通信中止／通信確認>キーで消去、確認できます。（➡97ページ）
- 指定時刻を変更するときは、予約した通信を消去して再度設定し直します。

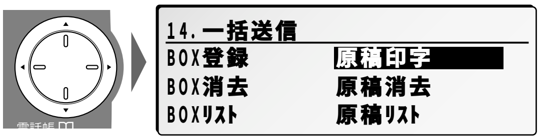
●一括送信ボックスにメモリされた原稿のプリント

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜4＞→＜セット＞キーと押します。**



3 **①カーソルキーで「原稿印字」を選択します。**



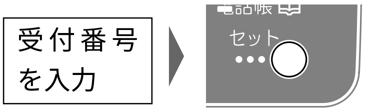
②＜セット＞キーを押します。

4 **①カーソルキーで、印字したい原稿がメモリされている一括送信ボックスを選択します。**

＊テンキーで選択することもできます。
＊原稿が蓄積されていると、右端に が表示されます。

②＜セット＞キーを押します。

5 **テンキーで受付番号を入力し、＜セット＞キーを押します。**



＊メモリされていた原稿が印字されます。

終わり

ファクス編

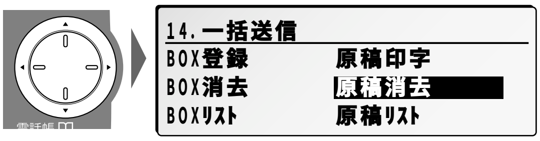
第2章　便利な使いかた（通信編）

●一括送信ボックスにメモリされた原稿の消去

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><4>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「原稿消去」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

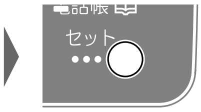
4 **①カーソルキーで、消去したい原稿がメモリされている一括送信ボックスを選択します。**

＊テンキーで選択することもできます。
＊原稿が蓄積されていると、右端に □ が表示されます。

②<セット>キーを押します。

5 **テンキーで受付番号を入力し、<セット>キーを押します。**

受付番号を入力



6 **消去してもよければ、もう一度<セット>キーを押します。**

＊消去を中止するときは<戻る>キーを押します。
＊<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

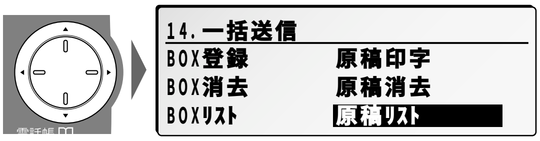
終わり

●一括送信原稿リストのプリント

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><4>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「原稿リスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

＊一括送信原稿リストがプリントされます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　一括送信原稿リスト　＊＊

2002年 1月28日（月）13:30

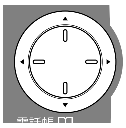
No.	相手先名	受付番号
1	東京本社	1，2，3
2	大阪支店	1，2
3	名古屋支店	1

●一括送信ボックスの登録

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><4>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「BOX登録」を選択します。**

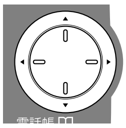


14.一括送信
BOX登録　原稿印字
BOX消去　原稿消去
BOXﾘｽﾄ　原稿ﾘｽﾄ

②<セット>キーを押します。

4 **①カーソルキーで登録したい一括送信ボックスを選択します。**

＊テンキーで選択することもできます。



14.一括送信　BOX登録
BOX番号をどうぞ　(1-5):_
1:<未登録>

②<セット>キーを押します。

5 **①テンキーで相手先番号を入力します。（最大40桁）**

14.一括送信　BOX登録
1:ﾀﾞｲﾔﾙ番号をどうぞ
1234-5678_
[ﾄｰﾝ][ﾎﾟｰｽﾞ][-]

＊同報、グループ送信は登録できません。
＊番号を間違えたときは<ストップ／クリア>キーを押します。
＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（➡94ページ）

②<セット>キーを押します。

6 **①テンキーで送信時刻を入力します。**

14.一括送信　BOX登録
1:指定時刻をどうぞ
00日21:00
＊日を指定しないときは00を入力

＊1桁のときは先頭に0をつけます。（例：9日→09）
＊毎日同じ時刻に送りたいときは、日付に「00」と入力します。
＊間違えて入力した場合はカーソルキーでカーソルを移動させ、上書きしてください。

②<セット>キーを押します。

7 **①相手先名を入力します。**

14.一括送信　BOX登録
1:相手先名　漢かな
東京支店_
[数字]

＊半角文字では24文字、全角文字では12文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

②<セット>キーを押します。

8 **続けて他の一括送信ボックスを登録するときは、手順4から操作を繰り返します。**

＊<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

MEMO

- すでに登録されている一括送信ボックスの内容を変更するには...
  変更したいボックスを選択し、登録手順の中で変更したい内容を上書きまたは<ストップ／クリア>キーを押して消去します。

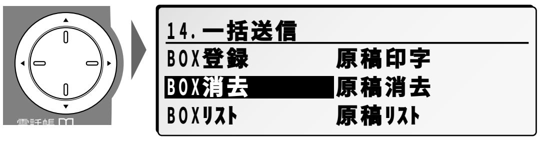
＊原稿が蓄積されている一括送信ボックスの登録内容を変更することはできません。

●一括送信ボックスの消去

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜4＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「BOX消去」を選択します。**

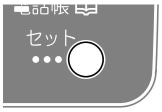


②＜セット＞キーを押します。

4 **①カーソルキーで消去したい一括送信ボックスを選択します。**

＊テンキーで選択することもできます。

②＜セット＞キーを押します。



③消去してよければ、もう一度＜セット＞キーを押します。

＊消去を中止するときは＜戻る＞キーを押します。
＊原稿が蓄積されている一括送信ボックスを消去することはできません。

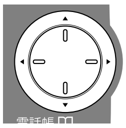
終わり

●一括送信ボックスリストのプリント

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><4>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「BOXリスト」を選択します。**



```
14.一括送信
BOX登録        原稿印字
BOX消去        原稿消去
BOXリスト      原稿リスト
```

②<セット>キーを押します。

＊一括送信ボックスリストがプリントされます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　一括送信ボックス　リスト　＊＊

2002年 1月28日（月）13:30

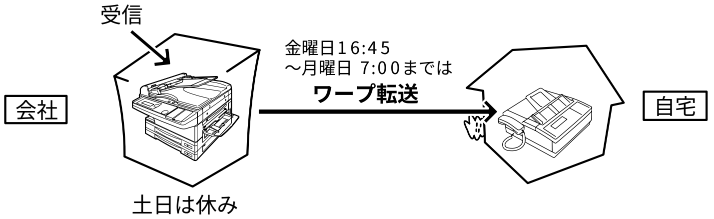
No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時
1	東京本社	1234-5678	30, 9:00
2	大阪支店	06-6123-4567	1,23:00
3	名古屋支店	052-123-4567	22,22:00

MEMO

- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押します。

4 受信原稿を転送する（ファクスワープ）

- 設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。また、ナンバー・ディスプレイ使用時、設定している発信元から受信した原稿を、指定された宛先に転送できます。勤務時間外にオフィスに届いたファクスを自宅で確認したいときなどに、たいへん便利です。
- 転送指定は 10 宛先まで登録できます。



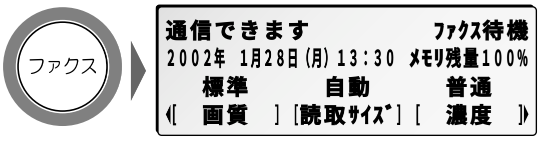
操作の前に

- 設置モードの受信モード設定で、「電話待機」以外に設定してください。（➡37ページ）
- ご愛用スイッチキーに「ファクスワープ」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでファクスワープのON／OFFを設定することができます。（➡246ページ）

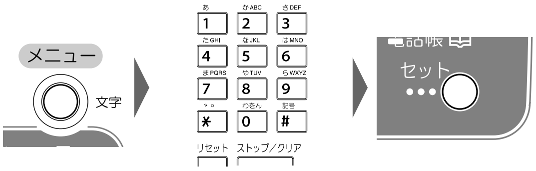
●ファクスワープの設定　初期設定：OFF

- ファクスワープを設定する前に、転送先の登録を行ってください。（➡130 ページ）

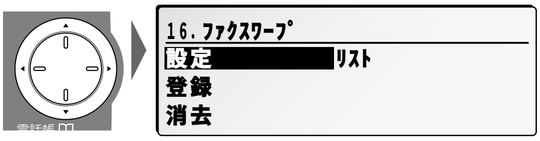
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



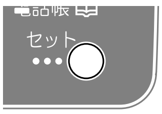
2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><6>→<セット>キーと押します。**



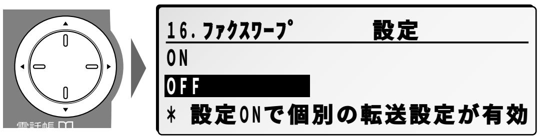
3 **①カーソルキーで「設定」を選択します。**



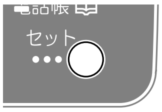
②<セット>キーを押します。



4 **①カーソルキーでONまたはOFFを選択します。**



②<セット>キーを押します。



＊ファクスワープが設定され、次の設定画面になります。
＊<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

●転送先の登録

操作の前に

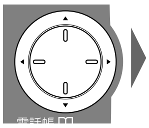
転送先の登録には次の内容が登録できます。

- 転送設定… .... ファクスワープの設定をONにし（➡129ページ）転送設定を「ON」にすると、個別登録でONに設定されたファクスワープが有効になります。設定された時間になると転送を始めます。
- 指定時刻 .... 設定した時刻の範囲で転送を行います。
  ＊ 開始時刻・終了時刻を指定しないときは、時刻にかかわらず転送を行います。
- 発信元 .... ナンバー・ディスプレイで登録している相手先を選択することができます。
  ＊ 選択した相手先からのFAXのみ、転送するときに設定します。
- 同時プリント ... 同時プリントを「ON」にすると、転送元でも転送先と同時に受信原稿をプリントします。

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

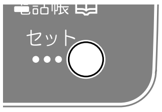
2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><6>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**



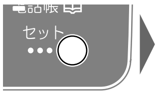
16.ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ
設定　　　ﾘｽﾄ
登録
消去

②<セット>キーを押します。



4 **①カーソルキーで転送先を選択します。**
＊テンキーで転送先を選択することもできます。

②<セット>キーを押します。



転送先番号をどうぞ
_
[同報][ｸﾞﾙｰﾌﾟ][-]

5 **①転送先番号を入力します。**

転送先番号をどうぞ
111-222-3333_
[同報][ｸﾞﾙｰﾌﾟ][-]

＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（➡94ページ）
＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。（➡89、91ページ）
＊テンキーによる入力は1ヶ所のみです。ダイヤル番号は最大40桁です。

②<セット>キーを押します。

6 **転送設定を選択します。**
①カーソルキーで「転送設定」を選択し、<セット>キーを押します。

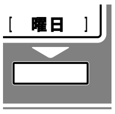
②カーソルキーでONまたはOFFを選択します。

③<セット>キーを押します。

7 **開始時刻を入力します。**

①カーソルキーで「指定時刻」を選択し、＜セット＞キーを押します。

②曜日を入力する場合は、 曜日 を押して入力します。




```
指定時刻
指定時刻をどうぞ　　　曜日指定
金　:■-:-- ～ ー　:--:--
　　　　　　　　　　[　曜日　]
```

③テンキーで開始する時刻を入力します。

＊時刻は24時間制で入力します。
＊＜ストップ／クリア＞キーを押すと、指定した時刻をすべて消去します。

8 **終了時刻を入力します。**

①曜日を入力する場合は、 曜日 を押して入力します。

②テンキーで終了する時刻を入力します。

```
指定時刻
指定時刻をどうぞ　　　曜日指定
金　:21:00 ～ 月　:06:00
　　　　　　　　　　[　曜日　]
```

＊時刻は24時間制で入力します。
＊＜ストップ／クリア＞キーを押すと、指定した時刻をすべて消去します。

③＜セット＞キーを押します。

9 **発信元を選択します。**

＊あらかじめナンバー・ディスプレイの設定で「名前の登録」を行う必要があります。（➡170ページ）
＊発信元を指定しないときは、手順10に進みます。

①カーソルキーで「発信元」を選択し、＜セット＞キーを押します。

②カーソルキーで設定したい発信元を選択します。

③＜セット＞キーを押します。

10 **同時プリントを設定します。**

＊同時プリントを指定しないときは、手順11に進みます。

①カーソルキーで「同時プリント」を選択し、＜セット＞キーを押します。

②カーソルキーでONまたはOFFを選択します。

③＜セット＞キーを押します。

11 **カーソルキーで「設定終了」を選択し、＜セット＞キーを押します。**
続けて転送先の登録をするときは、手順4から操作を繰り返します。登録を終了するときは＜リセット＞キーを押します。

＊ファクスワープを有効にするには、ファクスワープの設定をONにしてください。（➡129ページ）

終わり

MEMO

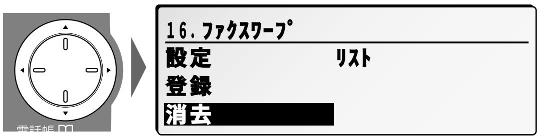
- 複数のファクスワープを組み合わせることもできます。
- 次の受信原稿のときは、転送しません。
  - ・ポーリング受信原稿
  - ・Fコード親展受信原稿
  - ・Fコード掲示板に蓄積された原稿
  - ・Fコード中継指示を受けた原稿
- 操作を中止するときは、＜リセット＞キーを押します。

●転送先の消去

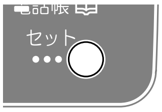
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><6>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「消去」を選択します。**



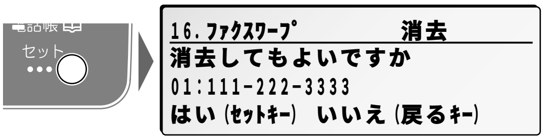
②<セット>キーを押します。



4 **①カーソルキーで消去したい転送先を選択します。**

＊テンキーで消去したい転送先を選択することもできます。

②<セット>キーを押します。



③消去してよければ、もう一度<セット>キーを押します。

＊消去を中止するときは<戻る>キーを押します。

5 **続けて消去を行うときは、手順4を繰り返します。消去モードを終了するときは<リセット>キーを押します。**

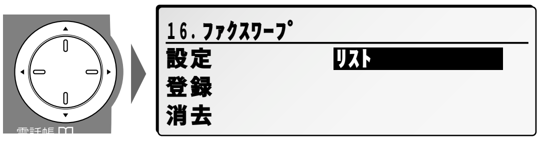
終わり

●ファクスワープリストをプリントする

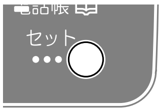
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><6>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「リスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。



＊ファクスワーププリストがプリントされます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　ファクスワープ　リスト　＊＊

P.1　　2002年 1月28日(月) 13:30

No.	転送先ﾀﾞｲﾔﾙ番号	ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ	指定時刻	同時ﾌﾟﾘﾝﾄ
1	111-222-3333 発信元：指定なし	ON	(木)19:00 ～ (金)06:00	OFF
2	S001 発信元：指定なし	ON	(ー)21:00 ～ (ー)06:00	OFF
3	G1 発信元：075-111-3333	ON	(日)22:00 ～ (火)05:00	ON

5 ボイスワープサービスの利用について

- 詳しくは、お近くのNTT営業窓口へお問い合わせください。
- ボイスワープサービス…NTTのサービス名です。

●ボイスワープサービスとは？

- かかってきた電話を、指定する場所へ転送することができます。操作も簡単で料金もお手頃です。様々な用途に合わせて自由自在な使い方ができます。

◆自動転送機能

かかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号へ自動的に転送します。

- 無条件転送 ....かかってきた電話を、転送元の電話を呼び出さずに転送先に直接転送します。転送元には、現在転送中であることをお知らせするため、通常の電話より短いベルが3回鳴ります。
- 無応答時転送 ....いったん転送元の電話を呼び出したあとに転送します。電話のベルが鳴っている間に受話器を上げると、電話をかけてきた方と会話できます。転送元の電話のベルを鳴らす回数は、1～9回まで指定できます。
- 転送トーキ ....電話をかけてきた方に、現在転送中であることを音声でお知らせします。
- 転送元案内トーキ ...転送先に、転送元の電話番号を音声でお知らせします。

●ボイスワープサービスを利用する前の設定

- V-970でボイスワープサービスを利用するためには、必ずNTTへ下記の設定を行ってください。

◆自動転送サービスの停止

現在、NTTの自動転送サービスを利用されているお客さまは、サービスの停止をする必要があります。自動転送サービスを利用されていないお客さまは、この設定は必要ありません。

1 **受話器を上げて、ダイヤルボタンで「1」「4」「2」と押します。**

2 **①「サービスの停止は数字の0、サービスの開始は数字の1、転送先の登録は数字の2、呼出回数の指定は数字の3、初期設定は数字の4、ご利用状況の確認は数字の8を押してください。」と聞こえます。**

②ダイヤルボタンで数字の「0」を押します。

3 **「サービスを停止いたしました。」と聞こえ、設定が完了します。**
電話をお切りください。

終わり

◆応答後転送の利用を指定する

1 受話器を上げて、ダイヤルボタンで「1」「4」「2」と押します。

2 ①「サービスの停止は数字の0、サービスの開始は数字の1、転送先の登録は数字の2、呼出回数の指定は数字の3、初期設定は数字の4、ご利用状況の確認は数字の8を押してください。」と聞こえます。

②ダイヤルボタンで数字の「4」を押します。

3 ①「転送先リストへの登録は数字の0、転送先のリストによる指定は数字の1、転送トーキのご利用の指定は数字の2、リモコン操作のご利用の指定は数字の3、転送元案内のご利用の指定は数字の4、応答後転送のご利用の指定は数字の5、操作の終了は数字の9を押してください。」と聞こえます。

②ダイヤルボタンで数字の「5」を押します。

4 ①「応答後転送のご利用の指定を行います。応答後転送を利用しない場合は数字の0、利用する場合は数字の1を押してください。」と聞こえます。

②ダイヤルボタンで数字の「1」を押します。

5 ①「応答後転送ありにセットいたしました。」と聞こえ、手順3－①の音声メッセージが聞こえます。

②ダイヤルボタンで数字の「9」を押してください。

6 設定が完了します。電話をお切りください。

＊V-970でボイスワープサービスを利用するには、「電話を転送する（フォンワープ）」（➡136ページ）を参照してください。

終わり

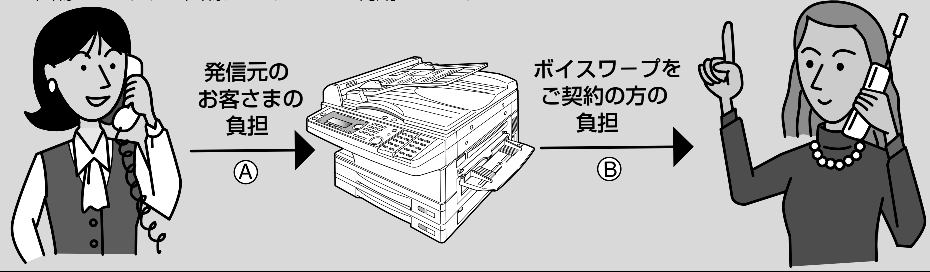
6 電話を転送する（フォンワープ）

- 設定時間内にかかってきた電話を指定された宛先に転送します。また、ナンバー・ディスプレイ使用時、設定している発信元からかかってきた電話を、指定された宛先に転送できます。オフィスで担当者の外出中に、お客さまからの電話があったときなど、たいへん便利です。
- 転送指定は 10 宛先まで登録できます。
- 指定時刻内または指定発信元からの電話に限ります。
- 外出先からフォンワープを設定することもできます。(➡142 ページ)

操作の前に

- フォンワープ機能を利用するにはNTT（西日本・東日本）のボイスワープサービスの契約が必要です。
- ボイスワープサービスのご利用については最寄りのNTT営業窓口へお問い合わせください。
- フォンワープ機能の利用を開始する前に、あらかじめNTTへの設定が必要です。（➡134ページ）
- 設置モードの受信モード設定で、「ファクス／電話待機」または「電話／ファクス待機」に設定してください。
- フォンワープを有効にするには転送先を登録し、フォンワープの設定を「ON」にしてください。
- 指定時刻内または指定発信元からの電話に限ります。
- ご愛用スイッチキーに「フォンワープ」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでフォンワープのON／OFFを設定することができます。（➡246ページ）

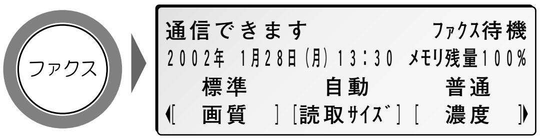
<通話料について>
発信元のお客さまから転送元（ボイスワープをご契約いただいている電話）まで（下図Ⓐ）の通話料は、発信元のお客さまのご負担となります。
転送元から転送先まで（下図Ⓑ）の通話料は、転送元（ボイスワープをご契約いただいている電話）のお客さまのご負担となります。
＊転送先がお話し中や応答しない場合、通話料はかかりません。
＊プッシュ回線、ダイヤル回線のいずれもご利用できます。



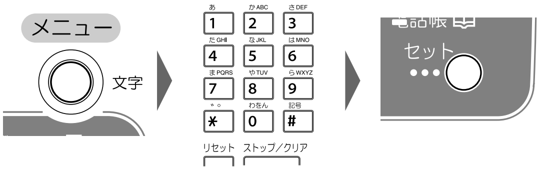
●フォンワープの設定　　初期設定：OFF

- フォンワープの設定をする前に、転送先の登録を行ってください。（➡137 ページ）

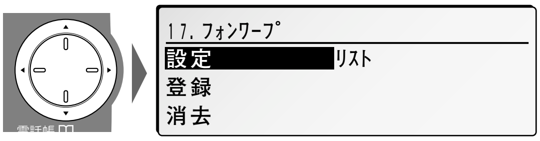
1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。



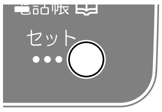
2 <メニュー／文字>キー→テンキー<1><7>→<セット>キーと押します。



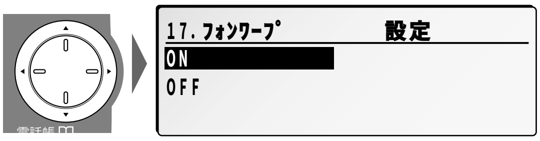
3 ①カーソルキーで「設定」を選択します。



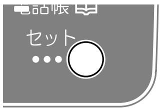
②<セット>キーを押します。



4 **①カーソルキーでONまたはOFFを選択します。**



②＜セット＞キーを押します。



＊転送先が登録されているとフォンワープが設定され、次の設定画面になります。
＊＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

●転送先の登録

操作の前に

- フォンワープには、時刻指定転送と発信元特定転送があります。

＜時刻指定転送のとき＞
- 時刻指定 ... 設定した時刻の範囲で転送を行います。

＊他の転送先登録と転送時間が重なる場合は登録できません。

＜発信元特定転送のとき＞
- 発信元........... ナンバー・ディスプレイで登録している相手先を選択します。

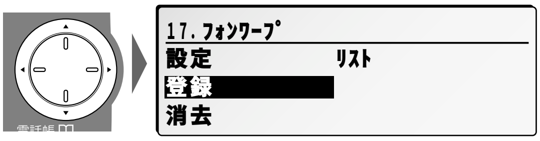
＊他の転送先登録と発信元が重なる場合は登録できません。

- フォンワープの設定を「ON」にすると、ファクス／電話待機、電話／ファクス待機のとき、待機画面でアイコンが表示されます。

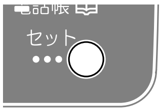
1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜7＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**



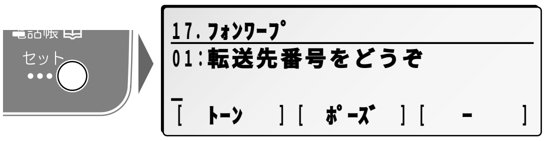
②＜セット＞キーを押します。



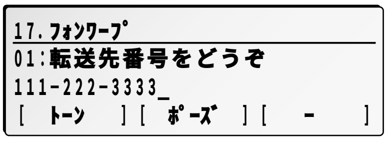
4 **①カーソルキーで転送先を選択します。**

＊テンキーで転送先を選択することもできます。

②＜セット＞キーを押します。



5 **①転送先番号を入力します。**

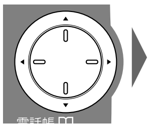


＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（➡94ページ）
＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、＜セット＞キーを押します。（➡89、91ページ）
＊転送先番号の入力は1ヶ所のみです。ダイヤル番号は最大40桁です。

②＜セット＞キーを押します。

次のページへ

6 ①カーソルキーで「時刻指定転送」または「発信元特定転送」を選択します。



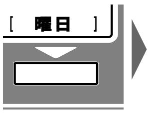
17.フォンワープ
時刻指定転送
発信元特定転送

②<セット>キーを押します。

時刻指定転送の場合

7 開始時刻を入力します。

①曜日を入力する場合は、［曜日］を押して、開始する曜日を入力します。



指定時刻
指定時刻をどうぞ　　曜日指定
金 :-:-- ～ ー :--:--
［ 一覧 ］［ 常時 ］［ 曜日 ］

＊［常時］を押すと、日：00：00～土：23：59が入力され、いつでも転送されます。
＊［一覧］を押すと、指定時刻の一覧表示画面になります。（➡MEMO）

②テンキーで開始する時刻を入力します。
＊時刻は24時間制で入力します。
＊<ストップ／クリア>キーを押すと、指定した時刻をすべて消去します。

8 終了時刻を入力します。

①［曜日］を押して、終了する曜日を入力します。

②テンキーで終了する時刻を入力します。

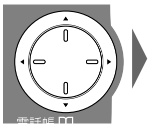
指定時刻
指定時刻をどうぞ　　曜日指定
金 :21:00 ～ 月 :06:00
［ 一覧 ］［ 常時 ］［ 曜日 ］

③<セット>キーを押します。
手順9に進みます。

発信元特定転送の場合

＊あらかじめナンバー・ディスプレイの設定で「名前の登録」を行う必要があります。（➡170ページ）

7 カーソルキーで設定したい発信元を選択します。



発信元選択
指定なし
01:京都支店
02:大阪支店 ▼

8 <セット>キーを押します。
手順9に進みます。

9 **続けて転送先の登録をするときは、手順4から操作を繰り返します。登録を終了するときは<リセット>キーを押します。**

＊フォンワープを有効にするには、フォンワープの設定をONにしてください。（➡136ページ）

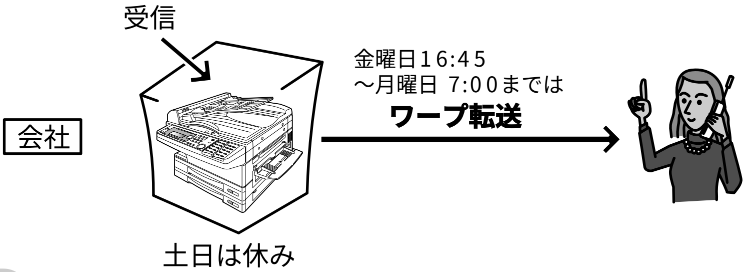
終わり

MEMO

- 一覧 を押すと…
  時刻指定転送の登録画面で 一覧 を押すと、他の指定時刻の一覧表が表示されます。他の転送先登録と転送時間が重なるのをさけるために、一覧画面で確認するとたいへん便利です。登録画面に戻るには、<戻る>キーを押します。

- 転送先の電話番号を間違えないように注意してください。転送先の方にも、かけてこられた方にも迷惑がかかりますので、正確に登録してください。

●フォンワープの動作



電話をかけたとき

1 **①ファクスに電話をかけます。**

②着信したら「電話をご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。ファクシミリをご利用の方は、スタートボタンを押してください。」と聞こえます。

＊ここで「#」を押すと、リモート操作（フォンワープのON／OFFの設定）ができます。（➡142ページ）
＊<スタート>キーを押すと、送信が始まります。

2 **「ただいまより電話を転送いたします。」と聞こえ、保留メロディーが流れます。**

3 **相手先と会話します。**

終わり

電話を受けたとき

1 **電話を取ります。**

2 **「ただいまより電話を転送いたします。よろしければ#を押してください。」と聞こえます。**

電話に出る場合は「#」を押してください。

＊「#」以外のボタンを3回以上押すと、回線が切れます。

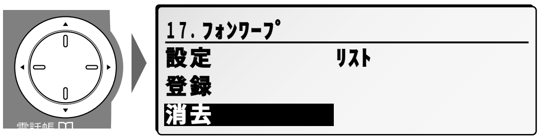
終わり

●転送先の消去

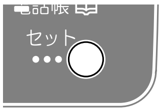
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><7>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「消去」を選択します。**



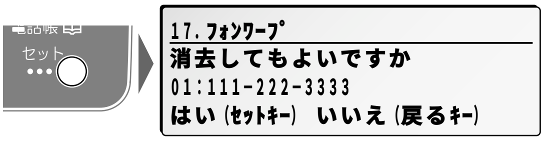
②<セット>キーを押します。



4 **①カーソルキーで消去したい転送先を選択します。**

＊テンキーで消去したい転送先を選択することもできます。

②<セット>キーを押します。



③消去してよければ、もう一度<セット>キーを押します。

＊消去を中止するときは<戻る>キーを押します。

5 **続けて消去を行うときは、手順4を繰り返します。消去モードを終了するときは<リセット>キーを押します。**

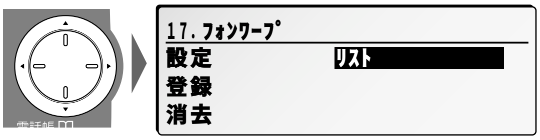
終わり

●フォンワープリストをプリントする

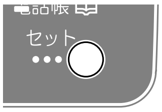
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><7>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「リスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。



終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　フォンワープ　リスト　＊＊

P.1　　2002年 1月28日(月) 13:30

No.	転送先・転送方法
1	S 001 指定時刻：(木)19:00 ～ (金)08:00
2	111-222-3333 発信元特定：075-111-3333
3	[01] 指定時刻：(日)22:00 ～ (火)05:00

7 外出先からの操作（リモート操作）

● 外出先からファクスに電話をかけて、フォンワープを設定することができます。

操作の前に

- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号を送ることができる電話機から行ってください。ダイヤル回線でトーン信号を送ることができる電話機の場合は、電話をかけたあとトーン信号に切り替えてください。
- 設置モードの受信モード設定で、「ファクス／電話待機」または「電話／ファクス待機」に設定されている必要があります。（➡37ページ）
- 事前登録が必要です。
  ①ワープ用暗証番号の登録（➡204ページ）
  ②転送先の登録（➡137ページ）

●外出先からフォンワープを設定する

1 **①ファクスに電話をかけます。**

②着信したら「#」を押します。

＊着信後、4秒間無音状態になり、その後呼び出し音が鳴り始めます。呼び出し音の鳴動が開始されると、「#」が認識できないことがあります。
＊フォンワープの設定がON（➡136ページ）で、時刻指定または発信元が登録されている（➡137ページ）ときは「電話をご利用の方は、そのまましばらくお待ちください。ファクシミリをご利用の方は、スタートボタンを押してください。」と聞こえます。「#」を押してください。

2 **「暗証番号を押してください。」と聞こえたら、ダイヤルボタンで暗証番号（4桁）を押します。**

＊暗証番号が正しくない場合、「番号が間違っています。」と聞こえます。もう一度暗証番号を押し直してください。

3 **「自動転送する場合は数字の1、解除するには数字の2を押してください。」と聞こえます。**
自動転送（設定をON）するときは数字の「1」を、解除（設定をOFF）するときは数字の「2」を押します。

＊「1」「2」以外の数字を押した場合は、「番号が間違っています。」と聞こえます。もう一度番号を押し直してください。

「1」を押したとき

①事前に転送先の登録がある場合は、「自動転送を設定しました。」と聞こえます。手順4に進んでください。

＊事前に転送先の登録がない場合は、「事前登録がないため、設定できません。」と聞こえ、回線が切れます。

「2」を押したとき

①「自動転送を解除しました。」と聞こえます。手順4に進んでください。

次のページへ

4 「設定が完了しました。続けて操作する場合は数字の0を、終了する場合は数字の9を押してください。」と聞こえます。
続けて操作するときは数字の「0」を、操作を終了するときは数字の「9」を押します。

＊「9」を押した場合は、この操作で終了です。電話をお切りください。
＊「0」「9」以外の数字を押した場合は、「番号が間違っています。」と聞こえます。もう一度番号を押し直してください。

5 「0」を押したときは、手順3から操作を繰り返してください。

終わり

MEMO

- 間違った操作を3回以上行うと、「お確かめの上、おかけ直しください。」と聞こえ、回線が切れます。

ファクスとコピーを同時にする（ファクス＆コピー）

● １回の原稿読み取り操作で、ファクスとコピーが同時にできます。社内連絡などで「他部署にファクスしてから、配布用にコピーする」というような場合にたいへん便利です。

操作の前に

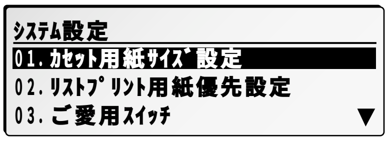
● ファクス＆コピーをするには、ファクス＆コピーの設定を「ON」にしてください。
● ご愛用スイッチキーに「ファクス＆コピー」を登録すると、1通信ごとにファクス＆コピーのON／OFFを切り替えることができます。（➡246ページ）

◆ 250 ページ手順 4 まで行います。
＊＜メニュー／文字＞→「機器設定」選択→＜セット＞→「システム設定」選択→＜セット＞と押します。

●ファクス＆コピーを設定する　初期設定：OFF

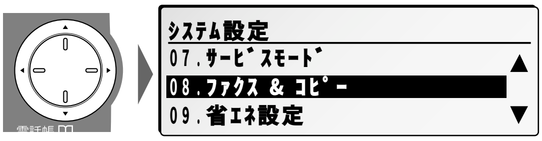
1 「システム設定」メニューを表示させます。

＊＜メニュー／文字＞→「機器設定」選択→＜セット＞→「システム設定」選択→＜セット＞と押します。（250ページの手順4までを参照してください。）



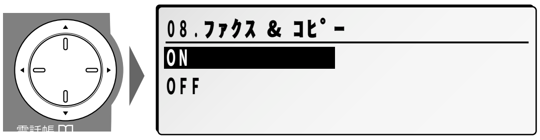
2 ①カーソルキーで「08.ファクス＆コピー」を選択します。

＊テンキーで＜0＞＜8＞と入力して選択することもできます。



②＜セット＞キーを押します。

3 ①カーソルキーでONを選択します。



②＜セット＞キーを押します。

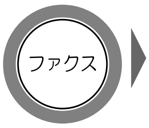
＊ファクス＆コピーが設定され、次の設定画面になります。
＊＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

●ファクス＆コピーのしかた

● ファクス＆コピーをする前に、ファクス＆コピーの設定を「ON」にしてください。(➡144 ページ)

1 ＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。




```
通信できます            ﾌｧｸｽ待機
2002年 1月28日(月) 13:30 ﾒﾓﾘ残量100%
  標準       自動      普通
[ 画質 ][読取ｻｲｽﾞ][ 濃度 ]
```

2 原稿をセットします。(➡44、45ページ)

3 ①相手先のファクス番号を入力します。

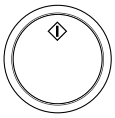
＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、＜セット＞キーを押します。(➡89、91ページ)
＊ファクス＆コピーが設定されているときは、 が表示されます。

```
ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ        :
1111223333_

[ 同報 ][ ﾄｰﾝ ][ ｸﾞﾙｰﾌﾟ ]
```

②＜スタート＞キーを押します。

スタート



4 必要に応じて、ファクス・コピーの画質・濃度、コピーの部数、ソートのON／OFFを設定します。

＊画質はファクス、コピーとも高画質・超高画質のみとなります。
＊コピーの倍率設定、用紙選択、集約コピーなどの応用コピーはできません。

```
ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ          ｾｯﾄ  1
                    ﾒﾓﾘ残量100%
  高画質      自動      普通
[ 画質 ][ 倍率 ][ 濃度 ]
```

5 送信する原稿と同時にコピーする場合は＜スタート＞キーを押します。

＊＜スタート＞キーを押すと送信を開始し、同時にコピーを始めます。
＊ ＜ストップ／クリア＞キーを押すと操作を中断し、待機画面に戻ります。

コピーをしない場合は＜リセット＞キーを押します。

```
ｺﾋﾟｰを中止しますか?

はい(ｾｯﾄｷｰ) いいえ(戻るｷｰ)
```

＊＜セット＞キーを押すと、送信のみ開始します。
＊＜戻る＞キーを押すと、前の画面に戻ります。

終わり

MEMO

- 手順4にて＜スタート＞キーを押して、コピー画面に切り替えた後にファクス画面に切り替える（＜ファクス＞キーを押す）ことはできません。
- ファクス・コピーとも画質は高画質か超高画質になります。（他は選択できません）
- コピー禁止をONに設定している場合、ファクス＆コピーは使用できません。（➡252ページ）
- クイックメモリ送信はできません。
- ファクス＆コピーでコピーした原稿の画質は、通常のコピーモードでコピーした画質と異なります。

9 原稿といっしょに送信案内証を送る（メッセージ送信）

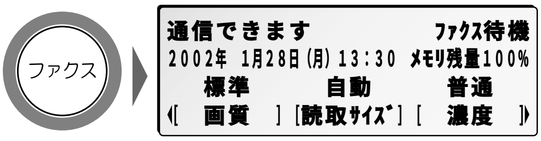
● 送信原稿といっしょに、簡単な文書（メッセージ）の入った送信案内証を自動的につけて送信することができます。

操作の前に

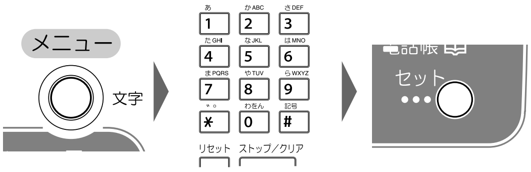
● 送信案内証を設定する前にメッセージを登録してください。
● ご愛用スイッチキーに「メッセージ」を登録すると、1通信ごとに送信案内証のON／OFFを切り替えることができます。（➡246ページ）

●メッセージの登録

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

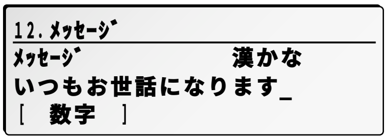


2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><2>→<セット>キーと押します。**



3 **カーソルキーで「登録」を選択し、<セット>キーを押します。**

4 **①メッセージを入力します。**



＊半角文字では40文字、全角文字では20文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

②<セット>キーを押します。
＊メッセージが登録され、次の設定画面になります。
＊<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

●メッセージ送信の設定　初期設定：OFF

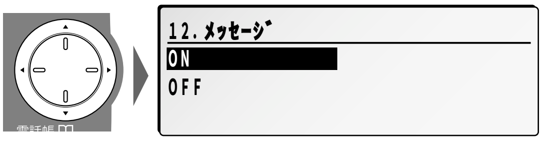
● 送信案内証を付加するかしないかの設定をします。
● ON ..... 送信案内証が送信原稿の１枚目につけられます。
● OFF ... 送信案内証はつけられません。

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><2>→<セット>キーと押します。**

3 **カーソルキーで「設定」を選択し、<セット>キーを押します。**

4 **①カーソルキーでONまたはOFFを選択します。**



②<セット>キーを押します。

終わり

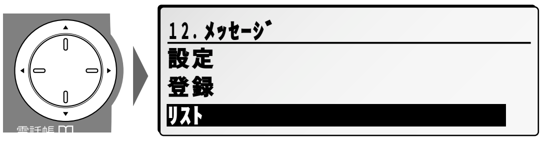
●送信案内証の印字

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜2＞→＜セット＞キーと押します。**

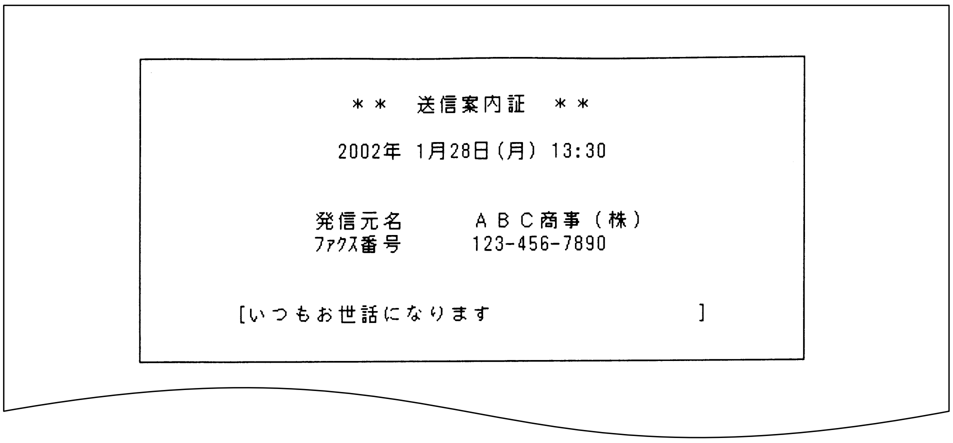
3 **カーソルキーで「リスト」を選択し、＜セット＞キーを押します。**

＊送信案内証がプリントされます。



終わり

プリント例


＊＊　送信案内証　＊＊

2002年 1月28日（月） 13:30

発信元名　　ＡＢＣ商事（株）
ﾌｧｸｽ番号　　123-456-7890

［いつもお世話になります　　　　　］

ポイント

- メッセージの内容を変更するには、メッセージの登録にて変更したい箇所を修正し、登録し直します。

MEMO

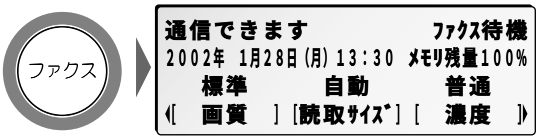
- 操作を中止するときは、＜リセット＞キーを押します。

10 相手先の操作で送信する（ポーリング予約）

● 原稿をあらかじめメモリに蓄積しておくと、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担となります。

●ポーリング予約原稿の蓄積

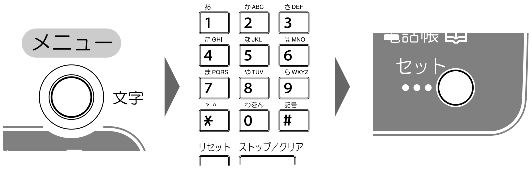
1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



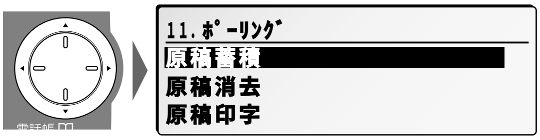
2 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

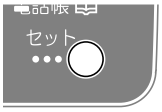
3 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜1＞→＜セット＞キーと押します。**



4 **①カーソルキーで「原稿蓄積」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。



＊ポーリング予約原稿が蓄積されます。

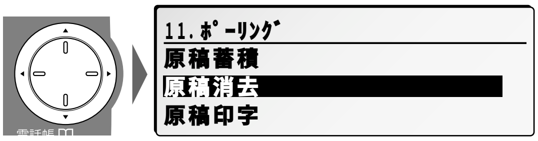
終わり

●ポーリング予約原稿の消去

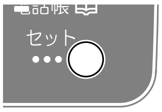
1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜1＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「原稿消去」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。



4 **消去してもよければ、もう一度＜セット＞キーを押します。**

＊消去を中止するときは＜戻る＞キーを押します。
＊＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

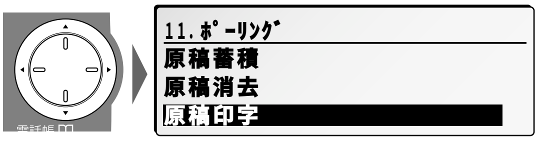
終わり

●ポーリング予約原稿のプリント

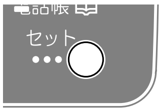
1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜1＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「原稿印字」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。



＊ポーリング予約原稿がプリントされます。

終わり

11 相手の原稿を取り出す（ポーリング）

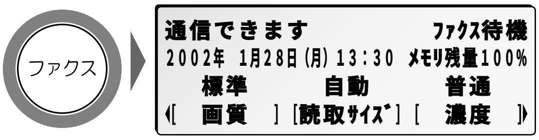
- 相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させる機能です。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。
- 一度の操作で最大230宛先の相手からポーリングする指示もできます。

操作の前に

- ＜スタート＞キーを押す前に送信時刻を指定することができます。（➡121ページ）

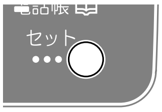
●ポーリングの設定

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

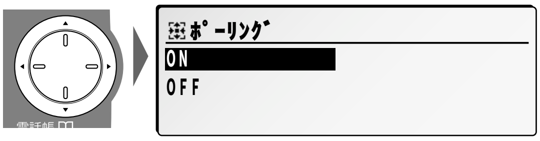


2 **①＜メニュー／文字＞キーを押し、カーソルキーで「ポーリング」を選択します。**

②＜セット＞キーを押します。

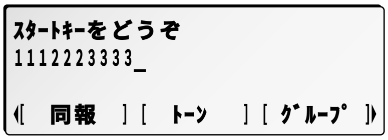


3 **①カーソルキーでポーリングのONまたはOFFを選択します。**



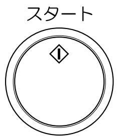
②＜セット＞キーを押します。

4 **相手先のファクス番号を入力します。**



＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、＜セット＞キーを押します。（➡89、91ページ）
＊[同報]を押すことにより、最大230宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は30宛先までです。）

5 **＜スタート＞キーを押します。**



終わり

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは、＜ストップ／クリア＞キーを押して訂正してください。
- ＜スタート＞キーを押した後は、＜通信中止／通信確認＞キーで消去、確認できます。（➡97ページ）

12 Fコード通信をする

●Fコード通信とは？

ITU-T（国際電気通信連合）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録されたFコードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を越えて親展通信、掲示板通信、中継指示通信を利用できます。
＊Fコードボックスは50個まで登録できます。（「Fコードボックスの登録」➡159ページ）
＊1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

●サブアドレスとパスワード

- サブアドレスは、メモリ内に設定されたさまざまなFコードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）
- パスワードは、原稿を間違って送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

●Fコード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

◆Fコード親展通信

通信相手にFコード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。
親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

- Fコード親展送信をする場合 ...... サブアドレスを使用した送信（➡152ページ）
- Fコード親展受信した場合 .... 蓄積原稿のプリント（➡155ページ）

◆Fコード掲示板通信

通信相手にFコード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

- 相手先の掲示板へ送信する場合 .... サブアドレスを使用した送信（➡152ページ）
- 相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合 ... サブアドレスを使用した受信（➡153ページ）
- 自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合 .... 掲示板への原稿蓄積（➡154ページ）

◆Fコード中継指示通信

中継機にFコード中継ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスを指定することにより、中継指示通信ができるようになります。（必要に応じてパスワードを指定できます）
中継機側では、ボックスに登録されている相手先（配信先）に、指示された原稿を送信（配信）します。

- 中継指示送信する場合 .... あらかじめ通信相手のファクスに設定されている、中継指示通信用のボックスのサブアドレスやパスワードを確認して、Fコード送信をしてください。（➡152ページ）
- 本機が中継機となる場合 ...... Fコードボックスの登録（➡159ページ）で中継用のボックスを設定してください。

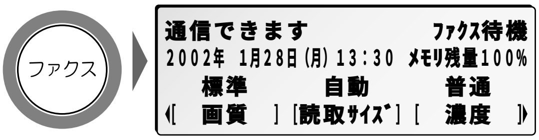
●サブアドレスを使用した送信（Fコード送信）

● サブアドレスとパスワードを入力することにより、Fコード親展送信、Fコード掲示板送信、Fコード中継送信ができます。

操作の前に

● あらかじめ、相手機に登録されている機能のサブアドレスとパスワードを確認してください。

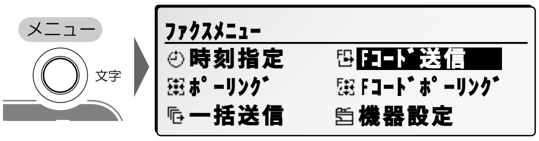
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面を表示させます。**



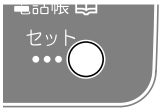
2 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

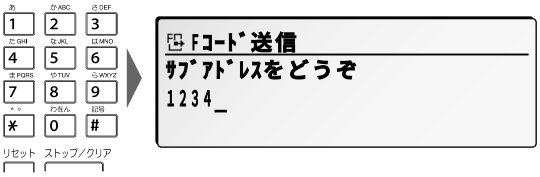
3 **①<メニュー／文字>キーを押し、カーソルキーで「Fコード送信」を選択します。**



②<セット>キーを押します。



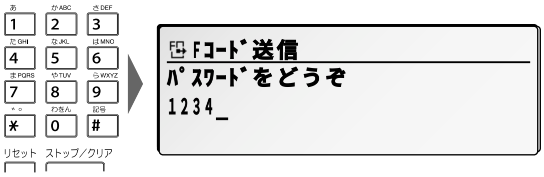
4 **①テンキーで、相手機に登録されている機能のサブアドレスを入力します。**



＊サブアドレスは20桁以内の数字で表されます。

②<セット>キーを押します。

5 **①テンキーで、パスワードを入力します。**



＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで<セット>キーを押し、手順6に進みます。

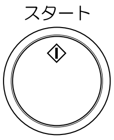
②<セット>キーを押します。

＊この操作の後、<メニュー／文字>キーを押し「時刻指定」を選択して<セット>キーを押すと、送信時刻を指定できます。

6 **相手先のファクス番号を入力します。**

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。（➡89、91ページ）
＊ 同報 を押すことにより、最大230宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は30宛先までです。）

7 **<スタート>キーを押します。**



終わり

MEMO

● 番号を間違えて入力したときは<ストップ／クリア>キーを押して訂正してください。
● 原稿読み取り後は、<通信中止／通信確認>キーで消去、確認できます。（➡97ページ）

●サブアドレスを使用した受信（Fコードポーリング）

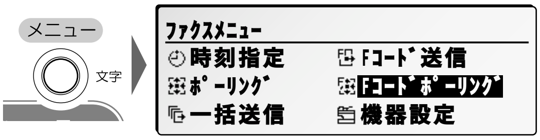
- 相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。

操作の前に

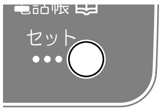
- あらかじめ相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認してください。

1

①＜メニュー／文字＞キーを押し、カーソルキーで「Fコードポーリング」を選択します。

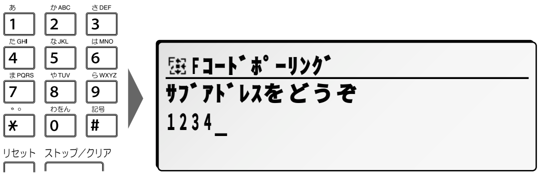


②＜セット＞キーを押します。



2

①テンキーで、掲示板のサブアドレスを入力します。

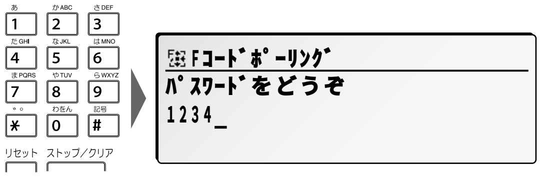


＊サブアドレスは20桁以内の数字で表されます。

②＜セット＞キーを押します。

3

①テンキーで、パスワードを入力します。



＊パスワードは20桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
＊パスワードの必要がないときは、何も入力しないで＜セット＞キーを押し、手順4に進みます。

②＜セット＞キーを押します。

＊この操作の後、＜メニュー／文字＞キーを押し「時刻指定」を選択して＜セット＞キーを押すと、送信時刻を指定できます。

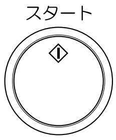
4

相手先のファクス番号を入力します。

＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、＜セット＞キーを押します。（➡89、91ページ）
＊同報を押すことにより、最大230宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は30宛先までです。）

5

＜スタート＞キーを押します



終わり

MEMO

- 番号を間違えて入力したときは＜ストップ／クリア＞キーを押して訂正してください。
- 原稿読み取り後は、＜通信中止／通信確認＞キーで消去、確認できます。（➡97ページ）

ファクス編

第2章　便利な使いかた（通信編）

●掲示板への原稿蓄積

- Fコードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。
- 1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

操作の前に

- Fコードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。（➡159ページ）

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面を表示させます。**

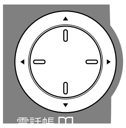
```
通信できます          ﾌｧｸｽ待機
2002年 1月28日(月)13:30 ﾒﾓﾘ残量100%
  標準       自動       普通
[ 画質  ][読取ｻｲｽﾞ][  濃度  ]
```

2 **原稿をセットします。（➡44、45ページ）**

＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

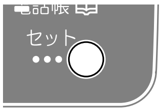
3 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><5>→<セット>キーと押します。**

4 **①カーソルキーで「原稿蓄積」を選択します。**



```
15.Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ
BOX登録        原稿蓄積
BOX消去        原稿印字
BOXﾘｽﾄ         原稿消去   ▼
```

②<セット>キーを押します。



5 **①テンキーで原稿を蓄積するFコードボックス番号（掲示板ボックスの番号）を入力します。（2桁で入力します）**

＊カーソルキーを押してFコードボックスを選択することもできます。

```
15.Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ      原稿蓄積
BOX番号をどうぞ     (01-50):_
02:名古屋支店
```

＊□は原稿が蓄積されていることを示します。

②<セット>キーを押します。

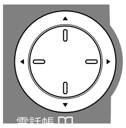
6 **①暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力します。**

```
02:Fｺｰﾄﾞ掲示板     原稿蓄積
暗証番号をどうぞ
****_
```

＊暗証番号が設定されていないときは、手順7に進みます。

②<セット>キーを押します。

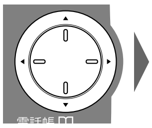
7 **カーソルキーで原稿蓄積方法を選択します。**



```
02:Fｺｰﾄﾞ掲示板     原稿蓄積
蓄積方法
上書き
追加
```

次のページへ

8 <セット>キーを押します。



```
掲示板  ﾌｧｲﾙ番号:01  読取中
画質 :標準        ﾒﾓﾘ残量 99%
ｻｲｽﾞ :A4          ﾍﾟｰｼﾞ :1
 次の原稿:[ あり ][ なし ]
```

＊すでに30件原稿が蓄積されているときは「件数オーバーです」と表示されます。

終わり

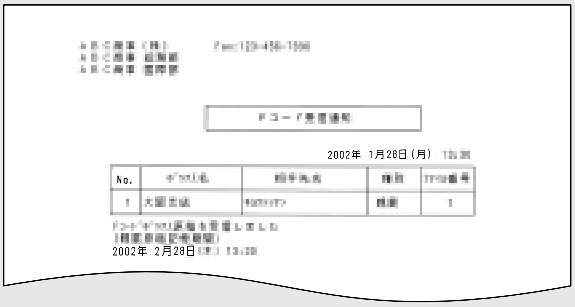
●蓄積原稿のプリント

● 親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿をプリントします。

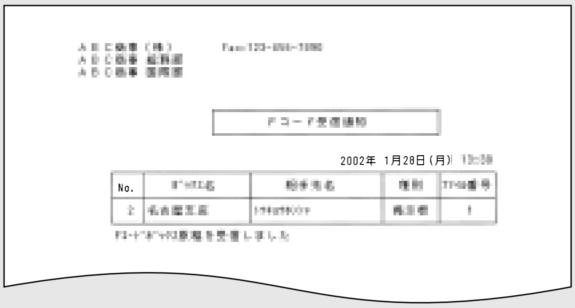
操作の前に

● Fコードボックスに原稿を受信した場合は、Fコード受信通知がプリントされます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿をプリントします。

●親展受信の場合



●掲示板に受信した場合



● 掲示板に受信および蓄積した原稿をプリントする場合は、ファイル番号を指定してプリントします

1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。

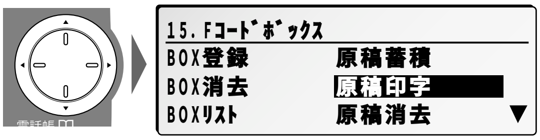
2 <メニュー／文字>キー→テンキー<1><5>→<セット>キーと押します。

ファクス編

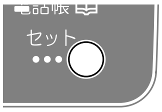
第2章 便利な使いかた(通信編)

3

①カーソルキーで「原稿印字」を選択します。



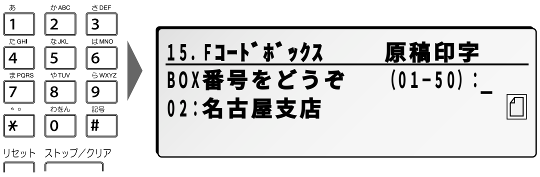
②＜セット＞キーを押します。



4

①テンキーで、プリントしたい原稿が蓄積されているFコードボックス番号を入力します。

＊カーソルキーを押してFコードボックスを選択することもできます。

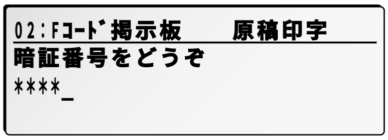


＊は原稿が蓄積されていることを示します。

②＜セット＞キーを押します。

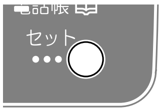
5

①暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力します。



＊掲示板ボックスに暗証番号が設定されていないときは、手順6に進みます。

②＜セット＞キーを押します。

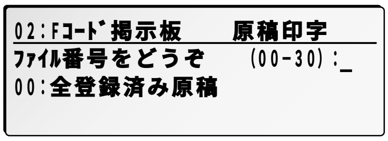


＊親展受信原稿の場合は、手順5で終わりです。

6

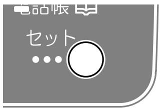
テンキーで、ファイル番号を入力します。

＊カーソルキーを押してファイル番号を選択することもできます。
＊00を選択すると、このＦコードボックスに蓄積されているすべての原稿をプリントします。



7

＜セット＞キーを押します。
蓄積された指定原稿をプリントします。



＊親展受信原稿はプリントすると自動的に消去されます。
＊掲示板に受信または蓄積した原稿は、プリントしても消去されません。

終わり

●蓄積原稿の消去

● 掲示板ボックスに蓄積されている原稿を消去します。

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

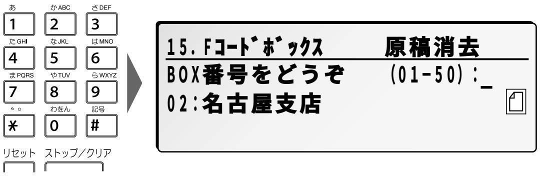
2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜5＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「原稿消去」を選択します。**

②＜セット＞キーを押します。

4 **①テンキーで、消去したい原稿が蓄積されているFコードボックス番号を入力します。**

＊カーソルキーを押してFコードボックスを選択することもできます。



＊□は原稿が蓄積されていることを示します。

②＜セット＞キーを押します。

5 **①暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力します。**

＊掲示板ボックスに暗証番号が設定されていないときは、手順6に進みます。

②＜セット＞キーを押します。

6 **テンキーで、ファイル番号を入力します。**

＊カーソルキーを押してファイル番号を選択することもできます。
＊00を選択すると、このFコードボックスに蓄積されているすべての原稿を消去します。

7 **①＜セット＞キーを押します。**

②消去してもよければ、もう一度＜セット＞キーを押します。

＊消去を中止するときは＜戻る＞キーを押します。

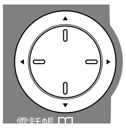
終わり

●FコードBOX蓄積原稿リストのプリント

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜5＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「原稿リスト」を選択します。**



15.Fコード゛ボ゛ックス
原稿リスト ▲

②＜セット＞キーを押します。

＊FコードBOX蓄積原稿リストがプリントされます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　Ｆコード　ボックス蓄積原稿リスト　＊＊

P.1　2002年 1月28日（月）13:30

No.	ボ゛ックス名	種別	ファイル番号
1	大阪支店	掲示板	1
2	名古屋支店	親展	
3	広島支店	中継	

1．種別

親展……… 親展ボックスとして登録されています。
中継……… 中継ボックスとして登録されています。
掲示板….. 掲示板ボックスとして登録されています。

2．ファイル番号

受信した場合はＦコード受信通知のファイル番号、蓄積した場合は蓄積時のファイル番号を表します。

MEMO

● 操作を中止するときは、＜リセット＞キーを押します。

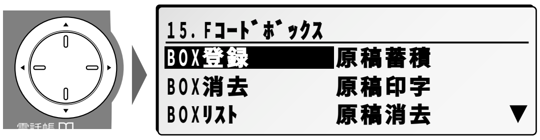
●Fコードボックスの登録

- Fコード通信を利用するためにFコードボックスを登録します。Fコードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。
- サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
- 暗証番号を設定すると、特定の人以外はFコードボックスの操作ができなくなります。

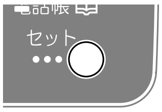
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<1><5>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「BOX登録」を選択します。**

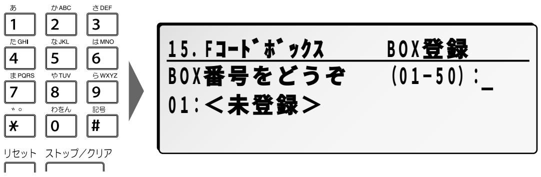


②<セット>キーを押します。



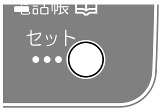
4 **①テンキーで、登録したいFコードボックス番号（01～50）を入力します。**

＊カーソルキーを押してFコードボックスを選択することもできます。

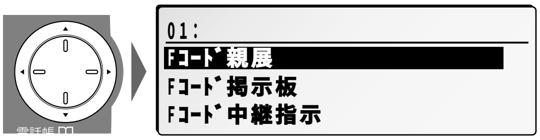


＊すでにFコードボックスが登録されている場合はBOX名が表示されます。

②<セット>キーを押します。



5 **①カーソルキーでボックス種別を選択します。**



②<セット>キーを押します。

＊ボックス種別によって登録内容が異なります。

次のページへ

掲示板を選択した場合

6 **BOX名、サブアドレスは必ず登録します。**

①カーソルキーで「BOX名」を選択し、＜セット＞キーを押します。

②BOX名を入力します。入力後、＜セット＞キーを押します。

＊半角文字では16文字、全角文字では8文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

```
02：Fコード掲示板　　BOX登録
設定終了
BOX名　　　：名古屋支店
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ　　：＜未登録＞　▼
```

③カーソルキーで「サブアドレス」を選択し、＜セット＞キーを押します。

④テンキーでサブアドレスを入力します。入力後、＜セット＞キーを押します。

＊サブアドレスは20桁まで登録できます。数字のみ登録できます。
＊すでに他のFコードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「もう既に入力されています」と表示します。違う番号を入力し直してください。

```
02：Fコード掲示板　　BOX登録
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　　：＜未登録＞　▲
受信禁止　　：OFF
同時ﾌﾟﾘﾝﾄ　　：OFF　　　　▼
```

7 **パスワード、受信禁止、同時プリント、上書き許可、送信原稿消去の設定は必要に応じて行います。**

受信禁止 ....ONにした場合は、ポーリング送信のみになります。
同時プリント..ONにした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。
上書き許可 .....ONにした場合は、前に蓄積されていた原稿は受信した原稿で上書きされます。
送信原稿消去..ONにした場合は、ポーリング送信後、原稿を消去します。

カーソルキーで設定したい項目を選択し、＜セット＞キーを押します。

①パスワードを登録するとき テンキーでパスワードを入力し、＜セット＞キーを押します。

＊パスワードは20桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
＊パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

②受信禁止を設定するとき カーソルキーでONまたはOFFを選択し、＜セット＞キーを押します。

＊受信禁止をONにすると同時プリント、上書き許可はOFFになり、設定できなくなります。

③同時プリントを設定するとき カーソルキーでONまたはOFFを選択し、＜セット＞キーを押します。

④上書き許可を設定するとき カーソルキーでONまたはOFFを選択し、＜セット＞キーを押します。

⑤送信原稿消去を設定するとき カーソルキーでONまたはOFFを選択し、＜セット＞キーを押します。

8 **手順9に進みます。**

次のページへ

親展を選択した場合

6 **BOX名、サブアドレスは必ず登録します。**

①カーソルキーで「BOX名」を選択し、<セット>キーを押します。

②BOX名を入力します。入力後、<セット>キーを押します。

＊半角文字では16文字、全角文字では8文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

```
01:Fｺｰﾄﾞ親展        BOX登録
設定終了
BOX名       :大阪支店
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ    :<未登録>        ▼
```

③カーソルキーで「サブアドレス」を選択し、<セット>キーを押します。

④テンキーでサブアドレスを入力します。入力後、<セット>キーを押します。

＊サブアドレスは20桁まで登録できます。数字のみ登録できます。
＊すでに他のＦコードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「もう既に入力されています」と表示します。違う番号を入力し直してください。

```
01:Fｺｰﾄﾞ親展         BOX登録
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ        :<未登録>     ▲
記憶期間       :00 日
```

7 **パスワード、記憶期間の設定は必要に応じて行います。**

＊記憶期間..... 親展原稿を保持する期間です。（0～31日）0日に設定したときは無期限に原稿を保持します。

カーソルキーで設定したい項目を選択し、<セット>キーを押します。

①パスワードを登録するとき
テンキーでパスワードを入力し、<セット>キーを押します。

＊パスワードは20桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
＊パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

②記憶期間を設定するとき
テンキーで記憶期間を入力し、<セット>キーを押します。

8 **手順9に進みます。**

次のページへ

中継指示を選択した場合

6 **BOX名、サブアドレス、配信先は必ず登録します。**

①カーソルキーで「BOX名」を選択し、<セット>キーを押します。

②BOX名を入力します。入力後、<セット>キーを押します。

＊半角文字では16文字、全角文字では8文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

```
03:Fｺｰﾄﾞ中継指示   BOX登録
設定終了
BOX名         :広島支店
ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ      :<未登録>      ▼
```

③カーソルキーで「サブアドレス」を選択し、<セット>キーを押します。

④テンキーでサブアドレスを入力します。入力後、<セット>キーを押します。

＊サブアドレスは20桁まで登録できます。数字のみ登録できます。
＊すでに他のＦコードボックスに登録されているサブアドレスを入力した場合は、「もう既に入力されています」と表示します。違う番号を入力し直してください。

```
03:Fｺｰﾄﾞ中継指示    BOX登録
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ        :<未登録>    ▲
配信先         :<未登録>
発信元         :付けない     ▼
```

⑤カーソルキーで「配信先」を選択し、<セット>キーを押します。

⑥配信先を選択します。選択後、<セット>キーを押します。

```
配信先をどうぞ
01:京都支店_

          [ ｸﾞﾙｰﾌﾟ ][  同報  ]
```

＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ、電話帳が使用できます。（テンキーは使用できません。）
＊電話帳で入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。（➡91ページ）
＊複数の宛先を指定するときは、同報 を押して区切ります。

次のページへ

7 **パスワード、発信元、同時プリントの設定は必要に応じて行います。**

発信元　付けない …配信する原稿に、自機の発信元名をつけません。
外付け ……配信する原稿に、中継指示先の発信元名と並べて、自機の発信元名をつけます。
上書き ……配信する原稿に、自機の発信元名をつけます。（中継指示先の発信元名に自機の発信元名を上書きします。）
同時プリント …………ONにした場合は、中継指示先より送信された原稿を、本機でもプリントします。

カーソルキーで設定したい項目を選択し、＜セット＞キーを押します。

①パスワードを登録するとき
テンキーでパスワードを入力し、＜セット＞キーを押します。

＊パスワードは20桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
＊パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

②発信元を設定するとき
カーソルキーで選択し、＜セット＞キーを押します。

③同時プリントを設定するとき
カーソルキーでONまたはOFFを選択し、＜セット＞キーを押します。

8 **手順9に進みます。**

9 **カーソルキーで「設定終了」を選択し、＜セット＞キーを押します。**

10 **テンキーで暗証番号（4桁）を登録します。**

＊親展の場合は必ず暗証番号を登録してください。
＊掲示板、中継の場合は必要に応じて暗証番号を登録してください。
＊暗証番号を間違えたときは正しい番号を上書きで入力してください。
＊ここで登録した暗証番号は蓄積原稿のプリントなどをするときに入力が必要です。忘れないように控えておいてください。
＊掲示板、中継指示BOXの暗証番号を解除するには、この手順で0000と入力します。

11 **＜セット＞キーを押すと、手順4に戻ります。続けてFコードボックスを登録するときは、手順4から操作を繰り返します。終了するときは＜リセット＞キーを押します。**

終わり

MEMO

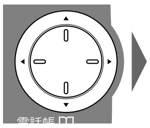
- すでに登録されているFコードボックスの内容を変更する場合は、Fコードボックスの登録手順の中で、変更したい登録内容を＜ストップ／クリア＞キーで消去してから新しく入力します。
- ボックス種別を変更するときは、変更したいFコードボックスを消去してから登録し直してください。

●Fコードボックスの消去

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

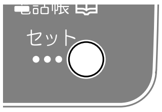
2 **<メニュー/文字>キー→テンキー<1><5>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「BOX消去」を選択します。**



```
15.Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ
BOX登録        原稿蓄積
BOX消去        原稿印字
BOXﾘｽﾄ         原稿消去 ▼
```

②<セット>キーを押します。



4 **①テンキーで、消去したいFコードボックス番号(01～50)を入力します。**

＊カーソルキーを押してFコードボックスを選択することもできます。

```
15.Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ      BOX消去
BOX番号をどうぞ   (01-50):_
02:名古屋支店
```

＊すでにFコードボックスが登録されている場合は相手先名が表示されます。

②<セット>キーを押します。

5 **①暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号(4桁)を入力します。**

```
02:名古屋支店
暗証番号をどうぞ
****_
```

＊暗証番号が設定されていないときは、手順6に進みます。

②<セット>キーを押します。

6 **消去してよければ、<セット>キーを押します。**

＊消去を中止するときは<戻る>キーを押します。
＊原稿が蓄積されているFコードボックスを消去することはできません。

7 **続けて消去を行うときは、手順4から操作を繰り返します。**
終了するときは、<リセット>キーを押します。

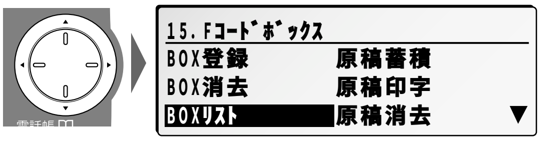
終わり

●Fコードボックスリストのプリント

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー/文字>キー→テンキー<1><5>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「BOXリスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。
＊Fコードボックスリストが印字されます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　Fコード　ボックス　リスト　＊＊

P.1　2002年 1月28日(月) 13:30

No.	ﾎﾞｯｸｽ名	ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ番号	通信ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ番号	種別	備考
1	大阪支店	000111222333	**2222**	掲示板	
2	名古屋支店	0123456789	**0101**	親展	30 日
3	広島支店	345345345	**3333**	中継	
	(配信先) (発信元) (同時ﾌﾟﾘﾝﾄ)	S001,G1 外付け ON			

備考　1:受信禁止　2:同時ﾌﾟﾘﾝﾄ　3:上書き　4:送信原稿消去

MEMO

- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押します。

13 ファクシミリ通信網及びサービスの利用について

●ファクシミリ通信網サービス

● 詳しくは、お近くの NTT 営業窓口へお問い合わせください。
ファクシミリ通信網は、NTTが提供するファクシミリ専用の通信回線で、局側に記憶装置やさまざまなサービス機能を持っていますので、多彩な利用が可能となっております。

●利用の申込みのしかた

①ファクシミリに接続された電話の、直轄 NTT 営業所に<利用申し込み>をします。
②種別については< G3 サービス>と指定し、選択を要するサービスについて指定をします。
〔例えば〕●受信方式：　鳴動受信（ベルが鳴って受信）
　　　　　　　　　　　無鳴動受信（ベルが鳴らずに受信）
　　　　●短縮ダイヤル宛先数：40ヶ所／ 100ヶ所（有料）
　　　　●閉域接続について：実施する／実施しない（無料）
　　　　●ファクシミリボックス：利用する／しない（有料）など。
③電話局より開通日の連絡があります。
④契約料・工事費用の請求があります。（電話代請求に含まれます。）
⑤利用を開始します。

●利用に際しての注意点

①ファクシミリ通信網はあらかじめお近くのNTT営業所へ、お申し込みのあった場合に限りご利用いただけます。（送信のみ）
②ファクシミリ通信網からの受信は、「受信モード」の設定とは無関係に常に自動的に受信します。（申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです。）
③ファクシミリ通信網での交信中は、相手側を呼び出して、音声による会話はできません。

●通信のしかた

1. 送信

相手方を呼び出すダイヤルをする前に「161」「162」などの（局呼び出し番号）を付けるだけで、通常の送信操作と同じです。
※オートダイヤル機能により、ワンタッチ送信をすることができます。

〔例えば〕075-111-2222 ファクシミリ通信網を通じて送信する場合、次のようになります。
■通常送信
原稿をセットする→本体電話を取り→〔161 →プップップッ→ 075-111-2222 →ピー〕→<スタート>キーを押す→電話を戻す
■ファクスのワンタッチ・短縮ダイヤルでの送信
原稿をセットする→〔ワンタッチキー< 1 >〕→<スタート>キー→送信開始
（登録は、例えばワンタッチキー< 1 >に、161P075-111-2222 と登録しておきます。また本体電話を操作する必要はありません。）
< P の登録については 94 ページを参照してください。>

※「162」発信も可能です。

2. 受信

本体電話のベルのならない「無鳴動着信」をします。
手動受信（電話待機）にセットしてあっても、自動受信しますので、電源は入れたままにしておいてください。（申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです。）

●新電電系（NCC回線）の利用のしかた

● 詳しくは、それぞれのサービス会社にお問い合わせください。

●利用申し込みのしかた

直接、新電電系通信サービス会社または代理店へ登録申し込みを行います。

●利用に際しての注意点

①利用できる地域に制限があります。
②料金を確認してください。

●通信のしかた

1. 送信

相手方を呼び出すダイヤルの前にそれぞれ利用する通信サービス会社固有の番号を入れて、通常の送信操作をします。ワンタッチ・短縮ダイヤルの登録により自動発信できます。

2. 受信

通常と変わりません。

●銀行のFAXサービスなどの利用のしかた

● 詳しくは、それぞれの取引銀行やデータベース会社にお問い合わせください。

●利用申し込みのしかた

それぞれの取引銀行やデータベース会社へ直接利用申し込みをします。

●利用に際しての注意点

①利用できる地域に制限があります。
②料金を確認してください。

●通信のしかた

1. 送信

それぞれのサービス会社の手順に従ってください。

2. 受信

それぞれのサービス会社の手順に従ってください。尚、ポーズなど特定信号への対応は94ページをご覧ください。短縮・ワンタッチダイヤルにも登録できます。

ファクス編

第3章 便利な使いかた（通信管理編）

もくじ

1 相手先の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）........................ 168
電話がかかってくると 168
ディスプレイ表示について 169
名前の登録 170
ナンバー・ディスプレイダイヤルリストのプリント 171
ナンバー・ディスプレイ着信履歴のプリント 172

2 部門ごとの使用を管理する 173
部門管理の設定 173
部門管理ONのときの送信 174
部門番号の登録・消去 175
部門管理の保護 176

3 受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）.... 177
セキュリティ受信の設定 177
セキュリティ受信した原稿のプリント 178

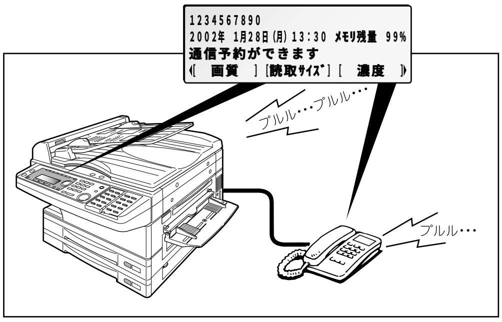
4 ダイレクトメール防止の登録 179
登録する 179
登録した番号の消去 181
ダイレクトメール防止ダイヤルリストのプリント 181

5 通信管理 182
通信管理レポートのプリント 182
通信結果の確認 182
通信管理レポート、通信証の設定 183
通信管理レポートのみかた 184
通信証のみかた 185

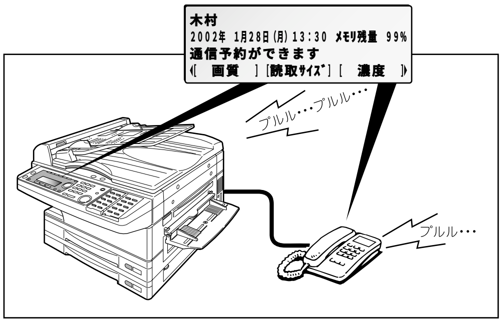
1 相手先の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）

●電話がかかってくると

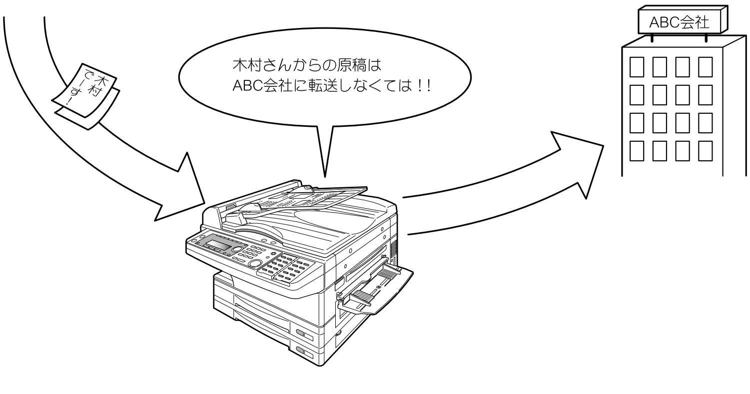
- かけてきた相手の番号を表示します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、電話機でも同サービスを利用することができます。



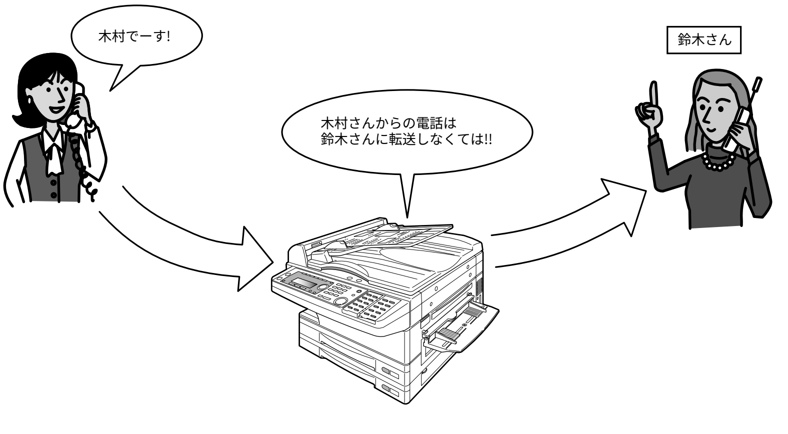
- 名前の登録をしている相手のときは名前を表示します。



- ファクスワープの転送先の登録で発信元を選択すると、ナンバー・ディスプレイで登録した相手先から受信した原稿を転送することができます。（ファクスワープ ➡129 ページ）



- フォンワープの転送先の登録で発信元を選択すると、ナンバー・ディスプレイで登録した相手先から受信した電話を転送することができます。（フォンワープ ➡136 ページ）



●ディスプレイ表示について

【例】

```
1234567890
2002年 1月28日(月) 13:30 メモリ残量 99%
通信予約ができます
◀[ 画質 ][読取サイズ][ 濃度 ]▶
```

● 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186をつけてダイヤルしているときに表示します。

【例】

```
木村
2002年 1月28日(月) 13:30 メモリ残量 99%
通信予約ができます
◀[ 画質 ][読取サイズ][ 濃度 ]▶
```

● 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186をつけてダイヤルしているときで、名前の登録をしている相手のときには、登録している名前を表示します。

【例】

```
非通知
2002年 1月28日(月) 13:30 メモリ残量 99%
通信予約ができます
◀[ 画質 ][読取サイズ][ 濃度 ]▶
```

● 相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、184をつけてダイヤルしているときに表示します。

【例】

```
表示圏外
2002年 1月28日(月) 13:30 メモリ残量 99%
通信予約ができます
◀[ 画質 ][読取サイズ][ 濃度 ]▶
```

● 相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたときに表示します。

【例】

```
公衆電話
2002年 1月28日(月) 13:30 メモリ残量 99%
通信予約ができます
◀[ 画質 ][読取サイズ][ 濃度 ]▶
```

● 相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が184をつけてダイヤルした場合は「非通知」になります。

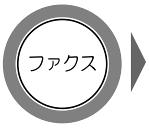
＊地域によっては、ナンバー・ディスプレイをご利用できない場合もあります。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

●名前の登録

- 名前を登録した相手先からかかってきたときは、番号表示のかわりに相手先名を表示するようになります。一目で相手先が確認でき便利です。
- 名前は２０件まで登録できます。

1

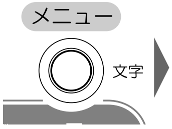
<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。

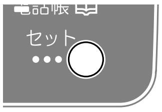



```
通信できます　　　　　ﾌｧｸｽ待機
2002年 1月28日(月)13:30 ﾒﾓﾘ残量100%
　標準　　　　自動　　　普通
[ 画質 ][読取ｻｲｽﾞ][ 濃度 ]
```

2

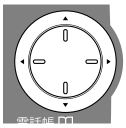
<メニュー／文字>キー→テンキー<０><5>→<セット>キーと押します。





3

①カーソルキーで「登録」を選択します。



```
05.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
登録
消去
ﾘｽﾄ
```

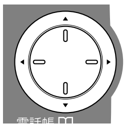
②<セット>キーを押します。

4

①カーソルキーで登録されていない番号を選択します。

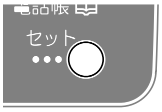
＊テンキーで選択することもできます。

【例】初めて登録するとき



```
05.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ　登録
登録先選択　　(01-20):_
01:<未登録>
```

②<セット>キーを押します。



5

①テンキーで、相手先番号を市外局番から入力します。（最大20桁）

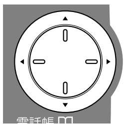
```
01:
ﾀﾞｲﾔﾙ番号をどうぞ
075-111-3333_
　　　　　　　　[ - ]
```

＊番号を間違えたときは<ストップ／クリア>キーを押します。

②<セット>キーを押します。

6

①カーソルキーで「相手先名」を選択します。



```
01:075-111-3333
設定終了
相手先名　:<未登録>
```

②<セット>キーを押します。

7

①相手先名を登録します。

```
01:075-111-3333
相手先名　　　　漢かな
京都支店_
[ 数字 ]
```

＊半角文字では24文字、全角文字では12文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

②<セット>キーを押します。

8

カーソルキーで「設定終了」を選択し、<セット>キーを押します。続けて登録するときは、手順4から操作を繰り返します。登録を終了するときは<リセット>キーを押します。

終わり

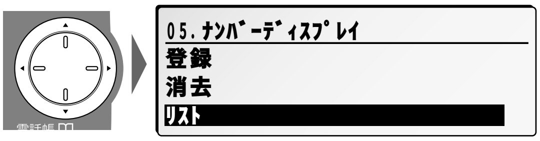
●ナンバー・ディスプレイダイヤルリストのプリント

● ナンバー・ディスプレイ機能に登録されている番号と名前をプリントし、確認することができます。

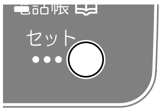
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><5>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「リスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。



＊ナンバー・ディスプレイダイヤルリストがプリントされます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　ナンバーディスプレイ　ダイヤル　リスト　＊＊

P.1　　2002年 1月28日(月) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号
1	京都支店	075-111-3333
2	大阪支店	06-6111-4444
3	福岡支店	092-111-6666

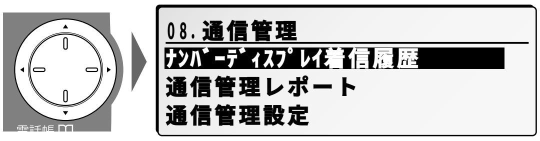
●ナンバー・ディスプレイ着信履歴のプリント

● 最新の着信を記憶しておき、20件分の着信状況をプリントできます。
それ以前の着信履歴は順次自動消去します。過去の着信状況を確認するのに便利です。

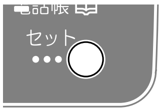
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><8>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「ナンバーディスプレイ着信履歴」を選択します。**



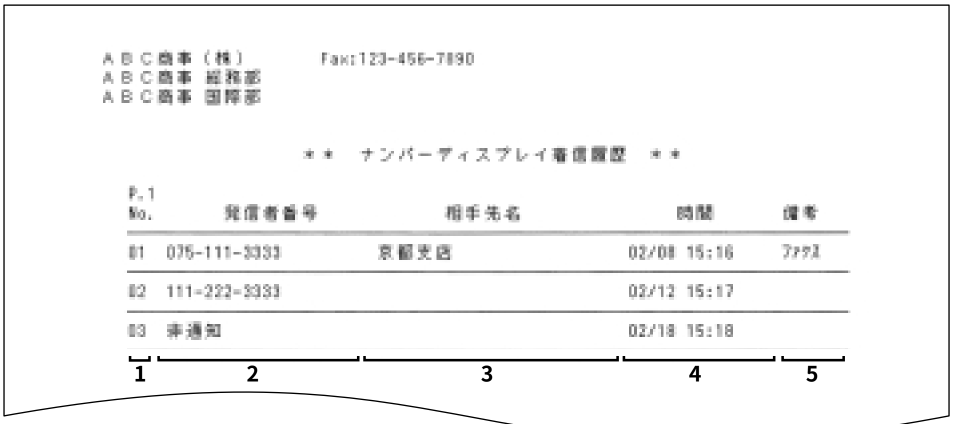
②<セット>キーを押します。



＊ナンバー・ディスプレイ着信履歴がプリントされます。

終わり

プリント例



ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事 総務部
ＡＢＣ商事 国際部

＊＊ ナンバーディスプレイ着信履歴 ＊＊

P.1

No.	発信者番号	相手先名	時間	備考
01	075-111-3333	京都支店	02/08 15:16	ﾌｧｸｽ
02	111-222-3333		02/12 15:17	
03	非通知		02/18 15:18	
1	2	3	4	5

1. NO
着信件数です。

2. 発信者番号
・相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または「186」をつけてダイヤルしたときは、発信側の番号がプリントされます。
・非通知……. 相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、「184」をつけてダイヤルしているとき。
・表示圏外… 相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたとき。
・公衆電話… 相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が「184」をつけてダイヤルした場合は「非通知」になります。
・F網………… ファクシミリ通信網より着信しました。

3. 相手先名
相手先名を登録している場合は名前を表示します。相手先を登録していない場合や、相手先が「184」で番号表示をしない場合は空白になります。

4. 時間
着信した時刻です。

5. 備考
・ファクス……. ファクスの受信です。
・電話…………… 電話の受信です。

2 部門ごとの使用を管理する

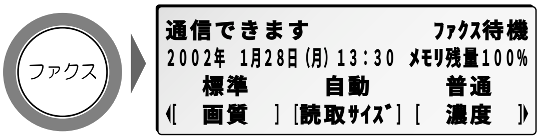
● 送信操作のたびに部門コードを入力する必要がありますので、使用者を限定することもできます。

操作の前に

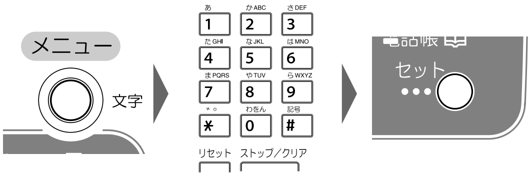
● 部門管理を有効にするときは、部門番号を登録（➡175ページ）してから部門管理の設定をONにしてください。（➡173ページ）
● 部門管理プロテクトがONになっていると、部門管理を設定することはできません。部門管理プロテクトをOFFにしてください。（➡176ページ）

●部門管理の設定　　初期設定：OFF

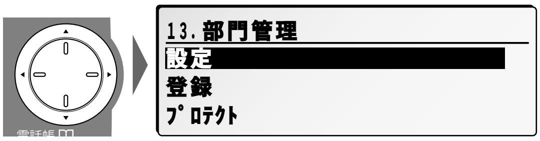
1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



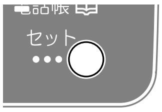
2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜3＞→＜セット＞キーと押します。**



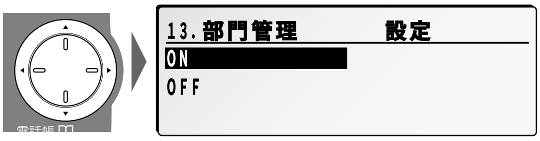
3 **①カーソルキーで「設定」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。



4 **カーソルキーでONまたはOFFを選択します。**



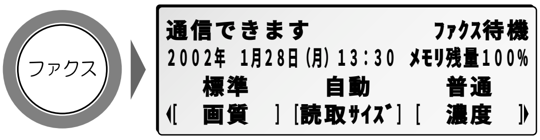
5 **＜セット＞キーを押します。**

＊部門管理が設定されます。
＊＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

●部門管理ONのときの送信

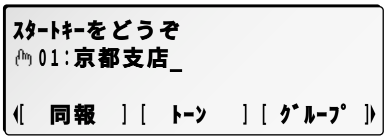
1 ＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。



2 原稿をセットします。（➡44、45ページ）

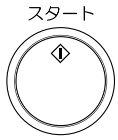
＊必要に応じて、画質や濃度を設定します。（➡46、47ページ）

3 相手先のファクス番号を入力します。

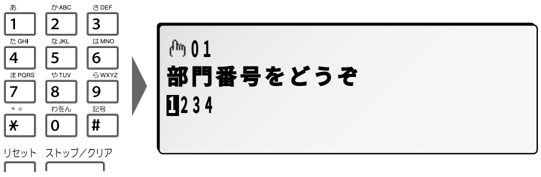


＊ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。（➡94ページ）
＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループ、プログラムワンタッチダイヤル、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルを入力するときは、相手先選択後、＜セット＞キーを押します。（➡89、91ページ）
＊プログラムワンタッチダイヤルで宛先を指定した場合は、手順5に進みます。（同報で宛先を追加することはできません。）
＊同報を押すことにより、最大230宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は30宛先までです。）

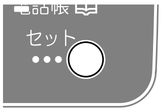
4 ＜スタート＞キーを押します。



5 テンキーで部門番号（4桁）を入力します。



6 ＜セット＞キーまたは＜スタート＞キーを押します。



＊入力した部門番号が登録されていない場合は、「正しい番号をどうぞ」と表示されます。

終わり

MEMO

- 原稿読み取り後は、＜通信中止／確認＞キーで消去、確認できます。（➡97ページ）
- 指定時刻を変更するときは、予約した通信を消去して再度設定し直します。
- 手動送信時には、部門管理機能は働きません。

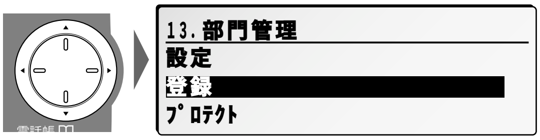
●部門番号の登録・消去

● 部門コードは100件登録できます。

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜3＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**

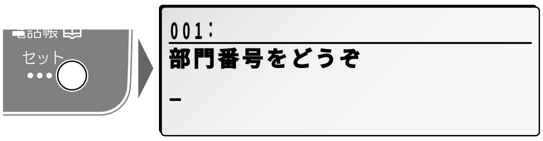


②＜セット＞キーを押します。

4 **登録するとき**

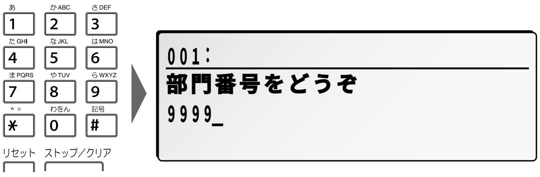
①＜セット＞キーを押します。

＊すでに登録されている部門番号が表示されているときは、カーソルキーで登録されていない番号を選択し、＜セット＞キーを押します。



②テンキーで部門番号を入力します。

＊番号を修正するときは、＜ストップ／クリア＞キーを押してください。
＊部門コードが4桁未満のときは、0が追加され、4桁で登録されます。



③＜セット＞キーを押します。

＊続けて部門番号を登録するときは、手順①から操作を繰り返します。
＊部門番号は100件まで登録できます。

消去するとき

①カーソルキーで消去したい部門番号を選択します。

② 消去 を押します。

③ 消去してよければ、＜セット＞キーを押します。

＊部門番号が消去されます。
＊消去を中止するときは＜戻る＞キーを押します。

5 **登録・消去を終了するときは、＜リセット＞キーを押します。**

＊待機画面に戻ります。

終わり

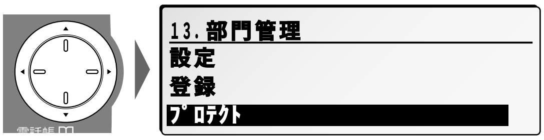
●部門管理の保護　　初期設定：OFF

- 部門管理プロテクトをONにすると、部門番号の登録・消去（➡175ページ）や部門管理の設定（➡173ページ）を操作できないようになります。
- あらかじめ、プロテクトコードを登録してください。（➡255ページ）

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜3＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「プロテクト」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。

＊プロテクトコードが登録されていないと、「プロテクトコードが未登録です」と表示されます。

4 **テンキーでプロテクトコード（4桁）を入力します。**

5 **＜セット＞キーを押します。**

＊プロテクトコードが一致しないと、「プロテクトコードが違います」と表示されます。
＜ストップ／クリア＞キーで削除し、正しいプロテクトコードを入力し直してください。

6 **カーソルキーでONまたはOFFを選択します。**

7 **＜セット＞キーを押します。**

＊部門管理の保護が設定されます。
＊＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

MEMO

- 部門番号の登録・消去、部門管理の設定のプリントを操作できるようにするには、部門管理プロテクトをOFFにしてください。

3 受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）

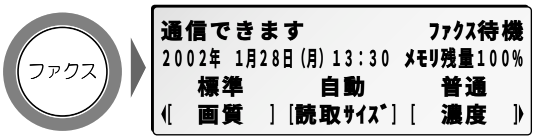
- セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリに蓄積し、プリントアウトしないようにします。この機能を活用すると、夜間などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、メモリに記憶させておくことができます。受信した原稿は、あとから用紙にプリントできます。

操作の前に

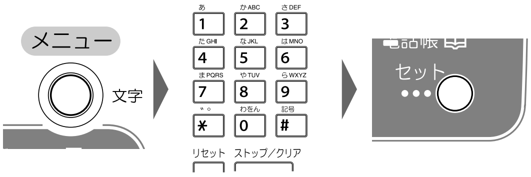
- あらかじめプロテクトコードを登録してください。（➡255ページ）
- プロテクトコードが解除されると、セキュリティ受信も解除されます。
- セキュリティ受信をONに設定すると、毎日開始時刻にセキュリティ受信が始まります。
- セキュリティ受信中に受信原稿がある場合は代行受信ランプが点灯します。用紙にプリントした時点で自動的に通常の受信動作に戻ります。
- ご愛用スイッチキーに「セキュリティ受信」を登録すると、ご愛用スイッチキーを押すだけでセキュリティ受信のON／OFFを設定することができます。（➡246ページ）

●セキュリティ受信の設定　初期設定：OFF

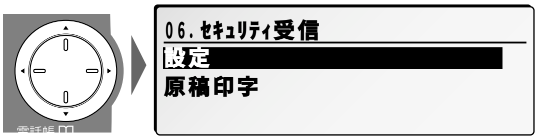
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><6>→<セット>キーと押します。**



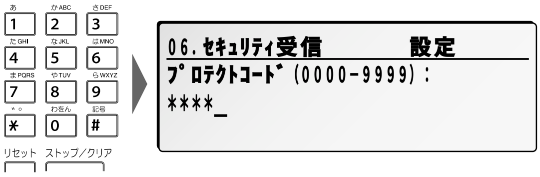
3 **①カーソルキーで「設定」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

＊プロテクトコードが未登録のときは、「プロテクトコードが未登録です」と表示されます。
プロテクトコードを登録してください。（➡255ページ）

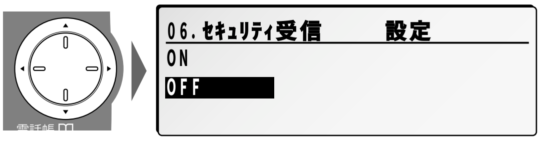
4 **①テンキーでプロテクトコード（4桁）を入力します。**



②<セット>キーを押します。

＊プロテクトコードが間違っていると、「プロテクトコードが違います」と表示されます。
<ストップ／クリア>キーで削除し、正しいプロテクトコードを入力し直してください。

5 **①カーソルキーでONまたはOFFを選択します。**



②<セット>キーを押します。

＊OFFを選択したときはセキュリティ受信が解除され、手順3の画面に戻ります。

次のページへ

6 **ONを選択したときは、テンキーでセキュリティ受信を開始する時刻を入力します。**

06.セキュリティ受信　　設定
開始時刻をどうぞ
21:00

7 **＜セット＞キーを押します。**

＊セキュリティ受信がセットされます。
＊ ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

MEMO

- 操作を中止するときは、＜リセット＞キーを押します。
- セキュリティ受信を解除する時は、手順5でOFFにセットします。（セキュリティ受信した原稿があるときは解除できません。）

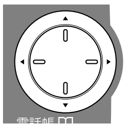
●セキュリティ受信した原稿のプリント

- 受信した原稿をプリントすると、セキュリティ受信が解除され通常の動作に戻ります。

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜0＞＜6＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「原稿印字」を選択します。**



06.セキュリティ受信
設定
原稿印字

②＜セット＞キーを押します。

4 **①テンキーでプロテクトコードを入力します。**

②＜セット＞キーを押します。受信した原稿をプリントします。

＊プロテクトコードが間違っていると、「プロテクトコードが違います」と表示されます。
＜ストップ／クリア＞キーで削除し、正しいプロテクトコードを入力し直してください。
＊受信した原稿をプリントすると、セキュリティ受信を解除し、通常の受信動作に戻ります。
＊受信した原稿がないときは、「原稿がありません　セキュリティ受信を解除しました」と表示し、待機画面に戻ります。

終わり

4 ダイレクトメール防止の登録

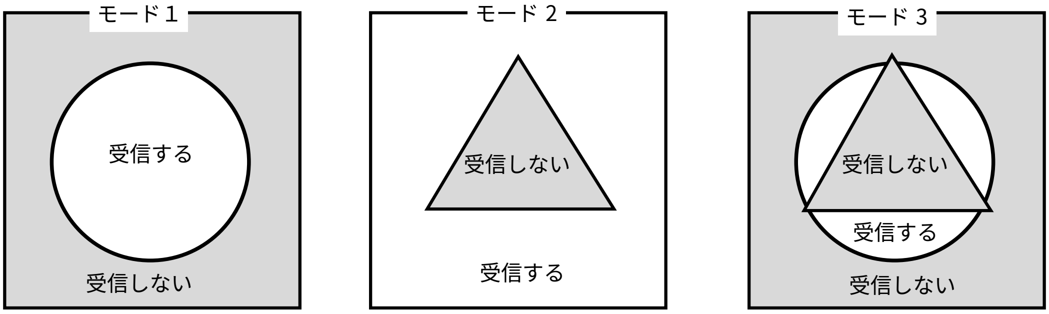
- ダイレクトメール防止には 3 種類の方法があります。

モード 1：ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。登録されているファクス番号の下 4 桁と相手先 ID を照合し、一致したときのみ受信します。

モード 2：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下 4 〜 8 桁を登録します。登録されているファクス番号の下 4 桁と相手先 ID を照合します。最大 50 件まで登録できます。

モード 3：モード 1、2 を合わせた方法です。ワンタッチ、短縮に登録されていない番号からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。

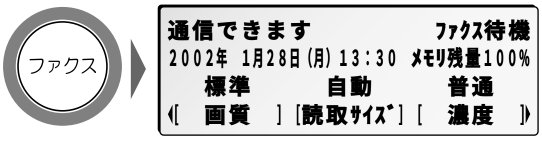
OFF：　ダイレクトメール防止を行いません。



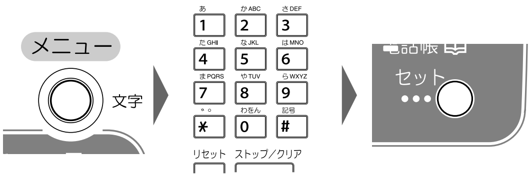
□の部分：着信した番号
○の部分：ワンタッチ・短縮ダイヤルに登録されている番号
△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

●登録する　　初期設定：OFF

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

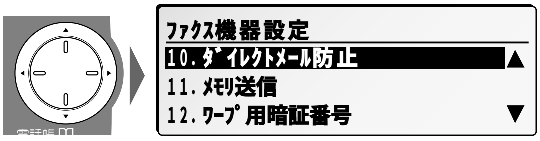


2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜1＞＜0＞→＜セット＞キーと押します。**



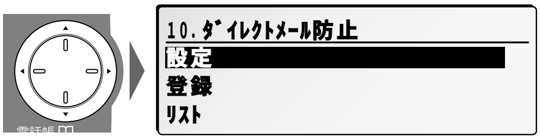
3 **①カーソルキーで「10．ダイレクトメール防止」を選択します。**

＊テンキーで＜1＞＜0＞と入力して選択することもできます。



②＜セット＞キーを押します。

4 **①カーソルキーで「設定」を選択します。**



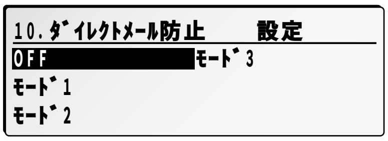
②＜セット＞キーを押します。

次のページへ

5

①カーソルキーでダイレクトメール防止のモードを選択します。

＊OFFまたはモード1を選択した場合は、手順5で終了です。
＊モード2またはモード3を選択した場合は、手順5〜9までを行います。

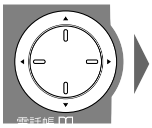


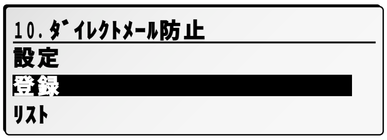
②<セット>キーを押します。

＊手順4の画面に戻ります。

6

①カーソルキーで「登録」を選択します。

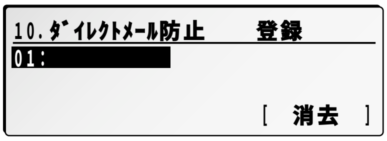




②<セット>キーを押します。

7

①カーソルキーで登録する番号を選択します。

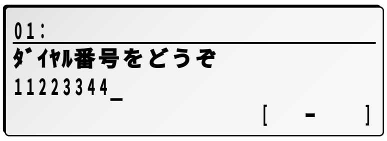


②<セット>キーを押します。

8

①テンキーで、ダイレクトメール防止を行う電話番号の下4〜8桁を入力します。

＊ハイフンを入力するときは [-] を押します。



②<セット>キーを押します。続けて番号を登録できます。

9

<リセット>キーを押すと、登録モードを終了します。

終わり

●登録した番号の消去

1 ①「登録する」の手順1～3を行います。

②カーソルキーで「登録」を選択します。

③<セット>キーを押します。

2 ①カーソルキーで消去したい番号を選択します。

②[消去] を押します。

3 消去してもよければ、<セット>キーを押します。

＊消去を中止するときは<戻る>キーを押します。

4 続けて消去を行うときは、手順2から操作を繰り返します。消去モードを終了するときは<リセット>キーを押します。

終わり

●ダイレクトメール防止ダイヤルリストのプリント

1 「登録する」の手順1～3を行います。

2 カーソルキーで「リスト」を選択し、<セット>キーを押します。

＊ダイレクトメール防止ダイヤルリストがプリントされます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　ダイレクトメール　防止　ダイヤルリスト　＊＊

P.1　　モード2　　2002年 1月28日（月）13:30

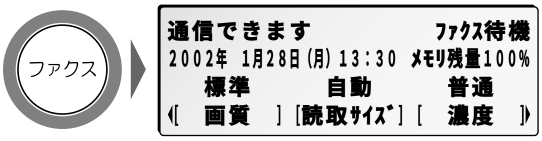
No.	ダイヤル番号	No.	ダイヤル番号	No.	ダイヤル番号
1	12345678	2	11122233	3	22233344
4	44455566				

5 通信管理

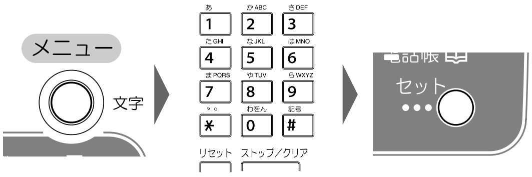
- 最新の送信、受信あわせて 100 通信分の通信結果をプリントできます。➡ 通信管理レポート
- 画面上で 70 通信分の通信結果を確認できます。➡ 通信結果
- 1 送信ごとの通信枚数や通信モードなどの通信結果をプリントして確認できます。➡ 通信証

●通信管理レポートのプリント

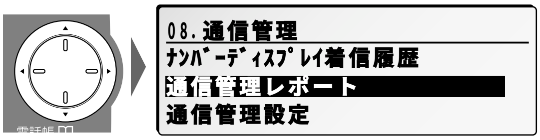
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><8>→<セット>キーと押します。**



3 **①カーソルキーで「通信管理レポート」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

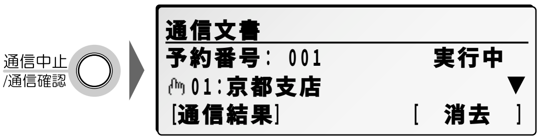
＊通信管理レポートが出力され、待機画面に戻ります。
＊通信結果がないときは、「通信結果がありません」と表示されます。

終わり

●通信結果の確認

- 画面上で過去 70 通信分の通信結果を確認できます。

1 **<通信中止／通信確認>キーを押します。**



2 **通信結果 を押します。**

3 **カーソルキーの上下にて、通信結果を確認できます。**

＊通信予約の表示に戻るには、<戻る>キーを押します。
＊表示する通信結果が無いときは、「通信結果がありません」と表示されます。

終わり

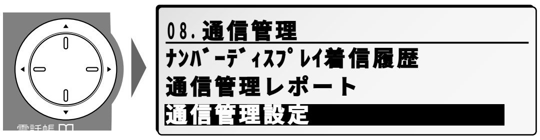
●通信管理レポート、通信証の設定　　初期値：OFF、OFF

- 通信管理レポートの自動プリント設定：　ONに設定すると、最新の送信、受信があわせて100通信になると通信管理レポートをプリントします。
- 通信証の設定：　ONに設定すると、送信するたびに通信証をプリントします。1通信ごとにプリントのON／OFFを切り替えることもできます。（➡96ページ）

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><8>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「通信管理設定」を選択します。**



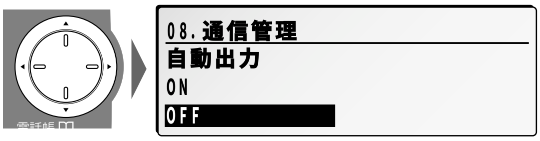
②<セット>キーを押します。

4 **通信管理レポートの設定**

①カーソルキーで「自動出力」を選択します。

②<セット>キーを押します。

③カーソルキーでONまたはOFFを選択します。



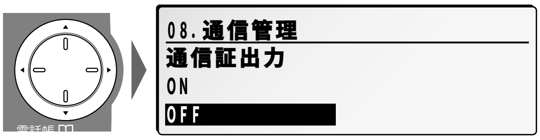
④<セット>キーを押します。
＊通信管理レポートが設定されます。

通信証の設定

①カーソルキーで「通信証出力」を選択します。

②<セット>キーを押します。

③カーソルキーでONまたはOFFを選択します。



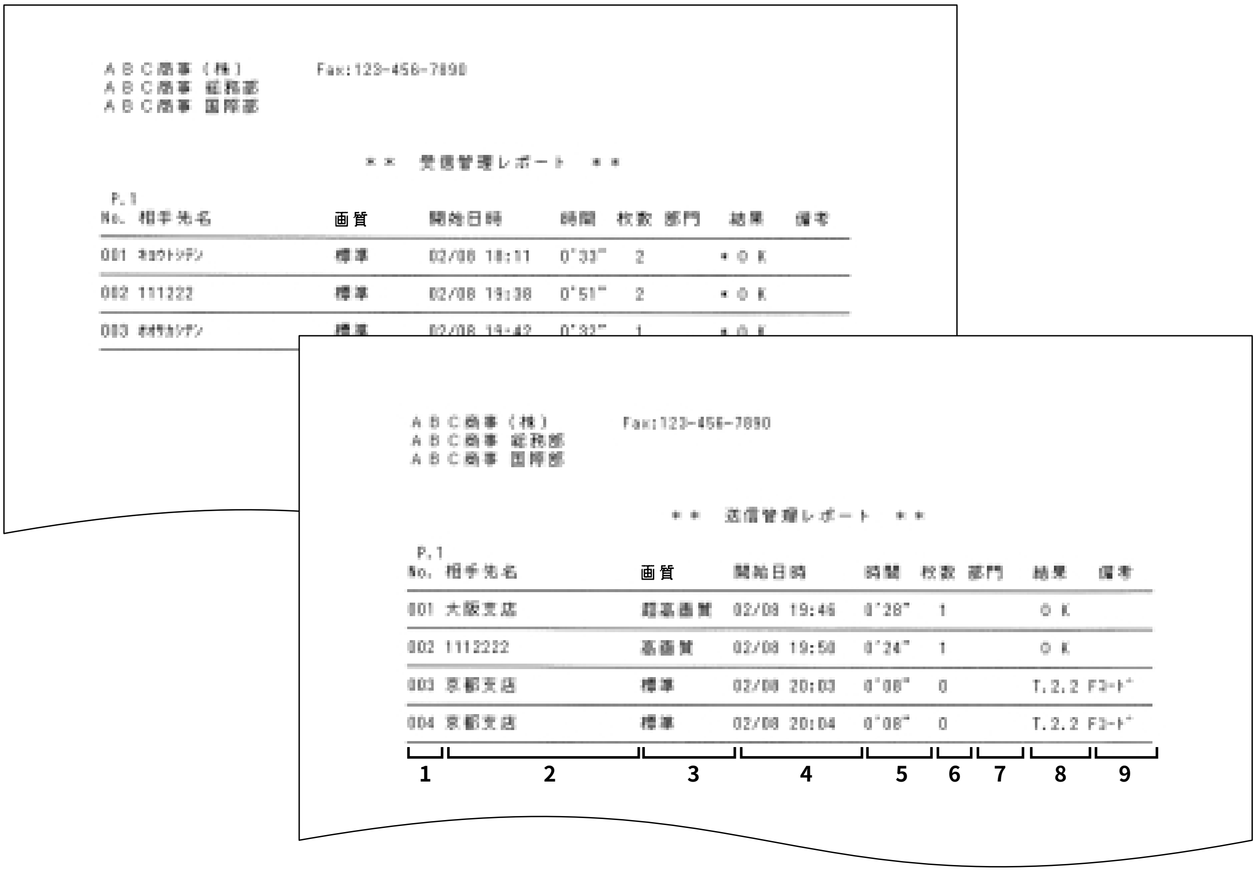
④<セット>キーを押します。
＊通信証が設定されます。

5 カーソルキーで「設定終了」を選択し、<セット>キーを押します。
＊<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

●通信管理レポートのみかた

プリント例



ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事 総務部
ＡＢＣ商事 国際部

＊＊ 受信管理レポート ＊＊

P.1

No.	相手先名	画質	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	標準	02/08 18:11	0'33"	2		＊ＯＫ	
002	111222	標準	02/08 19:38	0'51"	2		＊ＯＫ	
003	ｵｵｻｶｼﾃﾝ	標準	02/08 19:42	0'32"	1		＊ＯＫ	

ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事 総務部
ＡＢＣ商事 国際部

＊＊ 送信管理レポート ＊＊

P.1

No.	相手先名	画質	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	大阪支店	超高画質	02/08 19:46	0'28"	1		ＯＫ	
002	1112222	高画質	02/08 19:50	0'24"	1		ＯＫ	
003	京都支店	標準	02/08 20:03	0'08"	0		T.2.2	Fｺｰﾄﾞ
004	京都支店	標準	02/08 20:04	0'08"	0		T.2.2	Fｺｰﾄﾞ

1. NO
通信の番号です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
(1) ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
(2) ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
(3) 相手先の自局名
(4) 相手先の自局 ID
(5) 空白

3. 画質
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数
通信した枚数です。

7. 部門
部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。

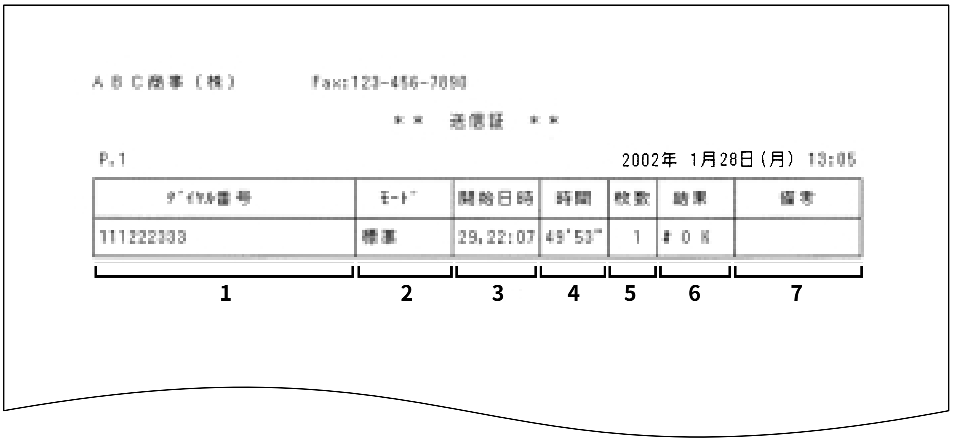
8. 結果
通信結果です。
・OK .... 正常終了しました。
・＊ .... ECM モードで通信しました。
・＃ .... スーパー G3 で通信しました。
・エラーコード ... 異常終了です。もう一度送信してください。(➡273 ページ)

9. 備考
・ポーリング .... ポーリング、不在送信です。
・同　報 .... 同報送信です。
・手　動 .... 手動送信です。
・F コード .... F コード送信です。
・F ポー .... F コードポーリングです。
・F 親展 .... F コード親展通信です。
・F 中継 .... F コード中継指示通信です。
・F 掲示板 .... F コード掲示板通信です。

●通信証のみかた

プリント例

【例】正常に送信できたとき


ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890

＊＊　送信証　＊＊

P.1　　2002年 1月28日（月） 13:05

ﾀﾞｲﾔﾙ番号	ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	結果	備考
111222333	標準	29,22:07	49'53"	1	＃ＯＫ	
1	2	3	4	5	6	7

1. ダイヤル番号

以下の順に記録されます。

（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
一括送信では BOX 名

（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）

（3）相手先の自局名

（4）相手先の自局 ID

（5）空白

2. 画質

通信した画質です。

3. 開始日時

通信を開始した時刻です。

4. 時間

通信の開始から終了までの所要時間です。

5. 枚数

通信した枚数です。

6. 結果

通信結果です。

・OK .... 正常終了しました。
・＊ .... ECM モードで通信しました。
・＃ .... スーパー G3 で通信しました。
・エラーコード ... 通信エラーのときはエラーコードが表示されます。（➡273 ページ）

7. 備考

・ポーリング .... ポーリング、不在送信です。
・同　　報 .... 同報送信です。
・手　　動 .... 手動送信です。
・F コード .... F コード送信です。
・F ポー .... F コードポーリングです。
・F 親展 .... F コード親展通信です。
・F 中継 .... F コード中継指示通信です。
・F 掲示板 .... F コード掲示板通信です。

MEMO

ファクス編

第4章 機能のセット

もくじ

1 文字入力のしかた 188
文字入力に使用するキー 188
文字を入力する 189
可変入力 194
文字の挿入・削除 195
文字入力についての基本 196

2 ファクス機能の機器設定について 199
ファクス設定例 199
ファクス設定一覧 201
ファクス設定リストプリント例 206

3 ワンタッチダイヤルの登録 207
登録する 207
便利な登録のしかた 209
変更する 210
消去する 212
挿入／削除する 213
ワンタッチダイヤルリストをプリントする 214

4 短縮ダイヤルの登録 215
登録する 215
便利な登録のしかた 217
変更する 217
消去する 219
挿入／削除する 220
短縮ダイヤルリストをプリントする 221

5 グループダイヤルの登録 222
登録する 222
変更する 224
消去する 225
グループリストをプリントする 226

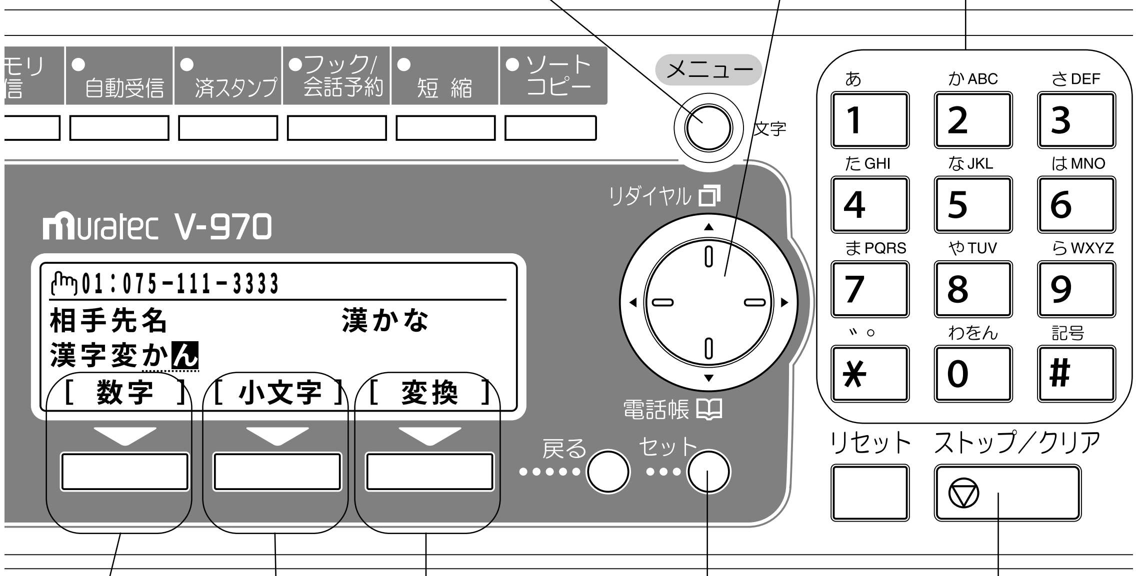
6 プログラムワンタッチの登録 227
「応用通信」を登録する 227
個別設定 231
「リストプリント」を登録する 233
「原稿蓄積」を登録する 234
変更する 236
消去する 237
プログラムワンタッチダイヤルリストをプリントする 238

1 文字入力のしかた

● 発信元名の登録やワンタッチ、短縮ダイヤルの相手先名を登録するときなど、文字を入力するときに参照ください。
● 入力できる文字は次の通りです。
・漢字（全角）
・ひらがな（全角）
・カタカナ（全角／半角）
・アルファベット（全角／半角）
・数字（全角／半角）
・記号（全角／半角）です。
ひらがなと漢字はすべて全角文字で入力されます。
● 漢字は一文字ずつ変換します。（単漢字変換）
● 漢字は JIS 第一水準、JIS 第二水準（27 文字のみ）が入力できます。
＊漢字変換プログラム：Compact- VJE （単漢字変換版） 第 2.0 版
Copyright 1986- 1998 VACS Corp.

●文字入力に使用するキー

A) ＜メニュー／文字＞キー　B) カーソルキー　C) テンキー



D) 数字 ⇔ 文字　F) 変換　G) ＜セット＞キー　H) ＜ストップ／クリア＞キー

E) 小文字 ⇔ 大文字

A)＜メニュー／文字＞キー･･･入力モードを切り替えるときに使用します。(➡196 ページ)
B)カーソルキー･･･カーソルを移動したり、漢字候補を選択したりするときに使用します。
C)テンキー･･･文字を入力するときに使用します。(➡197 ページ)
D) 数字 ⇔ 文字 ･･･数字の入力と文字の入力を切り替えるときに使用します。(➡192 ページ)
＊コード入力のときは表示されません。
E) 小文字 ⇔ 大文字 ･･･大文字の入力と小文字の入力を切り替えるときに使用します。(➡191 ページ)
＊半英字／全英字入力のときのみ表示されます。
F) 変換 ･･･入力した文字を変換するときに使用します。
＊漢かな入力のときのみ表示されます。
G)＜セット＞キー･･･変換した文字や未変換の文字を確定したり､入力した文字を確定するときに使用します。
H)＜ストップ／クリア＞キー･･･文字を消すときに使用します。(➡195 ページ)

●文字を入力する

● 文字はテンキーで入力します。入力モードの切り替えは＜メニュー／文字＞キーで行います。

漢字を入力するとき

※漢字は一文字ずつ変換します。（単漢字変換）

1 「漢かな」入力に切り替えます。

＊＜メニュー／文字＞キーを押して、「漢かな」を選択し＜セット＞キーを押します。
＊未変換の文字があるときに、入力モードを切り替えることはできません。

```
01:075-111-3333
相手先名                漢かな
_
[ 数字 ]
```

2 テンキーを使って漢字の読みを入力します。

【例】「漢」（かん）を入力するとき

かABC	わをん	わをん	わをん
2	0	0	0
か	ん		

```
01:075-111-3333
相手先名                漢かな
かん
[ 数字 ]             [ 変換 ]
```

＊入力した文字がひらがなで表示されます。
＊続けて同じキー上の文字を入力するときは、カーソルキーの右を押してカーソルを1つ右に移動させます。
＊＜ストップ／クリア＞キーを押すと、入力した文字が消去されます。

3 変換 を押します。

＊変換できる文字がないときは、「変換できません」と表示されます。
＊＜ストップ／クリア＞キーを押して、未変換の文字を消すことができます。
　カーソルキーを押して、カーソルを移動させることができます。
＊＜戻る＞キーを押すと、読み入力画面（手順2）に戻ります。

```
間感観缶勧完艦冠官館寒管刊巻
棺貫菅上寛幹環侃莞灌諌乾勧喚
堪干患慣憾換敢款歓汗漢甘監看▼
                    [ 変換 ]
```

4 カーソルキーで変換したい漢字を選択します。

```
間感観缶勧完艦冠官館寒管刊巻
棺貫菅上寛幹環侃莞灌諌乾勧喚
堪干患慣憾換敢款歓汗漢甘監看▼
                    [ 変換 ]
```

5 ＜セット＞キーを押すと、選択した漢字が入力されます。

```
01:075-111-3333
相手先名                漢かな
漢_
[ 数字 ]
```

終わり

ひらがなを入力するとき

1 「漢かな」入力に切り替えます。

＊＜メニュー／文字＞キーを押して、「漢かな」を選択し＜セット＞キーを押します。
＊未変換の文字があるときに、入力モードを切り替えることはできません。

```
01:075-111-3333
相手先名            漢かな
_
[ 数字 ]
```

2 テンキーを使ってひらがなを入力します。

【例】「かんじ」を入力するとき

か ABC	わをん	わをん	わをん	さ DEF	さ DEF	゛゜
2	0	0	0	3	3	＊
か	ん			し		゛

```
01:075-111-3333
相手先名            漢かな
かんじ
[ 数字 ]          [ 変換 ]
```

＊続けて同じキー上の文字を入力するときは、カーソルキーの右を押してカーソルを1つ右に移動させます。

3 ＜セット＞キーを押すと、入力したひらがなが確定されます。

```
01:075-111-3333
相手先名            漢かな
かんじ_
[ 数字 ]
```

終わり

カタカナを入力するとき

カタカナは、半角カタカナと全角カタカナの 2 種類を入力できます。

1 半角カタカナを入力するときは「半ｶﾅ」入力に切り替えます。全角カタカナを入力するときは「全カナ」入力に切り替えます。

＊＜メニュー／文字＞キーを押して、半角カタカナは「半ｶﾅ」を選択、全角カタカナは「全カナ」を選択し＜セット＞キーを押します。
＊未変換の文字があるときに、入力モードを切り替えることはできません。

```
01:075-111-3333
相手先名            半ｶﾅ
_
[ 数字 ]
```

2 テンキーを使ってカタカナを入力します。

＊入力した文字はすぐに確定され、続いて文字を入力できます。
＊続けて同じキー上の文字を入力するときは、カーソルキーの右を押してカーソルを1つ右に移動させます。

【例】「カンジ」を入力するとき

か ABC	わをん	わをん	わをん	さ DEF	さ DEF	゛゜
2	0	0	0	3	3	＊
カ	ン			シ		゛

【例】半角カタカナ

```
01:075-111-3333
相手先名            半ｶﾅ
ｶﾝｼﾞ
[ 数字 ]
```

【例】全角カタカナ

```
01:075-111-3333
相手先名            全カナ
カンジ
[ 数字 ]
```

終わり

アルファベットを入力するとき

アルファベットは、半角アルファベットと全角アルファベットの２種類を入力できます。また、大文字・小文字の切り替えもできます。

1 半角アルファベットを入力するときは「半英字」入力に切り替えます。全角アルファベットを入力するときは「全英字」入力に切り替えます。

＊＜メニュー／文字＞キーを押して、半角アルファベットは「半英字」を選択、全角アルファベットは「全英字」を選択し＜セット＞キーを押します。
＊未変換の文字があるときに、入力モードを切り替えることはできません。

```
01：075-111-3333
相手先名            半英字（大）
_
[ 数字 ] [ 小文字 ]
```

【例】半角アルファベット

```
01：075-111-3333
相手先名            半英字（大）
KAN
[ 数字 ] [ 小文字 ]
```

【例】全角アルファベット

```
01：075-111-3333
相手先名            全英字（大）
ＫＡＮ
[ 数字 ] [ 小文字 ]
```

2 テンキーを使ってアルファベットを入力します。

＊入力した文字はすぐに確定され、続いて文字を入力できます。
＊続けて同じキー上の文字を入力するときは、カーソルキーの右を押してカーソルを1つ右に移動させます。

【例】「KAN」を入力するとき

なJKL	なJKL	かABC	はMNO	はMNO
5	5	2	6	6
K		A	N	

3 小文字を入力するときは 小文字 を押し、小文字入力に切り替えてアルファベットを入力します。

＊小文字入力に切り替わります。大文字入力に切り替えるには、 大文字 を押します。

```
01：075-111-3333
相手先名            半英字（小）
Kanji
[ 数字 ] [ 大文字 ]
```

終わり

コードを入力するとき

特殊な記号や変換できない漢字はコードで入力します。入力する文字をコード表（➡292 ページ）で確認してください。

1 「コード」入力に切り替えます。

＊＜メニュー／文字＞キーを押して、「コード」を選択し＜セット＞キーを押します。
＊未変換の文字があるときに、入力モードを切り替えることはできません。

```
01：075-111-3333
相手先名            ｺｰﾄﾞ[     ]
_
```

2 テンキーを使ってコードを入力します。

＊入力した文字はすぐに確定され、続いて文字を入力できます。

【例】「7750」（輌）を入力したき

```
01：075-111-3333
相手先名            ｺｰﾄﾞ[     ]
輌_
```

終わり

ファクス編

第4章 機能のセット

数字、#、＊を入力するとき

[数字] が表示されているときは、[数字] を押すことにより、テンキーを使って数字を入力できます。「全カナ」「全英字（大)」「全英字（小)」のときは全角の数字が、「半ｶﾅ」「半英字（大)」「半英字（小)」のときは半角の数字が入力できます。

「漢かな」入力のときは、数字入力後さらに [変換] を押すことにより、全角数字と半角数字を入力できます。（可変入力：194 ページ参照）

＊「コード」入力の場合、半角数字を入力することはできません。

1 **[数字] を押します。**

```
01:075-111-3333
相手先名              全数字
_
[ 文字 ]
```

2 **テンキーを使って数字・#・＊を入力します。**

＊入力モードに従い、半角数字または全角数字が入力されます。

＊文字入力に切り替えるには [文字] を押します。

```
01:075-111-3333
相手先名              全数字
１２３＊＃_
[ 文字 ]              [ 変換 ]
```

3 **「漢かな」入力のときは、[変換] を押すと、半角または全角に変換できます。**

①数字、#、＊を入力後、[変換] を押します。

②「半ｶﾅ」入力になり、数字、#、＊が半角に変換されます。

＊[変換] を押すごとに、「半カナ」→「全カナ」→「全数字」入力に切り替わり、入力した数字が半角または全角に変換されます。（可変入力：194ページ参照）

```
01:075-111-3333
相手先名              半ｶﾅ
123*#_
                      [ 変換 ]
```

③＜セット＞キーを押すと、入力した数字、#、＊が確定されます。

終わり

記号を入力するとき

テンキーの#（記号）を押すと、記号入力画面になります。「漢かな」「全カナ」「全英字（大)」「全英字（小)」のときは全角の記号が、「半ｶﾅ」「半英字（大)」「半英字（小)」のときは半角の記号が入力できます。

＊全角の記号と半角の記号の種類は異なります。

＊「数字」入力の場合、記号は入力できません。「文字」入力に切り替えてください。(➡上記手順2)

＊「コード」入力のときはコードを入力して記号を入力します。

＊「半カナ」「全カナ」入力で未変換の文字がある場合、記号は入力できません。

1 **テンキーの＜＃＞を押します。**

＊入力モードに従い、半角記号または全角記号が表示されます。

【例】半角記号（半ｶﾅ）

```
 ()･､｡ !"#$%&'*+,-./:;<=>?@[
¥]^_`{|}~｢｣
```

【例】全角記号（漢かな・全カナ）

```
 （）・、。，．：；？！゛
゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々
〆〇ー‐／＼～∥｜…‥‘’“
”〔〕［］｛｝〈〉《》「」『▼
```

2 **カーソルキーを使って記号を選択します。**

```
』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧▲
∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃
＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△
▲▽▼※〒→←↑↓㈱㈲
```

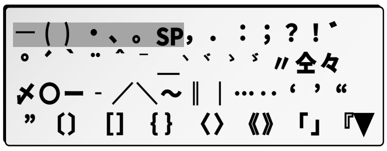
3 **＜セット＞キーを押すと、選択した記号が入力されます。**

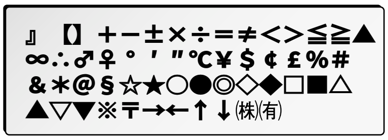
```
01:075-111-3333
相手先名              漢かな
☆_
[ 数字 ]
```

終わり

全角記号一覧

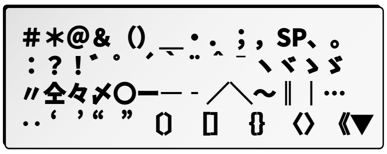
【漢かな／全カナ】

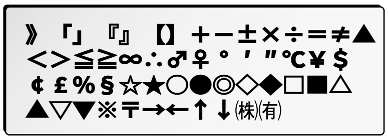




＊「漢かな」入力で未変換文字があるときは、網掛け部分のみを表示し、未変換状態で入力します。
＊「SP」は、実際の表示では空白です。選択して入力すると、スペース（空白）が入力されます。

【全英字】

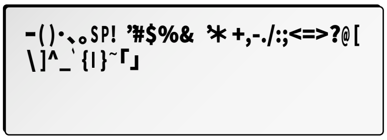




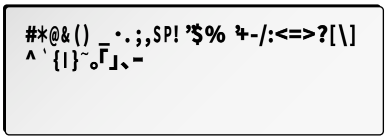
＊「SP」は、実際の表示では空白です。選択して入力すると、スペース（空白）が入力されます。

半角記号一覧

【半ｶﾅ】



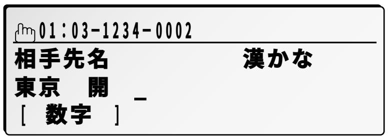
【半英字】



＊「SP」は、実際の表示では空白です。選択して入力すると、スペース（空白）が入力されます。

スペース（空白）を入力するとき

カーソルキーの右を押すとスペース（空白）が入力できます。文字の途中にスペースを入力する場合は、記号（テンキーの＜＃＞）からスペースを入力します。



●可変入力

● 「漢かな」入力モードにて 変換 を繰り返して押すと、様々な文字に変換されます。

1 「漢かな」入力に切り替えます。

＊<メニュー／文字>キーを押して、「漢かな」を選択し<セット>キーを押します。
＊未変換の文字があるときに、入力モードを切り替えることはできません。

01：075-111-3333
相手先名　漢かな
_
[数字]

2 テンキーを使って漢字の読みを入力します。

【例】「漢」（かん）を入力するとき

かABC	わをん	わをん	わをん
2	0	0	0
か	ん		

01：075-111-3333
相手先名　漢かな
かん
[数字]　[変換]

＊入力した文字がひらがなで表示されます。
＊<ストップ／クリア>キーを押すと、入力した文字が消去されます。
＊続けて同じキー上の文字を入力するときは、カーソルキーの右を押してカーソルを1つ右に移動させます。

3 変換 キーを押します。漢字の入力候補が表示されます。

＊変換できる文字がないときは、「変換できません」と表示されます。
＊<戻る>キーを押すと、読み入力画面（手順2）に戻ります。

間感観缶勘完艦冠官館寒管刊巻
棺貫菅上寛幹環侃莞灌諫乾勧喚
堪干患慣憾換敢款歓汗漢甘監看▼
[変換]

4 変換 を繰り返し押します。

＊半角カナ→全角カナ→ひらがなと入力した文字が変換されます。

01：075-111-3333
相手先名　半ｶﾅ
ｶﾝ
[変換]

▼

01：075-111-3333
相手先名　全カナ
カン
[変換]

▼

01：075-111-3333
相手先名　漢かな
かん
[数字]　[変換]

5 確定したい文字が表示されたら<セット>キーを押します。

終わり

●文字の挿入・削除

文字を削除するには

●文字の途中

1 カーソルキーを押し、カーソルを削除したい文字に移動します。

```
01：075-111-3333
相手先名            漢かな
漢画字
[  数字  ]
```

2 <ストップ／クリア>キーを押します。

```
01：075-111-3333
相手先名            漢かな
漢字
[  数字  ]
```

終わり

●直前に入力した文字

1 <ストップ／クリア>キーを押します。

＊直前に入力した文字が削除されます。

```
01：075-111-3333
相手先名            漢かな
漢字入_
[  数字  ]
```

```
01：075-111-3333
相手先名            漢かな
漢字_
[  数字  ]
```

終わり

文字を挿入するには

1 カーソルキーを押し、カーソルを挿入したい場所に移動します。

```
01：075-111-3333
相手先名            漢かな
漢字力
[  数字  ]
```

2 文字を挿入します。

```
01：075-111-3333
相手先名            漢かな
漢字入力
[  数字  ]
```

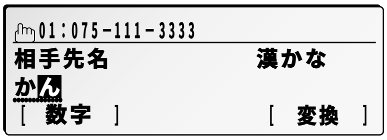
終わり

●文字入力についての基本

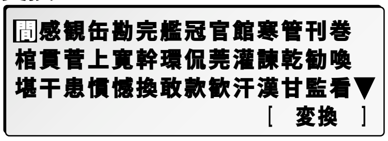
●変換・未変換について

文字の下に点線があるときは文字を変換できる状態です。これを**未変換**と言います。<セット>キーを押して、文字が変換できない状態に(その文字を決定)することを**確定**と言います。

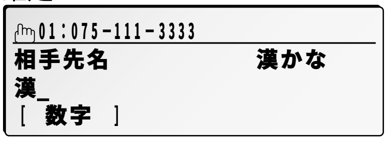
未変換



変換



確定



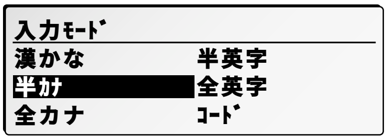
●入力モードについて

入力モード	文字種	動作	サンプル
漢かな	全角漢字・ひらがな	かな漢字変換を行います。文字はひらがなにて入力されます。漢字は１文字ずつ変換します。(単漢字変換)	文字 もじ
半ｶﾅ	半角カタカナ	半角カタカナが入力されます。	ﾓｼﾞ
全カナ	全角カタカナ	全角カタカナが入力されます。	モジ
半英字	半角アルファベット	半角アルファベットが入力されます。大文字・小文字の切り替えができます。	MOJI moji
全英字	全角アルファベット	全角アルファベットが入力されます。大文字・小文字の切り替えができます。	ＭＯＪＩ ｍｏｊｉ
ｺｰﾄﾞ	区点コード入力	4桁のコードを入力した時点でコードに対応した文字が入力されます。	７７５０→輌

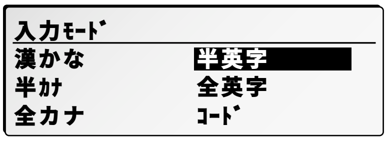
＊コード入力モード以外の入力モードは、数字・記号も入力できます。

●入力モードの切り替え

1 **未変換の文字が無いときに<メニュー／文字>キーを押します。**

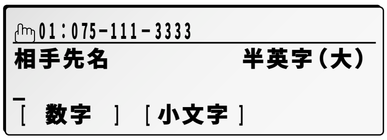


2 **カーソルキーで入力モードを選択します。**



3 **<セット>キーを押します。**

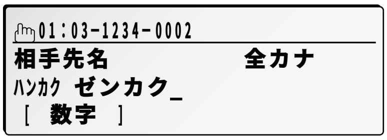
＊入力モードが切り替わります。



終わり

●全角文字と半角文字について

文字を入力するときには、全角文字と半角文字があります。全角は半角の 2 倍の大きさです。半角文字で 16 文字入力できる場合、全角文字では 8 文字になります。



●テンキーで入力できる文字

テンキーには、押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割り振られています。また、＊と＃キーには各種記号が割りふられています。

テンキー	入力モード			
	ひらがな	カタカナ	英字	数字
あ 1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	入力できません	1
か ABC 2	かきくけこ	カキクケコ	大文字：ＡＢＣ 小文字：ａｂｃ	2
さ DEF 3	さしすせそ	サシスセソ	大文字：ＤＥＦ 小文字：ｄｅｆ	3
た GHI 4	たちつてとっ	タチツテトッ	大文字：ＧＨＩ 小文字：ｇｈｉ	4
な JKL 5	なにぬねの	ナニヌネノ	大文字：ＪＫＬ 小文字：ｊｋｌ	5
は MNO 6	はひふへほ	ハヒフヘホ	大文字：ＭＮＯ 小文字：ｍｎｏ	6
ま PQRS 7	まみむめも	マミムメモ	大文字：ＰＱＲＳ 小文字：ｐｑｒｓ	7
や TUV 8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	大文字：ＴＵＶ 小文字：ｔｕｖ	8
ら WXYZ 9	らりるれろ	ラリルレロ	大文字：ＷＸＹＺ 小文字：ｗｘｙｚ	9
わをん 0	わをん	ワヲン	入力できません	0
゛ ゜ ＊	゛ ゜	゛ ゜	＊	＊
記号 ＃	(記号:193 ページ参照)	(記号:193 ページ参照)	(記号:193 ページ参照)	＃

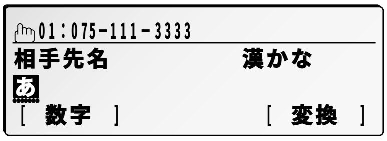
＊カタカナと英字には、半角文字と全角文字があります。
＊数字・記号には、全角と半角があります。（➡193ページ参照）
＊英字には、小文字と大文字があります。
＊英字入力のとき、テンキーの＜1＞と＜0＞を押しても文字は入力されません。

同じテンキーに割り振られている文字を入力するには

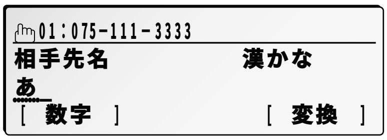
文字を入力後カーソルキーの右を押してカーソルを移動させ、次の文字を入力します。
＊数字を入力するときは、カーソルキーの右を押さなくても、つぎつぎと入力することができます。

【例】「あい」を入力するとき

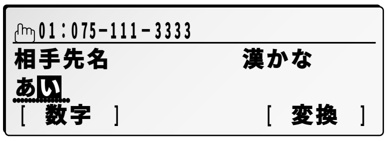
1 テンキー＜１＞を押して「あ」を入力します。



2 カーソルキーの右を押します。
＊カーソルが移動します。



3 テンキー＜１＞を2回押して「い」を入力します。



終わり

2 ファクス機能の機器設定について

● 機器の登録・消去・リストのプリントを行う前の操作です。また、ファクス機能の初期設定値を設定できます。よく使う機能は、初期設定を変更しておくと、設定の手間が省けます。

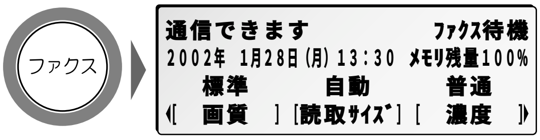
操作の前に

● 初期設定とは、電源を入れたときや、<リセット>キーを押して待機画面に戻したときの状態を言います。また、何も操作せずに一定時間放置すると初期設定にもどります。（ファクス画面自動リセット）
● 出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値（初期値）のことです。

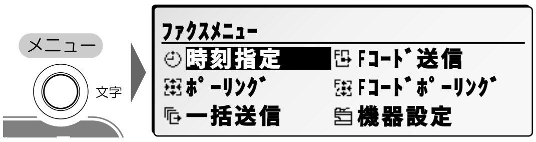
●ファクス設定例

● 「10．機器設定」の「02．プリントパラメータ」を設定する例を説明します。

1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。



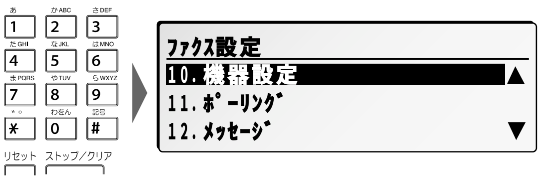
2 <メニュー／文字>キーを押します。



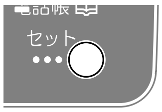
3 設定したい機能の番号をテンキーで入力します。

【例】「10．機器設定」を設定するとき

テンキー<1><0>を押します。

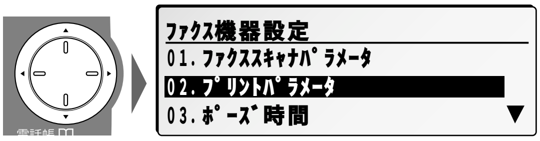


4 <セット>キーを押します。

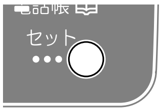


5 **①カーソルキーで設定したい機能を選択します。**

【例】「02．プリントパラメータ」を設定するとき
＊テンキーで＜0＞＜2＞と入力して選択することもできます。

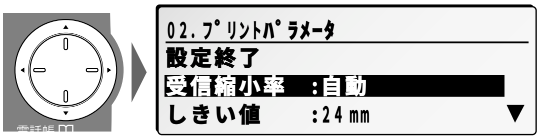


②＜セット＞キーを押します。

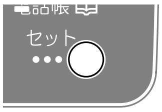


6 **①カーソルキーで設定したい項目を選択します。**

【例】「受信縮小率」を設定するとき



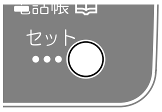
②＜セット＞キーを押します。



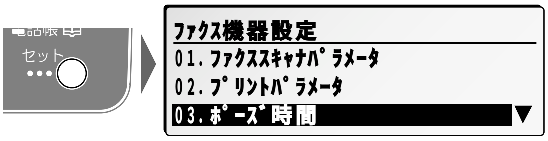
7 **①カーソルキーで設定値を選択します。**

【例】「固定　100%」を選択するとき

②＜セット＞キーを押します。



8 **カーソルキーで「設定終了」を選択し＜セット＞キーを押すと、選択した設定値がセットされ、次の設定画面になります。**
他の設定を続けて行えます。



＊操作を終了するときは＜リセット＞キーを押します。

終わり

MEMO

- コピーまたはファクス待機画面から＜メニュー／文字＞→「機器設定」選択→＜セット＞→「ファクス設定」選択と操作し、設定したい機能を選択することもできます。

●ファクス設定一覧

機能	機能説明	設定値
01．ワンタッチダイヤル	よく使用する相手先を、72か所までワンタッチキーに登録することができます。 ワンタッチダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名、読み仮名を登録しておくことができます。	「ワンタッチダイヤルの登録」（➡207ページ）を参照
02．短縮ダイヤル	よく通信する相手先を、128か所まで短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名、読み仮名を登録しておくことができます。	「短縮ダイヤルの登録」（➡215ページ）を参照
03．グループダイヤル	多数の相手に送信するとき、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録されている相手先へグループ単位でダイヤル（グループ送信）することができます。	「グループダイヤルの登録」（➡222ページ）を参照
04．プログラムワンタッチ	応用通信、リストプリント、原稿蓄積をプログラムワンタッチに登録しておくと、登録したワンタッチキーを押すだけで登録した操作を行うことができます。 ワンタッチキーの73～76に登録できます。	「プログラムワンタッチダイヤルの登録」（➡227ページ）を参照
05．ナンバーディスプレイ	相手先の番号がディスプレイに表示されます。また、名前を登録した相手先からかかってきたときは番号表示のかわりに相手先名を表示します。	「相手先の番号を表示する」（➡168ページ）を参照
06．セキュリティ受信	セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリに蓄積し、プリントアウトしないようにします。	「受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）」（➡177ページ）を参照 ON OFF
07．通信予約	■通信予約原稿：時刻指定送信など、通信予約している原稿をプリントして確認することができます。 ■通信予約リスト：メモリに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿の一覧をプリントすることができます。	「通信予約原稿のプリント」「通信予約リストのプリント」（➡99、100ページ）を参照
08．通信管理	■通信管理レポート：最新の送信、受信あわせて100通信分の通信状況をプリントできます。 ■通信証：1送信ごとの通信枚数や通信モードなどの通信結果を確認できます。	「通信管理レポート、通信証の設定」（➡183ページ）を参照
09．設置モード	本機をご使用いただくために必要な登録を行います。 ＜登録内容＞ 現在時刻設定、受信待機モード、ナンバー・ディスプレイ回線、通信回線、発信元番号、発信元名／カナID、標準発信元名	「使用する前の登録」（➡37ページ）を参照

＊ ＿＿のついている値が、出荷時設定です。

	機能	機能説明	設定値
10.機器設定	01．ファクススキャナパラメータ	読み取り時の画質、濃度の初期値を設定します。よく送信する原稿に合わせて設定しておくと、変更の手間が省けます。	●画質 標準 高画質 超高画質 写真 ●濃度 濃く ・（少し濃く） 普通 ・（少し薄く） 薄く
	02．プリントパラメータ	■受信縮小率……受信文書の長さに合わせて自動的に倍率が選択される「自動」と、いつも一定の縮小率でプリントされる「固定100%」があります。（➡110ページ） ■しきい値….受信原稿が有効記録紙サイズに収まらない場合に、次のページにプリントするかを判断する値です。（0～85mm）（➡111ページ） ■用紙節約設定….ページ合成を選択すると、サイズの小さい受信原稿2枚を1枚の用紙に合成してプリントします。（➡111ページ）	自動 固定100% 0～85mm： 24mm OFF ページ合成
	03．ポーズ時間	ポーズ記号を入力したときのダイヤル間隔（1～10秒）の初期値を設定します。	1～10秒：3秒
	04．呼出ベル回数	受信モードが（ファクス、電話／ファクス待機）のとき、受信動作が開始されるまでのベル回数時間を設定します。（1～10回）	1～10回：2回

＊ ＿＿＿のついている値が、出荷時設定です。

機能		機能説明	設定値
10. 機器設定	05. リダイヤル	相手が話し中などのとき、あらかじめ設定した回数（2〜15回）や間隔（0〜5分）で再度ダイヤルします。	●回数 2〜15回：15回 ●間隔 0〜5分：1分
	06. 発信元送信	送信した原稿の先頭に発信元名をつけるかつけないかを設定します。	ON OFF
	07. 宛名表示	ワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルに登録した相手先名を、送信原稿の先頭に印字するかしないかを設定します。登録された相手先名のうち、半角18文字（全角9文字）分のみ印字します。	ON OFF
	08. 済スタンプ	済スタンプには、メモリ送信時に原稿の読み取りを完了したことを示す読み取り済スタンプと、リアルタイム送信時に送信が完了したことを示す送信済スタンプの2種類があります。ONに設定すると、常に済スタンプが押されます。	ON OFF
	09. ECMモード	電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。（相手先にも同じ機能が必要です。）	ON OFF
	10. ダイレクトメール防止	ダイレクトメール防止には3種類の方法があります。 **モード1**：ワンタッチ、短縮ダイヤルに登録されている相手先からの文書のみを受信する方法です。登録されているファクス番号の下4桁と相手先IDを照合し、一致したときのみ受信します。 **モード2**：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下4〜8桁を登録します。最大50件まで登録できます。 **モード3**：モード1、2を合わせた方法です。ワンタッチ、短縮に登録されていない番号からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。 **OFF**：ダイレクトメール防止を行いません。	「ダイレクトメール防止の登録」（➡179ページ）を参照
	11. メモリ送信	送信するときにメモリ送信を優先するか、リアルタイム送信を優先するか設定します。 ONにするとメモリ送信、OFFにするとリアルタイム送信を優先します。	ON OFF

＊ ＿＿＿のついている値が、出荷時設定です。

機能		機能説明	設定値
10. 機器設定	12．ワープ用暗証番号	外出先からフォンワープを設定するときに使用するための暗証番号を登録します。	0000～9999
	13．クイックメモリ送信	複数の原稿を送信する際に、読み取ると同時に蓄積できたページより順に送信を始めます。 大量の原稿を送信する時など、トータルの作業時間を大幅に短縮することができます。	ON OFF
	14．ファクス画面自動リセット	送信画質や濃度などを変更したとき、設定した時間を経過すると初期値に戻ります。 設定した時間後に画面がリセットされ、その後さらに設定した時間後に、キーの設定がリセットされコピー画面に戻ります。	30～600秒： 180秒後
	15．回転受信	受信原稿の方向とカセットにセットされている用紙の方向が違う場合は、自動的に受信原稿を回転させてプリントします。	ON OFF
	16．ファクス設定リストプリント	本機に設定された各種機能の設定状況を確認することができます。	➡206ページを参照
11．ポーリング		原稿をあらかじめメモリに蓄積しておくと、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担となります。	「相手先の操作で送信する（ポーリング予約）」（➡148ページ）を参照
12．メッセージ		送信原稿といっしょに、簡単な文章（メッセージ）の入った送信案内証を自動的につけて送信することができます。全角は20文字、半角は40文字登録できます。	「原稿といっしょに送信案内証を送る（メッセージ送信）」（➡146ページ）を参照
13．部門管理		送信操作のたびに部門コードを入力する必要がありますので、使用者を限定することもできます。	「部門ごとの使用を管理する」（➡173ページ）を参照

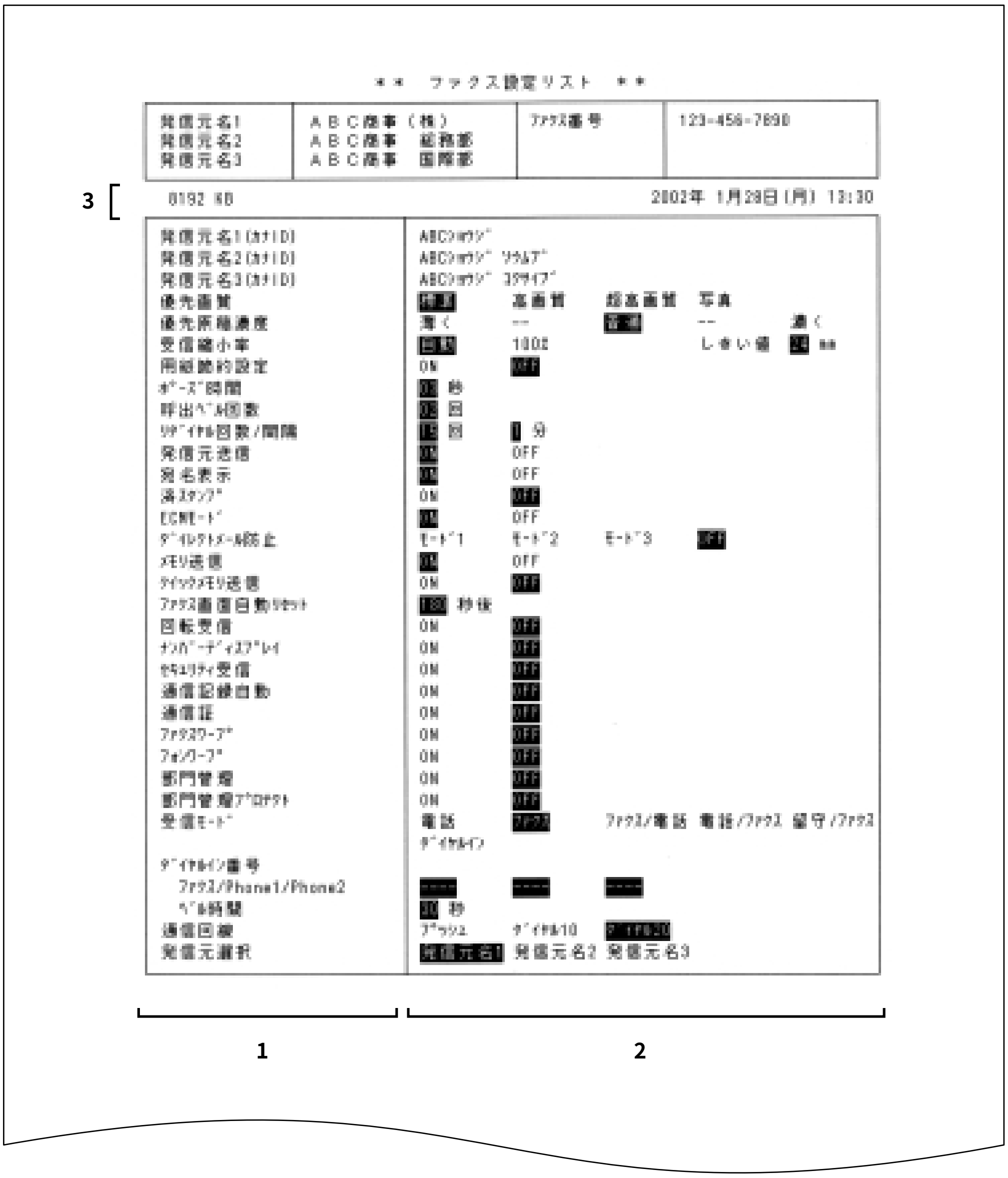
＊ ＿＿＿のついている値が、出荷時設定です。

機能	機能説明	設定値
14．一括送信	頻繁に送信する相手先専用に、送信日時を決めた一括送信ボックスを用意しておき、複数の文書をまとめて送ることができます。 毎日一定の時刻に送信することや、1ヶ月に１回日時を決めて送信することができます。	「同じ相手にまとめて送信する（一括送信）」（➡122 ページ）を参照
15．Ｆコードボックス	Ｆコード通信を利用するためのＦコードボックスを登録することができます。	「Ｆコードボックスの登録」（➡159 ページ）を参照
16．ファクスワープ	設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。 転送宛先は 10 宛先まで登録できます。	「受信原稿を転送する（ファクスワープ）」（➡129 ページ）を参照
17．フォンワープ	設定時間内にかかってきた電話を指定された宛先に転送します。また、ナンバー・ディスプレイ使用時、設定している発信元からかかってきた電話を指定された宛先に転送できます。 転送指定は 20 宛先まで登録できます。 外出先からフォンワープを設定することもできます。	「電話を転送する（フォンワープ）」（➡136 ページ）を参照

＊ ＿＿＿のついている値が、出荷時設定です。

●ファクス設定リストプリント例

プリント例



＊＊　ファクス設定リスト　＊＊

発信元名1 発信元名2 発信元名3	ＡＢＣ商事（株） ＡＢＣ商事　総務部 ＡＢＣ商事　国際部	ﾌｧｸｽ番号	123-456-7890

3 [8192 KB　　2002年 1月28日(月) 13:30

発信元名1(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ				
発信元名2(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ ｿｳﾑﾌﾞ				
発信元名3(ｶﾅID)	ABCｼｮｳｼﾞ ｺｸｻｲﾌﾞ				
優先画質	標準	高画質	超高画質	写真	
優先原稿濃度	薄く	--	普通	--	濃く
受信縮小率	自動	100%		しきい値	[illegible] mm
用紙節約設定	ON	OFF			
ポーズ時間	[illegible] 秒				
呼出ベル回数	[illegible] 回				
リダイヤル回数/間隔	[illegible] 回	1 分			
発信元送信	ON	OFF			
宛名表示	ON	OFF			
済スタンプ	ON	OFF			
ECMモード	ON	OFF			
ダイレクトメール防止	モード1	モード2	モード3	OFF	
メモリ送信	ON	OFF			
クイックメモリ送信	ON	OFF			
ファクス画面自動リセット	[illegible] 秒後				
回転受信	ON	OFF			
ナンバーディスプレイ	ON	OFF			
セキュリティ受信	ON	OFF			
通信記録自動	ON	OFF			
通信証	ON	OFF			
ファクスワープ	ON	OFF			
フォンワープ	ON	OFF			
部門管理	ON	OFF			
部門管理プロテクト	ON	OFF			
受信モード	電話	ファクス	ファクス/電話	電話/ファクス	留守/ファクス
	ダイヤルイン				
ダイヤルイン番号					
ファクス/Phone1/Phone2	----	----	----		
ベル時間	[illegible] 秒				
通信回線	プッシュ	ダイヤル10	ダイヤル20		
発信元選択	発信元名1	発信元名2	発信元名3		

1　　2

1. 機能名

2. 設定内容

3. メモリ容量

本機に搭載されているメモリ容量です。

3 ワンタッチダイヤルの登録

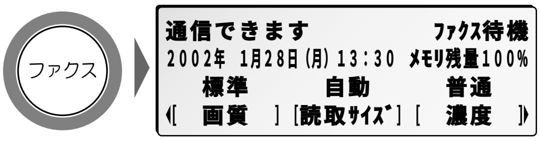
● よく通信する相手先を、72か所までワンタッチキーに登録することができます。ワンタッチダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名、読み仮名を登録しておくことができます。

操作の前に

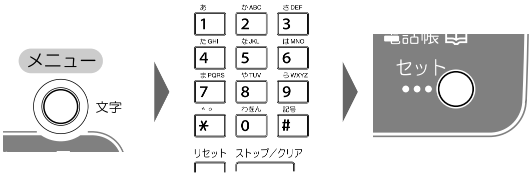
- 電話番号 ： 40桁まで登録できます。
- 相手先名 ： 半角24（全角12）文字まで登録できます。
- 読み仮名 ： 電話帳を使用するとき、検索の対象となる文字です。
- ワンタッチダイヤルに使用できるキーは01～72のキーです。

●登録する

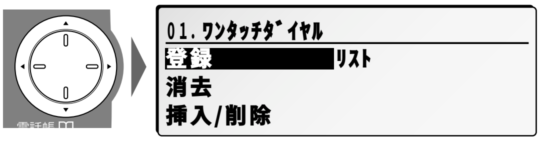
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



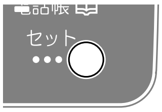
2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><1>→<セット>キーと押します。**



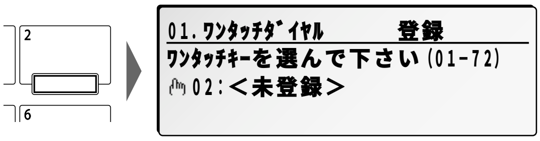
3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

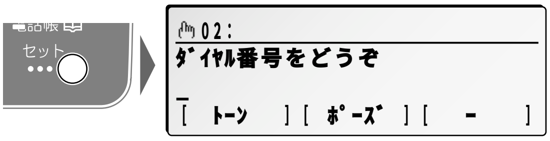


4 **①登録したいワンタッチキーを押します。**



＊カーソルキーを押して、ワンタッチキーを選択することもできます。
＊登録できるワンタッチキーは01～72までのキーです。

②<セット>キーを押します。



5 ①テンキーで相手先番号を入力します。（40桁まで）

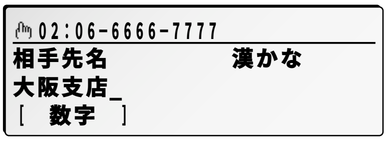
＊ポーズなどのダイヤル記号を入力するときは、それぞれの機能選択キーを押してください。

②<セット>キーを押します。

6 相手先名を入力します。

①カーソルキーで「相手先名」を選択し、<セット>キーを押します。

②相手先名を入力します。



＊半角文字では24文字、全角文字では12文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

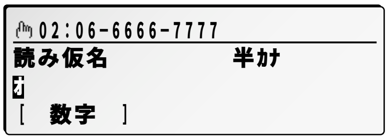
③<セット>キーを押します。

7 相手先名の読み仮名を入力します。

＊相手先名が設定されたとき、自動的に登録されます。変更しない場合は、手順8に進んでください。

①カーソルキーで「読み仮名」を選択し、<セット>キーを押します。

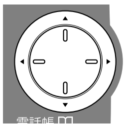
②読み仮名を入力します。



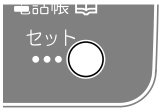
＊半角カナ、半角アルファベット大／小、数字が入力できます。<メニュー／文字>キーを押すごとに入力できる文字が切り替わります。数字を押すと数字の入力に切り替わります。
＊半角文字で1文字だけ登録できます。

③<セット>キーを押します。

8 ①カーソルキーで「設定終了」を選択します。



②<セット>キーを押すと、登録モードを終了します。



＊他のワンタッチダイヤルを登録するときは、手順4から操作を繰り返します。
＊登録を終了するときは<リセット>キーを押します。

終わり

MEMO

- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押します。
- 番号を間違えて入力したときは<ストップ／クリア>キーを押して訂正してください。
- 登録した相手先名をワンタッチ宛名ラベルに記入し、ワンタッチキーに貼っておくと便利です。ワンタッチ宛名ラベルは取説キットに同梱されています。
- ワンタッチダイヤルに登録した相手先名を、送信原稿の先頭に印字できます。登録された相手先名のうち、半角18文字（全角9文字）分のみ印字します。（➡203ページ）

●便利な登録のしかた

未登録のワンタッチに登録する

- 通信操作 *1 や登録操作中 *2 に入力したワンタッチキーが未登録の場合、通信操作 *1 や登録操作 *2 の途中でも、そのワンタッチキーに相手先を登録できます。

＊ 1 とは：リアルタイム送信／メモリ送信／時刻指定通信／同報送信／ポーリング受信／ F コード送信／ F コードポーリング
＊ 2 とは：グループダイヤルの登録／プログラムワンタッチの登録／一括送信ボックスの登録／Fコードボックスの登録／ファクスワープ転送先の登録／フォンワープ転送先の登録

1 **未登録のワンタッチキーを押します。**

登録されていません
登録しますか？
07：
はい（ｾｯﾄｷｰ） いいえ（戻るｷｰ）

2 **登録する場合は、＜セット＞キーを押します。**
＊登録しない場合は＜戻る＞キーを押します。

3 **208ページ「登録する」の手順5～7を行い、相手先の電話番号や相手先名を登録します。**

4 **カーソルキーで「設定終了」を選択し、＜セット＞キーを押します。**
＊1の場合 ：通信操作中のワンタッチキーへの登録を終了し、送信画面に移ります。
＊2の場合 ：ワンタッチキーへの登録を終了し、登録操作ごとの相手先を指定する画面に戻ります。

終わり

テンキーで入力した番号を登録する

- 通信操作 *1 や登録操作 *3 中にテンキーで入力した番号を、未登録のワンタッチキーに登録できます。

＊ 3 とは：プログラムワンタッチの登録／一括送信ボックスの登録／ F コードボックスの登録／ファクスワープ転送先の登録

1 **テンキーで、登録したい相手先のダイヤル番号を入力します。**

ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
0312340002_
[同報] [ﾄｰﾝ] [ｸﾞﾙｰﾌﾟ]

2 **未登録のワンタッチキーを押します。**

登録されていません
登録しますか？
07：0312340002
はい（ｾｯﾄｷｰ） いいえ（戻るｷｰ）

3 **登録する場合は、＜セット＞キーを押します。**
＊登録しない場合は＜戻る＞キーを押します。

4 **208ページ「登録する」の手順5～7を行い、相手先の電話番号や相手先名を登録します。**

5 **カーソルキーで「設定終了」を選択し、＜セット＞キーを押します。**
＊1の場合 ：通信操作中のワンタッチキーへの登録を終了し、送信画面に移ります。
＊3の場合 ：ワンタッチキーへの登録を終了し、登録操作ごとの相手先を指定する画面に戻ります。

終わり

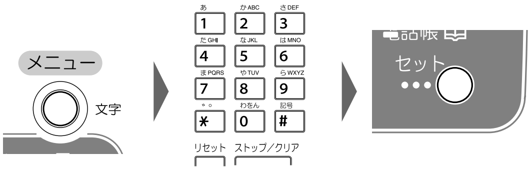
MEMO

- 電話やコピー中に未登録のワンタッチキーへ登録することはできません。

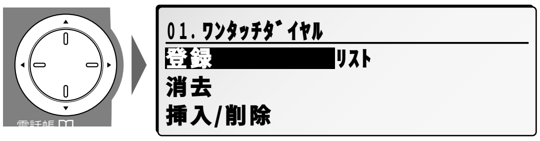
●変更する

1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。

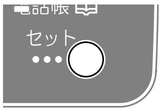
2 <メニュー／文字>キー→テンキー<0><1>→<セット>キーを押します。



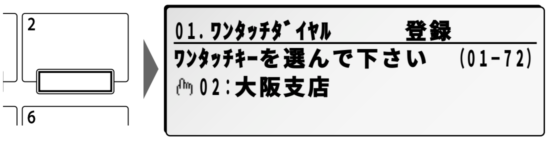
3 ①カーソルキーで「登録」を選択します。



②<セット>キーを押します。



4 ①変更したいワンタッチキーを押します。

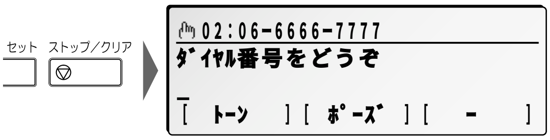


＊カーソルキーを押して、ワンタッチキーを選択することもできます。

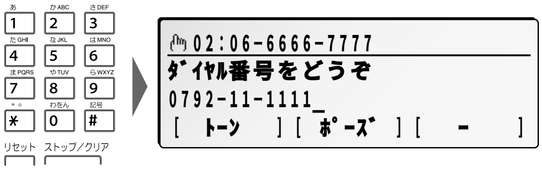
②<セット>キーを押します。

5 相手先番号を変更します。（相手先番号を変更しないときは<セット>キーを押して手順6へ進みます。）

①<ストップ／クリア>キーで相手先番号を消去します。



② テンキーで新しい相手先番号を入力します。

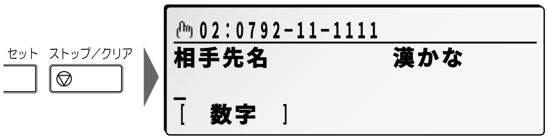


③ <セット>キーを押します。

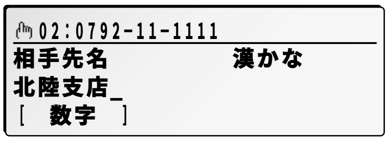
6 相手先名を変更します。（相手先名を変更しないときは手順7へ進みます。）

①カーソルキーで「相手先名」を選択し、<セット>キーを押します。

② <ストップ／クリア>キーで相手先名を消去します。



③ 新しい相手先名を入力します。

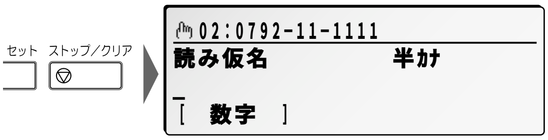


④ <セット>キーを押します。

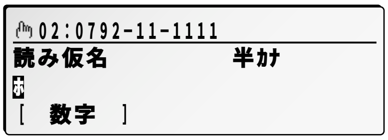
7 **読み仮名を変更します。（読み仮名を変更しないときは手順8へ進みます。）**

① カーソルキーで「読み仮名」を選択し、＜セット＞キーを押します。

② ＜ストップ／クリア＞キーで読み仮名を消去します。



③ 新しい読み仮名を入力します。



④ ＜セット＞キーを押します。

8 **①カーソルキーで「設定終了」を選択します。**

② ＜セット＞キーを押すと、変更モードを終了します。

＊他のワンタッチダイヤルを変更するときは、手順4から操作を繰り返します。
＊変更を終了するときは＜リセット＞キーを押します。

終わり

ファクス編

第4章 機能のセット

MEMO

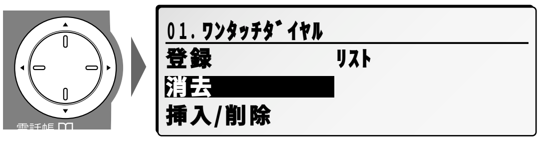
- 操作を中止するときは、＜リセット＞キーを押します。

●消去する

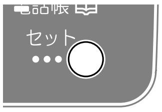
1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜0＞＜1＞→＜セット＞キーと押します。**

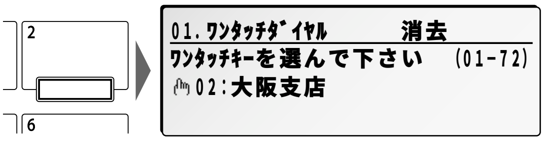
3 **①カーソルキーで「消去」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。

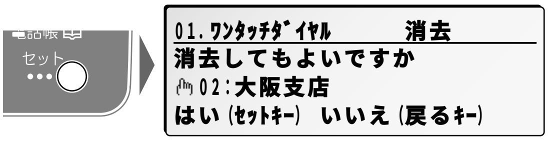


4 **①消去したいワンタッチキーを押します。**



＊カーソルキーを押して、ワンタッチキーを選択することもできます。

②＜セット＞キーを押します。



③消去してもよければ、もう一度＜セット＞キーを押します。

＊消去を中止するときは＜戻る＞キーを押します。

5 **続けて消去を行うときは、手順4を繰り返します。消去モードを終了するときは＜リセット＞キーを押します。**

終わり

●挿入／削除する

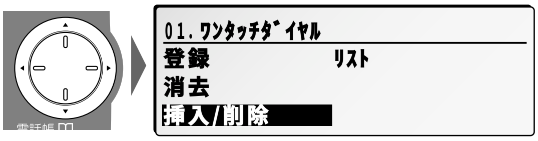
- 挿入…選択したワンタッチダイヤルに新しく登録すると、その番号以降のワンタッチダイヤルを１つずつ後ろにずらします。ただし、ワンタッチキー＜72＞に登録されている場合は、挿入できません。
- 削除…選択したワンタッチダイヤルを消去すると、その番号以降のワンタッチダイヤルを１つずつ前に繰り上げます。

＊プログラムワンタッチやおまかせ機能キーなど、他の機能に登録されているワンタッチダイヤルの番号がずれないように注意してください。番号がずれると、間違った相手先に発信してしまいます。ずれた場合は、プログラムワンタッチ、おまかせ機能キーを再登録してください。

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜0＞＜1＞→＜セット＞キーを押します。**

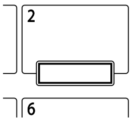
3 **①カーソルキーで「挿入／削除」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。

4 **①挿入または削除したい番号のワンタッチキーを押します。**

＊カーソルキーでワンタッチキーを選択することもできます。



②＜セット＞キーを押します。

5 **挿入する場合**

①カーソルキーで「挿入」を選択します。

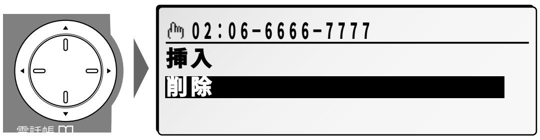
②＜セット＞キーを押します。

③「登録する」の手順5～8を行います。

＊登録したワンタッチダイヤルが挿入されます。
＊挿入を続けて行うときは、手順4から操作を繰り返します。

削除する場合

①カーソルキーで「削除」を選択します。



②＜セット＞キーを押します。

③削除してよければ、もう一度＜セット＞キーを押します。

＊削除を中止するときは、＜戻る＞キーを押します。
＊削除を続けて行うときは、手順4から操作を繰り返します。

6 **挿入／削除モードを終了します。**
＜リセット＞キーを押します。

終わり

MEMO

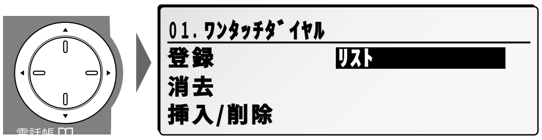
- 操作を中止したいときは＜リセット＞キーを押します。

●ワンタッチダイヤルリストをプリントする

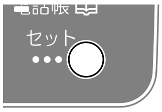
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><1>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「リスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。



＊ワンタッチダイヤルリストがプリントされます。
＊番号が1件も登録されていない場合は、「登録されていません」と表示され、リストはプリントされません。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　ワンタッチダイヤル　リスト　＊＊

P.1　2002年 1月28日(月) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	ｸﾞﾙｰﾌﾟNo
01	京都支店	075-111-3333	1, 2, 5
02	大阪支店	06-6666-7777	
03	東京支店	03-3333-4444	1,10,20

4 短縮ダイヤルの登録

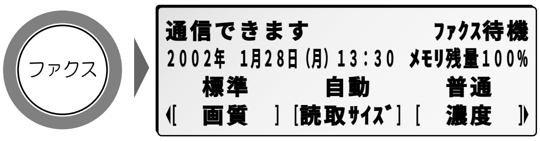
● よく通信する相手先を、128か所まで短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名、読み仮名を登録しておくことができます。

操作の前に

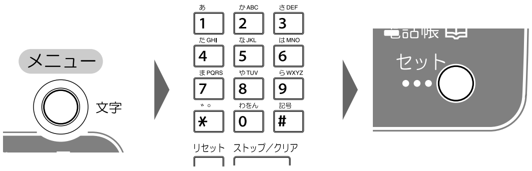
● 電話番号 ：　40桁まで登録できます。
● 相手先名 ：　半角24（全角12）文字まで登録できます。
● 読み仮名 ：　電話帳を使用するとき、検索の対象となる文字です。
● 短縮番号 ：　001〜128まで登録できます。

●登録する

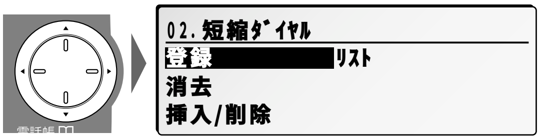
1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。



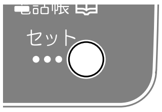
2 <メニュー／文字>キー→テンキー<0><2>→<セット>キーと押します。



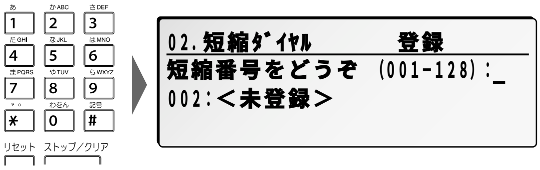
3 ①カーソルキーで「登録」を選択します。



②<セット>キーを押します。

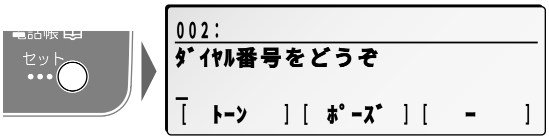


4 ①テンキーで登録したい短縮番号を入力します。



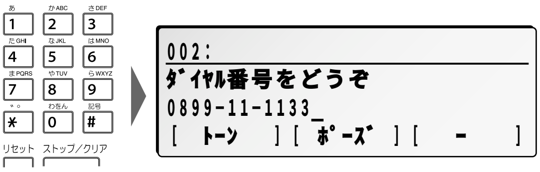
＊カーソルキーを押して、短縮番号を選択することもできます。
＊登録できる短縮番号は001〜128までです。

②<セット>キーを押します。



5

①テンキーで相手先番号を入力します。（40桁まで）



＊ポーズなどのダイヤル記号を入力するときは、それぞれの機能選択キーを押してください。

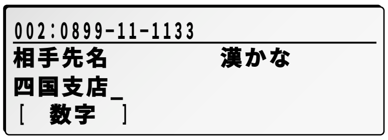
②<セット>キーを押します。

6

相手先名を入力します。

①カーソルキーで「相手先名」を選択し、<セット>キーを押します。

②相手先名を入力します。



＊半角文字では24文字、全角文字では12文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

③<セット>キーを押します。

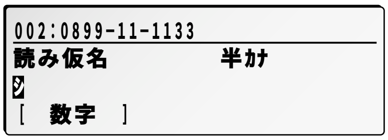
7

相手先名の読み仮名を入力します。

＊相手先名が設定されたとき、自動的に登録されます。変更しない場合は、手順8に進んでください。

①カーソルキーで「読み仮名」を選択し、<セット>キーを押します。

②読み仮名を入力します。



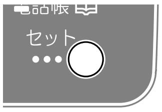
＊半角カナ、半角アルファベット大／小、数字が入力できます。<メニュー／文字>キーを押すごとに入力できる文字が切り替わります。数字 を押すと数字の入力に切り替わります。
＊半角文字で1文字だけ登録できます。

③<セット>キーを押します。

8

①カーソルキーで「設定終了」を選択します。

②<セット>キーを押すと、登録モードを終了します。



＊他の短縮ダイヤルを登録するときは、手順4から操作を繰り返します。
＊登録を終了するときは<リセット>キーを押します。

終わり

MEMO

- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押します。
- 番号を間違えて入力したときは<ストップ／クリア>キーを押して訂正してください。
- 短縮ダイヤルに登録した相手先名を、送信原稿の先頭に印字できます。登録された相手先名のうち、半角18文字（全角9文字）分のみ印字します。（➡203ページ参照）

●便利な登録のしかた

● 通信操作＊1 や登録操作＊2 中に入力した短縮番号が未登録の場合、通信操作＊1 や登録操作＊2 の途中でも、その短縮番号に相手先を登録できます。（電話やコピー中に登録することはできません。）

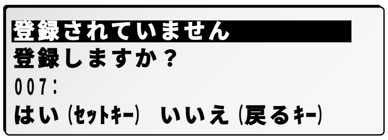
＊１とは：リアルタイム送信／メモリ送信／時刻指定通信／同報送信／ポーリング受信／Ｆコード送信／Ｆコードポーリング

＊２とは：グループダイヤルの登録／プログラムワンタッチの登録／一括送信ボックスの登録／Ｆコードボックスの登録／ファクスワープ転送先の登録／フォンワープ転送先の登録

1 未登録の短縮番号を入力し、下記の操作を行います。

＊通信操作の場合　：［同報］、<短縮>キー、<スタート>キーなどを押した後に下図の画面が表示されます。

＊登録操作中の場合：<セット>キーを押した後に下図の画面が表示されます。



2 登録する場合は、<セット>キーを押します。

＊登録しない場合は<戻る>キーを押します。

3 216ページ「登録する」の手順5～7を行い、相手先の電話番号や相手先名を登録します。

4 カーソルキーで「設定終了」を選択し、<セット>キーを押します。

＊1の場合：通信操作中の短縮ダイヤルへの登録を終了し、送信画面に移ります。

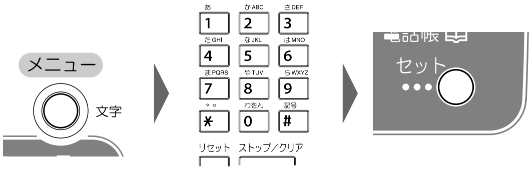
＊2の場合：短縮ダイヤルへの登録を終了し、登録操作ごとの相手先を指定する画面に戻ります。

終わり

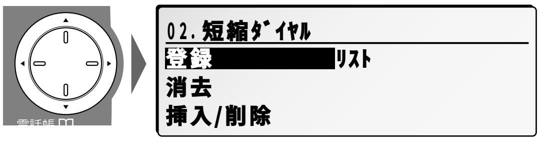
●変更する

1 <ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。

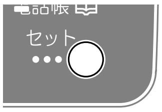
2 <メニュー／文字>キー→テンキー<０><2>→<セット>キーを押します。



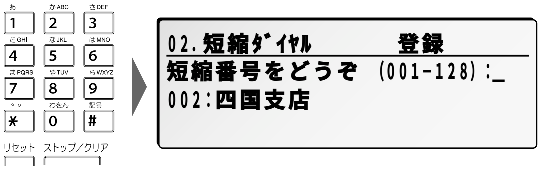
3 ①カーソルキーで「登録」を選択します。



②<セット>キーを押します。



4 ①テンキーで変更したい短縮番号を入力します。



＊カーソルキーを押して、短縮番号を選択することもできます。

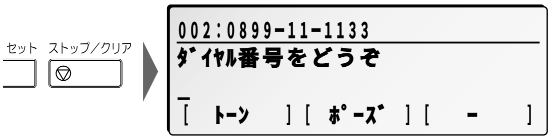
②<セット>キーを押します。

ファクス編

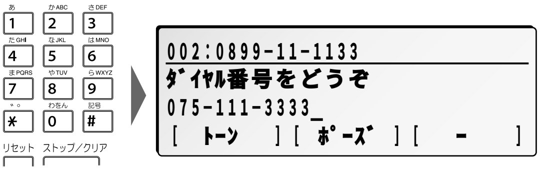
第4章　機能のセット

5 **相手先番号を変更します。（相手先番号を変更しないときは<セット>キーを押して手順6へ進みます。）**

①<ストップ／クリア>キーで相手先番号を消去します。



② テンキーで新しい相手先番号を入力します。

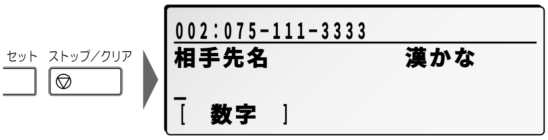


③<セット>キーを押します。

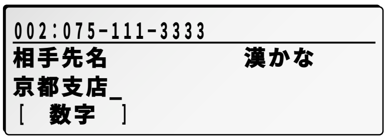
6 **相手先名を変更します。（相手先名を変更しないときは手順7へ進みます。）**

①カーソルキーで「相手先名」を選択し、<セット>キーを押します。

②<ストップ／クリア>キーで相手先名を消去します。



③新しい相手先名を入力します。

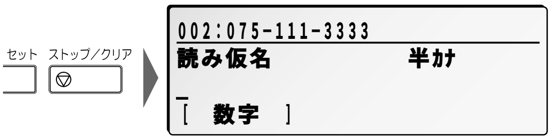


④<セット>キーを押します。

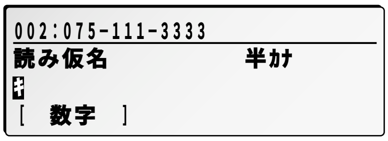
7 **読み仮名を変更します。（読み仮名を変更しないときは手順8へ進みます。）**

① カーソルキーで「読み仮名」を選択し、<セット>キーを押します。

②<ストップ／クリア>キーで読み仮名を消去します。



③新しい読み仮名を入力します。



④<セット>キーを押します。

8 **① カーソルキーで「設定終了」を選択します。**

②<セット>キーを押すと、変更モードを終了します。

＊他の短縮ダイヤルを変更するときは、手順4から操作を繰り返します。
＊変更を終了するときは<リセット>キーを押します。

終わり

MEMO

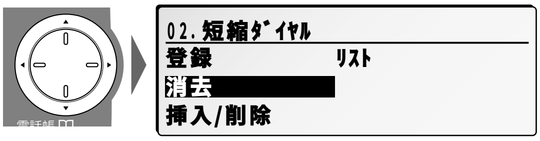
- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押します。

●消去する

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

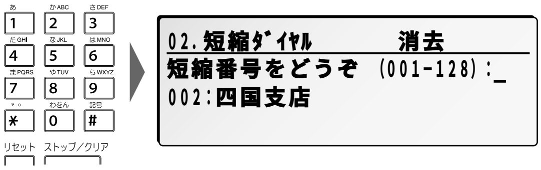
2 **<メニュー/文字>キー→テンキー<0><2>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「消去」を選択します。**



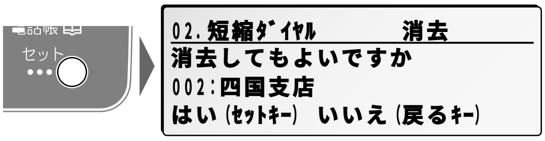
②<セット>キーを押します。

4 **①テンキーで消去したい短縮番号を入力します。**



＊カーソルキーを押して、短縮番号を選択することもできます。

②<セット>キーを押します。



③消去してよければ、もう一度<セット>キーを押します。

＊消去を中止するときは<戻る>キーを押します。

5 **続けて消去を行うときは、手順4を繰り返します。消去モードを終了するときは<リセット>キーを押します。**

終わり

MEMO

- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押します。

●挿入／削除する

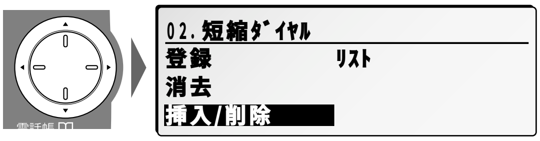
- 挿入…選択した短縮ダイヤルに新しく登録すると、その番号以降の短縮ダイヤルを１つずつ後ろにずらします。ただし、短縮番号 128 に登録されている場合は、挿入できません。
- 削除…選択した短縮ダイヤルを消去すると、その番号以降の短縮ダイヤルを１つずつ前に繰り上げます。

＊プログラムワンタッチやおまかせ機能キーなど、他の機能に登録されている短縮ダイヤルの番号がずれないように注意してください。番号がずれると、間違った相手先に発信してしまいます。ずれた場合は、プログラムワンタッチ、おまかせ機能キーを再登録してください。

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><2>→<セット>キーを押します。**

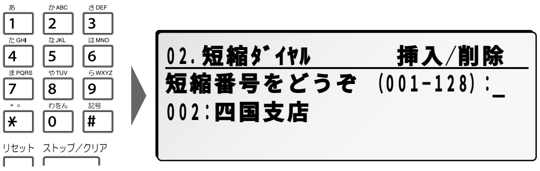
3 **①カーソルキーで「挿入／削除」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

4 **①テンキーで挿入または削除したい短縮番号を入力します。**

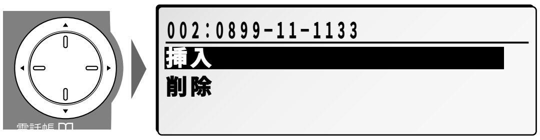
＊カーソルキーで短縮番号を選択することもできます。



②<セット>キーを押します。

5 **挿入する場合**

①カーソルキーで「挿入」を選択します。



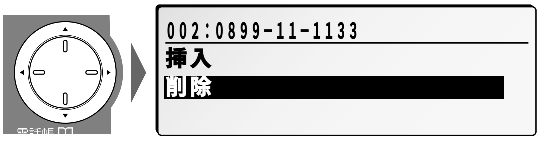
②<セット>キーを押します。

③「登録する」の手順5〜8を行います。

＊登録した短縮ダイヤルが挿入されます。
＊挿入を続けて行うときは、手順4から操作を繰り返します。

削除する場合

①カーソルキーで「削除」を選択します。



②<セット>キーを押します。

③削除してよければ、もう一度<セット>キーを押します。

＊削除を中止するときは、<戻る>キーを押します。
＊削除を続けて行うときは、手順4から操作を繰り返します。

6 **挿入／削除モードを終了します。**
<リセット>キーを押します。

終わり

MEMO

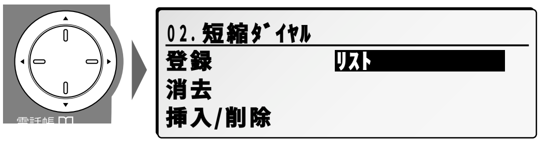
- 操作を中止したいときは<リセット>キーを押します。

●短縮ダイヤルリストをプリントする

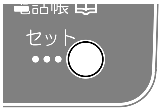
1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜0＞＜2＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「リスト」を選択します。**



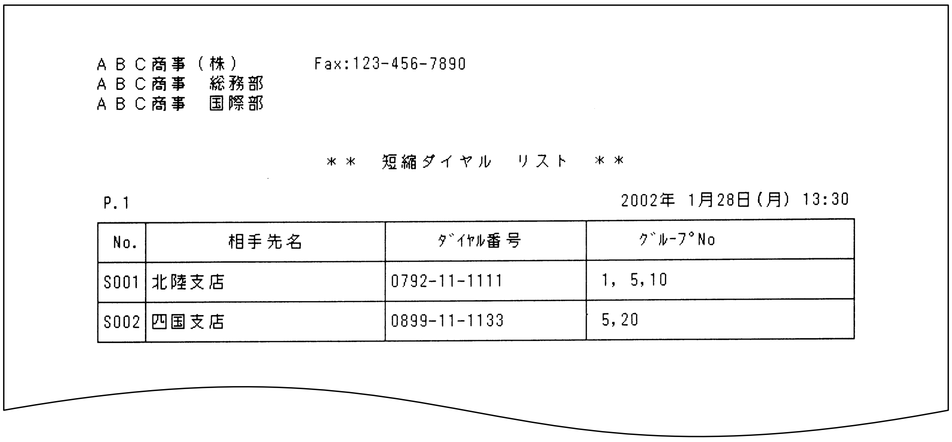
②＜セット＞キーを押します。



＊短縮ダイヤルリストがプリントされます。
＊番号が1件も登録されていない場合は、「登録されていません」と表示され、リストはプリントされません。

終わり

プリント例


ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　短縮ダイヤル　リスト　＊＊

P.1　2002年 1月28日(月) 13:30

No.	相手先名	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	ｸﾞﾙｰﾌﾟNo
S001	北陸支店	0792-11-1111	1, 5,10
S002	四国支店	0899-11-1133	5,20

ファクス編

第4章　機能のセット

5 グループダイヤルの登録

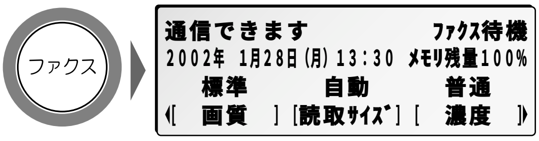
● 多数の相手に送信するとき、ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録されている相手先へグループ単位でダイヤル（グループ送信）することができます。

操作の前に

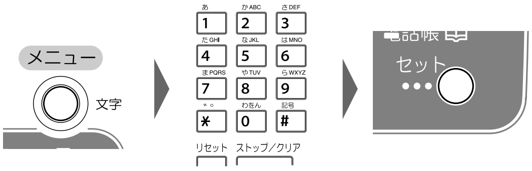
● グループ番号：01～32まで登録できます。

●登録する

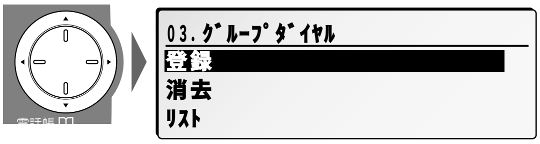
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



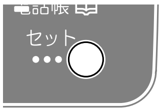
2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><3>→<セット>キーを押します。**



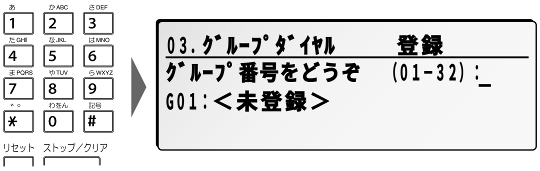
3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

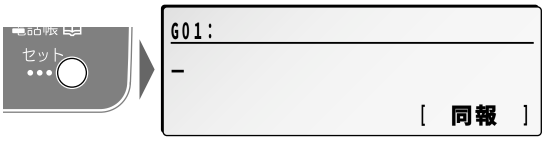


4 **①テンキーで登録したいグループ番号を入力します。**



＊カーソルキーを押して、グループ番号を選択することもできます。
＊登録できるグループ番号は01～32です。

②<セット>キーを押します。



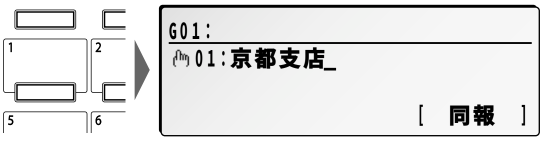
＊<セット>キーを押したあとの数秒間は、1行目に「ワンタッチ／短縮ダイヤルをどうぞ」と表示されます。

5 ワンタッチダイヤルまたは短縮番号を入力します。

＊ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの組み合わせによる指定は32カ所までです。
＊複数の相手先を入力したときは、宛先確認 を押して入力した相手を確認することができます。（➡MEMO）

ワンタッチダイヤルを指定するとき

①相手先が登録されているワンタッチキーを押します。



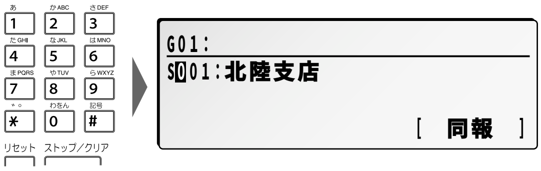
＊ 同報 を押すことにより、最大200宛先まで指定できます。

短縮ダイヤルを指定するとき

＊ご愛用スイッチキーの登録にて＜短縮＞キーを削除すると、短縮ダイヤルを指定することはできません。（➡246ページ）

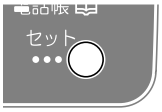
①＜短縮＞キーを押します。

②テンキーで短縮番号を入力します。



＊ 同報 を押すことにより、最大200宛先まで指定できます。

6 ＜セット＞キーを押します。



＊次のグループダイヤルの登録をするときは、手順4から操作を繰り返します。
＊登録を終了するときは＜リセット＞キーを押します。

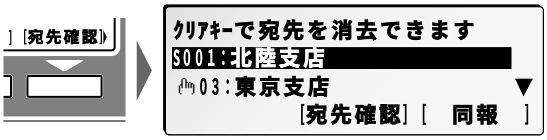
終わり

MEMO

● 操作を中止したいときは＜リセット＞キーを押します。

宛先確認 について

● 複数の相手先を入力したとき 宛先確認 を押すと、入力した相手先を確認することができます。相手先を選択後、＜ストップ／クリア＞キーを押すと選択された相手先が消去されます。もう一度 宛先確認 を押すと、相手先ダイヤル番号入力画面に戻ります。



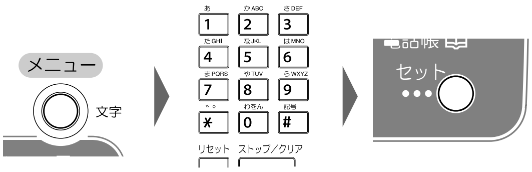
＊相手先の入力中は確認・消去できません。
＊画面に相手先が表示しきれないときは、▼（次の画面）または▲（前の画面）が表示されます。カーソルキーで画面の移動ができます。

ファクス編
第4章 機能のセット

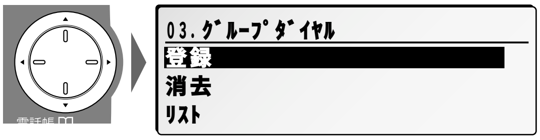
●変更する

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

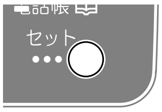
2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><3>→<セット>キーを押します。**



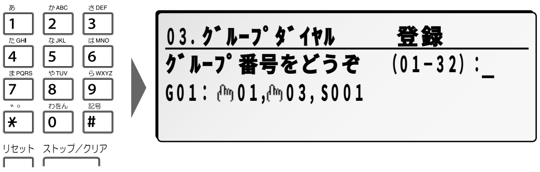
3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**



②<セット>キーを押します。



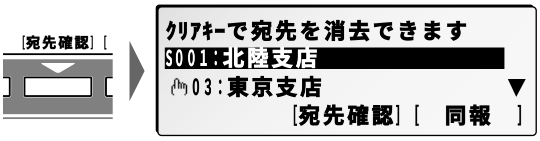
4 **①テンキーで登録したいグループ番号を入力します。**



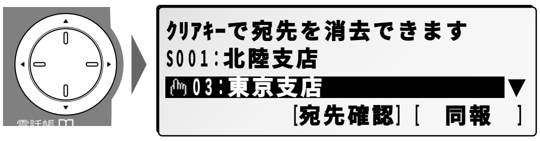
＊カーソルキーを押して、グループ番号を選択することもできます。

②<セット>キーを押します。

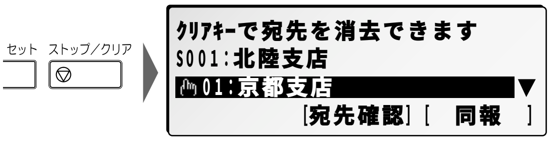
5 **宛先確認 を押します。**



6 **①カーソルキーで変更したい相手先を選択します。**



②<ストップ／クリア>キーで消去します。



③もう一度 宛先確認 を押すか、<戻る>キーを押します。

7 **①ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで新しい相手先を入力します。**

②<セット>キーを押します。

＊他のグループダイヤルを変更するときは、手順4から操作を繰り返します。

＊変更を終了するときは<リセット>キーを押します。

終わり

MEMO

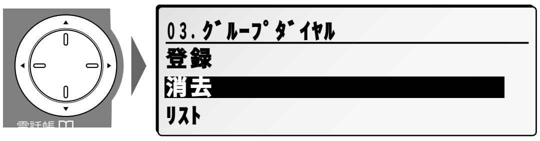
- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押します。

●消去する

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜0＞＜3＞→＜セット＞キーを押します。**

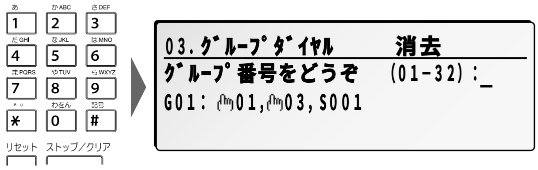
3 **①カーソルキーで「消去」を選択します。**



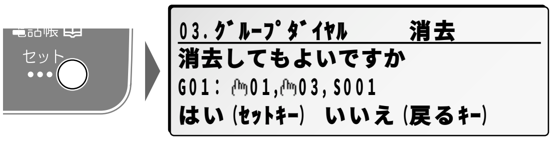
②＜セット＞キーを押します。

4 **①テンキーで消去したいグループ番号を入力します。**

＊カーソルキーを押してグループ番号を選択することもできます。



②＜セット＞キーを押します。



5 **消去してよければ、もう一度＜セット＞キーを押します。**

＊消去を中止するときは、＜戻る＞キーを押します。

6 **続けて消去を行うときは、手順4から操作を繰り返します。消去モードを終了するときは＜リセット＞キーを押します。**

終わり

ファクス編

第4章　機能のセット

MEMO

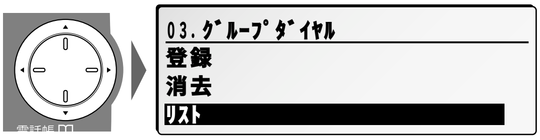
● 操作を中止するときは、＜リセット＞キーを押します。

●グループリストをプリントする

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><3>→<セット>キーを押します。**

3 **①カーソルキーで「リスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

＊グループリストがプリントされます。
＊グループダイヤルが1件も登録されていない場合は、「登録されていません」と表示され、リストはプリントされません。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　グループ　リスト　＊＊

P.1　　　　2002年　1月28日（月）　13:30

No.	相手先名	00	10	20	30
01	京都支店	1 2　5			
03	東京支店	1	0	0	
S001	北陸支店	1　5	0		
S002	四国支店	5		0	

MEMO

- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押します。

6 プログラムワンタッチの登録

● さまざまな応用通信やリストプリント、原稿蓄積などの操作をプログラムワンタッチに登録しておくと、登録したワンタッチキーを押すだけで登録した操作を行うことができます。

操作の前に

● プログラムワンタッチはワンタッチキーの73〜76に登録できます。
● 登録できる操作は以下の3つです。

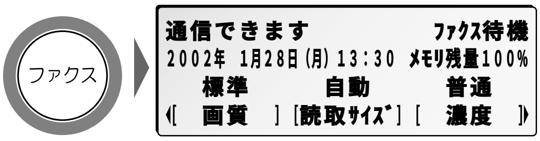
①応用通信　：時刻指定、ポーリング、一括送信、Fコード送信、Fコードポーリングのいずれかを登録できます。時刻指定は他の3つの通信メニュー（ポーリング、Fコード送信、Fコードポーリング）と組み合わせて登録できます。
・個別設定として画質、濃度、メモリ送信、通信証、メッセージ、ファクス＆コピーの設定ができます。

②リストプリント：リストのプリントを登録することができます。

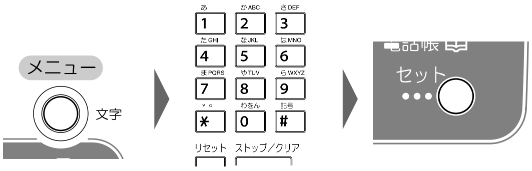
③原稿蓄積　：ポーリング原稿、Fコードボックス原稿を蓄積することができます。
・個別設定として画質、濃度、ファクス＆コピーの設定ができます。

「応用通信」を登録する

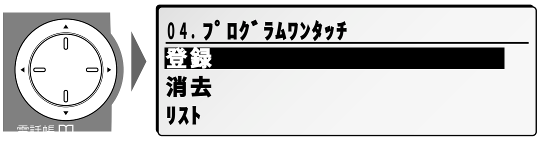
1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**



2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜0＞＜4＞→＜セット＞キーと押します。**

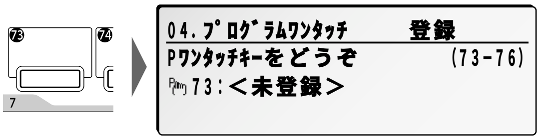


3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。

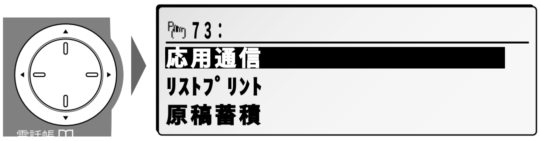
4 **①登録したいワンタッチキーを押します。**



＊カーソルキーを押して、ワンタッチキーを選択することもできます。
＊登録できるワンタッチキーは73〜76までのキーです。

②＜セット＞キーを押します。

5 **①カーソルキーで「応用通信」を選択します。**

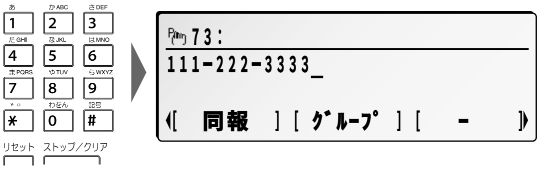


②＜セット＞キーを押します。

＊＜セット＞キーを押したあとの数秒間は、1行目に「ダイヤル番号をどうぞ」と表示されます。

6

①テンキーで相手先番号を入力します。（40桁まで）



＊ポーズなどのダイヤル記号を入力するときは、それぞれの機能選択キーを押してください。
＊テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、電話帳、リダイヤルが使用できます。
＊電話帳、リダイヤルで入力するときは、相手先選択後、<セット>キーを押します。（➡89、91ページ）
＊同報 を押すことにより、最大230宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は30宛先までです。）
＊複数の相手先を入力したときは、宛先確認 を押して入力した相手先を確認することができます。（➡MEMO）
＊番号を間違えて入力したときは、<ストップ／クリア>キーを押して番号を消去し、正しい番号を入力し直してください。

②<セット>キーを押します。

時刻指定送信を登録するとき

（時刻指定送信：➡121ページ）

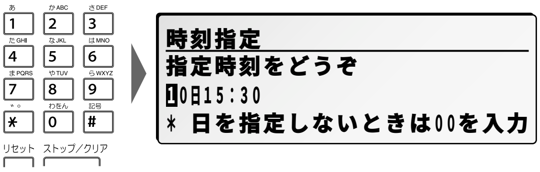
＊時刻指定は他の3つの通信（一括送信以外）と組み合わせて登録できます。

7

①カーソルキーで「時刻指定」を選択し、<セット>キーを押します。

②テンキーで送信時刻（日　時　分）を入力します。

【例】10日午後3時30分と入力したとき



＊時刻は24時間制で入力します。
＊数字が1桁のときは先頭に0を付けます。
＊日付を指定しないときは、日付に「00」を入力します。
＊<ストップ／クリア>キーを押すと、入力した時刻が解除されます。

③<セット>キーを押します。

④他の通信機能（一括送信以外）と組み合わせるときは、それぞれの登録手順に進んでください。
終了するときは手順⑤へ進みます。

⑤カーソルボタンで「設定終了」を選択し、<セット>キーを押します。

＊「個別設定」に移ります。（➡231ページ）

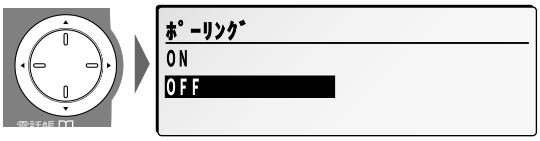
ポーリング受信を登録するとき

（ポーリング：➡150ページ）

7

①カーソルキーで「ポーリング」を選択し、＜セット＞キーを押します。

②カーソルキーで ON または OFF を選択します。



③＜セット＞キーを押します。

④時刻指定と組み合わせるときには、 時刻指定送信を登録するとき へ進みます。
終了するときは手順8へ進みます。

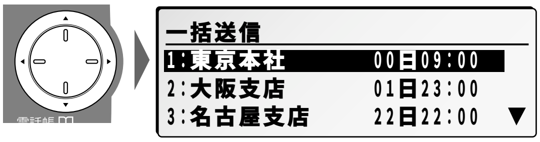
一括送信を登録するとき

（一括送信：➡122ページ）

7

①カーソルキーで「一括送信」を選択し、＜セット＞キーを押します。

②カーソルキーで一括送信ボックス番号を選択します。



③＜セット＞キーを押します。

④カーソルキーで「設定終了」を選択し、＜セット＞キーを押します。
＊「個別設定」に移ります。（➡231ページ）

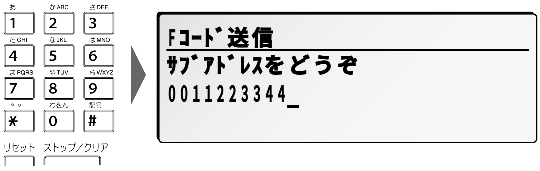
Fコード送信を登録するとき

（Fコード送信：➡152ページ）

7

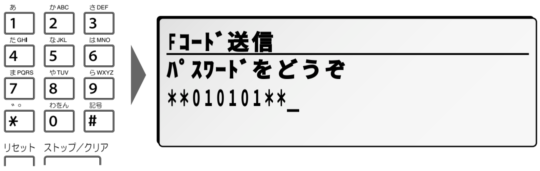
①カーソルキーで「Fコード送信」を選択し、＜セット＞キーを押します。

②テンキーで、相手先のサブアドレス番号を入力します。



③＜セット＞キーを押します。

④テンキーで、パスワードを入力します。



＊パスワードは20桁以内の数字、＊、#が使用できます。
＊パスワードが必要ないときは、何も入力しないで次に進みます。

⑤＜セット＞キーを押します。

時刻指定と組み合わせるときには、 時刻指定送信を登録するとき へ進みます。
終了するときは手順⑥へ進みます。

⑥カーソルキーで「設定終了」を選択し、＜セット＞キーを押します。
＊「個別設定」に移ります。（➡231ページ）

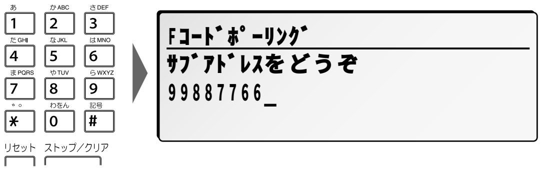
Fコードポーリングを登録するとき

（Fコードポーリング：➡153ページ）

7

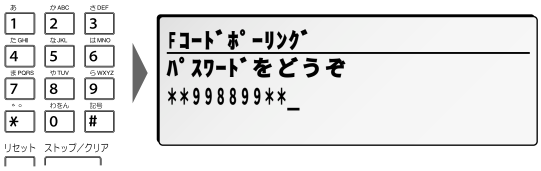
①カーソルキーで「Fコードポーリング」を選択し、<セット>キーを押します。

②テンキーで、相手先の掲示板のサブアドレス番号を入力します。



③<セット>キーを押します。

④テンキーで、パスワードを入力します。



＊パスワードは20桁以内の数字、＊、#が使用できます。
＊パスワードが必要ないときは、手順⑥へ進みます。

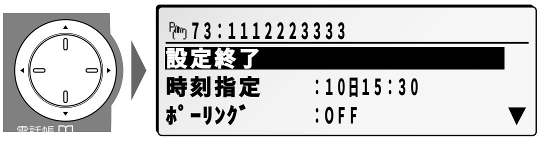
⑤<セット>キーを押します。

時刻指定と組み合わせるときには、時刻指定送信を登録するときへ進みます。
終了するときは手順8へ進みます。

8

登録モードを終了します。

①カーソルキーで「設定終了」を選択します。



②<セット>キーを押します。

＊他のプログラムワンタッチを登録するときは、手順4から操作を繰り返します。
＊登録を終了するときは<リセット>キーを押します。

終わり

MEMO

●番号を間違えて入力したときは、<ストップ／クリア>キーを押して訂正してください。

同報 について

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤル、リダイヤルにて入力するときは、同報を押さなくても、次々と相手先を入力することができます。テンキーで入力したいときは、入力する前に同報を押します。

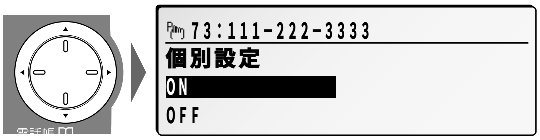
宛先確認 について

●複数の相手先を入力したとき宛先確認を押すと、入力した相手先を確認することができます。相手先を選択後、<ストップ／クリア>キーを押すと選択された相手先が消去されます。もう一度宛先確認を押すと、相手先ダイヤル番号入力画面に戻ります。

＊画面に相手先が表示しきれないときは、▼（次の画面）または▲（前の画面）が表示されます。カーソルキーで画面の移動ができます。

●個別設定

1 **①カーソルキーで個別設定のONまたはOFFを選択します。**

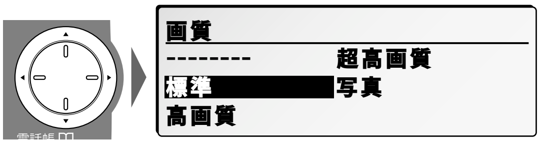


②<セット>キーを押します。

＊OFFを選択したときは、この手順で終了です。次のプログラムワンタッチの登録に移ります。
＊他のプログラムワンタッチを登録するときは「応用通信を登録する」の手順4から操作を繰り返してください。

2 **カーソルキーで「画質」を選択し、<セット>キーを押します。**

3 **①カーソルキーで目的の画質を選択します。**

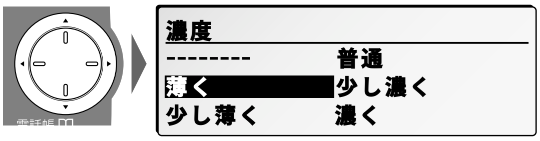


＊標準、高画質、超高画質、写真が選択できます。
＊「ーーー」を選択すると、原稿をセットしたときに選択した画質で読み取ります。

②<セット>キーを押します。

4 **カーソルキーで「濃度」を選択し、<セット>キーを押します。**

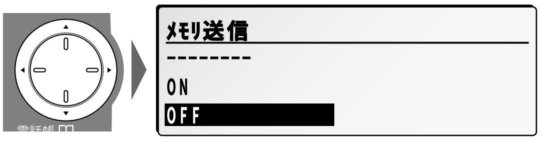
5 **①カーソルキーで目的の濃度を選択します。**



＊薄く、少し薄く、普通、少し濃く、濃くが選択できます。
＊「ーーー」を選択すると、原稿をセットしたときに選択した濃度で読み取ります。

6 **カーソルキーで「メモリ送信」を選択し、<セット>キーを押します。**

7 **①カーソルキーでメモリ送信の ON または OFF を選択します。**

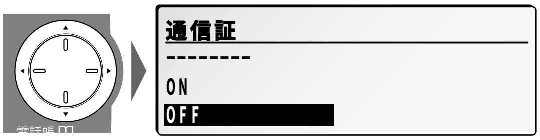


＊ON･･･メモリ送信
OFF･･リアルタイム送信
＊「ーーー」を選択すると、原稿をセットしたときに選択されている状態（メモリ送信かリアルタイム送信か）にしたがいます。

②<セット>キーを押します。

8 **カーソルキーで「通信証」を選択し、<セット>キーを押します。**

9 **①カーソルキーで通信証の ON または OFF を選択します。**

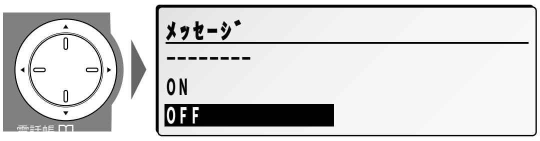


＊ON･･･通信証を付ける
OFF･･通信証を付けない
＊「ーーー」を選択すると、原稿をセットしたときの通信証の状態（ON／OFF）にしたがいます。

②＜セット＞キーを押します。

10 **カーソルキーで「メッセージ」を選択し、＜セット＞キーを押します。**

11 **① カーソルキーでメッセージのONまたはOFFを選択します。**

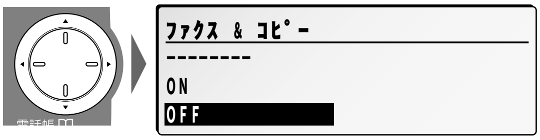


＊ON･･･メッセージを付ける
OFF･･メッセージを付けない
＊「ーーー」を選択すると、原稿をセットしたときの送信案内証の状態（ON／OFF）にしたがいます。

②＜セット＞キーを押します。

12 **カーソルキーで「ファクス＆コピー」を選択し、＜セット＞キーを押します。**

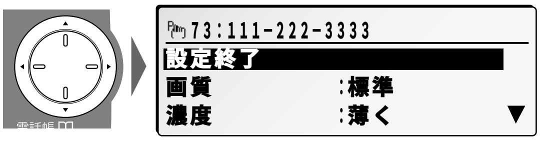
13 **① カーソルキーでファクス＆コピーのONまたはOFFを選択します。**



＊ON･･･ファクス＆コピーをする
OFF･･ファクス＆コピーをしない
＊「ーーー」を選択すると、原稿をセットしたときのファクス＆コピーの状態（ON／OFF）にしたがいます。

②＜セット＞キーを押します。

14 **個別設定モードを終了します。**
①カーソルキーで「設定終了」を選択します。



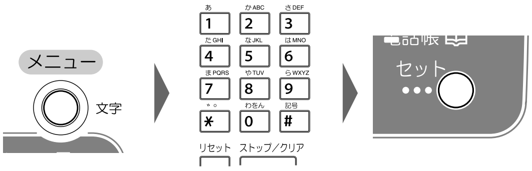
②＜セット＞キーを押します。
＊他のプログラムワンタッチを登録するときは、「応用通信を登録する」の手順4（➡227ページ）から操作を繰り返してください。

終わり

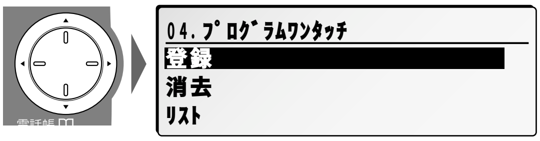
「リストプリント」を登録する

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜０＞＜4＞→＜セット＞キーと押します。**

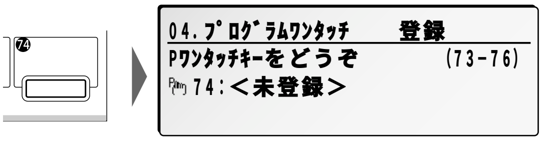


3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**



②＜セット＞キーを押します。

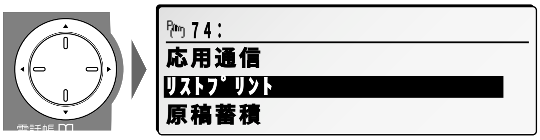
4 **①登録したいワンタッチキー押します。**



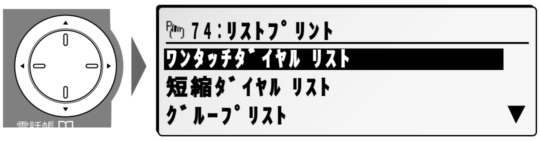
＊カーソルキーを押してワンタッチキーを選択することもできます。
＊登録できるワンタッチキーは73〜76までのキーです。

②＜セット＞キーを押します。

5 **カーソルキーで「リストプリント」を選択し、＜セット＞キーを押します。**



6 **①カーソルキーで目的のリストを選択します。**



＊以下のリストが選択できます

- ワンタッチダイヤルリスト
- 短縮ダイヤルリスト
- ダイレクトメール防止リスト
- プログラムワンタッチリスト
- ナンバーディスプレイリスト
- ナンバーディスプレイ履歴
- 通信予約リスト
- 通信管理レポート
- 機能リスト
- システム設定リスト
- おまかせ機能リスト
- コピー設定リスト
- ファクス設定リスト
- グループリスト
- メッセージリスト
- 一括送信BOXリスト
- 一括送信原稿リスト
- Fコードボックスリスト
- Fコード蓄積原稿リスト
- ファクスワープリスト
- フォンワープリスト

②＜セット＞キーを押します。

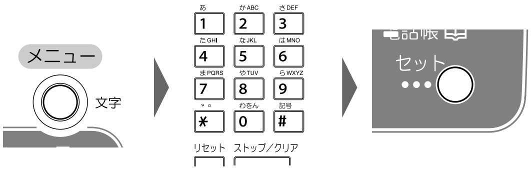
＊他のプログラムワンタッチを登録するときは、手順4から操作を繰り返してください。

終わり

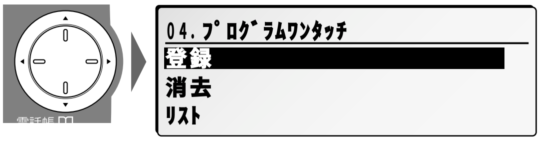
「原稿蓄積」を登録する

1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><4>→<セット>キーと押します。**

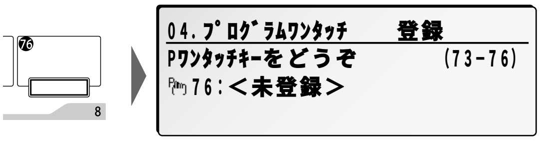


3 **①カーソルキーで「登録」を選択します。**



②<セット>キーを押します。

4 **①登録したいワンタッチキーを押します。**

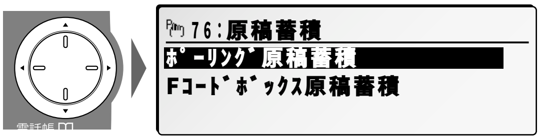


＊カーソルキーを押してワンタッチキーを選択することもできます。
＊登録できるワンタッチキーは73〜76までのキーです。

②<セット>キーを押します。

5 **カーソルキーで「原稿蓄積」を選択し、<セット>キーを押します。**

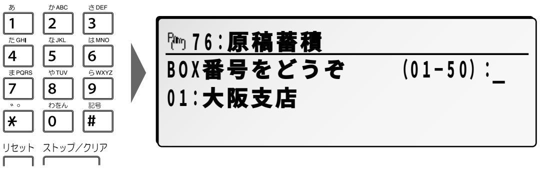
6 **①カーソルキーでポーリング原稿蓄積またはFコードボックス原稿蓄積を選択します。**



②<セット>キーを押します。

＊ポーリング原稿蓄積を選択したときは手順9へ進みます。

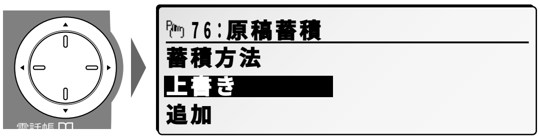
7 **①テンキーで登録するボックス番号（01〜50）を入力します。**



＊カーソルキーでボックス番号を選択することもできます。
＊1桁の時は先頭に0を付けます。

②<セット>キーを押します。

8 **①カーソルキーで蓄積方法を選択します。**

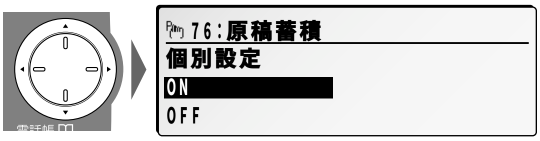


＊上書き、追加が選択できます。
＊選択されたボックスに親展ボックスまたは中継ボックスが登録されている場合は、エラーメッセージが表示されます。

②<セット>キーを押します。

9

①カーソルキーで個別設定の ON または OFF を選択します。



②<セット>キーを押します。

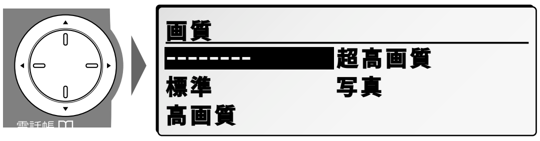
＊OFFを選択したときは、この手順で終了です。次のプログラムワンタッチの登録に移ります。
＊他のプログラムワンタッチを登録するときは「応用通信を登録する」の手順4から操作を繰り返してください。

10

カーソルキーで「画質」を選択し、<セット>キーを押します。

11

①カーソルキーで目的の画質を選択します。



＊標準、高画質、超高画質、写真が選択できます。
＊「－－－」を選択すると、原稿をセットしたときの画質で読み取ります。

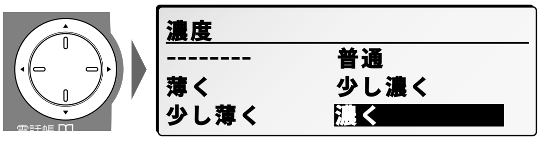
②<セット>キーを押します。

12

カーソルキーで「濃度」を選択し、<セット>キーを押します。

13

①カーソルキーで目的の濃度を選択します。



＊薄く、少し薄く、普通、少し濃く、濃くが選択できます。
＊「－－－」を選択すると、原稿をセットしたときの濃度で読み取ります。

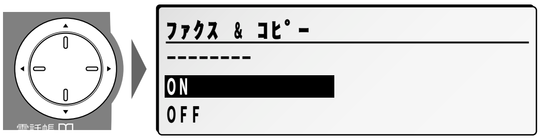
②<セット>キーを押します。

14

カーソルキーで「ファクス＆コピー」を選択し、<セット>キーを押します。

15

①カーソルキーでファクス＆コピーの ON または OFF を選択します。

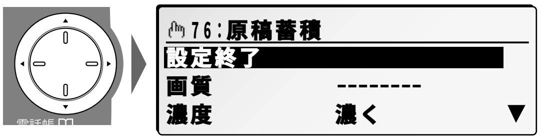


＊ON･･･ファクス＆コピーをする
　OFF･･ファクス＆コピーをしない
＊「－－－」を選択すると、原稿をセットしたときのファクス＆コピーの状態（ON／OFF）にしたがいます。

②<セット>キーを押します。

16

登録モードを終了します。
①カーソルキーで「設定終了」を選択します。



②<セット>キーを押します。

＊他のプログラムワンタッチを登録するときは、手順4から操作を繰り返してください。

終わり

ファクス編
第4章　機能のセット

●変更する

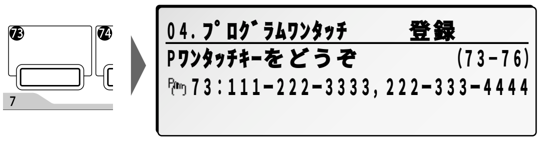
● ワンタッチキー＜ 73 ＞に登録されている「F コード送信」の内容を変更する例を説明します。

1 **＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜0＞＜4＞→＜セット＞キーと押します。**

3 **カーソルキーで「登録」を選択し、＜セット＞キーを押します。**

4 **①変更したいワンタッチキーを押します。**



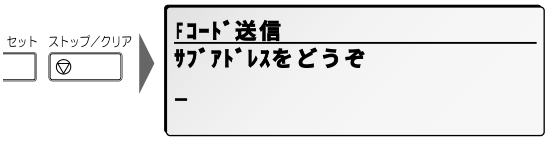
＊カーソルキーを押してワンタッチキーを選択することもできます。

②＜セット＞キーを2回押します。

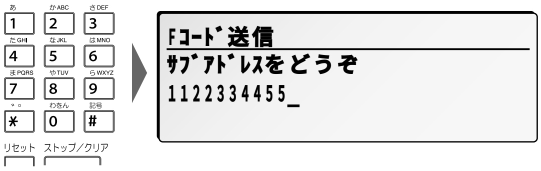
5 **【例】** ワンタッチキー＜73＞に登録されている「Fコード送信」の内容を変更するとき

①カーソルキーで「Fコード送信」を選択し、＜セット＞キーを押します。

②＜ストップ／クリア＞キーでサブアドレス番号を消去します。

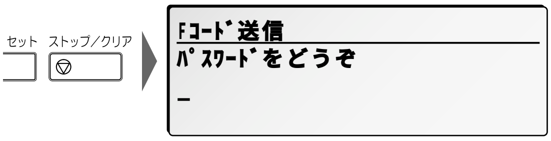


③テンキーで新しいサブアドレス番号を入力します。

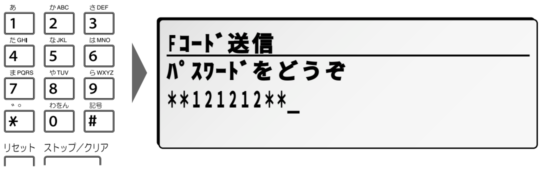


④＜セット＞キーを押します。

⑤パスワードが登録されているときは、＜ストップ／クリア＞キーでパスワードを消去します。



⑥テンキーで新しいパスワードを入力します。



⑦＜セット＞キーを押します。

＊他のプログラムワンタッチダイヤルを変更するときは、手順4から操作を繰り返します。

6 **変更モードを終了します。**
＜リセット＞キーを押します。

終わり

MEMO

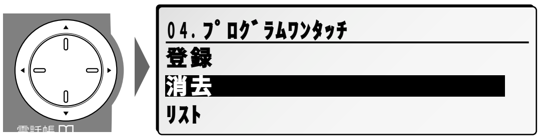
● 番号を間違えて入力したときは＜ストップ／クリア＞キーを押して訂正してください。

●消去する

1 ＜ファクス＞キーを押して、ファクス画面に切り替えます。

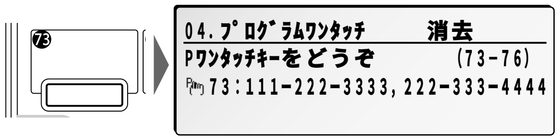
2 ＜メニュー／文字＞キー→テンキー＜0＞＜4＞→＜セット＞キーと押します。

3 ①カーソルキーで「消去」を選択します。



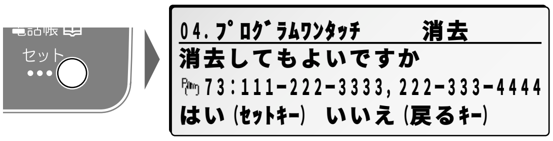
②＜セット＞キーを押します。

4 ①消去したいワンタッチキーを押します。



＊カーソルキーを押して、ワンタッチキーを選択することもできます。

②＜セット＞キーを押します。



③消去してよければ、もう一度＜セット＞キーを押します。
＊消去を中止するときは＜戻る＞キーを押します。

5 続けて消去を行うときは、手順4を繰り返します。消去モードを終了するときは＜リセット＞キーを押します。

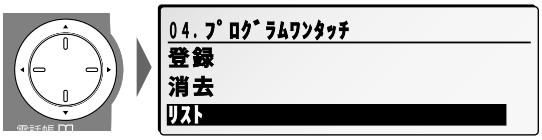
終わり

●プログラムワンタッチダイヤルリストをプリントする

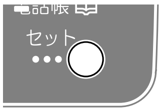
1 **<ファクス>キーを押して、ファクス画面に切り替えます。**

2 **<メニュー／文字>キー→テンキー<0><4>→<セット>キーと押します。**

3 **①カーソルキーで「リスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。



＊プログラムワンタッチダイヤルリストがプリントされます。
＊1件も登録されていない場合は、「登録されていません」と表示されリストは表示されません。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　プログラムワンタッチ　リスト　＊＊

P.1　　2002年 1月28日(月) 13:30
通信

No.	ﾀﾞｲﾔﾙ番号	指定日時	応用通信	備考
73	111-222-3333	--:--	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	
75	1234-5678	0, 9:00		
	優先画質 :超高画質　優先原稿濃度 :濃く　ﾒﾓﾘ送信 :ON 通信証 :ON　ﾒｯｾｰｼﾞ :OFF　ﾌｧｸｽ & ｺﾋﾟｰ :OFF			

ﾘｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ

No.	ﾘｽﾄ名
74	通信予約ﾘｽﾄ

原稿蓄積

No.	種別	ﾎﾞｯｸｽ名	上書き
76	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ		
	優先画質 :--------　優先原稿濃度 :濃く　ﾌｧｸｽ & ｺﾋﾟｰ :ON		

ファクス・コピー
共通設定編

もくじ

1 おまかせ機能キー 240
おまかせ機能キーの登録 240
おまかせ機能キーのタイトル変更 242
おまかせ機能キーの消去 243
おまかせ機能キーリストのプリント 244
おまかせ機能キーの実行スピードの設定 245
おまかせ機能キーを使用する 245

2 ご愛用スイッチキー 246
ご愛用スイッチキーの登録 247
ご愛用スイッチキーの使用例 248

3 システム設定 250
システム設定例 250
システム設定一覧 252
蓄積原稿リストプリント例 254
システム設定リストプリント例 254
プロテクトコードの登録 255
操作音を変える（音設定） 256

共通機能の設定

1 おまかせ機能キー

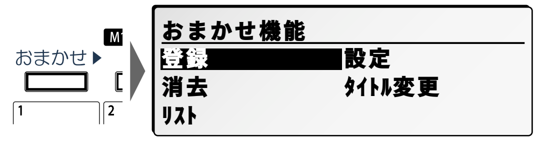
● 一連の操作をおまかせ機能キーに登録すると、1つのボタンを押すだけで登録した操作が実行されます。いつも同じコピーやファクスをしたいときなど、定型操作を登録しておくと便利です。

操作の前に

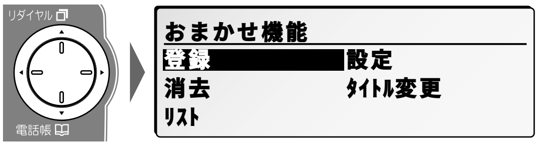
- あらかじめ登録したい設定を取扱説明書で調べておき、操作を書き留めて置くとスムーズに登録できます。
- おまかせ機能キーは操作パネル上のキー＜M1＞～＜M3＞までの3個に登録でき、1つのキーに60ステップの操作を登録できます。（1ステップとは、キーを1回選択または押す操作です。）
- おまかせ機能キー登録中は、「プッ、プッ」というブザー音と、＜コピー＞キー／＜ファクス＞キーの点滅にて登録中であることを知らせます。登録できるステップ数が少なくなると、ブザー音と＜コピー＞キー／＜ファクス＞キーの点滅間隔が短くなります。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどの登録や、機器設定などを登録することはできません。

●おまかせ機能キーの登録

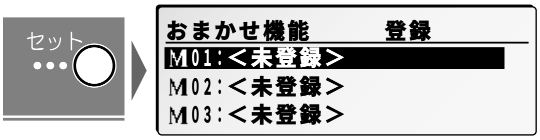
1 ＜おまかせ＞キーを押します。



2 ①カーソルキーで「登録」を選択します。



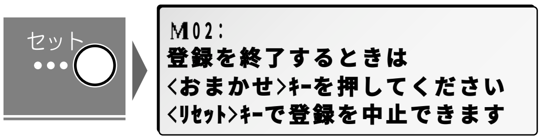
②＜セット＞キーを押します。



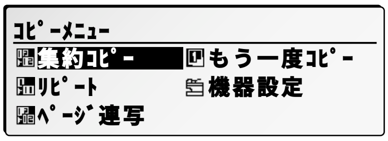
3 ①登録したいおまかせ機能キー＜M1＞～＜M3＞を押すか、カーソルキーで選択します。

②＜セット＞キーを押します。

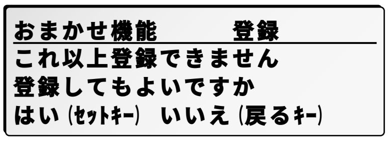
＊既に登録してあるキーを選択すると、「上書き登録しますか」と表示されます。登録をするときは＜セット＞キーを押します。
＊＜戻る＞キーを押すと上書き登録されずにおまかせ機能キーの選択画面（手順3-①）になります。



4 登録したい操作を行います。

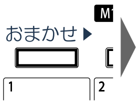


＊60ステップまで登録できます。
＊60ステップを超えると、「これ以上登録できません登録してもよいですか」とメッセージが表示されます。＜セット＞キーを押すと登録され操作6に進みます。＜戻る＞キーを押すと登録されずに待機画面になります。



＊＜リセット＞キーを押すと、登録を中止します。

5 登録を終了するときは、<おまかせ>キーを押します。



おまかせ機能　　　登録
ﾀｲﾄﾙ名　　　　　　漢かな
_
[　数字　]

6 タイトルを入力します。

おまかせ機能　　　登録
ﾀｲﾄﾙ名　　　　　　漢かな
営ぎょう
[　数字　]　　　　[　変換　]

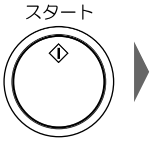
＊半角文字では130文字、全角文字では65文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

7 <セット>キー押すと登録を終了します。

終わり

ポイント

● <スタート>キーを登録したとき
操作の登録中に<スタート>キーを押したとき、以下のメッセージが表示されます。



おまかせ機能　　　登録
動作開始ｷｰを登録しますか

はい（ｾｯﾄｷｰ）　いいえ（戻るｷｰ）

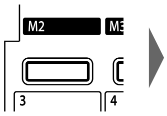
＊<セット>キーを押すと、<スタート>キーを押した操作まで登録されます。<戻る>キーを押すと<スタート>キーを押す直前までの操作を登録します。

■例えばこんな使いかたができます。

送信操作を登録中、<戻る>キーを押して<スタート>キーを取り込まないでおきます。登録したおまかせ機能キーを実行すると<スタート>を押す直前まで動作します。その後に、時刻指定などを設定できます。

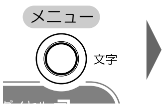
＊<セット>キーを押して<スタート>キーを取り込むと、送信されてしまうので、時刻指定を設定できません。

【例】時刻指定送信にて、<スタート>キーを取り込まなかったとき。



ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
1234567890_

[　同報　][　ﾄｰﾝ　][　ｸﾞﾙｰﾌﾟ　]



応用ﾌｧｸｽ
時刻指定　　　Fｺｰﾄﾞﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
Fｺｰﾄﾞ送信

ここまで実行　　　　機能追加

MEMO

● 登録した操作を変更することはできません。初めから登録し直してください。
● 登録中の操作ミスや、変更手順も登録されます。

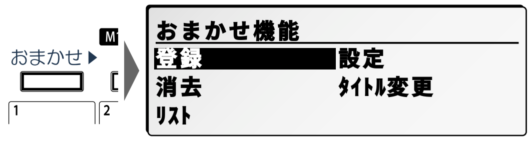
ファクス・コピー共通設定編

共通機能の設定

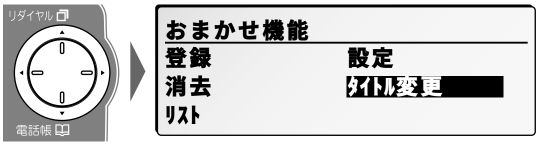
●おまかせ機能キーのタイトル変更

● 登録したおまかせ機能キーのタイトルを変更することができます。

1 **＜おまかせ＞キーを押します。**

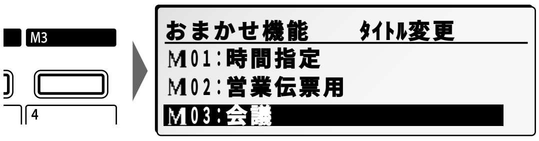


2 **①カーソルキーで「タイトル変更」を選択します。**

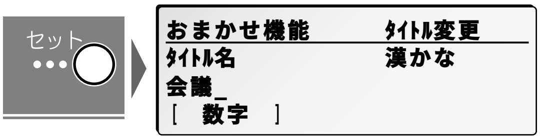


②＜セット＞キーを押します。

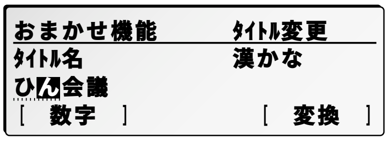
3 **①変更したいおまかせ機能キーを押すか、カーソルキーで選択します。**



②＜セット＞キーを押します。



③タイトルを変更します。



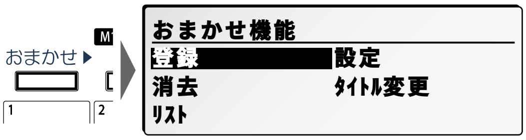
＊半角文字では130文字、全角文字では65文字まで登録できます。
＊文字入力については「文字入力のしかた（➡188ページ）」を参照してください。

4 **＜セット＞キーを押すとタイトルを変更します。続けてタイトルの変更を行うときは、手順3を繰り返します。**
＊＜リセット＞キーを押すと待機画面に戻ります。

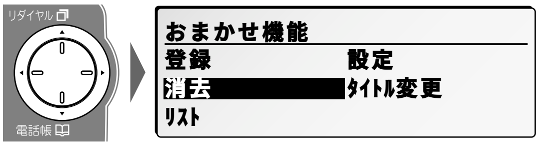
終わり

●おまかせ機能キーの消去

1 **＜おまかせ＞キーを押します。**

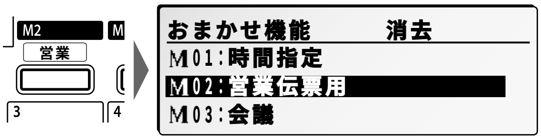


2 **①カーソルキーで「消去」を選択します。**

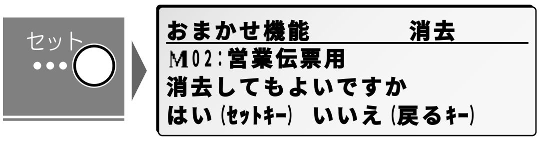


②＜セット＞キーを押します。

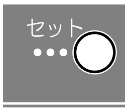
3 **①消去したいおまかせ機能キーを押すか、カーソルキーで選択します。**



②＜セット＞キーを押します。



③消去をするときは＜セット＞キーを押します。



＊＜戻る＞キーを押すと消去されずにおまかせ機能キーの選択画面（手順3-①）になります。

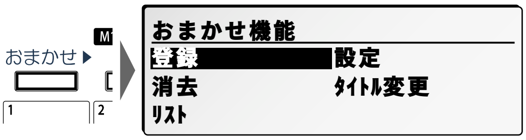
4 **続けて消去を行うときは、手順3を繰り返します。**

＊＜リセット＞キーを押すと待機画面に戻ります。

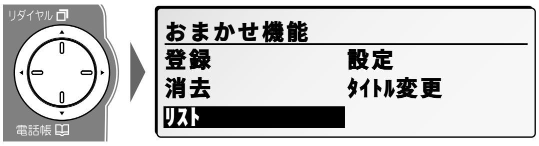
終わり

●おまかせ機能キーリストのプリント

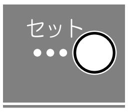
1 **<おまかせ>キーを押します。**



2 **①カーソルキーで「リスト」を選択します。**



②<セット>キーを押します。



＊おまかせ機能キーリストがプリントされます。

終わり

プリント例

ＡＢＣ商事（株）　　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

＊＊　おまかせ機能　リスト　＊＊

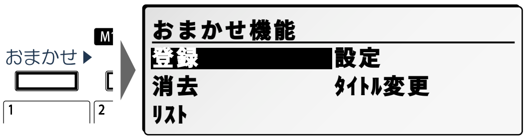
2002年 1月28日(月) 13:30

No.	ﾀｲﾄﾙ名
M01	時刻指定
M02	営業伝票用
M03	会議

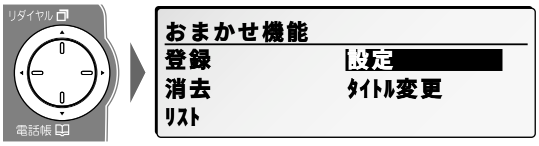
●おまかせ機能キーの実行スピードの設定　初期設定：普通

● おまかせ機能キーを実行したときの、1 ステップごとのスピードを 4 段階に調整できます。

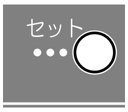
1 **<おまかせ>キーを押します。**



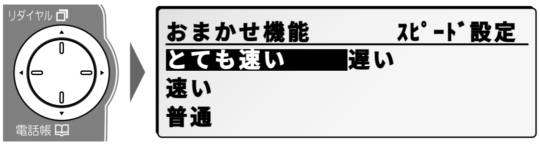
2 **①カーソルキーで「設定」を選択します。**



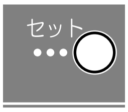
②<セット>キーを押します。



3 **①カーソルキーで実行時間（とても速い、速い、普通、遅い）を選択します。**



②<セット>キーを押します。



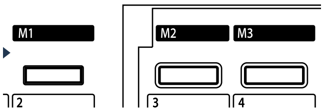
＊実行時間が設定され、手順1に戻ります。
＊<リセット>キーを押すと待機画面に戻ります。

終わり

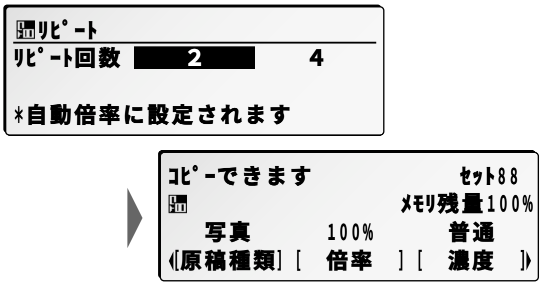
●おまかせ機能キーを使用する

● 登録した操作を実行します。

1 **実行したいおまかせ機能キーを押します。**



2 **登録した操作が順次実行されます。**



＊<ストップ／クリア>キーを押すと、おまかせ機能キーの実行を中断します。

終わり

2 ご愛用スイッチキー

さまざまな機能を 6 つのキーに割り当てて登録できます。よく使用する機能を割り当てておくと、操作の手間が省けます。

操作の前に

- ご愛用スイッチキーは6個あります。ご愛用スイッチキーに割り当てることができる機能は以下の機能です。

割り当てることができる機能

	機　能	ボタンを押したときの動作
ファクス機能	メモリ送信（初期設定）	メモリ送信／リアルタイム送信
	自動受信（初期設定）*2	自動受信／手動受信
	済スタンプ（初期設定）	ON ／ OFF
	フック／会話予約（初期設定）	オンフック／オフフック　会話予約の ON ／ OFF
	短縮（初期設定）	短縮ダイヤルを使う
	ファクス＆コピー	ON ／ OFF
	発信元	原稿に発信元を　付ける／付けない
	発信元選択	通信ごとに発信元名を選択する
	セキュリティ受信	ON ／ OFF
	通信証	ON ／ OFF
	メッセージ	送信案内証を　付ける／付けない
	ファクスワープ *1	ON ／ OFF
	フォンワープ *1	ON ／ OFF
コピー機能	ソートコピー（初期設定）	ON ／ OFF
	集約コピー	各応用コピーの設定画面になります。
	リピート	
	ページ連写	
	もう一度コピー	
ファクス／コピー共通機能	車検証読取り	ON ／ OFF
	鉛筆読取り	ON ／ OFF

＊1 ファクスワープ、フォンワープを使用する場合、使用できない受信モードがあります。（➡41ページ）

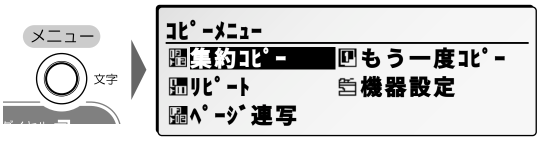
＊2 自動受信（設置モードで選ばれたファクス待機、電話／ファクス待機、ファクス／電話待機、留守／ファクス待機）と手動受信（電話待機）を切り替えることができます。設置モードで電話待機が選ばれた場合は、自動受信はファクス／電話待機となります。

●ご愛用スイッチキーの登録

1

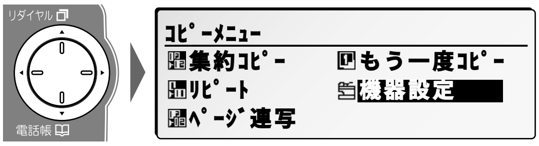
コピーまたはファクス待機画面から<メニュー／文字>キーを押します。

【例】コピー待機画面から<メニュー／文字>キーを押したとき



2

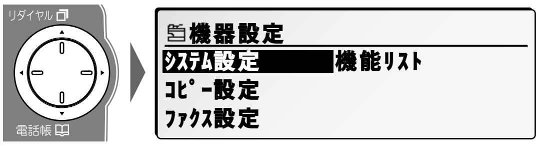
①カーソルキーで「機器設定」を選択します。



②<セット>キーを押します。

3

①カーソルキーで「システム設定」を選択します。

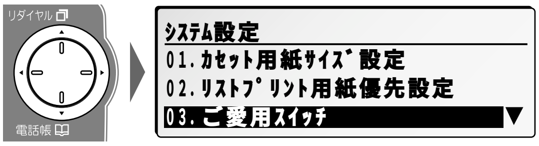


②<セット>キーを押します。

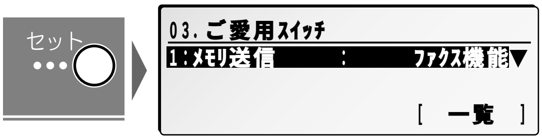
4

①カーソルキーで「03. ご愛用スイッチ」を選択します。

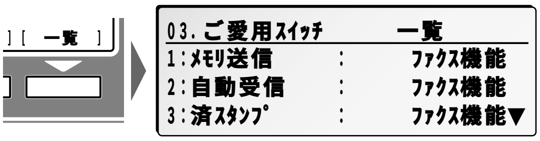
＊テンキーで<0><3>と入力して選択することもできます。



②<セット>キーを押します。



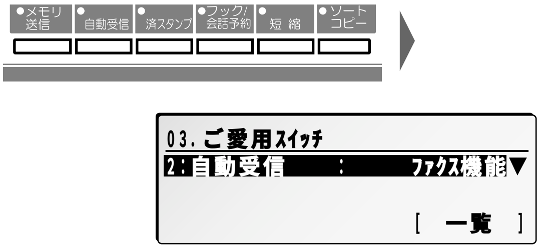
＊［一覧］を押すと、現在ご愛用スイッチキーに登録されている機能が一覧表示されます。<戻る>キーを押すと、元の表示に戻ります。



5

①登録したいご愛用スイッチキーを押します。

＊カーソルキーで選択することもできます。

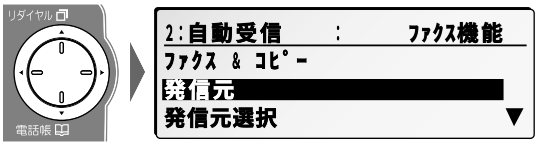


②<セット>キーを押します。

次のページへ

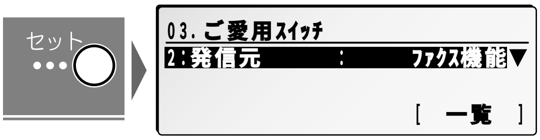
6 **①カーソルキーで登録したい機能を選択します。**

＊すでに他のご愛用スイッチキーに登録されている機能は表示されません。



②＜セット＞キーを押します。

＊ご愛用スイッチキーが登録されます。

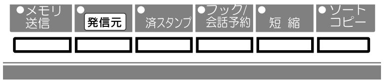


7 **続けて登録を行うときは、手順5～6を繰り返します。**

＊＜リセット＞キーを押すと待機画面に戻ります。

8 **「ご愛用スイッチラベル」をキーの上に貼ります。**

＊設定した機能と同じ名称のシールを貼ります。



終わり

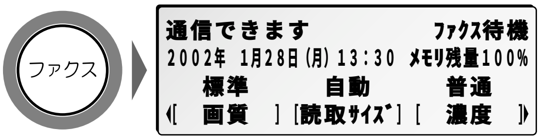
●ご愛用スイッチキーの使用例

操作の前に

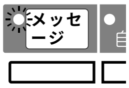
- ファクス機能を設定したご愛用スイッチキーを使用するときは、ファクス画面に切り替えます。コピー機能を設定したご愛用スイッチキーを使用するときは、コピー画面に切り替えます。
- フック機能は、コピー画面、ファクス画面どちらからでも使用できます。

メッセージを登録したとき

1 **＜ファクス＞キーを押し、ファクス画面にします。**



2 **メッセージを登録した、ご愛用スイッチキーを押します。**
キーが点灯しメッセージがONになります。



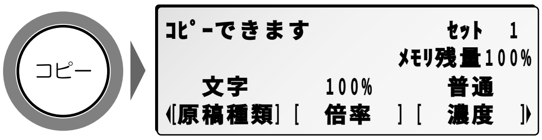
＊もう一度キーを押すとキーが消灯しOFFになります。

3 **原稿をセットし、送信すると送信案内証が送信原稿の1枚目につけられます。**

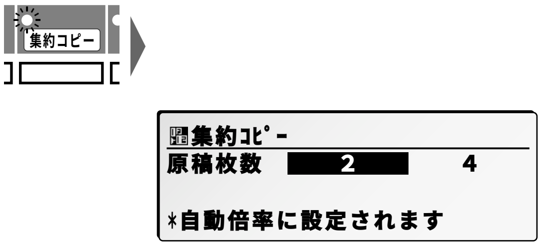
終わり

集約コピーを登録したとき

1 **<コピー>キーを押し、コピー画面にします。**



2 **集約コピーを登録した、ご愛用スイッチキーを押します。**
キーが点灯し、集約コピーの設定画面になります。



3 **集約コピーの設定を行います。**

終わり

ファクス・コピー共通設定編
共通機能の設定

3 システム設定

ファクス・コピーの管理機能や、使い勝手をよくする機能の設定を行えます。

操作の前に

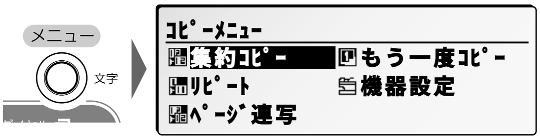
- 初期設定とは、電源を入れたときや、＜リセット＞キーを押して待機画面に戻したときの状態を言います。
- 出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値（初期値）のことです。

●システム設定例

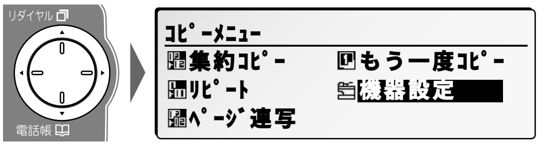
- システム設定を行うには、「システム設定」メニューにします。「05. コピー禁止」を設定する例を説明します。

1 コピーまたはファクス待機画面から＜メニュー／文字＞キーを押します。

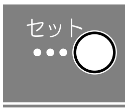
【例】コピー待機画面から＜メニュー／文字＞キーを押したとき



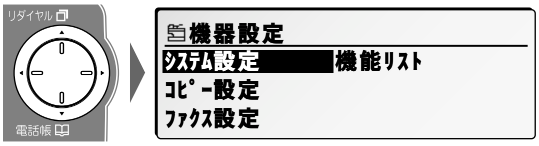
2 ①カーソルキーで「機器設定」を選択します。



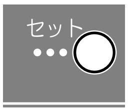
②＜セット＞キーを押します。



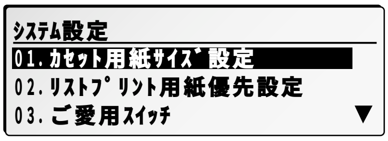
3 ①カーソルキーで「システム設定」を選択します。



②＜セット＞キーを押します。

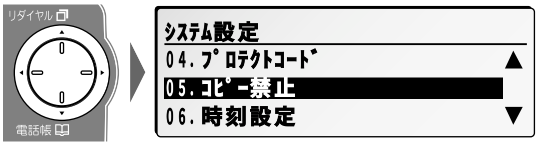


4 「システム設定」メニューが表示されます。

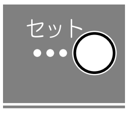


5 **①カーソルキーで設定したい機能を選択します。**

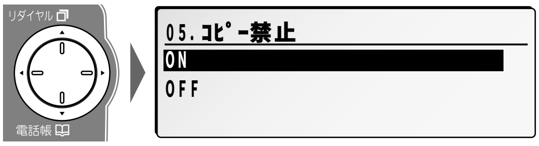
【例】「05. コピー禁止」を設定するとき
＊テンキーで＜0＞＜5＞と入力して選択することもできます。



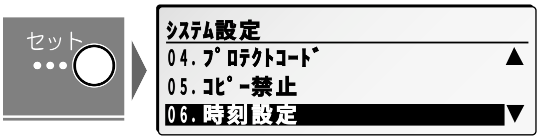
②＜セット＞キーを押します。



6 **カーソルキーで設定値を選択します。**



7 **＜セット＞キーを押すと選択した設定値がセットされ、「システム設定」メニューに戻ります。**
他の設定を続けて行えます。



＊操作を終了するときは＜リセット＞キーを押します。

終わり

●システム設定一覧

機能	機能説明	設定値
01. カセット用紙 サイズ設定	1段目カセット、2段目カセット、3段目カセット（オプション）、手差しトレイにセットする用紙のサイズを選択します。	● 1 段目カセット B4 A4 B5 A5 ● 2 段目カセット B4 A4 B5 A5 ● 3 段目カセット B4 A4 B5 A5 ●手差しトレイ 「手差しトレイに用紙をセットする」（➡64 ページ）を参照
02. リストプリント 用紙優先設定	リストをプリントする用紙のサイズを設定できます。設定した用紙サイズがカセットにセットされていないときは、自動的に他の用紙にプリントします。	B4 A4 B5 A5
03. ご愛用スイッチ	さまざまな機能を任意のキーに割り当てて登録できます。よく使用する機能を割り当てておくと、操作の手間が省けます。	「ご愛用スイッチキー」（➡246 ページ）を参照
04. プロテクトコード	セキュリティ機能（セキュリティ受信、部門管理プロテクト）を利用するためのプロテクトコードを登録します。	「プロテクトコードの登録」（➡255 ページ）を参照
05. コピー禁止	コピーを禁止します。 ONに設定すると、<コピー>キーを押してもコピー画面に切り替わらなくなります。また、ファクス＆コピーもできなくなります。	ON OFF
06. 時刻設定	本体の時刻を設定します。西暦、月日、時分を入力します。時刻は 24 時間制で入力します。	
08. ファクス＆コピー	1回の原稿読み取り操作で、ファクスとコピーが同時にできます。	ON OFF 「ファクスとコピーを同時にする（ファクス＆コピー）」（➡144ページ）を参照

＊＿＿＿のついている値が、出荷時設定です。

機能	機能説明	設定値
09.省エネ設定	電源が入っている状態で一定時間使用しなければ、待機電力を落とし、スリープモードに入ります。スリープモードが一定時間続くと、待機電力をさらに落とし、オートパワーオフモードに切り替わります。（➡14 ページ） ここでは、スリープモード、オートパワーオフモードのON／OFFを設定します。ONにした場合、スリープモード、スリープモードからオートパワーオフモードに入るまでの時間を設定できます。（「10.省エネ時間設定」参照）スリープモードをOFFにすると、オートパワーオフモードもOFFになります。	●スリープ ON OFF ●オートパワーオフ ON OFF
10.省エネ時間設定	スリープモードまたはオートパワーオフモードをONにした場合、スリープモードに入るまでの時間、スリープモードからオートパワーオフモードに入るまでの時間を設定します。	●スリープモードに入るまでの時間 5～100分:15分後 ●スリープモードからオートパワーオフモードに入るまでの時間 15～120分:15分後
11.省エネモード解除時刻設定	スリープモード、オートパワーオフモードになっていても、省エネモード解除時刻になると、自動的に通常の待機状態に戻ります。	ON OFF ＊ONを選択したときは<セット>キーを押すと時刻設定になります。時刻は24時間制で入力します。
12.蓄積原稿リストプリント	現在メモリに蓄積されている原稿の一覧をプリントします。	➡254 ページ
13.カウンタ確認	本機でプリントした用紙の総印字枚数を表示します。	
14.音設定	各種音の設定を行うことができます。	「操作音を変える（音設定）」（➡256 ページ）を参照
15.システム設定リストプリント	システム設定の設定状況をリストプリントします。	➡254 ページ

＊____のついている値が、出荷時設定です。

●蓄積原稿リストプリント例

ＡＢＣ商事（株）　　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事 総務部
ＡＢＣ商事 国際部

＊＊　メモリ蓄積原稿リスト　＊＊

P.1　　2002年 1月28日(月) 13:50

原稿種別	ﾃﾞｰﾀ量(KB)	枚数	備考
Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿	60	1	ﾎﾞｯｸｽ:01　受付番号:01
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ原稿	116	2	
Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿	56	1	ﾎﾞｯｸｽ:01　受付番号:02
Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿	60	1	ﾎﾞｯｸｽ:01　受付番号:03
Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿	60	1	ﾎﾞｯｸｽ:01　受付番号:04
Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿	60	1	ﾎﾞｯｸｽ:01　受付番号:05
送信原稿	56	1	001
一括送信原稿	56	1	ﾎﾞｯｸｽ:02　受付番号:01
送信原稿	192	3	002
送信原稿	64	1	003

1　2　3　4

1. 原稿種別
原稿の種類を表します。

2. データ量（KB）
原稿のメモリ容量を表しています。
1,024KBが1MBになります。

3. 枚数
原稿の蓄積枚数です。

4. 備考
予約番号や受信した日時、蓄積されているボックス番号など、各原稿に関することがプリントされます。

●システム設定リストプリント例

＊＊　システム設定リスト　＊＊

8192 KB　　2002年 1月28日(月) 13:30

1段目 ｶｾｯﾄ	A4		
2段目 ｶｾｯﾄ	B4		
手差しﾄﾚｲ	毎回設定		
ﾘｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ優先用紙	A4		
ご愛用ｽｲｯﾁ1	ﾒﾓﾘ送信		
ご愛用ｽｲｯﾁ2	自動受信		
ご愛用ｽｲｯﾁ3	済ｽﾀﾝﾌﾟ		
ご愛用ｽｲｯﾁ4	ｱｯｸ/会話予約		
ご愛用ｽｲｯﾁ5	短縮		
ご愛用ｽｲｯﾁ6	ｿｰﾄｺﾋﾟｰ		
ｺﾋﾟｰ禁止	ON	OFF	
ｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ	ON	OFF	
ﾌｧｸｽ & ｺﾋﾟｰ	ON	OFF	
ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ	ON	OFF	015 分後
ｵｰﾄﾊﾟﾜｰｵﾌﾓｰﾄﾞ	ON	OFF	
省ｴﾈﾓｰﾄﾞ解除時刻設定	ON	OFF	

●プロテクトコードの登録

- セキュリティ機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。
- セキュリティ機能には以下の機能があります。
  - ・セキュリティ受信 .... 受信原稿をメモリに蓄え自動的にプリントしないようにします。プリントするときにプロテクトコードが必要になります。(➡177 ページ)
  - ・部門管理プロテクト ...... 部門管理機能の設定をできなくします。(➡176 ページ)

操作の前に

- プロテクトコードは絶対に忘れないようにしてください。各種セキュリティ機能を設定したときに操作できなくなります。

◆250ページ手順4まで行います。
＊<メニュー／文字>→「機器設定」選択→<セット>→「システム設定」選択→<セット>と押します。

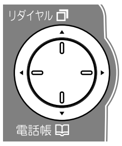
1 **「システム設定」メニューを表示させます。**

＊<メニュー／文字>→「機器設定」選択→<セット>→「システム設定」選択→<セット>と押します。(250ページの手順4までを参照してください。)

システム設定
01.カセット用紙サイズ設定
02.リストプリント用紙優先設定
03.ご愛用スイッチ ▼

2 **①カーソルキーで「04. プロテクトコード」を選択します。**

＊テンキーで<0><4>と入力して選択することもできます。



システム設定
04.プロテクトコード ▲
05.コピー禁止
06.時刻設定 ▼

②<セット>キーを押します。

＊プロテクトコードを変更するときは手順3に進みます。
＊プロテクトコードを新規で登録するときは手順4に進みます。

3 **①プロテクトコードを変更するときは、テンキーで現在のプロテクトコードを入力します。**

04.プロテクトコード
古いプロテクトコード(0000-9999):
****_

②<セット>キーを押します。

＊プロテクトコードが間違っていると「プロテクトコードが違います」と表示されます。

4 **①テンキーで新しいプロテクトコードを入力します。**

＊「0000」を入力すると、プロテクトコードが解除されます。
＊セキュリティ受信原稿が蓄積されているときは、プロテクトコードを解除できません。
＊プロテクトコードを間違えたときは<ストップ／クリア>キーで消去し、正しい番号を入力してください。

04.プロテクトコード
新しいプロテクトコード(0000-9999):
****
＊0000で未登録になります

②<セット>キーを押します。

＊プロテクトコードが登録され、次の設定画面になります。
＊<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

●操作音を変える（音設定）

● 各種音の設定を行うことができます。

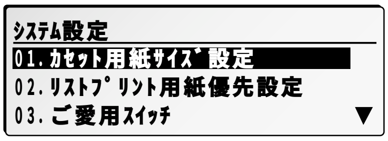
呼出ブザー	： ONに設定すると、ハンドセット（オプション）を装着していなくても受信の呼出ブザーを鳴らすことができます。（初期設定：OFF）
ブザー・キータッチ音量	： 呼出ブザー音、エラーアラーム、キータッチ音、動作完了音の音量を一括して設定できます。（初期設定：中）
キータッチ音色	： ファクスモード、コピーモードの音色を設定することができます。（初期設定：ファクスモード＞中音、コピーモード＞中音）
動作完了音	： コピープリント完了時、FAX通信完了時、FAXプリント完了時のそれぞれの完了音を設定できます。（初期設定：コピー完了＞タイプ1、FAX通信完了＞タイプ1、FAXプリント完了＞タイプ1）
紙づまりエラーアラーム	： ONに設定すると、紙づまりが起きたときエラーアラームを鳴らすことができます。（初期設定：ON）

操作の前に

◆250ページ手順4まで行います。
＊＜メニュー／文字＞→「機器設定」選択→＜セット＞→「システム設定」選択→＜セット＞と押します。

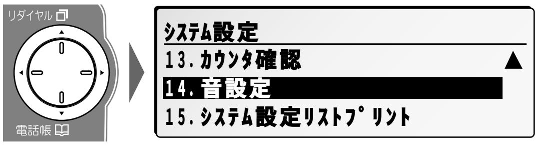
1 **「システム設定」メニューを表示させます。**

＊＜メニュー／文字＞→「機器設定」選択→＜セット＞→「システム設定」選択→＜セット＞と押します。（250ページの手順4までを参照してください。）



2 **①カーソルキーで「14.音設定」を選択します。**

＊テンキーで＜1＞＜4＞と入力して選択することもできます。



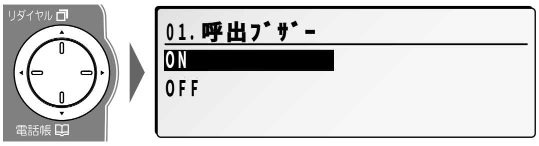
②＜セット＞キーを押します。

呼出ブザーを設定する

3 **＜カーソル＞キーで「01.呼出ブザー」を選択し、＜セット＞キーを押します。**

＊テンキーで＜0＞＜1＞と入力して選択することもできます。

4 **①カーソルキーでONまたはOFFを選択します。**



②＜セット＞キーを押します。

＊呼出ブザーが設定されます。
＊＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

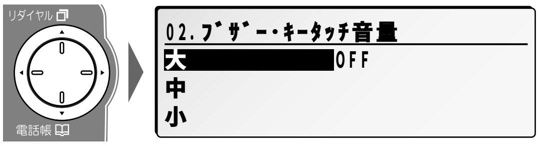
ブザー・キータッチ音量を設定する

3 **カーソルキーで「02.ブザー・キータッチ音量」を選択し、＜セット＞キーを押します。**

＊テンキーで＜0＞＜2＞と入力して選択することもできます。

4 **①カーソルキーで音量を選択します。**

＊カーソルキーで選択するごとに音量が変化します。



②＜セット＞キーを押します。

＊ブザー・キータッチ音量が設定されます。
＊＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

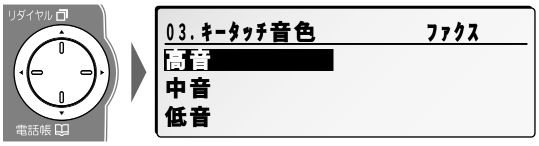
キータッチ音色を設定する

3 **①カーソルキーで「03.キータッチ音色」を選択し、＜セット＞キーを押します。**

＊テンキーで＜0＞＜3＞と入力して選択することもできます。

②カーソルキーで「ファクス」を選択し、＜セット＞キーを押します。

③カーソルキーで音色を選択します。

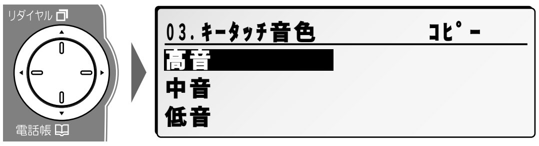


④＜セット＞キーを押します。

⑤カーソルキーで「コピー」を選択し、＜セット＞キーを押します。

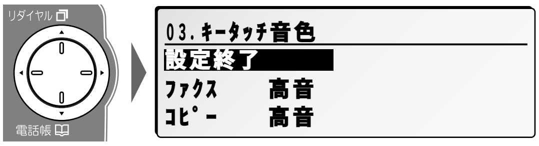
⑥カーソルキーで音色を選択します。

＊カーソルキーで選択するごとに音色が変化します。



⑦＜セット＞キーを押します。

4 **キータッチ音色の設定モードを終了します。**
①カーソルキーで「設定終了」を選択します。



②＜セット＞キーを押します。

＊キータッチ音色が設定されます。
＊＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

動作完了音を設定する

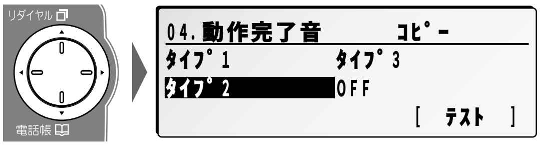
3

①カーソルキーで「04.動作完了音」を選択し、<セット>キーを押します。

＊テンキーで<0><4>と入力して選択することもできます。

②カーソルキーで「コピー完了」を選択し、<セット>キーを押します。

③カーソルキーで音を選択します。

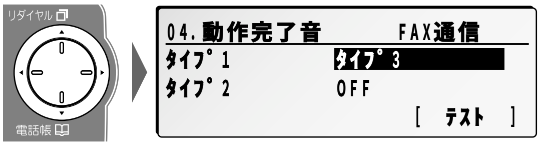


＊テスト を押すと、それぞれの音を試聴することができます。

④<セット>キーを押します。

⑤カーソルキーで「FAX通信完了」を選択し、<セット>キーを押します。

⑥カーソルキーで音を選択します。

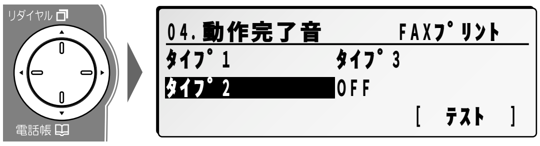


＊テスト を押すと、それぞれの音を試聴することができます。

⑦<セット>キーを押します。

⑧カーソルキーで「FAXプリント完了」を選択し、<セット>キーを押します。

⑨カーソルキーで音を選択します。



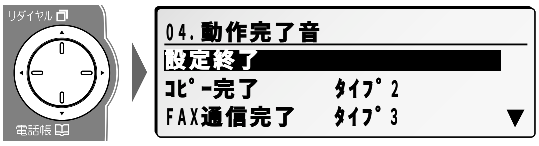
＊テスト を押すと、それぞれの音を試聴することができます。

⑩<セット>キーを押します。

4

動作完了音の設定モードを終了します。

①カーソルキーで「設定終了」を選択します。



②<セット>キーを押します。

＊動作完了音が設定されます。
＊<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

紙づまりエラーアラームを設定する

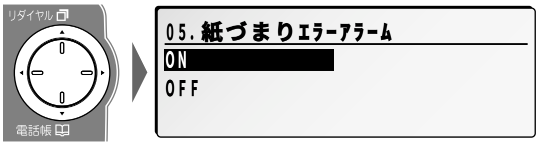
3

カーソルキーで「05.紙づまりエラーアラーム」を選択し、<セット>キーを押します。

＊テンキーで<0><5>と入力して選択することもできます。

4

①カーソルキーでONまたはOFFを選択します。



②<セット>キーを押します。

＊紙づまりエラーアラームが設定されます。
＊<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

終わり

MEMO

- 操作を中止したいときは<リセット>キーを押します。

管理編

こんなときには

もくじ

1 用紙がつまったとき 260
本体内部のとき 261
サイドカバーのとき 262

2 原稿がつまったとき 264

3 済スタンプを交換する 266

4 日常のお手入れ 268
機械の外観を清掃する 268
自動給紙部を清掃する 268
ブックスキャナ部を清掃する 269
原稿搬送ローラーを清掃する 270
記録部を清掃する 271

5 エラーメッセージが表示された 273
アラームランプについて 273
プリントされるエラーメッセージ 273
エラーコード 275
ディスプレイに表示されるメッセージ 277

6 停電のとき 282
本体の動作 282
メモリバックアップ 282
消去通知 283

7 故障かなと思ったら 284
動作しない 284
送信できない 285
受信できない 286
画質が悪い 287

1 用紙がつまったとき

- プリント動作中に用紙がつまると、アラームランプが点灯して「点滅箇所のカバーを開けて確認して下さい」と表示されます。以下の手順にしたがって、慎重に取り除いてください。

⚠ 警告

- トナーが目に入らないように注意してください。もし、目に入ったときは水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

- 定着器部周辺は高温になっています。指定部分以外には手を触れないでください。やけどをする恐れがあります。
- 機械内部の端子やローラに触れないでください。画質が悪くなったり、製品が故障する恐れがあります。
- つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないように全て取り除いてください。紙片が残っていると、火災の原因になることがあります。
- 用紙がローラ部や定着器に巻き付き取れない場合は、無理に取らないでください。やけどやケガをする恐れがあります。その際は、インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- 万一、煙がでるような用紙づまりが発生した場合は、直ちに電源を切り、インフォメーションセンターまでご連絡ください。

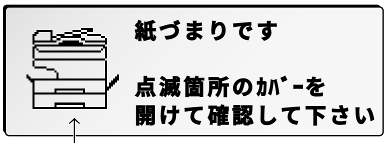
お願い

- ドラム／トナーカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。また、室内の灯りにも5分以上あてないでください。
- ドラム表面には触れないでください。記録が正常にできなくなることがあります。
- トナーカートリッジのローラには直接手を触れないでください。手が汚れたり記録が正常にできなくなることがあります。
- ドラム／トナーカートリッジに水やオイル等がかからないようにしてください。
- プリント中に印字部にて用紙がつまったときは用紙にトナーが定着してないため、トナーで手が汚れる恐れがあります。手が汚れたときはすぐに水で洗い流してください。

操作の前に

- 複数の場所で用紙がつまっている場合は、用紙を取り除いても、さらに別の場所のエラーメッセージが表示されます。メッセージにしたがって、指定された場所の用紙を取り除いてください。

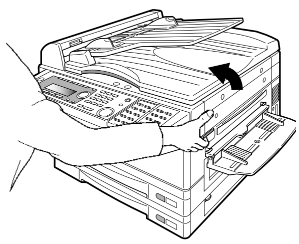
用紙づまりメッセージ例



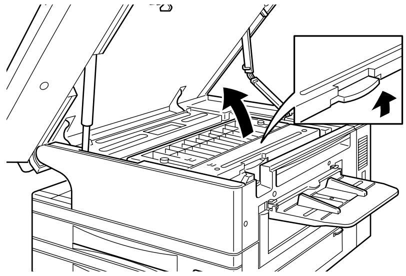
用紙がつまっている個所を
点滅して表示しています。

●本体内部のとき

1 **トップカバーを開けます。**

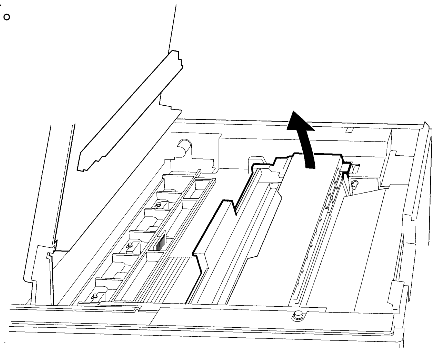


2 **プリンタカバーを開けます。**

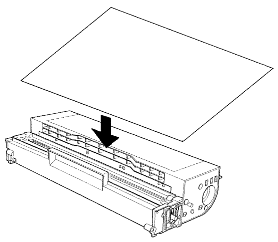


3 **ドラム／トナーカートリッジを取り外します。**

＊ドラム／トナーカートリッジの奥側から取り外します。

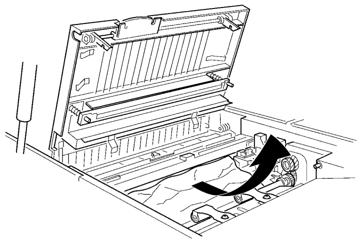


4 **ドラム／トナーカートリッジに光が当たらないように、紙、布などでおおいます。**



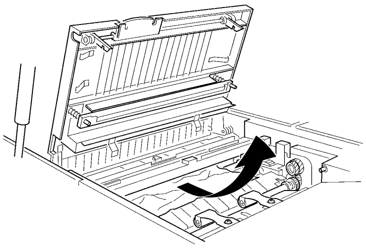
5 **つまっている用紙を取り除きます。**

現像部でつまったとき



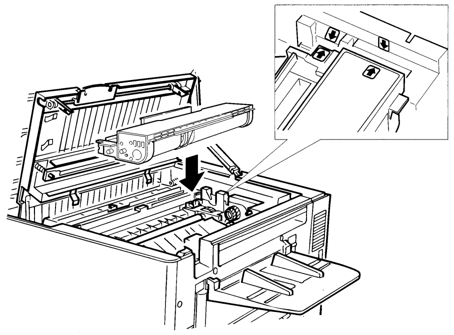
＊定着部には触れないように、注意してください。
＊用紙が途中でやぶれないように、注意してください。

排出部でつまったとき



＊用紙が無い場合は、排出口と定着ローラの間に紙がつまっていないか、確認してください。

6 **ドラム／トナーカートリッジを本体に取り付けます。**

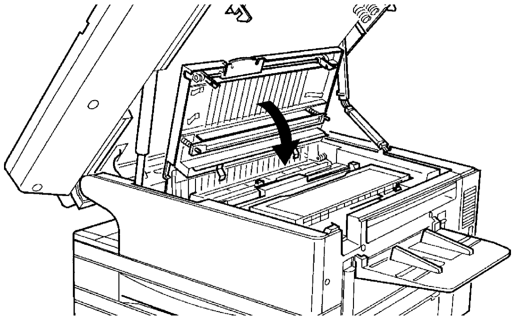


＊ドラム／トナーカートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。

次のページへ

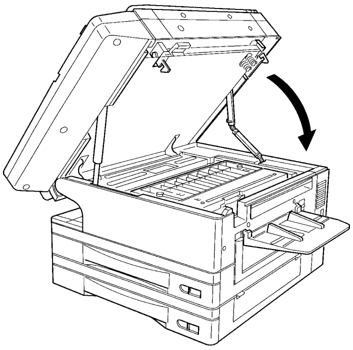
7 **プリンタカバーを閉めます。**

＊“ カチッ ” と音がするまで確実に閉めてください。



8 **トップカバーをゆっくり閉めます。**

＊“ カチッ ” と音がするまで確実に閉めてください。

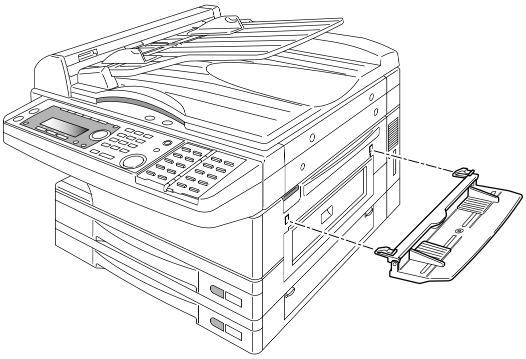


終わり

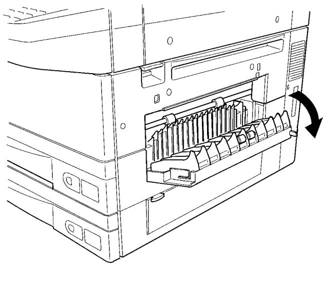
●サイドカバーのとき

1段目用紙カセットでつまったとき

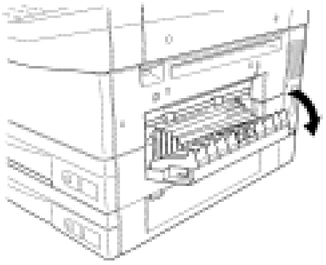
1 **手差しトレイを外します。**



2 **サイドカバーの取手を手前に引き、サイドカバーを開けます。**

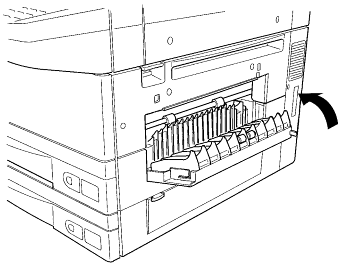


3 **用紙をゆっくり引き出します。**



4 **サイドカバーを閉じ手差しトレイを取り付けます。**

＊両面のサイドカバー開放レバーが “ カチッ ” と音がするまで確実に閉めてください。

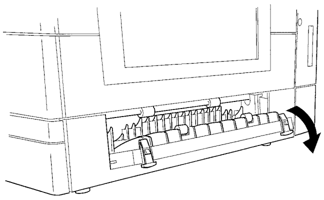


＊本体内部、サイドカバーにも用紙がつまっていない場合は、用紙カセットにつまっていないか、確認してください。

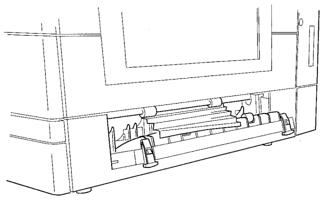
終わり

2段目以降の用紙カセットでつまったとき

1 **サイドカバー開放レバーを押し下げ、サイドカバーを開けます。**

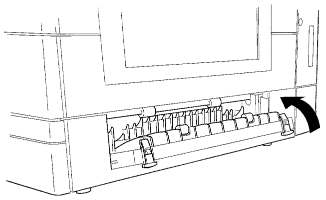


2 **用紙をゆっくり引き出します。**



3 **サイドカバーを閉じます。**

＊両面のサイドカバー開放レバーが " カチッ " と音がするまで確実に閉めてください。



＊本体内部、サイドカバーにも用紙がつまっていない場合は、用紙カセットにつまっていないか、確認してください。

終わり

MEMO

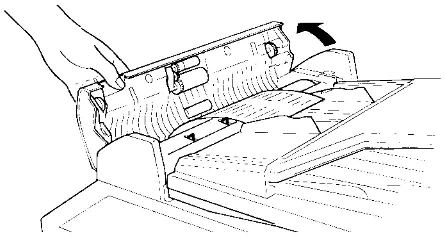
- サイドカバーを開けても用紙が無い場合は、カセット内部を確認してください。

2 原稿がつまったとき

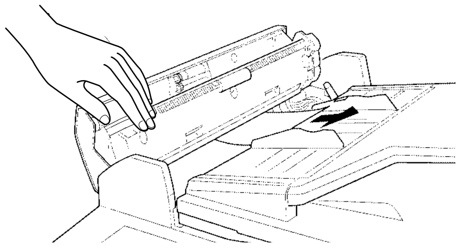
- 原稿がつまると、アラーム音とともに液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。以下の手順にしたがって、慎重に取り除いてください。

> 原稿づまりです
>
> 点滅箇所のｶﾊﾞｰを
> 開けて確認して下さい

1 **原稿カバー開放レバーを押し上げ原稿カバーを開けます。**
この状態でつまっている原稿を取り除くことができないときは手順2へ進みます。

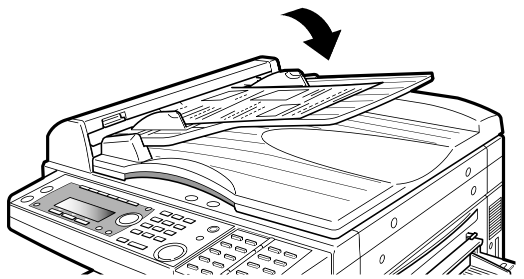


2 **原稿搬送部を開け、つまっている原稿を取り除きます。**



3 **原稿搬送部を閉じます。**
原稿カバーを閉じます。

＊1枚目の原稿がつまった場合は始めから原稿をセットし直してください。
＊2枚目以降の原稿がつまった場合は、手順4に進みます。（コピーの場合は、集約コピー、ソートコピーのとき）



4 **複数枚の原稿読み込みを行っていた場合は、次のような表示が出ます。**

※1枚目の原稿読み込み中に、つまった場合は表示されません。
＊読み取りを続ける場合は手順5へ進みます。
＊読み取りを中止する場合は<ストップ／クリア>キーを押します。読み取った分だけ送信またはコピーを開始します。
蓄積した原稿をプリントし、待機状態に戻ります。
＊ファクス画面自動リセット、またはコピー画面自動リセットで設定した時間を過ぎると、蓄積した原稿を送信またはコピーします。

> 蓄積を継続します
> 原稿の続きをｾｯﾄして
> ｽﾀｰﾄｷｰをどうぞ
> 再ｾｯﾄﾍﾟｰｼﾞ：　2

5 **つまった原稿からセットし直し、<スタート>キーを押します。**

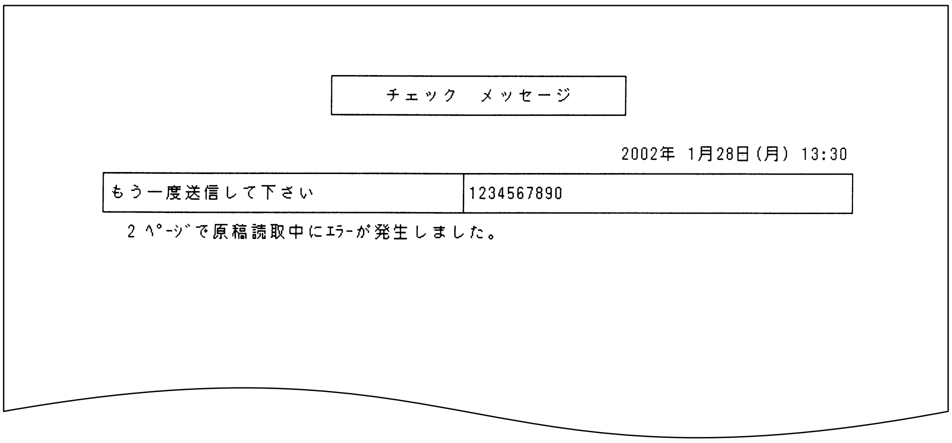
＊原稿の読み取りを再開します。

終わり

ポイント

- クイックメモリ送信のときに原稿がつまったときは、手順4のメッセージは表示されず、チェックメッセージがプリントされます。チェックメッセージにはつまった原稿のページ数がプリントされます。つまった原稿からセットし直して、再送信してください。

プリント例



チェック　メッセージ

2002年 1月28日(月) 13:30

もう一度送信して下さい	1234567890

2 ﾍﾟｰｼﾞで原稿読取中にｴﾗｰが発生しました。

3 済スタンプを交換する

● 済スタンプがうすくなったときは、済スタンプを交換してください。

⚠ 注意

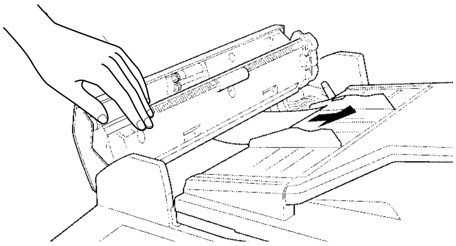
- 済スタンプを交換するときは、原稿カバーで手などをはさまないように片方の手で原稿カバーを押さえながら交換してください。
- 済スタンプに付属のピンは先が尖っています。指などに刺さらないようご注意ください。

お願い

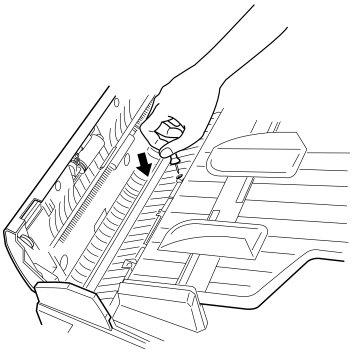
- スタンプ印面には、直接手を触れないでください。また、インクが手などに付着したときは、すぐに水で洗ってください。

1 原稿カバーと、原稿搬送部を開きます。

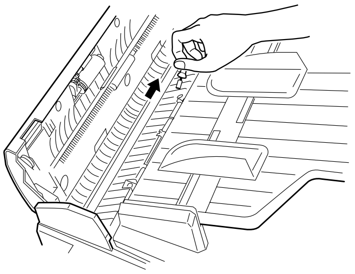
＊原稿カバー開放レバーを引き、原稿カバーを開きます。
＊原稿搬送部は“カチッ”と音がするまで開きます。



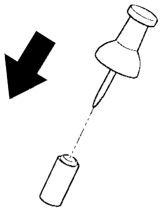
2 交換する済スタンプの印面に済スタンプに付属のピンを刺します。



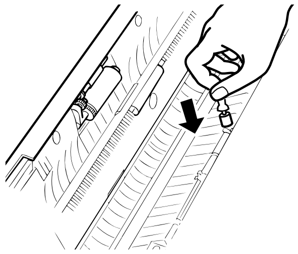
3 済スタンプを引き抜きます。



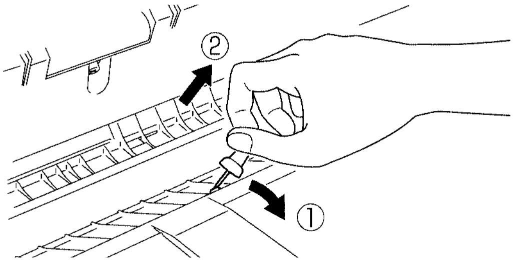
4 交換用済スタンプの印面中央部に、付属のピンを刺します。



5 本体に差し込みます。

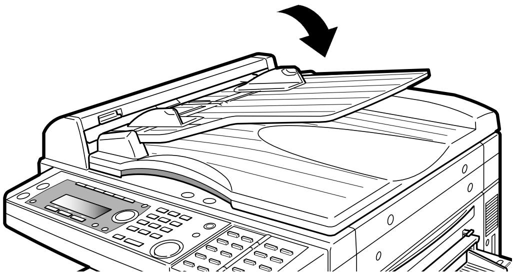


6 付属のピンだけを斜めに傾けて抜きます。



7 **原稿搬送部、原稿カバーを閉めます。**

＊原稿カバーの左右の端を上から押して閉めてください。



終わり

4 日常のお手入れ

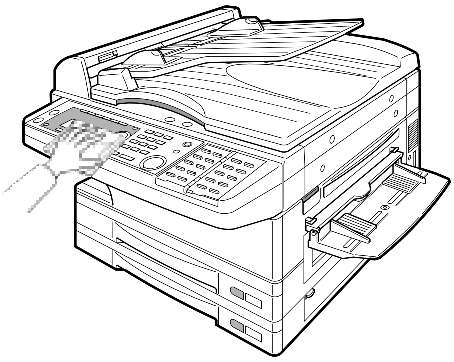
● いつも正常な状態でお使いいただくために、以下のお手入れをお願いします。

●機械の外観を清掃する

お願い

● ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

1 **中性洗剤をしみ込ませ、よく絞った柔らかい布で拭きます。その後、水を含ませ、よく絞った柔らかい布で拭きます。**



終わり

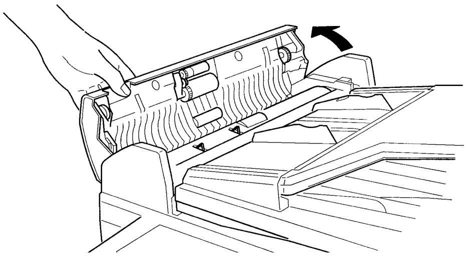
●自動給紙部を清掃する

● 原稿ガラスや原稿搬送部の白板が汚れていると、相手側での受信文書やコピーに黒いすじが発生します。きれいな画質を得るために、約 1 カ月に一度の清掃をお願いします。

お願い

● ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

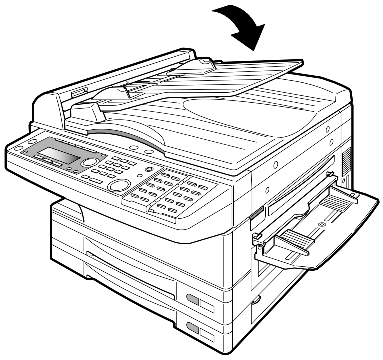
1 **原稿カバー開放レバーを押し上げ、原稿カバーを開けます。**



2 **原稿搬送部を開けます。**
水でぬらした柔らかい布をよく絞り、原稿ガラスおよび白板を拭きます。

＊汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

3 **原稿カバーを閉じます。**
①原稿搬送部を閉じます。
②原稿カバーを閉じます。

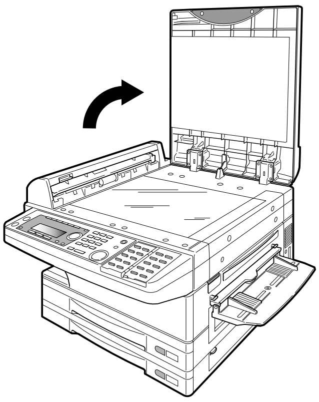


終わり

●ブックスキャナ部を清掃する

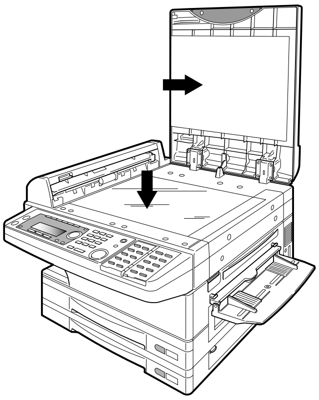
● ブックスキャナ部のガラス面や原稿押さえパッドが汚れていると、相手側での受信文書やコピーに黒点や汚れなどが発生します。きれいな画質を得るために、約 1 カ月に一度の清掃をお願いします。

1 **ブックカバーを開けます。**



2 **水でぬらした柔らかい布をよく絞り、ガラス面および原稿押さえパッドを拭きます。**

＊汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。



終わり

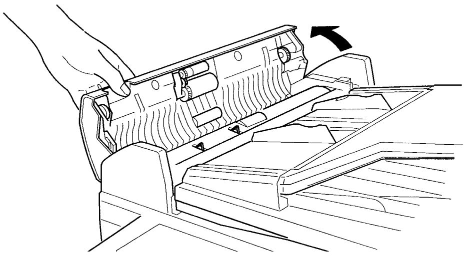
●原稿搬送ローラーを清掃する

- 原稿搬送ローラーが汚れていると、原稿を汚すばかりではなく、相手側での受信文書やコピーの汚れの原因ともなります。また、原稿づまりの原因ともなります。
- きれいな画質で、スムーズに原稿を送るために、約 1 カ月に一度の清掃をお願いします。

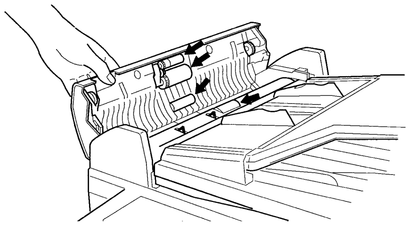
お願い

- ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

1 原稿カバー開放レバーを押し上げ、原稿カバーを開けます。

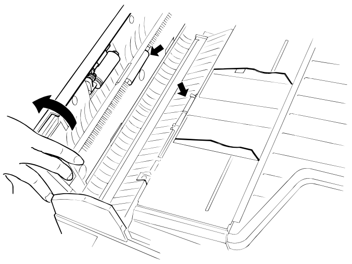


2 原稿搬送ローラーを清掃します。
①原稿カバーを開けます。水でぬらした柔らかい布をよく絞り、ローラーを拭きます。



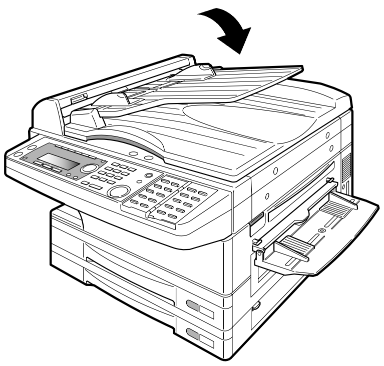
＊ローラーを手で回しながら、ローラー全面を拭いてください。
＊汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

②原稿搬送部を開けます。
水でぬらした柔らかい布をよく絞り、ローラーを拭きます。



＊ローラーを手で回しながら、ローラー全面を拭いてください。
＊汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

3 原稿カバーを閉じます。
①原稿搬送部を閉じます。
②原稿カバーを閉じます。



終わり

●記録部を清掃する

- 記録部がトナー等で汚れると、画像がスジ状に白く抜けることがあります。このような時は以下の手順で記録部を清掃してください。清掃にはきれいな乾いた布またはティッシュペーパーが必要ですのであらかじめご用意ください。

⚠警告

- 感電事故防止のため、記録部の清掃を行う場合は、通信予約などメモリに原稿が蓄積されていないことを確認して、必ず電源スイッチをOFFにして行ってください。
- 本体の精密部品を破損しないようにご注意ください。また、本体内部に紙片や糸クズなどを残さないようにしてください。火災、感電および故障の原因になります。

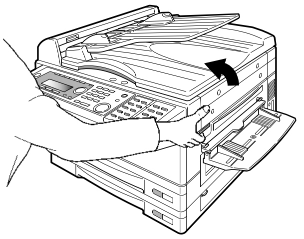
⚠注意

- 定着器は熱くなっていますので、絶対に触れないでください。

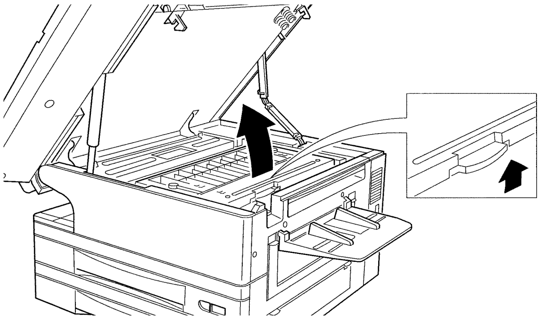
お願い

- 記録ヘッドには直接手で触れないでください。画像トラブルの原因になります。
- ドラム／トナーカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラム／トナーカートリッジは、できるだけ水平に保つように注意してください。
- ドラムカートリッジの感光体部分（青色の箇所）に触れないよう気をつけてください。

1 **トップカバーを開けます。**

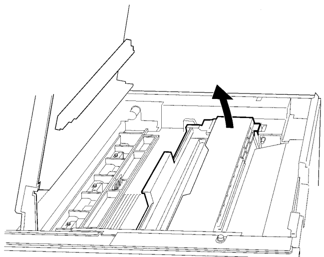


2 **プリンタカバーを開けます。**



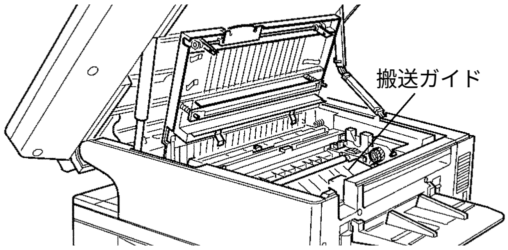
ドラム／トナーカートリッジを取り外します。

＊ドラム／トナーカートリッジの奥側から取り外します。

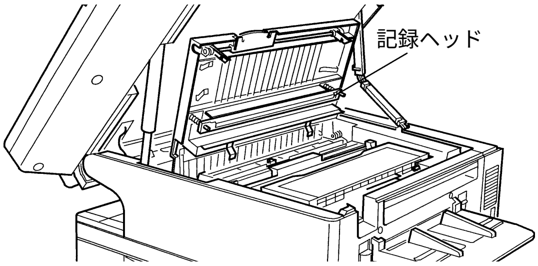


次のページへ

4
搬送ガイドの清掃。
搬送ガイドをきれいな乾いた布またはティッシュペーパーで拭きます。
＊転写ローラーには触れないでください。



5
記録ヘッドの清掃。
記録ヘッドをきれいな乾いた布またはティッシュペーパーで軽く滑らせて拭きます。
＊清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。



終わり

5 エラーメッセージが表示された

● 通信エラーや機器の異常などは、アラームランプやディスプレイへのエラーメッセージ表示、用紙へのエラーメッセージプリントにてお知らせします。

●アラームランプについて

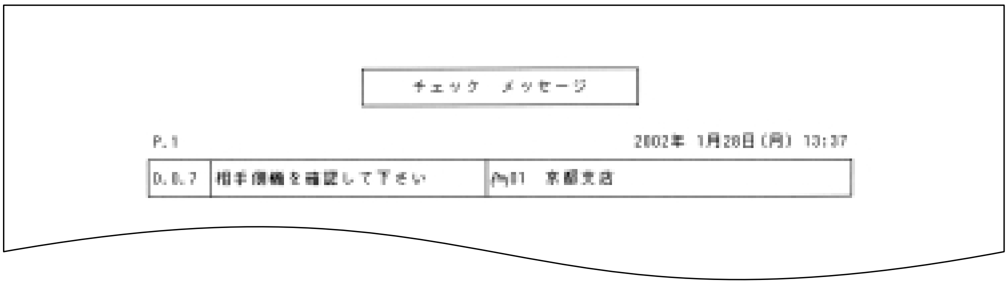
● 通信エラーや機器に異常があると、アラームランプが点灯します。アラームランプは、＜ストップ／クリア＞キーで消灯できるときと、消灯できないときがあります。
消灯できないエラーは、エラーに対しての処置が必要です。エラーの要因が解除されるとアラームランプは消灯します。

●アラームランプを消灯できるエラー
- ・通信エラー
- ・受信中にメモリオーバーしたとき
- ・蓄積中にメモリオーバーしたとき

●アラームランプを消灯できないエラー
- ・用紙切れ、用紙づまり、原稿づまり
- ・トナー切れ
- ・カバーやカセットが開いているとき
- ・機器の重大なエラー

●プリントされるエラーメッセージ

● 通信エラーが発生したときは、用紙にエラーの内容・対処方法のメッセージとエラーコードがプリントされます。エラーコードは通信エラーの原因を表すコードです。メッセージとエラーコードを確認して対処してください。



メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
相手側機を確認して下さい	▶相手先に電話をかけ、相手側機のモード、ファクス番号、機器の状態などの確認を依頼してください。	D.0.7、T.1.1 T.2.1、T.2.2 T.2.3、T.5.1 T.5.2、T.8.1 R.8.1
受信原稿を確認して下さい	▶相手先に電話をかけ、相手側機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう一度送信して下さい	1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶再度、送信操作をしてください。 2. 回線状態が悪いことがあります。 ▶再度、送信してください。	T.3.1 T.4.1 T.5.3

メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
もう一度ダイヤルして下さい	1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手先に送信できなかった場合です。 ▶改めて相手先のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手先に電話をかけて相手側機の状態を確認してください。 2. 回線設定が正しいか確認してください。（17ページ参照）	D.0.2
ダイヤル番号が登録されていません	▶ワンタッチ・短縮ダイヤル番号をセットし直して、再度送信してください。	D.0.6
停止しました	▶通信がストップしましたので、再度通信してください。	D.0.3 T.1.4 R.1.4

●エラーコード

D：ダイヤル時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.2	相手が話中	▶ 再送信してください。
	D.0.3	ストップキーが押された	▶ 再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7		▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。

T：送信時の異常

ﾓｰﾄﾞ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶ 相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶ 相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種がG3機でない	▶ 当機では通信できません。
	T.1.4	交信開始時にストップキーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶ 再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.2.2	Fコード親展送信・Fコード中継指示送信で相手機にその機能がない、またはFコード親展送信で相手機に所定の親展者情報が設定されていない場合	▶ 相手先の機種および設定状況を確認してください。
	T.3.1	連続送信時2枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶ エラーが発生したページより再度送信してください。
		900 mm以上の原稿を送信した	▶ 1ページを900 mm以内に切って送信してください。
		交信中断のあと“ランプカクニン”と表示した場合は光源の光量不足	▶ 電源スイッチをOFF→ONしてコピーをとってみてください。「ランプを確認して下さい」表示しなければ再度送信してください。コピーでも「ランプを確認して下さい」表示となる場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.3.2	回線障害などが原因で、交信できなかった	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶ 送信したページはすべて相手側に届いていますが、一部うつりが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
	T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。

次のページへ

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
ECM送信	T.5.1、T.5.2 T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた （回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、インフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.8.1	受信モードが合わない	▶ 相手側を確認して下さい。相手側機がファクスではないことがあります。

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶ 送信側の操作ミスが考えられます。 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した（通信管理記録にのみ記載）	
	R.1.4	受信中にストップキーを押した （通信管理記録にのみ記載）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.2.3	回線障害などにより回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いた またはストップキーを押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた （回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない （回線障害などが原因）	
	R.3.5	メモリオーバーで受信できなかった	▶ メモリ残量を確認してもう一度送信を依頼してください。
	R.4.2	受信中に信号が切れた （回線障害などが原因）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.4.4	メモリ容量オーバー （通信管理記録にのみ記載）	
ECM受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた 送信側でストップキーを押した	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合はインフォメーションセンターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.5.2	受信中に信号が途切れた （回線障害などが原因）	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶ 相手側を確認してください。ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。

●ディスプレイに表示されるメッセージ

● 操作の間違いや、機器の異常などをディスプレイに表示します。表示されたメッセージにしたがって対処してください。

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
（数字）-（数字）をどうぞ 例：0-32 をどうぞ	表示されている数字の範囲内にて値を入力してください。	—
〜と同時に設定できません	同時に設定できない機能を組み合わせようとしています。	81
50％〜200％の範囲で倍率を再入力してください	入力した倍率では使用できません。正しい倍率を入力し直してください。	62
BOX 使用中です	現在、F コードボックスが通信中、プリント中などで使用されています。	151
BOX 名を入力してください	F コードボックスのボックス名が登録されていません。	159
相手先名を登録してください	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録にて、相手先名を登録せずに読み仮名を入力しました。先に相手先名を登録してください。	207、215
カセット〜を閉じてください	指定されたカセットが引き出されています。カセットを確実に閉じてください。	—
カバーを確認して下さい 点滅箇所のカバーを閉じて下さい	カバーが開いています。表示されている箇所のカバーを閉じてください。	—
紙づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認して下さい	機器内部にて、用紙づまりが発生しました。表示された部分のカバー・カセットを開けて、つまった用紙を取りのぞいてください。	260
桁数オーバーです	名前や番号入力のとき、最大桁数を超えました。最大桁数内にて入力し直してください。	—
原稿がありません	ポーリング原稿や F コードボックスに原稿が蓄積されていません。または、もう一度コピーの原稿が残っていません。 ・F コード受信通知を確認してください。 ・メモリ期間が過ぎており、消去されていることも考えられます。 ・F コード蓄積原稿リストをプリントして、原稿があるか確認してください。	75、151
原稿がありません セキュリティ受信を解除しました	受信原稿が無いときにセキュリティ受信の原稿印字を行いました。その場合、セキュリティ受信の設定は解除されます。	177
原稿が蓄積済みです	ポーリング原稿がすでに蓄積されています。新しい原稿を蓄積する場合は、蓄積されている原稿を消去してください。	148
原稿カバーを閉じてください	送信時、原稿カバーが開いています。原稿カバーを確実に閉じてください。	—
原稿サイズが変わりました 倍率を設定してください	次原稿のサイズが途中で変更されました。倍率を変更しなければ、正しくコピーできません。倍率を設定してください。	—

次のページへ

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
原稿サイズを検出できませんでした	用紙選択を自動または倍率を自動に設定しているとき、原稿のサイズが検知できませんでした。 <スタート>キーを押すと倍率 100% にてディスプレイに表示されている用紙にコピーします。 <ストップ／クリア>キーを押すとコピーを中止します。	50
読取サイズを指定するか向きの違う用紙を選択するか倍率を設定してください	原稿と用紙の向きが一致しません。読み取りサイズを指定するか、選択した用紙と違う向きの用紙を選択するか、倍率を変えてください。	57、58、60、88
原稿づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認して下さい	自動給紙装置にて原稿がつまっています。表示された部分（原稿カバー）を開けて、つまった原稿を取りのぞいてください。	264
読取サイズを指定するか、原稿の向きを 90 度回転するか、倍率を設定してください	セットされた原稿の向きではコピーできません。読み取りサイズを指定するか、向きを 90 度回転するか、倍率を設定し直してください。	—
原稿は 40 件以内です	一括送信原稿の原稿登録のときに、指定したボックスにすでに 40 件の原稿が登録されています。送信終了まで待つか、不要な原稿を消去してください。	122
コピー禁止中です	コピー禁止が設定されています。	252
最適な用紙がありません	用紙選択を自動に設定しているとき、原稿に最適なサイズの用紙が見つかりませんでした。 <スタート>キーを押すと指定倍率にて全カセット中最適な用紙にコピーします。 <ストップ>キーを押すとコピーを中止します。	—
サブアドレスを入力して下さい	F コードボックスのサブアドレスが登録されていません。	151
指定時刻が重複しています	フォンワープの時刻指定転送にて、指定時刻が他の転送先で使用されています。	137
自動給紙装置は使用できません ブックスキャナに原稿をセットして下さい	ページ連写コピーのとき、自動給紙装置に原稿が置かれています。この設定は、ブックスキャナからしか利用できません。ブックスキャナに原稿をセットしてください。	74
しばらくお待ちください	機器が準備中です。動作可能になるまでしばらくお待ちください。	—
受信原稿があります	受信原稿があるときに、セキュリティ受信のプロテクトコードを 0000（解除）に設定しようとしました。受信原稿をすべてプリントしてから、セキュリティ受信を解除してください。	177
受信でメモリオーバーしました	受信中にメモリ不足になり、メモリが一杯になりました。メモリが空くのを待つか、不要な蓄積文書を削除してください。	—
受話器が上がっています	本体電話が外れたままになっています。本体電話を戻してください。	—
親展 BOX です	F コード原稿蓄積、F コード原稿消去にて指定したボックスが親展ボックスとして設定されてます。	154、157
ストップキーで原稿を排出して下さい	読み取り中にメモリオーバーや<ストップ／クリア>キーを押して、読み取りを途中で中止しました。<ストップ／クリア>キーを押して、原稿をすべて排出してください。	—

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
スリープモードを ON にしてください	スリープモードが OFF の状態で、オートパワーオフモードを設定しようとしています。設定を行うには、スリープモードを ON にしてください。	253
セキュリティ受信を解除しました	セキュリティ受信にて、受信した原稿を印字しました。印字後、セキュリティ受信の設定は解除されます。	178
送信予約原稿がセットされています	リアルタイム送信が予約されているときに、送信を行おうとしました。リアルタイム送信終了までお待ちください。	94
ダイヤルイン番号がセットされていません	ダイヤルイン番号を登録せずにダイヤルイン待機に設定しました。ダイヤルイン番号をセットするか、待機モードを変更してください。	40、107
正しい番号をどうぞ	間違った番号が入力されました。正しい番号を入力し直してください。	—
短縮番号（1-128）をどうぞ 0-32 をどうぞ	短縮ダイヤル、グループダイヤルで相手先を指定するときに、テンキー以外のキーが押されました。テンキーにて正しい番号を入力してください。	—
蓄積を継続します 原稿の続きをセットして スタートキーをどうぞ 再セットページ：	原稿づまりを解除後、自動給紙装置に原稿が残っていなかった場合に表示されます。 表示されたページの原稿をセットして＜スタート＞キーを押してください。続きを蓄積します。	264
中継 BOX です	F コード原稿蓄積、F コード原稿消去、原稿印字にて指定したボックスが中継ボックスとして設定されてます。	154、155、157
直接ダイヤルは 1ヶ所以内です	ファクスワープにて、直接ダイヤルを 2 件以上登録しようとしました。直接ダイヤルは 1 件のみ指定できます。	130
直接ダイヤルは 30ヶ所以内です	同報送信にて、直接ダイヤルを 30 件以上登録しようとしました。	118
直接ダイヤルは指定できません	グループダイヤルの登録または F コードボックスの中継ボックス登録で、直接ダイヤルを登録しようとしました。グループダイヤルの登録はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルにて、中継ボックスの配信先は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループにて登録してください。	161、222
通信エラー	通信エラーが発生しました。通信エラーの内容を確認して、再度操作してください。	273
通信結果がありません	通信結果がない状態で、通信管理レポートをプリントしようとしました。	182
通信中です	通信中の一括送信ボックスに原稿を印字しようとしました。通信終了までお待ちください。	122
通信予約されていません	通信予約されている文書がない状態で、通信予約原稿または通信予約リストのプリントが指示されました。	99、100
通信予約できません	通信予約文書が 100 件を超えています。予約中の通信が終了するまで待つか、リアルタイム送信を行ってください。	—
手差しに用紙を補給してください	コピー中に用紙が無くなりました。 用紙を補給するとコピーが再開されます。	64
点検をお受けください	機器内部に異常が発生しました。インフォメーションセンターまたはお買い上げの販売店までご連絡ください。	裏表紙

次のページへ

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
転送先は 1ヶ所以内です	フォンワープにて、転送先を 2ヶ所以上登録しようとしました。転送先は 1ヶ所のみ指定できます。	137
登録されていません	指定した番号や機能には何も登録されていません。	207、215、240
トナーカートリッジを正しくセット下さい	ドラムまたはトナーカートリッジがセットされていないか、正しくセットされていません。ドラムまたはトナーカートリッジを確認して正しくセットしてください。	24
ドラムカートリッジを正しくセット下さい		
トナーがなくなりました	トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。	26
トナーが残り少なくなりました	トナーの容量が残り少なくなりました。新しいトナーカートリッジをご用意ください。 トナーカートリッジを取り出し、よく振ってからセットし直すと、エラーメッセージが消えることがあります。	307
ドラムカートリッジの交換下さい	ドラム寿命です。新しいドラムカートリッジに交換してください。	28
配信先を入力してください	F コードボックスの中継ボックス登録で、配信先を登録されていません。	161
倍率を 100% に変更しました	倍率を自動に設定しているとき、用紙選択を自動に設定すると、倍率が 100% に設定されます。	—
倍率を設定してください	自動倍率設定のとき、不定型用紙・はがき・往復葉書へのコピーをしようとしました。不定型用紙・はがき・往復葉書へは自動倍率にてコピーできません。倍率を設定しコピーしてください。	61
発信元が重複しています	フォンワープの発信元特定転送にて、同じ発信元がすでに使用されています。	137
番号が間違っています	暗証番号入力時、間違った番号を入力しました。	—
ファクス＆コピー中は、応用コピーできません	ファクス＆コピーでは、応用コピーを設定することはできません。	144
ファクス＆コピー中は、ファクス画面に切替えできません	ファクス＆コピー中、コピー画面に切り替えた後、ファクス画面に切り替えることはできません。はじめから操作をやり直してください。	144
ファクス＆コピー中は指定不可です	ファクス＆コピーでは倍率を指定することはできません	144
ブックカバーを閉じてください	送信時、ブックカバーが開いていました。ブックカバーを確実に閉じてください。	—
プリンタ準備中です	プリンタが印字可能な状態になっていません。印字可能になるとメッセージは消えますので、しばらくそのままでお待ちください。	—
プリント中です	プリント中にリストなどをプリントしようとしました。現在のプリントが終了するまでお待ちください。	—
プロテクトコードが違います	プロテクトコード入力時、間違った番号を入力しました。	255
プロテクトコードが未登録です	プロテクトコードの設定が必要です。プロテクトコードを登録してから操作してください。	255

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
変換できません	入力されたかな文字が、単漢字変換できません。	194
ミラーキャリッジエラー	原稿を読み取る装置が故障しています。インフォメーションセンターまたはお買い上げの販売店までご連絡ください。	裏表紙
メモリオーバーしました	原稿読み取り中にメモリが一杯になりました。原稿種類または送信画質を変更してください。	46
メモリオーバーしました 原稿蓄積枚数：　　枚 蓄積分を有効にしますか？	原稿読み取り中にメモリが一杯になりました。蓄積できた原稿の枚数が表示されています。 ＜セット＞キーを押すと、蓄積した分をメモリに記憶します。 ＜戻る＞キーを押すと、蓄積した原稿をメモリから消去します。	51 93
メモリ不足のため受付できません	メモリが不足しているため、原稿をメモリに蓄積することができません。メモリを使用している機能の動作が終了するまでお待ちください。	—
もう既に入力されています	同じ番号が先に入力されています。	—
用紙サイズを確認してトップカバーを開閉してください	カセット（用紙カセットランプが赤色に点灯しているカセット）の用紙に印字したとき、設定していた用紙サイズと実際の用紙のサイズが合っていませんでした。または用紙が複数枚繰り込まれ、つまっている場合があります。トップカバーを開け、プリンタカバーを開けて確認してください。 正しい用紙サイズを設定するか、用紙サイズランプが点灯しているサイズの用紙をセットしてください。	30
用紙設定をカセット 1 に変更しました	用紙選択を自動に設定しているとき、倍率設定を自動に設定したり、倍率を自動に設定する応用コピーをセットすると、カセット 1 が優先的に選択されます。	—
用紙を補給してください	すべてのカセットの用紙が無くなりました。カセットに用紙を補給してください。	30
予約原稿がありません	通信予約原稿のプリントを指示した予約番号に原稿がありません。（ポーリング、リアルタイム送信の予約など）	99
ランプを確認してください	原稿読み取りランプの交換時期、または汚れなどにより、原稿を正常に読み取れません。インフォメーションセンターまたはお買い上げの販売店までご連絡ください。	裏表紙
リアルタイム送信　予約中	リアルタイム送信の時刻指定送信が設定されています。リアルタイム送信終了まで待つか、リアルタイム送信の通信予約を取り消してください。	97
リアルタイム送信中は変更できません	リアルタイム送信中に読み取りサイズを変更しようとしました。リアルタイム送信中に読み取りサイズを変更することはできません。	—

6 停電のとき

●本体の動作

●停電になったとき

通話中は…	引き続き通話ができます。
送信中は…	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリ送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は…	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は… 受信プリント中は… リストプリント中は…	プリントが途中で止まります。

●停電中

コピー	コピーできません。
ファクス送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。
電話をかける	本体電話のダイヤルキーを利用して、電話をかけることができます。
電話を受ける	本体電話で、電話を受けることができます。

※本体電話はオプションです。

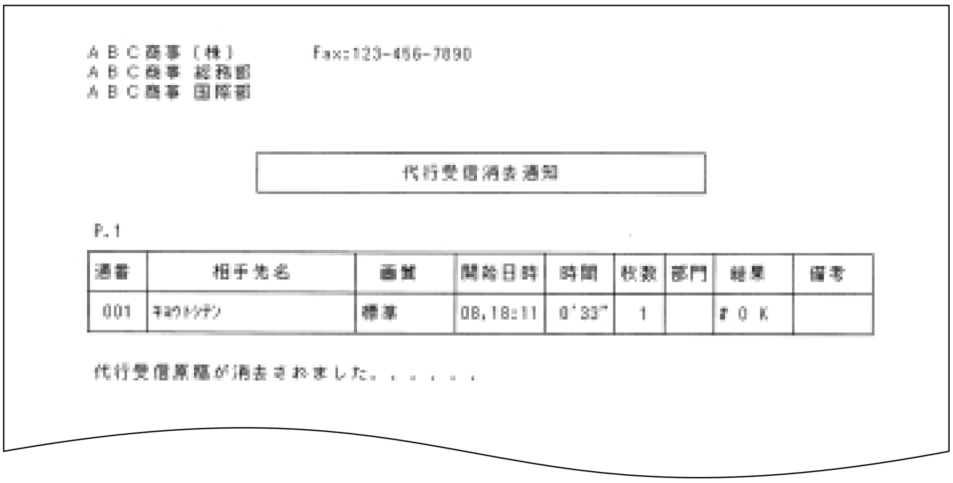
●メモリバックアップ

- メモリに蓄積された画像データは、停電や電源を OFF にしたときでも、次のような条件で保持されます。
  - ・メモリに蓄積された画像データは、下記の時間保持されます。ただし、あらかじめ 24 時間連続して通電されている必要があります。
  - ・画像データのバックアップ時間はメモリ容量によって異なります。

    8 MByte ....約 120 時間（標準メモリ）
    16 MByte ....約 30 時間（8M 増設メモリ装着時）

●消去通知

- メモリに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。
- 下記は、代行受信文書が消去された場合の消去通知例です。このほか「通信予約消去通知」「ポーリング原稿消去通知」「F コードボックス原稿消去通知」がプリントされる場合があります。



ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

代行受信消去通知

P.1

通番	相手先名	画質	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	標準	08,18:11	0'33"	1		＃ＯＫ	

代行受信原稿が消去されました。．．．．．．

1. 通番
通信の番号です。

2. 相手先名
以下の順に記録されます。
（1）ワンタッチダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
（2）ワンタッチダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
（3）相手先の自局名
（4）相手先の自局 ID
（5）空白

3. 画質
通信した画質です。

4. 開始日時
通信を開始した時刻です。

5. 時間
通信の開始から終了までの所用時間です。

6. 枚数
受信した枚数です。

7. 部門
部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。

8. 結果
通信結果です。

・OK	正常終了しました。
・＊	ECM モードで通信しました。
・＃	スーパー G3 で通信しました。
・エラーコード	異常終了です。もう一度送信してください。（➡273 ページ）

9. 備考

・ポーリング	ポーリング受信です。
・手　　動	手動受信です。
・F ポー	F コードポーリングです。
・F 親展	F コード親展受信です。
・F 中継	F コード中継受信です。
・F 掲示板	F コード掲示板受信です。

管理編

こんなときは

7 故障かなと思ったら

故障かなと思ったときにお読みください。万一ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合にはインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡ください。

●動作しない

発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
動作しない	電源コードはしっかりと差し込んでありますか？	電源スイッチ及び電源プラグを確認してください。	23
	電源スイッチはONになっていますか？	電源スイッチをONにしてください。	14
ディスプレイに何も表示しない	省エネキーのランプが点灯していますか？	スリープモードまたはオートパワーオフモードになっています。スリープモードまたはオートパワーオフモードを解除してください。	14
	ディスプレイの濃度が薄すぎませんか？	ディスプレイを見ながら液晶調整キーを押し続けてください。	12
ダイヤルできない	回線接続コードが本機と電話回線に正しく接続されていますか?	正しく接続してください。	21
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線にあった種類に設定してください。	41
電話が通じない	通信中ではありませんか？	通信終了までお待ちください。	—
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線にあった種類に設定してください。	41
用紙が出てこない	用紙がつまっていたり、異物が入っていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙や異物を取り除いてください。	260
用紙がよくつまる 用紙にシワが入る	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。	30
	適切な用紙を使用していますか？	当社指定の用紙をご使用ください。 特殊紙をご使用のときは、仕様にあった特殊紙をご使用ください。	30
	湿気を含んだ用紙を使用していませんか？	湿気を含んでいない新しい用紙と交換してください。	30
	折り目やシワの入った用紙を使用していませんか？	不良の用紙を取り除くか、新しい用紙と交換してください。	30
	機械の内部につまった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っていませんか？	機械の内部を点検し、紙片や異物を取り除いてください。	—
	カセットが確実にセットされていますか？	カセットを確実に奥まで押し込んでください。	—
原稿が出てこない	原稿がつまっていたり、自動給紙装置に異物が入っていませんか？	つまった原稿や異物を取り出し、原稿をセットし直してください。	260
原稿がよくつまる	適切な原稿を使用していますか？	適切な原稿を使用してください。	43
	原稿ガイドの位置がずれていませんか？	原稿ガイドを原稿に沿わせてセットしてください。	44
	自動給紙装置に紙片が残っていませんか？	原稿カバー、原稿搬送部を開けて確認してください。	264
	原稿搬送ローラが汚れていませんか？	原稿搬送ローラを清掃してください。	270

●送信できない

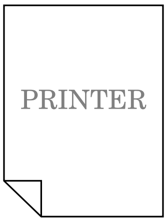
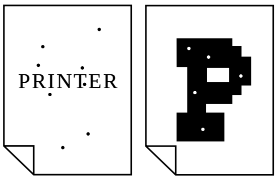
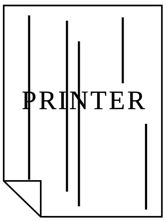
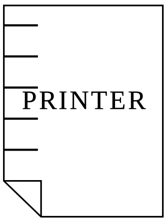
発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
時計データやワンタッチダイヤルなどの登録内容が消えてしまう。	長時間電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用することをしませんでしたか？	登録内容を保持しているバッテリの寿命がきたことが考えられます。インフォメーションセンターまでご連絡ください。	裏表紙
カバーが閉まらない	カバーの片方を押していませんか？	両端を押して閉めてください。	—
送信できない	送信の手順は正しいですか？	手順を確認し、もう一度操作をしてください。	84
	相手先の電話番号は正しいですか？	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで指定しているときは、正しく登録されているか、リストをプリントして確認してください。	214 221
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線にあった種類に設定してください。	41
	エラーメッセージが表示されていませんか？	エラーメッセージにしたがって処置を行ってください。	277
	外線発信番号を忘れていませんか？	内線から外線へ発信するときの、外線発信番号を忘れていませんか？	—
	相手側にトラブルはありませんか？	相手側に確認し、受信できる状態にするよう依頼してください。（電源、用紙など）	—
原稿が連続して送信されない	原稿の先端を階段状にセットしていますか？	原稿をセットし直してください。	44
	セットした原稿の中に、最小幅（120mm）より狭い幅の原稿がセットされていませんか？	最小幅より狭い幅の原稿は、ブックスキャナにセットして、他の原稿とは別にしてください。	44
ダイヤルしても送信できない	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線にあった種類に設定してください。	41
	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	44
	相手機に用紙がセットされていますか？	相手機に用紙をセットするよう連絡をしてください。	—
	電話番号が間違っていませんか？	正しい電話番号をダイヤルしてください。	—
	相手が話し中ではありませんか？	相手の通信が終了するまでお待ちください。	—
手動送信できない	本体電話を置いた後で＜スタート＞キーを押していませんか？	本体電話を置く前に＜スタート＞キーを押してください。	90
メモリ送信のとき原稿が読み込まれない	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	44
	メモリがいっぱいではありませんか？	メモリ容量を確認してください。	—

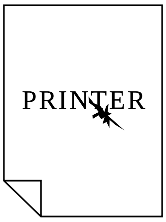
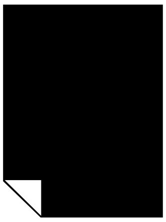
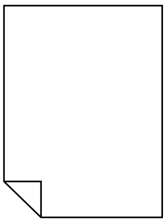
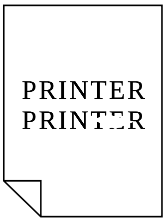
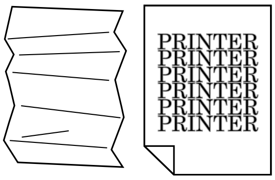
●受信できない

発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
受信できない	自動受信モードになっていますか？	受信モードを確認してください。	37
	用紙はありますか？	用紙を補給してください。	30
	用紙がつまっていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。	260
	回線接続コードが本機と電話回線に正しく接続されていますか?	正しく接続してください。	21
	メモリがいっぱいではありませんか？	メモリ容量を確認してください。	—
手動受信できない	本体電話を置いた後で＜スタート＞キーを押していませんか？	本体電話を置く前に＜スタート＞キーを押してください。	90
ポーリング受信ができずにチェックメッセージがプリントされる	相手先がパスコードを指定していませんか？	パスコードを指定するポーリングはできません。パスコードの解除を依頼してください。	150
	相手先がポーリング原稿を登録していますか？	相手先にポーリング原稿の登録を依頼してください。	150

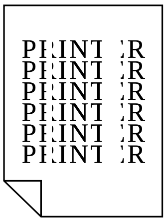
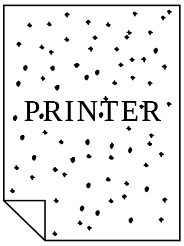
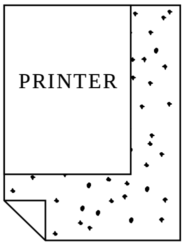
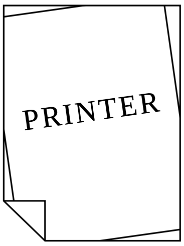
●画質が悪い

- 以下の処理をしても正常に戻らないときは、インフォメーションセンターまでご連絡ください。

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
プリントがうすい （かすれる、不鮮明）  	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	30
	原稿の色が黄色や緑色などではないですか？	受信の場合は、相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。（コピーをとられることをおすすめします。）	—
	当社指定以外の用紙を使っていませんか？	当社指定の用紙をご使用ください。	30
	濃度の設定が正しくありません。	正しく設定してください。	47
	ドラム／トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26、28
	ドラム／トナーカートリッジ内のトナーが残りわずかです。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26、28
黒点や白点が現れる  	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	30
	ドラム／トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	28
	ブックスキャナ部のガラス面、原稿押さえパッドが汚れています。	ブックスキャナ部のガラス面、原稿押さえパッドを清掃してください。	269
黒筋や汚れがプリントされる  	自動給紙装置の原稿ガラス、原稿搬送ローラーなどが汚れています。	原稿ガラス、原稿搬送ローラーを清掃してください。	268 270
等間隔に汚れがプリントされる  	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚テストコピーをしてください。	—
	ドラム／トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26、28

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
黒筋や汚れがプリントされる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	30
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	30
	ブックスキャナ部のガラス面、原稿押さえパッドが汚れています。	ブックスキャナ部のガラス面、原稿押さえパッドを清掃してください。	269
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラム／トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26、28
	機器の故障が考えられます。	インフォメーションセンターまでご連絡ください。	裏表紙
なにもプリントされない 	原稿を裏表逆にセットしていませんか？	正しく原稿をセットしてください。	44
	一度に複数枚の用紙が搬送されました。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。	44
	ドラム／トナーカートリッジのトナーがなくなりました	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26、28
	ドラム／トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26、28
	機器の故障が考えられます。	インフォメーションセンターまでご連絡ください。	裏表紙
白抜けがおこる 	用紙が湿気をふくんでいます。	新しい用紙と交換してください。	30
	使用している用紙が適切ではありません	適切な用紙をセットしてください。	30
	ブックスキャナ部のガラス面が汚れています。	ブックスキャナ部のガラス面を清掃してください。	269
用紙にシワが入ったり、文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	30
	用紙が湿気をふくんでいます。	新しい用紙と交換してください。	30

次のページへ

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
紙送り方向に白抜けが起こる 	ドラム／トナーカートリッジが正しくセットされていません。	ドラム／トナーカートリッジを正しくセットしてください。	25
	ドラム／トナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラム／トナーカートリッジに交換してください。	26、28
	自動給紙装置の原稿ガラスが汚れています。	自動給紙装置の原稿ガラスを清掃してください。	268
全体が汚れる 	ブックスキャナ部のガラス面が汚れています。 両面が印刷されている原稿の裏面が写っています。	ブックスキャナ部のガラス面を清掃してください。 うすい紙の両面原稿ですと、裏面の原稿内容が透けて、表の原稿に写ってしまうことがあります。濃度にて濃度を薄くしてください。	47 269
周りが汚れる 	原稿押さえパッドが汚れています。	原稿押さえパッドを清掃してください。	269
	原稿サイズより大きな用紙にコピーしていませんか？（倍率100％時）	原稿サイズと同じ大きさの用紙を選択してください。	58
	原稿と用紙の向きが違っていませんか？	同じ向きの用紙を選択してください。または、原稿の向きを用紙に合わせてセットしてください。	—
	用紙サイズにあった倍率で縮小していません。	用紙サイズにあった倍率で縮小してください。	61
画像が傾く 	原稿が正しくセットされていません。	原稿を正しくセットしてください。	44
	自動給紙装置に適した原稿がセットされていません。 自動給紙装置の原稿ガラスに異物がありませんか？	自動給紙装置部にセット可能な原稿を使用してください。 自動給紙装置の原稿ガラスを清掃してください。	42 268

MEMO

もくじ

付録

1 文字一覧表 292
文字コードの探しかた 292
記号・かな・特殊文字コード一覧 293
第一水準漢字コード一覧 294
第二水準漢字コード一覧 297

2 アフターサービスについて 298
保証について 298
修理を依頼されるときは 299
その他の場合 299

3 主な仕様 300

4 さくいん 303

5 消耗品とオプション品について 307
消耗品について 307
オプション品について 307
消耗品発注票について 308

1 文字一覧表

文字をコードで入力する場合、登録する文字の文字コード（4 桁の数字）が必要となります。
ここでは、文字コードの探しかた、文字コード一覧、ローマ字の入力の仕方を表にして記載しています。文字をコード入力するときや、ローマ字の入力のしかたがわからないときに参照してください。
＊実際にディスプレイに表示、または用紙にプリントされる文字や記号は、ここに記載してある文字や記号とは多少形状が異なります。

●文字コードの探しかた

ここでは、例として宛先の「宛」の文字の文字コードを探すときについて説明します。

	② ＼ ①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇

①の数字に②の数字を加えた値が、その文字のコードになります。

例：「宛」の場合　→ $\frac{1620}{①} + \frac{4}{②} = \frac{1624}{\text{コード}}$

●記号・かな・特殊文字コード一覧

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	0100		SP	、	。	，	．	・	：	；	？
	0110	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
	0120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
	0130	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
	0140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	0150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	0160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	0170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	0180	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	0190	★	○	●	◎	◇					
	0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	0210	→	←	↑	↓	〓					
英／数字／特殊	0310							0	1	2	3
	0320	4	5	6	7	8	9				
	0330				A	B	C	D	E	F	G
	0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	0360						a	b	c	d	e
	0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	0390	z									
	1370					㈱	㈲				

補足：「SP」はスペース（空白）を示しています。

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひらがな	0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	0430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	0450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	0460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	0480	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	0570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
ギリシャ文字	0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	0610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア文字	0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	0730	Ь	Э	Ю	Я						
	0740										а
	0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	0780	ю	я								

付録

●第一水準漢字コード一覧

	① ＼ ②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏								
い	1640			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋				
う	1700							右	宇	烏	羽
	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730	云	運	雲							
え	1730				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	1780								於	汚	甥
	1790	凹	央	奥	往	応					
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	1820									下	化
	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070	贋	雁	頑	顔	願					
き	2070						企	伎	危	喜	器
	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090	旗	既	期	棋	棄					
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190	禦	魚	亨	享	京					
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	2260										九
	2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
け	2320		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390	建	憲	懸	拳	捲					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430	絃	舷	言	諺	限					

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
こ	2430						乎	個	古	呼	固
	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590	忽	惚	骨	狛	込					
	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	2610										些
	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し	2730								仕	仔	伺
	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790	字	寺	慈	持	時					
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890	綬	需	囚	収	周					
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990	恕	鋤	除	傷	償					
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	3150									笥	諏
	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190	椙	菅	頗	雀	裾					
	3200		澄	摺	寸						
せ	3200					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎					
そ	3320						噌	塑	岨	措	曾
	3330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390	霜	騒	像	増	憎					
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

付録

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
た	3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談					
ち	3540						値	知	地	弛	恥
	3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					
	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	3630								津	墜	椎
	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	3660							亭	低	停	偵
	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	3730									兎	吐
	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790	答	筒	糖	統	到					
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍						
な	3860					奈	那	内	乍	凪	薙
	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝							
に	3880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	3890	虹	廿	日	乳	入					
	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認		

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬ	3900									濡	
ね	3900										禰
	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘									
の	3920		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	3930	脳	膿	農	覗	蚤					
は	3930						巴	把	播	覇	杷
	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麦					
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ	4050										匪
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090	枇	毘	琵	眉	美					
	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶								
ふ	4150			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190	伏	副	復	幅	服					
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	4220							丙	併	兵	塀
	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭									
ほ	4260		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆						

●第二水準漢字コード一覧

	①＼②	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま	4360					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390	繭	麿	万	慢	満					
	4400		漫	蔓							
み	4400				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む	4410										務
	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	4420										冥
	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	4440							摸	模	茂	妄
	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470	紋	門	匁							
や	4470				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓									
ゆ	4490		愉	愈	油	癒					
	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	4520										予
	4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	4560										羅
	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	4580									利	吏
	4590	履	李	梨	理	璃					
	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	4660	瑠	塁	涙	累	類					
れ	4660						令	伶	例	冷	励
	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690	漣	煉	簾	練	聯					
	4700		蓮	連	錬						
ろ	4700					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730	肋	録	論							
わ	4730				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750	碗	腕								

コード	漢字
4839	佛
5268	壺
5462	巖
5502	廣
5956	檜
5974	條
6323	澤
6706	礒
6838	籠
6881	粐
6941	絹
7038	翔
7074	肛
7263	萬
7296	蓼
7590	證
7750	輌
7871	鈑
7910	鍼
7937	鐵
8055	靭
8083	頌
8231	鮨
8347	麩
9092	燁
1374	㈱
1375	㈲

付録

2 アフターサービスについて

- ご使用中に異常が発生したときは、ご使用をやめ、電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。
- お客様または第三者が本機の使用誤りによって生じた故障ならびにその不都合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は厳重な品質管理と製品検査をへて出荷されますが、万一故障または不具合がありましたら、至急インフォメーションセンターまでご連絡ください。（裏表紙参照）

●保証について

- 本機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定の事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証形態にはキット契約とスポット契約があります。お客様のご希望によりお選びください。

〈キット契約〉

●キット契約に基づき機器の保守サービスを実施いたします。機器の故障内容に関わらず出張費、技術料、交換部品代は無料です。但し、消耗品（用紙代）は除きます。

①契約期間

取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きにしたがって正常な使用状態で、故障した場合は、弊社が供給する指定トナーユニット（キット用）をキット契約に基づいてご購入のお客様に限りご購入日から5年間修理いたします。

②契約期間経過後

6年目以降についてもトナーユニット（キット用）ご購入・修理を希望される場合は、延長させていただきます。（原則としてご購入後7年間を規準とさせていただきます。）但し、使用状態が著しく過酷であり品質保持が困難であると判断したものについては、除外させていただきます。6年目以降のトナーユニット（キット用）価格は別途に定めた価格とさせていただきます。

③別途修理費用を請求する場合

保証期間内でも、次の場合は別途修理費用を請求させていただきます。

（イ） 使用上の誤り、または不当な修理や改造により故障・損傷。
（ロ） お買上げ後の設置場所の移動、または落とされた場合などにより故障・損傷。
（ハ） 火災、公害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他の天変地変など、外部に原因がある故障・損傷。
（ニ） 転居などで電源周波数が変わることにより、商品交換や配線の変更が必要な場合。
（ホ） お買上げ後の設置場所の移動にともなう諸経費。
（ヘ） 弊社指定外消耗品の使用による故障・損傷。

〈スポット契約〉

●お客様のご依頼により修理を実施いたします。

①保証期間内

保証期間中（お買い上げの日から1年間）、万一故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理いたします。当社保証規定以外の責はご容赦いただきます。但し保証期間内であっても消耗品は有料となります。

②保証期間経過後

保証期間経過したあとに生じる故障は、修理によって本機の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

③補修性能部品の保有期間

当社は本機の性能を維持するために必要な補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低5年間保有しています。修理によって本機の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら（➡284ページ）」の項目で、故障かどうかをお確かめください。故障の場合はお名前、住所、電話番号、機種名、購入年月日、故障の状態、道順と目標物、駐車可能な場所などをお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご連絡ください。お申し出により出張修理いたします。

【ご注意】

① 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および破損で修理サービスを依頼されますと保証期間内であっても有償となります。

② 修理の内容によっては、登録内容が消去される可能性があります。あらかじめ登録内容をメモしておいてください。
この場合再登録はお客様ご自身でお願いいたします。

●その他の場合

下記のような変更がある場合は、事前にお買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

① 移設の場合 ……… NTTへの手続きや機器の再調整が必要な場合があります。
事前にお買い上げの販売店にご連絡ください。

② ファクシミリ通信網に加入する場合 * ……… 機器はそのままご使用いただけます。

③ 新電電系回線サービスに加入する場合 * ……… 機器はそのままご使用いただけます。

④ マイライン・マイラインプラスに加入する場合 * ……… 機器はそのままご使用いただけます。

⑤ 海外との通信の場合 ……… そのまま通信できます。うまく通信できないときは、お買い上げの販売店またはインフォメーションセンターにご相談ください。

* お客さまご自身でのお申し込みが必要です。

3 主な仕様

● 製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

ファクス／コピー共通仕様

項　　目	仕　　様
型式	卓上型、送受信兼用
原稿台方式	固定式
感光体種類	OPCドラム
印字方式	乾式電子写真方式
現像方式	磁性1成分方式
定着方式	ヒートロールによる熱圧力定着
読取方式	CCDイメージセンサによる固体電子平面走査
原稿サイズ	自動給紙装置　幅　：120～300mm（読み取りは297mm） 長さ：100～900mm（コピー時は最大 712mm）*1 ブックスキャナ　最大：257×364（最小の制限は無し）
原稿収容容量 （自動給紙装置）	A3：15枚　B4：25枚　A4以下：50枚
用紙	サイズ　カセット：B4、A4、B5、A5 手差し　：B4、A4、B5、B5、A5、A5、OHP、ハガキ、往復ハガキ 最大セット枚数 1段目500枚、2段目以降250枚（手差し：1枚）
画像メモリ容量	8MB（バッテリーにより、約120時間のメモリバックアップ可）*2
電源	AC 100V±10%　50／60Hz共用
消費電力	オートパワーオフモード：6.1W スリープモード：17W 送信時：43W 受信時：760W コピー時：780W 最大時：800W
電流値	8.2A以下
質量	39.8Kg（トレイ含む。用紙・ドラム／トナーカートリッジのぞく）
機械寸法	幅 532 × 高さ 428 × 奥行き 615mm（標準形態／突起部・トレイのぞく）
環境条件	周囲温度：10～32 ℃（湿度68%時） 相対湿度：20～80 %（温度30℃時）

*1 50%縮小コピー時
*2 あらかじめ24時間以上の通電が必要です。また、オプションのメモリを増設（合計16MB）している場合は、バックアップ時間が短くなります。（約30時間）

ファクス関連

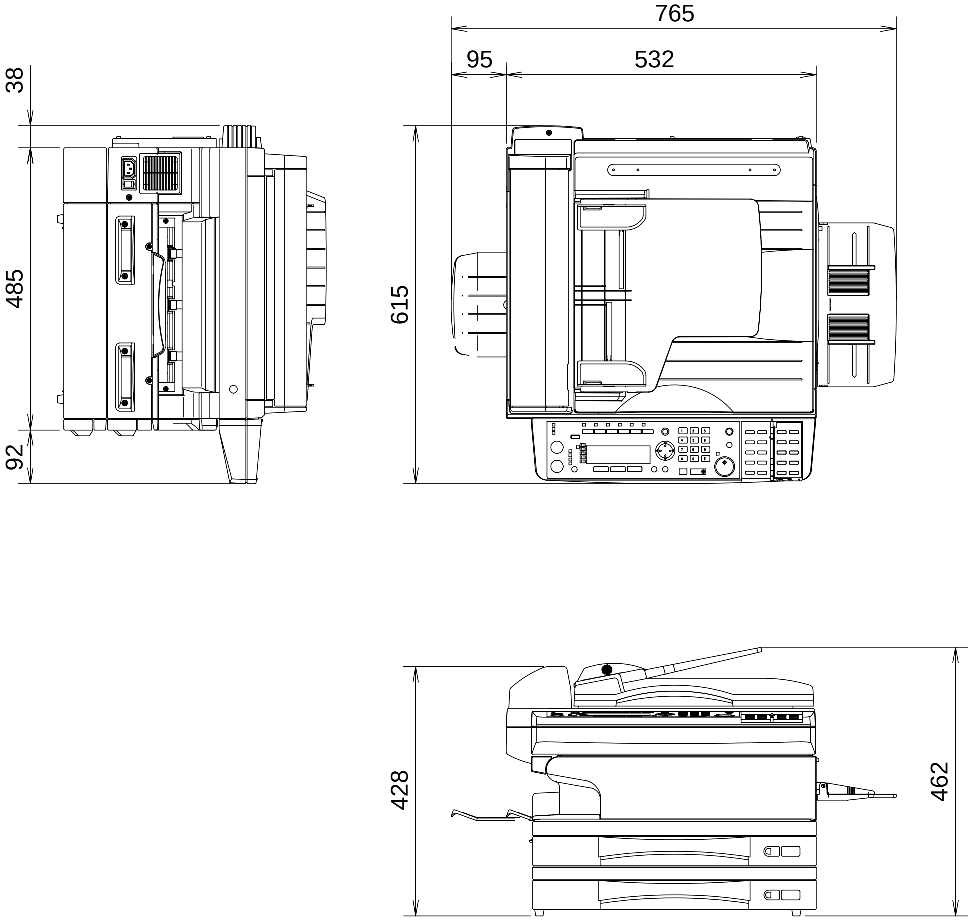
項　目	仕　様
走査線密度	読取部： 超高画質モード：主走査16dots／mm×副走査15.4lines／mm*2 高画質モード　：主走査 8dots／mm×副走査 7.7lines／mm*2 標準モード　　：主走査 8dots／mm×副走査3.85lines／mm*2 写真モード　　：主走査 8dots／mm×副走査 7.7lines／mm*2 記録部：主走査16dots／mm×副走査15.4lines／mm
通信速度	33600,31200,28800,26400,24000,21600,19200,16800,14400,12000, 9600,7200,4800,2400bps（自動切替）
適用回線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）、NCC回線
電送速度	2秒台（33600bps）*3
符号化方式	MH／MR／MMR／JBIG MSE（独自）

＊2　該当モードを持たない装置とは交信できません。

＊3　A4版700字程度の原稿を、標準的画質（8×3.85 lines／mm）、スーパーG3モード（ITU-T V.34基拠、33600bps）で送った時の時間です。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。G3機との通信（同じ原稿を14400bpsで送ったとき）では6秒台になります。

コピー関連

項　目	仕　様
走走査線密度	読取部：16dots／mm×15.4lines／mm 記録部：16dots／mm×15.4lines／mm
ウォームアップタイム	15秒以内／（室温25℃）
ファーストコピータイム	12.7秒（A4、ブックスキャナ使用時）
連続複写速度	12枚／分（A4、メモリプリント時）
連続コピー	1～99枚



●このモデルは日本仕様の認可機です。日本国内でのみ設置できます。（日本から海外のファクシミリとの国際電話による交信もできます。）
This facsimile machine is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.
●外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

4 さくいん

英字

ECMモードの設定 203
Fコード通信で使用できる機能 151
Fコード通信とは？ 151
Fコード通信をする 151
FコードBOX蓄積原稿リストのプリント 158
Fコードボックスの消去 163
Fコードボックスの登録 159
Fコードボックスリストのプリント 164

ア行

相手先の操作で送信する（ポーリング予約）.......... 148
相手先の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）. 168
相手の原稿を取り出す（ポーリング） 150
宛名表示の設定 203
アフターサービスについて 298
　修理を依頼されるときは 299
　その他の場合 299
　保証について 298
アラームランプについて 273
1段目カセット 33
1枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート） 72
一括送信原稿リストのプリント 125
一括送信のしかた 122
一括送信ボックスにメモリされた原稿の消去 124
一括送信ボックスにメモリされた原稿のプリント ... 123
一括送信ボックスの消去 127
一括送信ボックスの登録 126
一括送信ボックスリストのプリント 128
液晶ディスプレイのみかた 15
エラー画面の説明 17
エラーコード 275
エラーメッセージが表示された 273
延長用用紙トレイの取り付け 21
鉛筆読取りについて 48
同じ相手に再度送信する（リダイヤル） 89
同じ相手にまとめて送信する（一括送信） 122
オプション品について 307
おまかせ機能キー 20, 240
おまかせ機能キーの実行スピードの設定 245
おまかせ機能キーの消去 243
おまかせ機能キーのタイトル変更 242
おまかせ機能キーの登録 240
おまかせ機能キーリストのプリント 244
おまかせ機能キーを使用する 245
主な仕様 300

カ行

カーソルキー 19
外出先からフォンワープの設定をする 142
外出先からの操作（リモート操作） 142
回線接続コードの接続 21
回転コピー 50
回転受信について 112
回転受信の設定 204
拡大／縮小コピーをする（ズーム） 60
各部の名称とはたらき 10
可変入力 194
機械の外観を清掃する 268
機器の接続のしかた 21
記号・かな・特殊文字コード一覧 293
記号について 30
記号について 44
機能の組み合わせ一覧 81
機能選択キー 18
基本的なコピーのしかた 52
基本的な送信のしかた 84
記録のしかた 110, 113
記録部を清掃する 271
銀行のFAXサービスなどの利用のしかた 166
クイックメモリ送信の設定 204
グループ送信 120
グループダイヤルの登録 222
　消去する 225
　登録する 222
　変更する 224
グループリストをプリントする 226
掲示板への原稿蓄積 154
原稿がつまったとき 264
原稿サイズの自動検出について 50
原稿種類・画質の選びかた 46
原稿種類初期設定 79
原稿セットのしかた 42, 44
原稿といっしょに送信案内証を送る（メッセージ送信）... 146
原稿トレイの取り付け 21
原稿についてのご注意 43
原稿の一部分だけをコピーする（読取サイズ） 57
原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ） 88
原稿搬送ローラーを清掃する 270
原稿読み取り範囲について 43
原稿を続けて読み取るには 53
ご愛用スイッチキー 20, 246
ご愛用スイッチキーの使用例 248
ご愛用スイッチキーの登録 247
ご使用の前のお願い 2
故障かなと思ったら 284
　画質が悪い 287
　受信できない 286
　送信できない 285
　動作しない 284
コピー画面自動リセットの設定 79
コピー画面の説明 15
コピー機能設定例 78
コピー機能の初期設定 78
コピー設定一覧 79
コピー設定リストプリント例 80
コピー中にメモリオーバーしたとき 51
コピーの前に 50
コピー予約（いつでもコピー） 56

サ行

サブアドレスとパスワード 151
サブアドレスを使用した受信（Fコードポーリング）..... 153
サブアドレスを使用した送信（Fコード送信）........ 152
しきい値について 111
システム設定 250
システム設定一覧 252
システム設定リストプリント例 254
システム設定例 250
知っておきたいキーの使いかた 18
自動給紙装置とブックスキャナの混在コピー 55
自動給紙装置とブックスキャナの両方を使って送信する ... 86
自動給紙部を清掃する 268
車検証読取りについて 48
受信原稿を転送する（ファクスワープ）........ 129
受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）..... 177
受信縮小について 110
受信中の動作について 109
受信中の表示について 109
受信のしかた 101
手動送信のしかた 90
使用する前の登録 37
省エネキー 14
消耗品とオプション品について 307
消耗品について 307
消耗品発注票について 308
初期登録 37
新電電系（NCC回線）の利用のしかた 166
済スタンプの設定 203
済スタンプを押す（自動給紙装置のときのみ）........ 95
済スタンプを交換する 266
セキュリティ受信した原稿のプリント 178
セキュリティ受信の設定 177
セットできる原稿サイズ 42
セットできる用紙のサイズと容量 30
ソート初期設定 79
操作音を変える（音設定）........ 256
操作パネルの名称とはたらき 12
送信案内証の印字 147
送信時刻を指定する（時刻指定送信）........ 121
送信時にメモリオーバーしたとき 93
送信するときの便利な機能 94
送信のしかた 84
送信文書を中止／確認する 97
送信方法の設定（メモリ送信／リアルタイム送信）........ 94
送信予約数をオーバーしたとき 93
増設電話でファクスを受ける（リモート受信）........ 106
増設電話（留守番電話）の接続 22

タ行

第一水準漢字コード一覧 294
代行受信について 109
第二水準漢字コード一覧 297
ダイヤルイン待機 107
ダイヤルインの登録 40
ダイヤル記号について 94
ダイレクトメール防止ダイヤルリストのプリント 181
ダイレクトメール防止の登録 179
　登録した番号の消去 181
　登録する 179
多数の相手に一度に送信する 118
短縮ダイヤルの登録 215
　消去する 219
　挿入／削除する 220
　登録する 215
　変更する 217
　便利な登録のしかた 217
短縮ダイヤルリストをプリントする 221
蓄積原稿の消去 157
蓄積原稿のプリント 155
蓄積原稿リストプリント例 254
通信回線の見分けかた 41
通信管理レポート、通信証の設定 183
通信管理レポートのプリント 182
通信管理レポートのみかた 184
通信証のみかた 185
通信証を発行する 96
通信の後に相手と話す（会話予約）........ 116
通信予約原稿のプリント 99
通信予約リストのプリント 100
通信管理 182
通信結果の確認 182
停電のとき 282
　消去通知 283
　本体の動作 282
　メモリバックアップ 282
手差しコピーをする 67
手差しトレイにセットできる用紙 64
手差しトレイに用紙をセットする 64
手差しトレイの取り付け 21
ディスプレイに表示されるメッセージ 277
ディスプレイ表示について 169
電源コードの接続 23
電源スイッチについて 14
電源について 14
転送先の消去 132, 140
転送先の登録 130, 137
電話がかかってくると 168
電話帳検索のしかた 91
電話を受ける 116
電話をかける 115
電話を中心に使用する（電話待機）........ 105
電話を転送する（フォンワープ）........ 136
電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機）.. 103
同報送信 118
同報送信・グループ送信の宛先別の中止／確認 98
トナーカートリッジを交換 26
ドラムカートリッジの交換 28
ドラム／トナーカートリッジについて 24
ドラム／トナーカートリッジの取付 25
ドラム／トナーカートリッジの取付・交換 24

ナ行

名前の登録 …… 170
ナンバー・ディスプレイダイヤルリストのプリント …… 171
ナンバー・ディスプレイ着信履歴のプリント …… 172
2段目・3段目カセット …… 36
日常のお手入れ …… 268
2ページを1枚ずつコピーする(ページ連写) …… 74
濃度の選びかた …… 47
濃度初期設定 …… 79

ハ行

倍率を選んで拡大/縮小する(定型倍率) …… 61
倍率を入力して拡大/縮小する(ズーム) …… 62
はがきにコピーする …… 68
発信元送信の設定 …… 203
ハンドセット(本体電話)の接続 …… 22
表示されるアイコンの意味 …… 16
ファクシミリ通信網及びサービスの利用について …… 165
ファクシミリ通信網サービス …… 165
ファクス&コピーのしかた …… 145
ファクス&コピーを設定する …… 144
ファクス画面自動リセットの設定 …… 204
ファクス画面の説明 …… 16
ファクス機能の機器設定について …… 199
ファクススキャナパラメータの設定 …… 202
ファクス設定一覧 …… 201
ファクス設定リストプリント例 …… 206
ファクス設定例 …… 199
ファクス専用で自動受信する(ファクス待機) …… 101
ファクスとコピーを同時にする(ファクス&コピー) …… 144
ファクスワープの設定 …… 129
ファクスワープリストをプリントする …… 133
ファクスを優先して電話も受ける(ファクス/電話待機) …… 102
フォンワープの設定 …… 136
フォンワープの動作 …… 139
フォンワープリストをプリントする …… 141
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする(集約コピー) …… 70
ブックスキャナ部を清掃する …… 269
不定型紙を設定するとき …… 66
部門管理ONのときの送信 …… 174
部門管理の設定 …… 173
部門管理の保護 …… 176
部門ごとの使用を管理する …… 173
部門番号の登録・消去 …… 175
プリントされるエラーメッセージ …… 273
プリントパラメータの設定 …… 202
プログラムワンタッチダイヤルリストをプリントする …… 238
プログラムワンタッチの登録 …… 227
　「応用通信」を登録する …… 227
　「原稿蓄積」を登録する …… 234
　個別設定 …… 231
　消去する …… 237
　変更する …… 236
　「リストプリント」を登録する …… 233
プロテクトコードの登録 …… 255
ページ合成について …… 111
ページ分割について …… 112
ポーズ時間の設定 …… 202
ポーリングの設定 …… 150
ポーリング予約原稿の消去 …… 149
ポーリング予約原稿の蓄積 …… 148
ポーリング予約原稿のプリント …… 149
ボイスワープサービスとは? …… 134
ボイスワープサービスの利用について …… 134
ボイスワープサービスを利用する前の設定 …… 134
本体各部の名称とはたらき …… 10

マ行

前にコピーした原稿を再度コピーする(もう一度コピー) …… 75
メッセージ送信の設定 …… 146
メッセージの登録 …… 146
メディアの設定 …… 66
メモリ送信の設定 …… 203
もう一度コピーのしかた …… 75
もう一度コピー原稿の消去 …… 76
もう一度コピー自動消去の設定 …… 79
文字一覧表 …… 292
文字コードの探しかた …… 292
文字入力に使用するキー …… 188
文字入力についての基本 …… 196
文字入力のしかた …… 188
文字の挿入・削除 …… 195
文字を入力する …… 189
戻るキー …… 20

ヤ行

有効記録サイズについて …… 110
用紙がつまったとき …… 260
　サイドカバーのとき …… 262
　本体内部のとき …… 261
用紙サイズに合わせて拡大/縮小する(自動倍率) …… 60
用紙サイズの優先順位 …… 114
用紙サイズを変える …… 32
用紙選択コピーのしかた …… 59
用紙選択のしかた …… 58
用紙のセット/補給・カセットサイズの変更 …… 30
用紙を選んでコピーする …… 58
用紙を仕分けする(ソート) …… 63
用紙をセットする …… 31
呼出ベル回数の設定 …… 202

ラ行

リダイヤルの設定 …… 203
留守番電話とファクスを兼用する
(留守/ファクス待機) …… 104

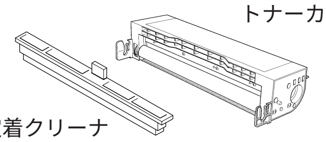
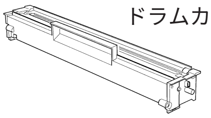
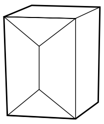
ワ行

ワープ用暗証番号の設定 204
ワンタッチダイヤルの登録 207
消去する 212
挿入／削除する 213
登録する 207
変更する 210
便利な登録のしかた 209
ワンタッチダイヤルリストをプリントする 214

5 消耗品とオプション品について

●消耗品について

● 本機には、以下の消耗品が用意されています。これらは、本機に最も適した規格で作られているので、必ず以下のものを使用してください。
消耗品、オプション品のご注文は、巻末の消耗品発注票をご利用ください。

消　耗　品	梱　包　形　態
トナーカートリッジ（型番：TS20B） トナーカートリッジ（型番：TS70B） 梱包箱には次の内容が同梱されています。 	各1個
ドラムカートリッジ（型番：DK41500） 梱包箱には次の内容が同梱されています。 	1個
スタンプ 	済みスタンプ　3個 ピン　1個
用紙（A5、A4、B5、B4） 	B4、A4、B5の場合 500枚×5冊 A5の場合 500枚×10冊

＊同梱内容・形態は予告なく変更することがあります。

●オプション品について

品　名	備　　考
増設メモリ	8MBのメモリ容量を増やすことができます。
給紙ユニット（カセット付）	セットできる用紙の量を増やすことができます。用紙は250枚セットでき、1段目、2段目と合わせて1000枚の用紙を使用できるようになります。
専用台	省スペース、使いやすさを考慮した専用台です。 消耗品を保管する収納スペースもあります。
地震対策キット	専用台を安定させるために、専用台の足を固定します。
ハンドセット（本体電話）	手動受信や会話予約など、電話を受けるときに必要です。
2回線キット（AL-100）	通信回線を増設し、スーパーG3通信を2カ所同時に行なうことができます。

●消耗品発注票について

- 消耗品、オプション品の発注の場合
  次のページの発注票を切り取り、氏名、住所、ご注文日、納入希望日、電話番号、注文品のサイズ、数量、オプション品名と数量をご記入の上、ファクスにて発注してください。注文品のサイズに○を付けてください。（会社単位でお申し込みの場合は、会社名、部署名、担当者名をご記入ください。）
- ご注文に際しての注意点
  ・消耗品のバラ売りはお受けしておりません。
  ・料金のお支払いは商品と引き替えにてお願いします。
  ・消耗品、オプション品には運送料は含まれておりません。運送の際には実費をご負担いただきます。
  ・商品のお届けには、ご注文後 2 日ほどかかります。

MEMO

- 上記以外の消耗品を使用して発生したトラブルについて、修理を依頼されますと保証期間内であっても有償になることがあります。
- 消耗品は以下のような場所を避けて保管してください。
  ・高温多湿の場所 ・火気のある場所 ・直射日光の当たる場所 ・ほこりの多い場所
- 消耗品はご使用になるまで包装された状態で保管してください。
- 消耗品は常に予備があるようにしてください。消耗品・オプション品のご注文は、巻末の消耗品発注票をご利用ください。

● トナーの残りが少なくなりましたら、自動的に消耗品発注票がプリントされます。消耗品発注票のご担当者名、備考を記入していただき、お買上げの販売店または、お近くのカスタマーサポートセンターまでファクスで発注してください。
また、トナー／ドラムカートリッジ、トナーカートリッジが無くなった時以外に消耗品を発注したい場合は、下段の発注票を切り取って、ご利用ください。

消耗品発注票

ＡＢＣ商事（株）　様　　　　2002年 1月28日(月) 13:30

トナーの交換が必要になりました。
お手数ですが、この用紙を使って、下記へＦＡＸでご注文下さい。

販売店　得意先ｺｰﾄﾞ ： 京都ABC520
社名　： ＡＢＣサプライ
電話　： 123-2222-3333
ﾌｧｸｽ　： 123-2222-4444

お客様　得意先ｺｰﾄﾞ ： ABC1234567
社名　： ＡＢＣ商事（株）
部課名　： 経理部
電話　： 123-456-7890
ﾌｧｸｽ　： 123-456-7890
ご担当者名 ： ＿＿＿＿＿＿＿＿ 印 ← 署名、捺印をしてください。

ﾓﾃﾞﾙ名　： V-970
ｼﾘｱﾙNo.　： D7102500000001

設置日　： 2002年 1月 1日(火)

発注品目　： ﾄﾅｰ(S)　x 1

備考　： ＿＿＿＿＿＿＿＿

↑ トナー以外に同時に発注したい消耗品等を記入してください。

消耗品発注票

弊社FAX番号 [　　　　　　]

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ **行**

ご送付先	お客様名（フリガナ）	ご注文日　／ 納入希望日　／
	ご住所（フリガナ）	
	電話番号　　　　内線	

機　種	品　名	サ　イ　ズ	数　量
V-970	ドラムカートリッジ		セット
	トナーカートリッジ	型番：TS20B, 型番：TS70B	個
	スタンプ		セット
	用紙	A4、A5、B4、B5	個

〈備考〉

murata ムラテック販売株式会社

インフォメーションセンター	ムラテック製品のお取り扱い方法やアフターサービスに関するご相談は、下記へお問い合わせください。
フリーダイヤル 0120-610917	●受付時間(日·祝日は休ませていただきます。) 月～金　9:00～18:00 土　9:00～17:00

※カスタマーサポートセンター／課へご連絡の場合は、別紙「お問い合わせ先一覧」をご参照ください。

●2002年6月現在
所在地・電話番号等が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

©2002 MURATA MACHINERY, LTD.
Printed in Japan 2002-06（第4版）
D71-90680-63